



日本学術振興会 「科学研究費補助金・基盤研究B (JP18H00985)
ゼロ年代以後の教育歴とライフコースの変化に関するパネル調査研究」
「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業
(JPJS00218077184)」

日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2019LCSwave3

編集・発行

文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

京都大学大学院教育学研究科
教育社会学講座

2021年3月

この基礎集計表・コードブックは、
JGSS-2019 ライフコース調査 wave3<JGSS-2019LCSwave3>
データセット Version 1.0 から作成したものです。

はじめに

1990年代半ばから2000年代前半にかけての10年間は「失われた10年」と呼ばれ、戦後の日本社会において自明とされてきた人生パターンが崩れ始めた時期であった。とりわけ「ゼロ年代」と呼ばれる2000年代は、非正規雇用の拡大、転職の増加、高等教育進学率の上昇、新卒者の就職難、女性の雇用機会の拡大と専業主婦の縮小、初婚年齢の上昇、急速な少子高齢化、所得の低下と所得格差の拡大など、戦後日本社会の安定を支えてきたとされる要因に綻びが目立ち、未来への不安が高まった時期であった。さらに2011年3月11日には東日本大震災が発生し、福島第一原子力発電所の事故があり、日本社会は震災と原発事故からの復興を余儀なくされてきた。

このような時代状況を背景として、JGSS-2009 ライフコース調査 (JGSS-2009LCS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センターが文部科学省「人文学及び社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業」として採択され実施した全国調査である。この調査では、2008年12月31日時点で満28歳以上42歳以下の1966年から1980年の間に生まれた男女を対象に、ライフヒストリー (学校歴、職歴、婚姻歴、親との同居歴) と自らの性格・能力・仕事に対する考え方、職場環境、ワークライフバランス、結婚観、家族観、政治意識、趣味や日常生活行動などについて詳細に尋ねた。対象者を28歳から42歳に絞った理由は、日本を含む世界の産業構造や経済状態が変化の中で、日本人が自明としてきた人生のパターンが、若者層を中心に大きく変化をしている状況を捉えることを目指したからである。標本数は6,000、有効回答数は2,727、転居、住所不明などの調査不能票を除いた上での回収率は51.1%であった。

次に実施した JGSS-2013LCSwave2 は、京都大学大学院教育学研究科・岩井八郎が研究代表者として、科学研究費補助金・基盤研究 (B) 『『失われた10年』以後の教育機会とライフコースに関するパネル調査研究』を得て実施した追跡調査である。この調査では、JGSS-2009LCS の回答者のなかで継続調査への協力に同意した922名を対象として、2013年時点で住所不明や長期不在を除いた834名に対して、2009年から13年までの4年間における職業経歴や家族歴、教育経験などの情報をもれなく尋ね、また社会意識や日常生活活動などについては JGSS-2009LCS と同じ調査票を用いて4年後の情報を得ている。JGSS-2013LCSwave2 の有効回答数は、718ケース (男性282ケース、女性436ケース) であった。

代表者の岩井八郎は、JGSS-2013LCSwave2 の実施後も調査対象者に対して、毎年、研究成果を紹介するパンフレットを作成し、住所確認のための連絡を続けてきた。JGSS-2019LCSwave3 は、岩井八郎が研究代表者として、科学研究費補助金・基盤研究 (B) 「ゼロ年代以後の教育歴とライフコースの変化に関するパネル調査研究」を得て、JGSS-2013LCSwave2 の調査対象者に対して2019年に実施した追跡調査である。2013年から19年までの6年間における職業経歴や家族歴、教育経験などを途切れなく調べる経歴の調査、ならびに JGSS-2013LCSwave2 において用いた社会意識や日常生活活動に関する調査票を用いて2019年時点での同じ社会意識や日常生活活動の調査を行っている。JGSS-2013LCSwave2 の回答者718人の中で、2019年1月の調査実施告知前の時点で調査不可能 (転居先不明や調査拒否) があり、683人が調査対象となった。2019年1月の調査実施告知 (依頼状) の発送から調査実施開始までには、39名が調査不可能となった。39名のうち、25名は住所不明、14名は拒否によるものである。このため、調査に際して実際に訪問したのは644名である。調査は、2019年2月から4月に実施し、最終的に549人 (86.2%) の回答を得た。

1980年代より発展してきた数量的なデータを用いたライフコース研究は、個人の経歴に関する時間に途切れないデータを収集し、結婚、出産、転職、離職などの人生の出来事の発生と変化を出生コーホート間で比較することによって、時代状況の個人の人生パターンへの影響を明らかにしてきた。また数量的なライフストーリー・データを用いた国際比較研究も進んでおり、福祉レジームの比較研究においては、日本の場合は、性別役割分業型のライフコースが維持されていることから家族主義的レジームと呼ばれてきた。日本型の家族主義レジームでは、女性のM字型就業パターンの持続、男性稼ぎ手の定年までの安定した職業機会の保証、家族による福祉や教育費の負担などの特徴があると指摘されてきた。

「失われた10年」以降に生じた日本社会の変化は、この家族主義的レジームの維持を困難にしてきた。JGSS-2009LCSでは、経歴に関する情報を回顧的に収集し、1966-70年出生、1971-75年出生、1976-80年出生の3つの出生コーホートの比較から1990年代から2000年代にかけての時代状況によって家族主義的レジームの要素であったライフコースの特徴がどのように変化したのかを明らかにした。続いてJGSS-2013LCSwave2では、2009年から13年までの経歴に変化を追うことによって、とくに女性の若い出生コーホートにおいて、4年間で非正規雇用が増加し、従業先を移動する傾向も強くなった点を示した。また女性の非正規雇用、女性の正規雇用、男性の正規雇用の3つのグループ間で職場の条件について4年間の比較を行った分析では、女性の非正規雇用の場合、ワークライフバランスが良好になっているが、女性の正規雇用では成果主義的な職場環境に変化しており、男性の正規雇用では仕事の負担の増大感が高まっているといった結果も得られた。

JGSS-2009LCSの時点で、28歳から42歳であった調査対象者は、2019年には38歳から52歳となり、10年の間に成人として職業経歴と家族経歴の両面において大きな変化を経験したと予想される。JGSS-2019LCSwave3では、JGSS-2013LCSwave2によって調べられた4年間とその後の6年間の情報を加えて、2009年以降の日本社会の文脈との関係から日本人男女の人生パターンの持続と変化を解明することができる。この基礎集計表を基に、様々な興味深い研究課題が構想され、新たな研究成果が生み出されることを期待したい。

JGSS-2019LCSwave3の準備にあたっては、科学研究費補助金・基盤研究(B)「ゼロ年代以後の教育歴とライフコースの変化に関するパネル調査研究」の申請メンバーが2018年9月から12月にかけて研究会を重ねて、調査内容と調査方法を精査した。データの整備および本コードブックの刊行は、日本学術振興会「人文・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業(JPJS00218077184)」の支援を受けた。留置調査票の印刷、本書の編集に際しては、JGSS研究センターの事務スタッフの方々に大変お世話になった。また本センターの事業は、大阪商業大学からさまざまな形の支援を受けており、ここに厚く御礼申し上げる。最後に何よりも、調査に協力してくださっている調査対象者の皆様に心からの謝意を表す。

2021年3月

京都大学大学院教育学研究科・教育社会学講座 教授
日本版総合的社会調査共同研究拠点 運営委員
岩井八郎

目 次

はじめに

I. JGSS-2019LCWave3 調査概要

1. JGSS-2019LCWave3 プロジェクトメンバー	1
2. 調査の内容	3
3. 調査の方法	9
4. 回収率ならびに欠票の分析	13
5. JGSS ライフコース調査関連の文献	19

II. JGSS-2019LCWave3 集計と索引

1. 基礎集計・コード表：面接調査票	25
2. 基礎集計・コード表：留置調査票	107
3. 変数名索引	143
4. 産業コード	173
5. 職業コード	175

III. JGSS-2019LCWave3 調査資料

1. 面接調査票	
2. 面接調査票 回答票 (サンプル)	
3. 面接調査票 フローチャート	
4. 留置調査票	
5. 調査要領	
6. 継続調査関連資料 (サンプル)	

I . JGSS-2019LCSwave3 調査概要

I.1 JGSS-2019LCSwave3 プロジェクトメンバー

科学研究費代表者	岩井 八郎	京都大学大学院教育学研究科 教授 大阪商業大学 JGSS 研究センター 運営委員
研究分担者	岩井 紀子	大阪商業大学 JGSS 研究センター センター長 大阪商業大学総合経営学部 教授
	宍戸 邦章	大阪商業大学公共学部 教授 大阪商業大学 JGSS 研究センター 運営委員
	都村 聞人	神戸学院大学現代社会学部 准教授
	伊達 平和	滋賀大学データサイエンス学部 准教授
	孟 哲男	大阪商業大学 JGSS 研究センター 主任研究員
	吉野 智美	大阪商業大学 JGSS 研究センター 主任研究員
	金 政芸	大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員
研究協力者	佐々木 尚之	大阪商業大学総合経営学部 准教授 大阪商業大学 JGSS 研究センター 運営委員
	園部 香里	京都大学大学院教育学研究科 博士課程 大阪商業大学 JGSS 研究センター 調査研究奨励プログラム
	竹本 圭佑	藍野大学医療保険学部 助教 元大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員
	林 萍萍	大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員
	孔 栄鍾	大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員
	潘 建秀	大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員
	郭 凱鴻	大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員

大阪商業大学 JGSS 研究センタースタッフ

川西 秀雄	大阪商業大学 学術研究事務室 室長
肝付 紗矢香	
平田 順一	

所属は 2021 年 3 月現在

I.2 調査の内容

1. 調査のねらい

JGSS-2019 ライフコース調査 wave3 (JGSS-2019LCSwave3) は、2009 年に実施した JGSS (日本版総合社会調査) のライフコース調査 (JGSS-2009LCS) の調査対象者に対して 2013 年に行ったパネル調査に続き、2013 年からの 6 年間における職業経歴や家族歴、社会意識の持続と変化を詳細に調べることによって、近年の日本社会における男女の人生パターンの実像を解明することを目的として実施された。JGSS-2009LCS では、28 歳から 42 歳を対象に中学卒業後の教育歴、職業経歴、家族歴について、調査時点までの情報を年齢に途切れのないように詳細に収集した。JGSS-2013LCSwave2 に引き続き、JGSS-2019LCSwave3 も近年の社会構造の激変のなかで、同じ調査対象者の職業経歴や家族歴がどのように変化したのかを調査し、過去の経歴とそれ以後の経歴との関係を検討できるように設計されている。

「失われた 10 年」と呼ばれた 1990 年代半ばからの 10 年間を経て、現在まで、日本人の人生のあり方が大きく変化してきた。非正規雇用の拡大、失業率の高まり、転職の増加、高等教育進学率の上昇、新卒者の就職難、専業主婦の縮小、初婚年齢の上昇、少子化、所得の低下と所得格差の拡大など、1990 年代半ば以降に生じた変化の例は、枚挙に暇がない。JGSS-2009LCS は、このような変化が、とりわけ 1990 年代後半以降に職業生活を開始した年齢層の学校卒業後の職業経歴や家族形成、社会意識にあらわれていると考え、2009 年時点の 20 歳代から 30 歳代の男女の働き方や家族形成、社会意識がどのような状態にあるのかを細かく検討し、今後の変化の方向性を探ることを課題として実施された。

2009 年から 2019 年までの 10 年間は、日本社会にとって、さらに激動の時期であった。2011 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生し、福島第一原子力発電所事故があり、震災と原発事故からいまだに復興できたとは言えない。また少子高齢化がますます進み、正規雇用の拡大は進まず、所得は向上せず、働き方の多様性は増してきている。「男女共同参画社会」の実現に向けた施策が実施され、ワークライフバランスは重視されるものの、保育所が不足し、教育費の負担も軽減されておらず、子ども数の減少に歯止めはかかっていない。このような時代状況の中で、JGSS-2019LCSwave3 の調査対象者は、成人としての重要な年齢を過ごし、調査時点で 38 歳から 52 歳になっている。ゼロ年代以降の 10 年間に生じた個人の経歴と意識の変化が分析可能な調査データを得られた意義は大きい。

2. JGSS-2019LCSwave3 の調査方法と調査票の確定まで

2.1 調査対象者

JGSS-2009LCS は、1966 年から 1980 年の間に生まれた 28 歳から 42 歳 (2008 年 12 月末時点) の男女を対象とした。JGSS 研究センターでは、JGSS-2009LCS の回答者 2,727 名に再調査の依頼を行い、承諾を得た 922 名に対して、2013 年までの 4 年間、毎年住所確認を行い、JGSS-2013LCSwave2 を実施した。さらに JGSS-2013LCSwave2 の調査対象者には、その後も毎年、研究成果を紹介するパンフレットを作成して送付し、住所確認のための連絡を続けてきた。JGSS-2019LCSwave3 の調査対象者は、JGSS-2009LCS の調査対象者のなかで追加調査を承諾した男女である。

この調査対象者には、次の 3 つの世代が含まれている。

1966 年生まれの人々は、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と呼ばれた時代に、中学、高校生活を送り、高卒者は 1985 年（9 月にプラザ合意）に職業生活に入り、大卒者はバブル経済の絶頂期であった、1980 年代後半に職業生活を始めている。彼らはその後、バブルの崩壊に遭遇し、「失われた 10 年」と呼ばれる 1990 年代後半以降に 30 代を過ごしている。2019 年の調査時点では 52～53 歳である。

1973 年生れの人々は、第二次ベビーブーム期に生れた「団塊ジュニア」と呼ばれる世代に属する。80 年代の「豊か」な時代に学校生活を送るが、20 歳代に「失われた 10 年」の時代状況のなかで職業生活を送り、「収入が伸びない、仕事が見つからない、結婚できない、子どもがもてない」といった問題に直面した世代である。2019 年の調査時点では 46～47 歳である。

1980 年生まれになると、中学卒業時期が「失われた 10 年」の始まりにあたり、就職氷河期に学校教育を終える。高卒者は 1999 年に職業生活に入り、大卒者は 2002 年に職業生活を始め、青年期にほとんど好況期を経験していない。2019 年の調査時点では 38～39 歳である。

2019 年 1 月時点での調査対象者は 683 人、最終的な調査回答者は 549 人であったが、年齢幅としては短いにもかかわらず、時代背景が全く異なる時期に生まれ、異なる時代状況を経験した人々が含まれている。

2.2 6 年間の経歴に関する質問と質問方法

JGSS-2009LCS では、面接調査において、調査対象者の学校教育歴、職業経歴、家族歴を時間的順序に途切れのないように、限られた時間内で効率的かつ正確にどのように尋ねるかについて、プリテストの結果を踏まえながら、注意深い検討を繰り返して、最終的な質問方法を決定した。JGSS-2013LCSwv2 においても、基本的には、JGSS-2009LCS の質問方法に従いながら、経歴の尋ね方に工夫がなされた。2019LCSwv3 においては、2013LCSwv2 の質問方法が踏襲された。2013 年調査時点で無職であった調査対象者と就業していた調査対象者では、予想される職業経歴のパターンが異なる。また未婚であった調査対象者と既婚であった調査対象者では、予想される家族経歴のパターンが異なる。2013 年時点で無職であった調査対象者は、2019 年まで無職のケース、ある仕事に就業しそのまま働き続けているケース、ある仕事に就いたとしてもさらに転職をしているケースなどが考えられる。2013 年時点で未婚の調査対象者には、結婚後、離婚、その後再婚といったパターンまで想定した家族経歴の尋ね方をする必要がある。JGSS-2019LCSwv3 の調査票は、2013LCSwv2 に倣い、このような経歴の複雑な枝分かれに十分配慮した上で、調査対象者から 6 年間の情報を漏れなく収集できるように作成した。JGSS-2019LCSwv3 では、2013 年以後の経歴については、次のように尋ねている。

まず、教育歴は、前回の調査以降に学校に通ったかを尋ね（問 16-1）、通った場合、通った学校それぞれについて、学校の種類、国公立区分、学部学科、卒業中退の別を尋ねた後、在学期間を年月の単位で尋ねた。

職業経歴については、以下のようなステップを辿るような質問を用いた。

前回の調査時点で仕事をしてきたか、していなかったかを、調査員確認質問 A として、調査員に事前転記を求めた（調査票 7 頁下）。そして、仕事をしてきた場合と仕事をしていなかった場合の職業経歴に関する質問のスタート番号を指定した。

仕事をしてきた場合、調査員に前回の調査時点での勤め先の事業内容について事前転記をすることを求めた（問 17-1）。その後、前回の勤め先からの変化を尋ね、現在も同じ勤め先か、勤め先を変わった

たかを尋ねた（問 17-2）。そして、勤め先が変わった場合、その後の勤め先の変化をすべて尋ね（問 18-1～問 18-6）、主な勤め先が決められない期間と収入をとまなう仕事をしていなかった期間（問 19）も尋ねた。なおすべての変化について開始年月と終了年月を尋ねた。

仕事していた場合の勤め先の中での仕事の変化については、調査員に、前回調査時点での勤め先での「働き方」「役職」「仕事の内容」を事前転記するように求めた。そして、その後、その勤め先の中で、「働き方」「役職」「仕事の内容」に変化があったかを尋ねた。その勤め先の中で、変化あり、変化なし、変化なし離職無職、変化なしで勤め先の移動とさらに経歴の方向を指定して、それぞれの勤め先の中での「働き方」「役職」「仕事の内容」を尋ね、すべての変化について開始年月と終了年月を尋ねた。さらに調査員確認質問 B（調査票 10 頁下）を用意し、前回から同じ勤め先の場合、勤め先が変わった場合、前回の調査後に仕事をやめて現在無職場合について、質問の移動先を明示した。

前回の調査時点で仕事をしていた場合、仕事に就いたことがあるかないかを尋ねた後（問 21-1）、6 年間において仕事に就いていた場合、仕事をしていない人と同じフォーマットで職業経歴を尋ねた。

家族経歴については、次のようなステップを辿るようにした。

前回調査時点での婚姻状態について、調査員に事前転記を求めた。

配偶者ありだった場合、その後の結婚歴を尋ねる質問をした（問 25-1、問 25-2）。

配偶者なしだった場合、結婚した回答者は結婚歴を尋ねる質問をした（問 26-1、問 26-2）。

前回の調査と配偶者が異なる方、および前回の調査後に配偶者ありとなった方に対しては、配偶者の兄弟姉妹数と学歴について尋ねた（問 27、問 28）。

調査対象者の子どもについて、調査員に、前回の調査時点での子どもの有無、子ども数を事前転記するように求めた（問 40）。その後、子ども数を尋ね、子ども一人ひとりについて、出生の年月、現在の学校（国立か私立か）、同別居の別を尋ねた（問 42-1～問 42-4）。JGSS-2019LCSwave3 では、2013LCSwave2 にあった、就業状態、保育所経験、幼稚園経験、育児休業の取得については尋ねていない。

調査対象者の父母については、調査員に、前回調査時点での生存に関する回答を事前転記するように求めた（問 43-1）。その後、父母がそれぞれ存命であるか、父母それぞれと回答者との同別居、仕事の有無、父母の同別居を尋ねた（問 43-2、問 43-3）。さらに調査員に、前回調査時点での父母との同居状況を事前転記するように求め、同居歴を尋ねた（問 45）。

調査員確認設問 C を用意し（調査票 26 頁下）、前回調査時点における配偶者の有無に対応させて、配偶者の父母との同居歴を尋ね（問 46）、同居者数を尋ねた。

2.3 面接票の確定

ライフヒストリーに関する質問は、JGSS-2009LCS、JGSS-2013LCSwave2 と同様、すべて面接で行うことにした。その上で、面接票に含める質問を確定した。JGSS のこれまでの質問スタイルに準拠して、まず先週仕事をしたかを尋ね、現在の仕事に関する詳細な質問を行うことにした。JGSS-2009LCS、JGSS-2013LCSwave2 と同様、職業経歴について分析するために有用だと考えられる、資格に関する質問を含めたが、JGSS-2013LCSwave2 とは異なり、「現在の仕事に役立った資格」を 1 つ尋ね、その資格を取得した年齢を尋ね、取得のいきさつ、役立ち方、資格を取得するための費用の負担、費用を尋ねた。その他、面接票には、従来の JGSS と同様に、年収（本人・配偶者・世帯について）、階層帰属意識

などの質問を含めることにした。教育費の支出額についての質問も含めている（問 41）。なお、15 歳の時の父と母の仕事、父母の学歴については、JGSS-2009LCS で尋ねているので、Wave2 と Wave3 の調査では尋ねていない。

2.4 留置票の確定

留置票は、JGSS-2013LCSwave2 の留置票の質問を繰り返し尋ねることを前提にして作成した。学校経験を回顧する質問は繰り返す必要がないため、削除している。またインターネット利用に関する質問は、今回も尋ねていない。JGSS-2013LCSwave2 から追加された、健康状態に関して、病状を尋ねる質問（問 13）、仕事の能力について、この 6 年間で向上した能力を尋ねる項目と今後身につけたい能力を尋ねる設問は継続して用いた。また暮らし向きに関する質問として JGSS-2013LCSwave2 から追加された、将来への希望や目標についての質問（問 36）と公的年金への加入の有無（問 42）も継続した。社会的志向性を尋ねる設問として追加された 3 項目も継続した。留置票の所要時間は、前回同様、15 分程度とした。

3. JGSS-2019LCSwave3 の調査項目の概要

1) 面接調査票（JGSS-2009LCS、JGSS-2013LCSwave2 と重複）

JGSS-2019LCSwave3 の面接調査票も、対象者の属性に関する設問が中心である。

- 対象者の属性：対象者の学歴、収入、就労状況、過去の就労経験、婚姻上の地位、世帯構成、世帯収入、兄弟姉妹の数、子どもの数、子どもの性別や年齢。
- ライフヒストリー・データ：学生時代の一時的なアルバイトを除くすべての職歴、無職期間、結婚歴、実親・義親との同居歴など。
- 調査員に対して：対象者の調査への協力度、質問への理解度、対象者の住んでいる地域の特徴、調査の実施に際して気づいた点。

2) 面接調査票（JGSS-2013LCSwave2 から新しく導入され、JGSS-2019LCSwave3 でも継続）

- 学歴：前回調査後に通ったすべての学校についての学校の種類、国公私立の別、学部または学科の分野、卒業の有無、在学期間など。
- 就労：前回調査後から現在までのすべての勤め先の業種・企業規模、本人の従業上の地位・役職、仕事内容、現在の会社の離職予定理由、それぞれの勤め先に在籍していた期間・その当時の副職の有無およびその雇用形態、昇進・異動、配属転換による役職・仕事内容の変化の時期、主な勤め先が決まらない時期、仕事や生活に役立った資格など。
- 配偶者：前回の調査以降の配偶者の就労状況、兄弟姉妹の数、学歴、収入、配偶者の親との同居歴。
- 対象者の両親：前回の調査以降の学歴、両親との同居歴。

3) 留置調査票

留置調査票は、調査対象者の意識や行動に関する設問が中心であり、JGSS の基本形を踏襲している。ただし、若年層を対象とする特別調査であることに鑑み、数多くの新規設問を組み込んでいる。それぞれの分野に関連して以下のような項目がある。

- 生活習慣：喫煙、飲酒、テレビの視聴時間、(マンガ以外の)読書量、定期的な運動頻度、家族一緒の夕食頻度、友人との会食頻度、炊事・洗濯・買い物・掃除・ゴミ出しなどの家事に従事する頻度など。
- 余暇活動：ドライブ、カラオケ、美術館・博物館、クラシックコンサート、映画鑑賞、テレビゲーム、マーじゃん、パチンコ・パチスロ、宝くじ、ガーデニング(庭いじり)、スポーツ、友人との会食、旅行、読書、テレビの視聴時間、余暇の過ごし方に対する満足感など。
- 情報機器の利用：パソコン使用能力。
- 健康：健康状態、配偶者の健康状態、喫煙、近年努力、飲酒、メンタルヘルス、心理的トラウマの経験、健康状態に対する満足度、悩みを相談する相手、病気の症状など。
- 現職の状態：柔軟な勤務時間、仕事の手順の自己管理、仕事の量の自己管理、休暇の自己管理、仕事量の連帯責任、自由に話し合える上下関係、教育的な上司、助言をくれるベテラン、学校で学んだ知識や技術の活用、効果的な研修、繰り返しの仕事、能力の活用、努力しだいの昇進、成果しだいの収入、お金より仕事のやりがい、仕事と生活のバランスなど。
- この6年間の中で得た能力、今後高めたい能力：パソコンで文書作成、英語で会話や読み書き、上司や同僚との協調性、指示がなくても仕事を進めること、いろいろな業務をこなすこと、チームを引っ張る統率力、正しいマナーで対応、相手を理解する能力、相手にわかりやすく話すこと、社会情勢についての知識、法律の知識、労働者の権利や義務についての知識など。
- 理想の時間配分：仕事をする時間、趣味に費やす時間、家族と過ごす時間、家事をする時間、配偶者の仕事をする時間、配偶者の趣味に費やす時間、配偶者の家族と過ごす時間、配偶者の家事をする時間など。
- 人生設計：結婚しない理由、交際相手の有無、結婚の希望時期、子どもをもつ意思、今後子どもができた場合の生活の変化、理想の子ども数など。
- 家族・ジェンダー：性別役割分業観、結婚・離婚観、家庭生活に対する満足感、子育ての悩み、子どもの教育に関する意識、家族一緒の夕食の頻度、家事頻度、配偶者の家事頻度など。
- 社会階層：所有する耐久消費財や資産、控えている支出、お金をかけたいこと、階層帰属意識、世帯収入についての主観的水準、この2~3年に生じた経済状態の変化、家計への満足感、生活水準を向上させる機会への期待、将来への希望、今後の生活についての経済的不安、昨年一年間での貯金、4年間の家計の変化、年金の種類など。
- 政治や政府に対する意識：支持政党、日本のあるべき姿など。
- 自己評価：プラス思考、明確に説明する能力、オリジナリティー、友人からの信頼、保守的な考え方、尊敬される地位につく意欲、高収入を得る意欲、成長につながるつらい思いに対する意識、英語能力。
- 幸福感・満足感：幸福感、居住地域への満足感、余暇の過ごし方への満足感、家庭生活への満足感、家計状態への満足感、友人関係への満足感、健康状態への満足感、配偶者との関係への満足感。

岩井 八郎

I.3 調査の方法

JGSS ライフコース調査の調査方法について、JGSS-2009LCS の調査設計、層化の方法、標本数の配分、JGSS-2013LCswave2 と JGSS-2019LCswave3 の協力依頼方法、JGSS-2019LCswave3 の留置調査と面接調査の実施順序、対象者への謝礼の渡し方、調査員の訪問回数・訪問日・訪問記録の観点に分けて、以下にまとめる。

1. JGSS-2009LCS の調査設計

- 実査時期 : 2009 年 1～3 月
 母集団 : 2008 年 12 月 31 日時点で全国に居住する満 28～42 歳の男女個人
 (昭和 41 年 1 月 1 日～昭和 55 年 12 月 31 日までに生まれた男女)
 標本数 : 6,000
 地点数 : 396 地点
 抽出方法 : 層化 2 段無作為抽出法
 抽出台帳 : 住民基本台帳
 抽出間隔 : 抽出台帳の並び順が地番順の場合 5
 50 音順の場合、原則として 3

2. JGSS-2009LCS の層化の方法

全国の市町村を 6 つの地域ブロックに区分した。さらに、各ブロック内の市郡規模によって 4 つに区分した。計 24 層となる。地域ブロックと市郡規模の区分の仕方は下記のとおりである。

<地域ブロック>

- 1) 北海道・東北 : 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 2) 関東 : 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
- 3) 中部 : 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 4) 近畿 : 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 5) 中国・四国 : 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
- 6) 九州 : 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

<市郡規模>

- 1) 大都市 : 札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市
- 2) 人口 20 万人以上の市
- 3) 人口 20 万人未満の市
- 4) 郡部

3. JGSS-2009LCS の標本数の配分

各ブロック、市郡規模別の層における 28～42 歳以上人口の大きさにより 6,000 の標本を比例配分した。2008 年 3 月 31 日時点での住民基本台帳登録者数を母集団とした。ブロック・市郡規模別の母集団人口・標本数・調査地点数や地点および対象者の抽出方法については、大阪商業大学 JGSS 研究センター編『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2009LCS』を参照されたい。

4. JGSS-2013LCSwave2 の協力依頼方法

JGSS-2013LCSwave2 の対象者は、JGSS-2009LCS の調査完了者（2008 年 12 月 31 日時点で満 28 歳～42 歳の 2,700 名）のうち、今後の継続調査への協力を同意した 922 名（2012 年 12 月 31 日時点で満 32 歳～46 歳）である。JGSS-2009LCS の調査完了後に追加調査の可能性が生じたため、抽出された対象者本人が実際に回答したかどうかを確認する確認調査（2009 年 5 月に実施）において、継続調査への協力意向を尋ねた。協力意向が無回答であった対象者に対しては、2009 年 7 月に再度尋ねている。その後は、住所確認及び調査結果の公表を目的として、継続調査への協力を同意した対象者へ、ほぼ 1 年おきにコンタクトを取っている。表 1 は Wave2 の調査対象者への送付物の履歴を示したものである。

これらの住所確認を経て実施した JGSS-2013LCSwave2 での有効回収数は 718 名で、うち 112 名については JGSS-2009LCS から住所が変わっていた。

表 1 JGSS-2013LCSwave2 対象者への送付物*

送付年月	内容	送付書類
2009 年 5 月	Wave1 実施確認調査及び次回協力意向確認①	ブルー洋 2 封筒 1. 依頼状 2. 協力意向確認兼確認調査用はがき
2009 年 7 月	次回協力意向確認②	肌色洋 2 封筒 1. 依頼状 2. 協力意向確認用はがき
2010 年 9 月	住所確認及び調査結果概要①	ブルー角 2 封筒 1. 依頼状兼結果概要 2. 住所確認用はがき
2011 年 10 月	住所確認及び調査結果概要②	ブルー角 2 封筒 1. 依頼状兼結果概要 2. 住所確認用はがき
2013 年 1 月	住所確認及び Wave2 実施告知	ブルー洋 2 封筒 1. 依頼状 2. 住所確認用はがき

*送付物については、『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2013LCSwave2』の III. 6 継続調査関連資料を参照のこと。

5. JGSS-2019LCSwave3 の協力依頼方法

JGSS-2019LCSwave3 の対象者は、JGSS-2013LCSwave2 の調査完了者（2012 年 12 月 31 日時点で満 32 歳～46 歳の 718 名）のうち、2019 年 1 月の調査実施告知前までに調査不可能となった 35 名（継続調査への参加拒否：8 名、住所変更：27 名）を除いた 683 名（2018 年 12 月 31 日時点で満 38 歳～52 歳）である。JGSS-2013LCSwave2 の調査完了後、住所確認と調査結果の公表を目的として、調査完了者へ 1 年毎にコンタクトを取り、継続調査の実施を計画していることについては挨拶状兼調査結果概要に記載して知らせた。表 2 は Wave2 の調査対象者への送付物の履歴を示したものである。

これらの住所確認を経て実施した JGSS-2019LCSwave3 での有効回収数は 549 名で、うち 82 名については JGSS-2013LCS から住所が変わっていた。

表 2 JGSS-2019LCSwave3 対象者への送付物*

送付年月	内容	送付書類
2014 年 3 月	住所確認及び調査結果概要①	ブルー洋 2 封筒 1.挨拶状兼結果概要 2.住所確認用はがき
2015 年 3 月	住所確認及び調査結果概要②	ブルー洋 2 封筒 1.挨拶状兼結果概要 2.住所確認用はがき
2016 年 4 月	住所確認及び調査結果概要③	ブルー洋 2 封筒 1.挨拶状兼結果概要 2.住所確認用はがき
2017 年 3 月	住所確認及び調査結果概要④	ブルー洋 2 封筒 1.挨拶状兼結果概要 2.住所確認用はがき
2018 年 8 月	住所確認及び調査結果概要⑤	ブルー洋 2 封筒 1.挨拶状兼結果概要 2.住所確認用はがき
2019 年 1 月	住所確認及び Wave3 実施告知	ブルー洋 2 封筒 1.依頼状 2.住所確認用はがき

*送付物については、Ⅲ.6 継続調査関連資料を参照のこと。

6. 留置調査と面接調査の実施順序

JGSS-2019LCSwave3 では、2019 年 1 月に調査実施の事前告知を行った後、2 月に留置調査票を郵送し、面接調査を行うため調査員が対象者の自宅を訪問した際に、記入済みの留置調査票を調査員に手渡すよう依頼した。面接調査は 2 月下旬から 4 月中旬にかけて実施した。調査員の訪問時に留置調査票が未記入の場合、可能であれば面接調査終了後に留置調査票を記入するようお願いした。留置調査票を紛失していた場合は、予備の調査票を新たに配布した。調査員の訪問時に留置調査票が未記入かつ面接調査終了後の記入が不可能な場合、返信用封筒を渡し、4 月中に返送するよう依頼した。

7. 対象者への謝礼の渡し方

対象者への調査謝礼はクオカード 1,000 円分となっているが、500 円カードを 2 枚用意した。留置調査票の回収状況により、対象者へ渡す枚数が異なる。面接調査終了時に留置調査票が記入済みの場合、クオカードを 2 枚手渡した。面接調査終了時に留置調査票が未記入でその場で記入した場合もクオカードを 2 枚渡した。面接調査終了時に留置調査票が未記入でその場で記入することが不可能な場合は、クオカードを 1 枚渡し、留置調査票が返送され次第、もう 1 枚のクオカードを郵送した。

8. 調査員の訪問ルール・訪問記録

JGSS-2019LCSwave3 では、JGSS-2013LCSwave2 と同様に、調査地点によって対象者数が極端に少ないため、調査員の訪問ルールを緩和している。具体的には、対象者が 3 名以上の調査地点の場合、4～5 日程度の訪問を求めているが、対象者が 1～2 名の調査地点の場合、対象者と会えるまでの訪問日数

を3日程度としている。

また調査員には、回収の有無に関係なく、すべてのケースについて回収状況と訪問記録を記入することを求めている。調査員は、面接調査票表紙の訪問記録に、対象者に会えるまでのすべての訪問について、訪問日、訪問時間、話をした人（本人、家族のみ、不在）を記録する。ただし、訪問が10回を超えた場合は、11回以上の記録は残さなくてよいことにしている。

さらに、面接調査票と留置調査票のどちらか一方でも回収できなかったケース（調査不能のケース）については、面接調査票の表紙の裏の頁（2頁目）に、調査不能と決定した日時、調査不能の理由、その具体的な状況、対象者の家の種類（一戸建て、集合住宅など）を記載することを調査員に求めている。これらに加えて、集合住宅であった場合のオートロックの有無も記入させた。対象者の家の種類やオートロックの有無を調査員に記入してもらうのは、これらが調査不能の要因になっているかどうかを確認するためである。

8. 実査

対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、一般社団法人中央調査社に委託した。

孟 哲男

I.4 回収率ならびに欠票の分析

1. 回収率

1) 回収率の定義

JGSS-2019LCSwave3 では、回収率を次の式で算出している。

$$\text{回収率 (\%)} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{抽出標本数} - \text{調査対象者として不適格であった標本数}} \times 100$$

「不適格であった標本」の定義は、住所不明・転居・死亡・長期不在・病気・入院・その他の理由（抽出間違いによる年齢範囲外を含む）による欠票である。

2) JGSS-2019LCSwave3 の回収率

JGSS-2019LCSwave3 の回収率は、以下のように算出される。本調査では、欠票の理由が何であれ予備対象を全く使用していないので、正規対象についてのこの回収率が全体についての回収率を表す。

アタック数：683 ケース

有効回収数：549 ケース

回収率：86.2%

$$549 / (683 - \text{住所不明 } 25 - \text{転居}^*7 - \text{長期不在 } 2 - \text{病気 } 4 - \text{入院 } 1 - \text{死亡 } 1 - \text{その他 } 6) = 549 / 637 = 86.2\%$$

JGSS-2019LCSwave3 の対象者は、JGSS-2013LCSwave2 の調査完了者のうち、2019年1月の実施告知兼住所確認までに調査不可能となった35名（継続調査への参加拒否：8名、住所変更：27名）を除いた683名である。JGSS-2013LCSwave2 の調査完了後、調査結果の公表と住所確認を目的として、調査完了者に1年毎にコンタクトを取り、継続調査の実施を計画していることは挨拶状兼調査結果概要に記載して通知した（対象者への送付物については、本書「I.3 調査の方法」を参照されたい）。

2019年1月の調査実施告知（依頼状）の発送から調査実施開始までには、39名が調査不可能となった。39名のうち、25名は住所不明、14名は拒否によるものである。このため、調査に際して実際に訪問したのは644名であるが、このうち95ケースは欠票となったため、最終的な有効回収数は549ケースであった。欠票は、実施告知の発送から実施開始までに調査不可能となった39ケースを合わせると、134ケースとなる。欠票の内訳については後述する。

3) AAPOR の標準定義との対応

回収率の算出方法については、The American Association for Public Opinion Research (AAPOR) が標準化の議論を進めており、一定の成果を収めている。参考のために、AAPOR の標準定義に照らし合わせた JGSS の回収状況を表1に整理しておく。

※ JGSS-2019LCS は住所確認の過程で転居先の確認も行っている。ここで示す転居とは、2013年1月の住所確認段階では住所が判明していたものの、実際に訪問した際に対象者が住んでいなかったケースである。

コードの定義は、2016年改訂の Standard Definitions: Final Dispositions of Case Codes and Outcome Rates for Surveys. 9th edition (AAPOR, 2016, <http://www.aapor.org/>) から「個別訪問調査 (In-Person Household Surveys)」用のものを参照した。ただし、このコードの定義は、世帯員の情報を事前に行うことができない状況を前提としている。日本のように世帯員個人の性別や年齢を名簿で把握できる状況を想定していないため、対応の悪い点があることには注意が必要である。また、JGSS-2013LCSwave2 のコードブックでは 2011 年版の 7th edition を参照しており、今回参照した 9th edition とは版が異なるが、ここでやっている集計の範囲では改訂の影響はない。

表 1 AAPOR 標準定義による回収状況

AAPOR コード ¹⁾		JGSS 欠票理由コードとの対応 ²⁾	票数
1.0	Interview : 回収	88	549
1.1	Complete : 完全回収【I】	88	549
1.2	Partial : 部分回収【P】	部分回収の理由による ³⁾	(8)
2.0	Eligible, non-interview : 適格だが非回収		109
2.1	Refusal and break-off : 拒否・途中で中止【R】	5	67
2.2	Non-contact : 接触不能【NC】	2, 3, 4	30
2.3	Other : その他の理由で接触不能【O】	6, 7, 8, 9 (抽出間違い以外)	12
3.0	Unknown eligibility, non-interview : 適格か不明で非回収	1	25
3.1	Unknown if housing unit : 住宅かどうか不明【UH】	1	25
3.2	Housing unit/Unknown if eligible respondent : 住宅であるが適格者がいるか不明【UO】	—	—
3.9	Other: その他の理由で適格かどうか不明【UO】	—	—
4.0	Not eligible : 不適格	9のうち抽出間違い	—
4.1	Out of sample : 回答者が標本の範囲外	9のうち抽出間違い	—
4.5	Not a housing unit : 住宅ではない	—	—
4.6	Vacant housing unit : 居住者のいない住宅	—	—
4.7	No eligible respondent : 適格者のいない住宅	—	—
4.8	Quota filled : 割り当て量を越える	—	—

注 1) AAPOR ではさらに細かい下位分類が定義されているが、JGSS にはそぐわない場合や、ケース数が特定できない場合が多いので省略する。

注 2) JGSS 欠票理由コードの内容は以下のとおり。1=住所不明、2=転居、3=長期不在、4=一時不在、5=拒否、6=病気・ケガ・聴力/言語障害、7=入院中・入所中、8=死亡、9=その他、88=非該当 (回収票)。

「—」は JGSS の抽出方法では起こりえない分類を指す。

注 3) 面接票か留置票の一方だけが回収できた場合が JGSS の部分回収ケースとみなせる。ただし、JGSS の部分回収ケースは公開データセットに含めず欠票として扱っているため、ここで示すケース数は参考値であり、集計上は、部分回収に至った理由によって他の分類コードに計上されている。部分回収ケースの内訳は、下の参考表のとおりである。

(参考表 部分回収ケースの内訳)

		面接のみ 完了	留置のみ 完了
2.0	Eligible, non-interview : 適格だが非回収	3	5
2.1	Refusal and break-off : 拒否・途中で中止	0	3
2.2	Non-contact : 接触不能	0	1
2.3	Other : その他の理由で接触不能	3	1

AAPOR 標準定義では、回収率（response rate: RR）の算出方法を RR1～RR6 までの 6 種類示している。これらの回収率を算出した結果が表 2 である。

表 2 AAPOR 標準定義による各種の回収率

	回収率
$RR1 = I / ((I+P) + (R+NC+O) + (UH+UO))$	79.5%
$RR2 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O) + (UH+UO))$	80.6%
$RR3 = I / ((I+P) + (R+NC+O) + e(UH+UO))$	79.5%
$RR4 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O) + e(UH+UO))$	80.6%
$RR5 = I / ((I+P) + (R+NC+O))$	82.4%
$RR6 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O))$	83.6%

注 1) I、P、R、NC、O、UH、UO の記号は表 1 の分類コードに対応する。

注 2) e は、「適格 (eligible) かどうか不明なケース」に占める「適格であるケース」の推定割合であり、(分類コードが 1.0、2.0 のケース数) / (分類コードが 1.0、2.0、4.0 のケース数) が推定値となる。JGSS-2019LCSwave2 では、100%が適格と推定されるので、RR1=RR3、RR2=RR4 となる。

注 3) この表では、面接票か留置票の一方だけが回収できたケースを部分回収 (P) とみなして回収率を算出している。

2. データの偏りと欠票の分析

1) データの偏り

JGSS では、抽出標本および回答者の年齢層分布が母集団から偏っていないかどうかを、母集団人口の分布と比較することで確認している。母集団人口の分布は、総務省統計局が国勢調査の結果と他の人口関連資料による人口の動きをもとに公表している日本人の人口推計 (2008 年 10 月 1 日現在) にもとづく。調査時点 (2009 年 1～3 月) とは数カ月のずれがあるが、実質的な影響はほとんどないと考えられる。この母集団人口をもとに、性別・年齢層別の期待標本サイズと期待回答者数を算出すると、表 3 のようになる。

表 3 期待標本サイズおよび期待回答者数との残差

	年齢 (JGSS-2009LCS 調査時点)	推計人口 (千人)	推計人口 比率	回答者数	期待 回答者数	残差
男性	28-30	2376	.09076	26	49.83	-3.38
	31-33	2664	.10176	40	55.86	-2.12
	34-36	2960	.11306	45	62.07	-2.17
	37-39	2797	.10684	54	58.65	-0.61
	40-42	2486	.09496	39	52.13	-1.82
女性	28-30	2292	.08755	43	48.06	-0.73
	31-33	2577	.09843	63	54.04	1.22
	34-36	2872	.10970	76	60.23	2.03
	37-39	2724	.10405	83	57.12	3.42
	40-42	2432	.09290	80	51.00	4.06
合計		26180	1.00000	549	549	

回答者の偏りについては、性別・年齢層別に以下の計算式で残差を算出している。

$$\text{残差} = \frac{\text{回答者数} - \text{期待回答者数}}{\sqrt{\text{期待回答者数}}}$$

全体的な傾向としては、男性の回収が少なく女性の回収が多い。残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する3シグマルール（参考：日本規格協会，1998「シューハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J)）を準用するならば、28～30歳の男性が少なく、37～42歳の女性が多いサンプルとなっている。

2) 欠票の分布

JGSS-2019LCSwave3では、面接調査票か留置調査票のいずれか一方でも回収できなかった場合を欠票とし、面接調査票の2頁目に回収不能と決定した日時やその理由などを記録している。回収不能状況を記録した欠票の数は、95ケースであるが、実施告知の発送から実施開始までに調査不可能となった39ケースも含めて、計134名の欠票の分布について記す。

欠票の分布は表4のとおりである。調査拒否が最も多く、住所不明がその次に多いという結果であった。

表4 欠票の分布

(括弧内は%)

住所不明	転居	長期不在	一時不在	拒否	病気・ケガ・聴力／言語障害	入院中・入所中	死亡	その他	合計
25 (18.7)	7 (5.2)	2 (1.5)	21 (15.7)	67 (50.0)	4 (3.0)	1 (0.7)	1 (0.7)	6 (4.5)	134 (100.0)

3. 補足

1) 面接調査の調査時間

面接調査の所要時間の平均値および標準偏差は、表5のとおりである（時間が不明のケースを除く）。全体的に約26分が平均的な所要時間であり、年齢・性別による差はあまりみられない。JGSS-2013LCSwave2では所要時間が平均24分であるのと比べると、2分ほど時間が長くかかっている。JGSS-2009LCSでは平均時間が31分であったことを踏まえると、継続調査であるWave2とWave3のほうが、短い時間で調査が終了している。

表5 性別・年齢層別の面接調査の平均所要時間

単位：分

	38-42歳	43-47歳	48-52歳	合計
男性	24 (7.3)	25 (11.0)	25 (9.5)	25 (9.6)
女性	27 (7.8)	26 (7.0)	25 (7.2)	26 (7.3)
合計	26 (7.7)	25 (8.7)	25 (8.1)	26 (8.2)

注：括弧内は標準偏差

2) 訪問回数

回収票についても欠票についても面接調査票の表紙で訪問回数や日時などを記録している。表6は、回収票について、回答者本人に会える（あるいは欠票が決定する）までの訪問回数の平均値および標準偏差の分布をまとめたものである。男性の方がやや訪問回数が多く、会うのが難しいことがわかる。年齢層による違いはほとんど見られないが、男性の38歳から42歳では若干訪問回数が多い。

また、表7は実際に訪問した644名中の欠票95票について、同様に訪問回数の平均値と標準偏差をまとめたものである。当然ながら全体的に回収票よりも訪問回数が多い。なお、訪問回数が不明なケースおよび事前に断られたケースは、訪問回数が0として記録されているが、ごく少数なので集計結果に対する影響はほとんどない。

表6 性別・年齢層別の平均訪問回数（回収票）

	38-42 歳	43-47 歳	48-52 歳	合計
男性	2.6 (1.66)	2.4 (1.24)	2.5 (1.41)	2.5 (1.42)
女性	2.1 (1.36)	2.1 (1.46)	2.3 (1.29)	2.2 (1.37)
合計	2.3 (1.49)	2.2 (1.38)	2.3 (1.34)	2.3 (1.39)

注：括弧内は標準偏差

表7 性別・年齢層別の平均訪問回数（実際に訪問した644名中の欠票）

	38-42 歳	43-47 歳	48-52 歳	合計
男性	2.9 (1.70)	2.8 (1.96)	2.4 (1.45)	2.7 (1.73)
女性	2.4 (2.32)	2.9 (2.01)	2.7 (1.36)	2.7 (1.89)
合計	2.6 (2.06)	2.9 (1.96)	2.6 (1.39)	2.7 (1.81)

注：括弧内は標準偏差

孟 哲男

I.5 JGSS ライフコース調査関連の文献

JGSS-2009LCS 関連

図書

- 岩井八郎, 2013, 「戦後日本型ライフコースの変容と家族主義—数量的生活史データの分析から」 落合 恵美子編『親密圏と公共圏の再編成 アジア近代からの問い』京都大学出版会, pp.127-153.
- 岩井八郎, 2014, 「多様化するライフコースとその課題」猪木武徳編『働くは、これから—成熟社会の労働を考える』岩波書店, pp.81-113.
- IWAI, Hachiro, 2014, “Shrinking of the Japanese Uniqueness: A Quantitative Analysis of Life Course Changes,” In Ochiai Emiko & Hosoya Leo Aoi eds., Transformation of the Intimate and the Public in Asian Modernity, Chapter 4, Brill, pp.116-143.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2011, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2009LCS』.
- SASAKI, Takayuki, 2012, “Healthy Aging and Intergenerational Intervention in Japan,” SCHARLACH, Andrew E., and HOSHINO, Kazumi [eds.], Healthy Aging in Sociocultural context, Routledge, pp.62-71.
- SASAKI, Takayuki, The long-term effects of full-time childcare on family lives in Japan. In K. Repo, M. Alasuutari, K. Karila, & J. Lammi-Taskula (Eds.) The Policies of Childcare and Early Childhood Education: Does Equal Access Matter? (pp.60-72). Cheltenham, UK: Edward Elgar.
- 山内乾史, 2012, 「高等教育就学の規定要因に関する考察—JGSS2009-LCS データに基づく『全入仮説』と『タレント・ロス仮説』の検証—」山内乾史編『学生の学力と高等教育の質保証 (I)』学文社, pp.22-46.

論文

- 阿形健司, 2011, 「従業上の地位の変化と職業資格との関連—JGSS-2009 ライフコース調査による分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』 pp.71-78.
- 伊達平和, 2012, 「親の学歴同類婚が子の教育達成に及ぼす影響に関する考察—JGSS-2009LCS による高等教育の競争拡大期・激化期・緩和期の分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.9:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[12]』 pp.93-105.
- 平尾桂子, 2010, 「職業経歴と結婚イベント—JGSS-2009 ライフコース調査による動態的分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[10]』 pp.205-216.
- 岩井八郎, 2010, 「戦後日本型ライフコースの変容—JGSS-2009 ライフコース調査の研究視角と予備的分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[10]』 pp.193-204.
- 岩井八郎, 2010, 「家族主義の定着と変容—ライフコースがはらむ新たな問題」大阪ガスエネルギー・文化研究所『CEL 94 号』 pp.20-23.
- 岩井紀子・小浜駿, 2014, 「JGSS でよむ日本人の意識と行動 第 15 回: 中小企業におけるワークライフバランス」日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』 March 2014 No.066, pp.22-23.
- 小林盾, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査にみる仕事への取りくみ—仕事量、アイデア提案、同僚サポートの分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[10]』 pp.251-260.

- 小浜駿・岩井紀子, 2014, 「JGSS でよむ日本人の意識と行動 第 14 回：企業規模で異なる若年労働者の職場環境」日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』February 2014 No.065, pp.20-21.
- 麦山亮太, 2017, 「就業経歴と結婚への移行—雇用形態・職種・企業規模と地位変化の効果における男女差」『家族社会学研究』第 29 卷 2 号, pp.129-141.
- 中澤渉, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査にみる高等教育進学行動の分析—日本における相対リスク回避説の検証—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[10]』pp.217-227.
- 野崎華世, 2011, 「JGSS-2009 ライフコース調査を用いた職種経験と所得に関する分析」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.93-104.
- 岡田丈祐, 2010, 「職業能力の獲得パターンに関する基礎的分析—JGSS-2009 ライフコース調査より—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[10]』pp.239-250.
- 佐々木尚之, 2009, 「JGSS 統計分析セミナー—イベントヒストリー分析の適用例—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.91-105.
- 佐々木尚之, 2010, 「子育ての悩みの類型—JGSS-2009 ライフコース調査による人間発達学的検証—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[10]』pp.261-272.
- 佐々木尚之, 2012, 「不確実な時代の結婚—JGSS ライフコース調査による潜在的稼働力の影響の検証」『家族社会学研究』第 24 卷第 2 号, pp.152-164.
- 佐々木尚之・岩井八郎・岩井紀子・保田時男, 2009, 「ライフコースの多様性をとらえる—JGSS-2009 ライフコース調査の設計に関するノート—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[9]』pp.175-210.
- 佐々木尚之・宍戸邦章, 2013, 「JGSS でよむ日本人の意識と行動 第 11 回：若者の働き方とウェルビーイング」日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』November 2013 No.062, pp.18-19.
- 白川俊之, 2010, 「ライフコース初—中期における社会的ネットワークと精神的健康—JGSS-2009LCS による実証—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[10]』pp.273-284.
- 打越文弥, 2017, 「育児休業の取得が情勢の就業継続に与える中長期的な影響—JGSS-2009LCS を用いた生存分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.14:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[17]』pp.29-40.
- 轟亮, 2010, 「若年層の職業能力開発に関する意識—JGSS-2009 ライフコース調査データから—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[10]』pp.229-237.
- 山内乾史, 2011, 「JGSS-2009LCS データに基づく高等教育就学の規定要因に関する考察」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.79-91.

報告要旨

- 平尾桂子, 2010, 「ゼロ年代のライフコース (2) —JGSS-2009 ライフコース調査による職歴と結婚イベントの分析—」『第 20 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.30-31.
- 平尾桂子, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査の設計・実施・分析—イベントヒストリー分析の適用—」『第 83 回日本社会学会大会報告要旨集』p.191.
- 伊駒竜平・森大・山田成実・渡邊敬太, 2016, 「理想子ども数の実現性に関する実証分析」『ISFJ 政策

- フォーラム 2016 発表論文』 33p.
- 岩井八郎, 2010, 「ゼロ年代のライフコース (1) —JGSS-2009 ライフコース調査の設計・研究視角・予備的分析結果—」『第 20 回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.28-29.
- 岩井八郎, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査の設計・実施・分析—回顧的経歴データの視覚的分析—」『第 83 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.190.
- IWAI, Hachiro, 2012, “Stability and Changes in Life Course Patterns in Contemporary Japan: Findings from 2005 SSM and JGSS-2009LCS,” International Seminar on Population Issues in Asia, February 22, Institute of Sociology, Vietnam Academy of Social Sciences, Ha Noi.
- 岩井八郎・岡田丈祐・伊達平和, 2011, 「1990 年代以降の高等教育機会と社会階層—JGSS-2009 ライフコース調査の分析—」『第 63 回日本教育社会学会大会発表要旨収録』 pp.66-69.
- 岩井八郎・轟亮・阿形健司・岡田丈祐, 2010, 「ゼロ年代の教育と初期キャリア—JGSS-2009 ライフコース調査の分析—」『日本教育社会学会第 62 回大会発表要旨集録』 pp.42-47.
- 小林盾, 2010, 「フリーライダーとライフスタイル—JGSS-2009 ライフコース調査の分析—」『第 50 回数理社会学会大会研究報告要旨集』 pp.65-68.
- 小林盾, 2015, 「職場のオーバーライダー問題—なぜブラック企業で働きすぎるのか—」『第 60 回数理社会学会大会研究報告要旨集』 pp.55-56.
- 麦山亮太, 2016, 「入職時の失業経験が初期キャリアの不安定性に与える影響」第 62 回数理社会学会大会.
- 麦山亮太, 2016, 「職業経験が結婚への移行に与える影響—年齢による効果の変化と男女差に着目して」第 26 回日本家族学会.
- 中澤渉, 2011, 「若年層の正規／非正規労働の地位と離転職傾向の関係—JGSS-2009 ライフコース調査の職業経歴を用いた分析—」『第 51 回数理社会学会大会発表要旨収録』 pp.45-48.
- NAKAZAWA, Wataru, 2011, “Nonstandard Educational Trajectories and Their Impact on School-to-Work Transition in Japan,” ISA RC28, August 10, University of Iowa.
- 中澤渉, 2013, 「教育システムと職業経歴の関連性：日本・台湾の比較」東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト研究成果報告会 2013 (2 月 27 日, 東京大学) .
- 野崎華世, 2011, 「同一職種経験年数と本人所得に関する実証分析—JGSS-2009LCS を用いた分析—」日本経済政策学会第 68 回全国大会 (5 月 29 日, 駒沢大学) .
- 佐々木尚之, 2010, 「ゼロ年代のライフコース (3) —JGSS-2009 ライフコース調査による子育て世代の分析—」『第 20 回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.32-33.
- 佐々木尚之, 2010, 「JGSS-2009LCS データにみる日本人の子育ての悩み—人間発達の観点から—」日本心理学会第 74 回大会 (9 月 20 日, 大阪大学) .
- 佐々木尚之, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査の設計・実施・分析—調査方法の創意工夫と結果概要—」『第 83 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.189.
- SASAKI, Takayuki, 2014, “Wandering Career Paths among Japanese Youths: An Analysis of JGSS Life Course Study,” 18th International Sociological Association World Congress of Sociology, July 14, Yokohama, Japan.
- SASAKI, Takayuki, 2018, “Childcare as a Countermeasure Against Low Birthrates: A causal inference using JGSS-2009LCS” JGSS Research Seminar ベトナムと日本の家族の変容 (6 月 8 日, 大阪商業大学 JGSS 研究センター) .
- SASAKI, Takayuki, 2019, The effects of family policy on Japanese family wellbeing, The Sixth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, The Sixth Conference of International Consortium for Social Well-Being Studies, Academia Sinica, Taiwan.
- SASAKI, Takayuki, 2019, “Causality and policy evaluation: Does intergenerational coresidence increase childbirth?” The 2019 Australian Social Policy Conference, Sydney, Australia.

- SASAKI, Takayuki, 2019, “What can Developmental Psychologists do to demonstrate immediate solutions for social problems?” The British Psychological Society Cognitive Psychology Section & Developmental Psychology Section, Stoke-on-Trent, England.
- SASAKI, Takayuki, 2019, Intergenerational coresidence and fertility in Japan, The 21st Nordic Demographic Symposium, Reykjavik, Iceland.
- SASAKI, Takayuki, Matsuda, Shigeki, & Liu, Yu-Fei, 2019, The impact of childcare policy on fertility and maternal employment, The 6th Korean Inequality Research Network Symposium, Chungnam National University, South Korea.
- 白川俊之, 2011, 「教育の垂直・水平的格差次元と地位達成—1990年以降の教育とキャリア軌跡—」『第62回関西社会学会大会報告要旨集』 p.13.
- 轟亮・歸山亜紀, 2011, 「現代の若年男性の職業意識—web調査データの分析から—」『日本教育社会学会第63回大会発表要旨集録』 pp.352-355.
- 打越文弥, 2016, 「日本における女性の育児休業取得の規定要因と取得がその後の就業に与える影響」『第26回日本家族社会学会大会報告要旨』 p.40.
- 山田宏, 2015, 「1980・90年代の工業高校卒業者のライフヒストリー —1950～70年代の卒業者と比較して—」『日本産業社会学会第56回大会要旨集録』, October 18, 2015, pp.42-43.
- 吉田俊文, 2016, 「帰家からみるライフコースの変容—JGSS-2009LCSを用いた居住歴の縦断分析—」『第26回日本家族社会学会大会報告要旨』 p.12.

新聞記事

- 岩井八郎, 2009, 「変わるライフコースと人生設計⑧非正規雇用の拡大」『日本経済新聞』 やさしい経済学—「社会科学」で今を読み解く (2009.12.16 掲載) .
- 時事通信社, 2010.5.15 配信ニュース, 「アラサー、2割が新卒就職せず＝「氷河期」アラフォー比較でくっきり」
WEB NEWS 掲載：時事ドットコム
新聞記事掲載：東京新聞.
- 共同通信社, 2010.4.28 配信ニュース, 「アラサー世代も 非正規率アラフォーの2.5倍」
WEB NEWS 掲載：47NEWS, 河北新報, 東奥日報, 秋田魁新報, 山形新聞, 岩手日報, 福島民報, 福島民友新聞, 東京新聞, 下野新聞, 茨城新聞, 千葉日報, 神奈川新聞, 山梨日日新聞, 信濃毎日新聞, 新潟日報, 中日新聞, 静岡新聞, 岐阜新聞, 北日本新聞, 北國新聞, 福井新聞, 京都新聞, 神戸新聞, 大阪日日新聞, 山陽新聞, 中國新聞, 日本海新聞, 山陰中央新報, 四国新聞, 徳島新聞, 高知新聞, 西日本新聞, 大分合同新聞, 宮崎日日新聞, 長崎新聞, 佐賀新聞, 熊本日日新聞, スポニチ, デイリースポーツ.
新聞記事掲載：東奥日報, 秋田魁新報, 東京新聞, 信濃毎日新聞, 京都新聞, 中國新聞, 高知新聞, 大分合同新聞.
- 日本経済新聞, 2010,4.28 掲載「非正規雇用 アラサー世代はアラフォーの2.5倍」.
産経新聞, 2010,4.28 掲載「アラサー悲し 初就職「非正規」40代の2.5倍」.

JGSS-2013LCSwave2 関連

図書

- 岩井八郎, 2015, 「ライフコース」近藤博之・岩井八郎『教育の社会学』第3章, 放送大学教育振興会, pp.40-60.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター・京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座, 2014, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2013LCSwave2』.

論文

- 阿形健司, 2015, 「JGSS でよむ日本人の意識と行動 第 34 回: 性別で異なる仕事の役立ち方」日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』October 2015 No. 085, pp.20-21.
- 伊達平和・岩井紀子, 2014, 「JGSS でよむ日本人の意識と行動 第 13 回: 節約行動・消費意欲の状況と変化」日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』January 2014 No.064, pp.20-21.
- 伊達平和・岩井八郎・佐々木尚之・宍戸邦章・岩井紀子, 2015, 「『失われた 10 年』以降のライフコースの変化と多様性—JGSS-2009/2013 ライフコース・パネル調査の結果概要—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.12: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[15]』pp.1-17.
- 岩井八郎, 2015, 「JGSS でよむ日本人の意識と行動 第 29 回: 身についた能力と身につけたい能力」日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』May 2015 No.080, pp.22-23.
- 岩井八郎, 2015, 「JGSS でよむ日本人の意識と行動 第 30 回: チームで働く力を高めたい」日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』June 2015 No.081, pp.20-21.
- 岩井八郎, 2015, 「JGSS でよむ日本人の意識と行動 第 31 回: 非正規雇用女性に見られる職場環境意識の改善」日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』July 2015 No. 082, pp.20-21.
- 岩井八郎, 2015, 「JGSS でよむ日本人の意識と行動 第 32 回: 多様な道筋に分かれる女性の職業経歴」日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』August 2015 No. 083, pp.20-21.
- 岩井八郎, 2015, 「JGSS でよむ日本人の意識と行動 第 33 回: チャレンジ精神が高い自営層と中小企業の正規雇用女性」日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』September 2015 No. 084, pp.20-21.
- 岩井八郎, 2015, 「女性の就業経歴の持続と変化—JGSS-2009/2013 ライフコース・パネル調査を用いた分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.12: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[15]』pp.29-39.
- OKANIWA, Fusae, 2020, "Empirical Analysis of Workers' Mental Health", Tohoku University, Graduate School of Economics and Management, Doctoral Dissertation.
- 岡太彬訓, 2016, 「支持政党の変化と政党間の競合関係—JGSS-2009 LCS/2013LCS のデータを用いた非対称多次元尺度構成法による分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座編『日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[16] <JGSS Research Series 13>』pp.29-40.
- 岡太彬訓, 2017, 「支持政党の変化と政党間の競合関係Ⅱ—JGSS-2009 LCS/2013LCS のデータを用いた分析: 非対称多次元尺度構成法の結果を階層非対称クラスター分析により解釈する—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座編『日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[17] <JGSS Research Series 14>』pp.1-17.
- 岡太彬訓, 2019, 「支持政党の変化と政党間の競合関係Ⅲ—JGSS-2009 LCS/2013LCS のデータを用いた分析: Distance-Radius モデルを用いた非対称多次元尺度構成法による分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座編『日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[18] <JGSS Research Series 15>』pp.1-15.
- 佐野和子, 2019, 「女性の教育歴とスキル形成: スキル形成レジームに基づく計量社会的分析」『ソシオロジ』64(1), pp.21-40.
- 佐々木尚之, 2021, 「三世同居は女性の就業・出生を促進するのか?—JGSS-2009LCS データによる因果効果の推定—」『日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集 [19]』pp.1-9.
- 園部香里, 2015, 「日本のあるべき姿の持続と変化—JGSS-2009/2013 ライフコース・パネル調査を用いた分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.12: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[15]』pp.19-28.

報告要旨

伊達平和, 2014, 「子育ての悩みが出産行動に与える影響—JGSS-2009/2013 ライフコース・パネル調査を用いた分析 (2)」『第 87 回日本社会学会大会報告要旨集』 p. 243.

岩井八郎, 2014, 「女性の職業経歴の持続と変化—JGSS-2009/2013 ライフコース・パネル調査を用いた分析 (1)」『第 87 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.242.

SANO, Kazuko, 2019, "Japanese Educational Systems and Women's Occupational Skill Formation" Taiwan Association of Sociology of Education (TASE) 25th Annual Conference.

園部香里, 2014, 「日本のあるべき姿の持続と変化—JGSS-2009/2013 ライフコース・パネル調査を用いた分析 (3)」『第 87 回日本社会学会大会報告要旨集』 p. 244.

II. JGSS-2019LCswave3 集計と索引

II.1 基礎集計・コード表：面接調査票

BLOCK_W3 地域ブロック(w3 調査時)		ケース数	%
コード			
1	北海道・東北	73	13.3
2	関東	158	28.8
3	中部	131	23.9
4	近畿	92	16.8
5	中国・四国	57	10.4
6	九州	38	6.9
計		549	100.0

PREF_W3 都道府県名(w3 調査時)(この変数は公開しているデータセットに含まれていない)

コード		ケース数	%
1	北海道	35	6.4
2	青森	9	1.6
3	岩手	6	1.1
4	宮城	9	1.6
5	秋田	5	0.9
6	山形	4	0.7
7	福島	5	0.9
8	茨城	8	1.5
9	栃木	9	1.6
10	群馬	9	1.6
11	埼玉	41	7.5
12	千葉	30	5.5
13	東京	33	6.0
14	神奈川	28	5.1
15	新潟	14	2.6
16	富山	13	2.4
17	石川	5	0.9
18	福井	4	0.7
19	山梨	5	0.9
20	長野	10	1.8
21	岐阜	12	2.2
22	静岡	20	3.6
23	愛知	42	7.7
24	三重	6	1.1
25	滋賀	3	0.5
26	京都	6	1.1
27	大阪	47	8.6
28	兵庫	21	3.8
29	奈良	7	1.3
30	和歌山	8	1.5
31	鳥取	2	0.4
32	島根	9	1.6
33	岡山	7	1.3
34	広島	17	3.1
35	山口	14	2.6
37	香川	2	0.4
38	愛媛	4	0.7
39	高知	2	0.4
40	福岡	10	1.8
41	佐賀	2	0.4
42	長崎	7	1.3
43	熊本	3	0.5

44	大分	3	0.5
45	宮崎	1	0.2
46	鹿児島	8	1.5
47	沖縄	4	0.7
計		549	100.0

SIZE_W3 市郡規模(w3 調査時)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	大都市	138	25.1
2	人口 20 万人以上の市	141	25.7
3	人口 20 万人未満の市	219	39.9
4	町村	51	9.3
計		549	100.0

SIZE2K_W3 市郡規模(2000 年時点)(w3 調査)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	13 大市	104	18.9
2	その他の市	334	60.8
3	町村	111	20.2
計		549	100.0

DOBYEAR 生年

この変数の単純集計は掲載していません。

AGEB_W3 年齢(w3 調査時)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	38 歳	21	3.8
	39 歳	28	5.1
	40 歳	20	3.6
	41 歳	33	6.0
	42 歳	35	6.4
	43 歳	35	6.4
	44 歳	42	7.7
	45 歳	34	6.2
	46 歳	45	8.2
	47 歳	44	8.0
	48 歳	43	7.8
	49 歳	50	9.1
	50 歳	45	8.2
	51 歳	41	7.5
	52 歳	33	6.0
99	無回答	0	0.0
計		549	100.0

問 1-1 [回答票 1] 先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか。

XJOBWLK_W3 先週の就労経験

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事をした	491	89.4
2	(イ) 仕事をしていない	58	10.6
9	無回答	0	0.0
		計	549
			100.0

「2 (イ) 仕事をしていない」の場合

問 1-2 [回答票 2] あなたは、収入をとまなう仕事をもっていますか。

TP3NOWRK_W3 収入を伴う仕事の有無

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ	6	10.3
2	(イ) 仕事をもっているが、先週は仕事がなかった	7	12.1
3	(ウ) 仕事をもっていない	45	77.6
9	無回答	0	0.0
		計	58
			100.0
8	非該当	491	
		計	549

「3 (ウ) 仕事をもっていない」の場合

問 1-3 [回答票 3] 先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP_W3 不就労の理由

コード		ケース数	%
1	(ア) 失業中	4	8.9
2	(イ) 学生	0	0.0
3	(ウ) 主に家事をしている	39	86.7
4	(エ) 心身上の事情で働けない	1	2.2
5	(オ) その他 (具体的に)	1	2.2
6	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
		計	45
			100.0
8	非該当	504	
		計	549

問 1-4 あなたは現在、仕事を探していますか。

DOFINDJB_W3 不就労者に: 求職の有無

コード		ケース数	%
1	はい	12	26.7
2	いいえ	33	73.3
9	無回答	0	0.0
		計	45
			100.0
8	非該当	504	
		計	549

問 1-1 に「1 (ア) 仕事をした」、あるいは、問 1-2 に「1 (ア) 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」「2 (イ) 仕事をもっているが、先週は仕事がなかった」の場合

問 2-1 [回答票 4] お仕事について少し詳しくお伺いします。2 つ以上仕事をおもちのかたは、主な仕事 1 つについてお答えください。あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

TPJOB_W3 就労形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 経営者・役員	21	4.2
2	(イ) 常時雇用の一般従業者	265	52.6
3	(ウ) 臨時雇用 (パート・アルバイト・内職)	137	27.2
4	(エ) 派遣社員	17	3.4
5	(オ) 契約社員・嘱託社員	17	3.4
6	(カ) 自営業主・自由業者	29	5.8
7	(キ) 家族従業者	17	3.4
8	わからない	1	0.2
9	無回答	0	0.0
		計	504
88	非該当		45
		計	549

「2 (イ) 常時雇用の一般従業者」の場合

問 2-2 [回答票 5] あなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

TPJOBP_W3 役職

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	144	54.3
2	(イ) 職長・班長・組長など	32	12.1
3	(ウ) 係長 (係長相当)	41	15.5
4	(エ) 課長 (課長相当)	28	10.6
5	(オ) 部長 (部長相当)	15	5.7
6	(カ) その他の役職 (具体的に)	5	1.9
7	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
		計	265
8	非該当		284
		計	549

問 3 [回答票 6] あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

DOCMT_W3 通勤の有無

コード		ケース数	%
1	(ア) およそ__時間__分	456	90.5
2	(イ) 住まいと職場は同じ	41	8.1
3	(ウ) 日によって行き先が違う	7	1.4
9	無回答	0	0.0
		計	504
8	非該当		45
		計	549

「1 (ア) およそ__時間__分」の場合

SZCMTHR_W3 通勤時間:時間

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
88	非該当
99	無回答

SZCMTMIN_W3 通勤時間:分

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
88	非該当
99	無回答

SZCMTTL_W3 通勤時間:合計

コード		ケース数	%	
実数記入	1～9分	59	12.9	
	10～19分	124	27.2	
	20～29分	72	15.8	
	30～39分	71	15.6	
	40～49分	41	9.0	
	50～59分	17	3.7	
	1時間～1時間半未満	51	11.2	
	1時間半～2時間未満	18	3.9	
	2時間以上	3	0.7	
	9999	無回答	0	0.0
		計	456	100.0
8888	非該当	93		
	計	549		

問1-1に「1(ア)仕事をした」、あるいは、問1-2に「1(ア)仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」「2(イ)仕事をもっているが、先週は仕事がなかった」の場合

問4〔回答票7〕あなたが働く職場は、この中のどれにあたりますか。

TP4WPLA_W3 事業所形態

コード		ケース数	%
1	(ア)官公庁	65	12.9
2	(イ)単独事業所(他に事業所はない)	182	36.1
3	(ウ)支店・支所(本社・本店は他にある)	178	35.3
4	(エ)本社・本店(他に支店・支所などがある)	72	14.3
5	わからない	5	1.0
9	無回答	2	0.4
	計	504	100.0
8	非該当	45	
	計	549	

問5 あなたが働いているお勤め先はどのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行など、具体的にお聞かせください。

XXWPL_W3 業種

コード		ケース数	%
10	農業	5	1.0
30	漁業	1	0.2
50	建設業	33	6.5
60	製造業	84	16.7
70	電気・ガス・熱供給・水道業	4	0.8
81	運輸業	24	4.8
82	旅行業	3	0.6
91	卸売業	14	2.8
92	小売業	53	10.5
93	飲食店	16	3.2
100	金融・保険業	20	4.0
110	不動産業	8	1.6
121	新聞・放送・出版業、映画制作業	1	0.2

122	広告業	2	0.4	
131	情報・通信サービス業	17	3.4	
140	医療・福祉サービス業	97	19.2	
150	教育・研究サービス業	31	6.2	
160	法律・会計サービス業	1	0.2	
171	その他のサービス業	47	9.3	
172	学習塾・教養技能・スポーツ施設	16	3.2	
180	公務	27	5.4	
999	無回答	0	0.0	
		計	504	100.0
998	非該当	45		
		計	549	

問6 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように）

XXJOB_W3 職種

コード		ケース数	%
503	機械・電気・化学技術者	17	3.4
504	建築・土木技術者	3	0.6
505	農林技術者	1	0.2
506	情報処理技術者	8	1.6
507	その他の技師・技術者	2	0.4
509	歯科医師	2	0.4
510	薬剤師	6	1.2
511	助産師（助産婦）	3	0.6
512	保健師（保健婦）	1	0.2
513	栄養士	1	0.2
514	看護師（看護婦・看護師）	15	3.0
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	2	0.4
516	その他の保健医療従事者	13	2.6
520	幼稚園教員	3	0.6
521	小学校教員	8	1.6
522	中学校教員	3	0.6
523	高等学校教員	1	0.2
524	大学教員	3	0.6
525	盲・ろう・養護学校教員	1	0.2
526	その他の教員	2	0.4
527	宗教家	1	0.2
531	デザイナー	1	0.2
534	俳優・舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）	1	0.2
536	獣医師	1	0.2
537	保育士（保母、保父）	8	1.6
538	社会福祉事業専門職員	8	1.6
539	個人教師	10	2.0
541	経営コンサルタント	2	0.4
543	図書館司書	2	0.4
544	その他の専門的・技術的職業従事者	2	0.4
547	地方議員	1	0.2
548	会社役員	4	0.8
550	会社・団体等の管理職員	12	2.4
553	その他の管理的職業従事者	3	0.6
554	総務・企画事務員	50	9.9
555	受付・案内事務員	19	3.8
556	出荷・受荷事務員	5	1.0
557	営業・販売事務員	14	2.8
558	その他の一般事務員	6	1.2

559	会計事務員	30	6.0
560	郵便・通信事務員	1	0.2
562	その他の外勤事務従事者	1	0.2
563	運輸事務員	1	0.2
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	4	0.8
565	電子計算機等操作員	4	0.8
569	販売店員	17	3.4
570	行商人、呼売人、露天商	1	0.2
573	外交員（保険、不動産を除く）	15	3.0
574	保険代理人・外交員	5	1.0
575	不動産仲買人・売買人	4	0.8
577	その他の販売類似職業従事者	1	0.2
579	理容師、美容師	2	0.4
580	クリーニング職、洗張職	1	0.2
581	料理人	10	2.0
583	給仕係	5	1.0
587	旅行・観光案内人	1	0.2
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	8	1.6
595	消防員	1	0.2
596	看守、守衛、監視員	1	0.2
599	農耕・養蚕作業	5	1.0
600	植木職、造園師	2	0.4
604	漁業作業	1	0.2
606	電車・機関車運転士	1	0.2
607	自動車運転者	9	1.8
618	郵便・電報外務員	1	0.2
625	ガラス・セメント製品製造作業	2	0.4
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業	1	0.2
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業	7	1.4
631	鉄工、板金工	1	0.2
632	金属溶接工	1	0.2
633	一般機械組立工・修理工	5	1.0
634	電気機械器具組立工・修理工	8	1.6
635	自動車組立工・整備工	3	0.6
636	鉄道車両組立工・修理工	1	0.2
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	3	0.6
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲料品製造作業	12	2.4
651	洋服・和服仕立職	1	0.2
652	縫製工、裁断工	3	0.6
653	製材工、木工	1	0.2
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業	1	0.2
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業	1	0.2
658	印刷・製本作業	3	0.6
661	塗装工、画工、看板工	5	1.0
668	かばん・袋物製造工	1	0.2
670	製図工、現図工	1	0.2
672	その他の技能工・生産工程作業	11	2.2
674	起重機・建設機械運転作業	1	0.2
682	土工、道路工夫	1	0.2
684	現場監督、その他の建設作業	8	1.6
685	倉庫夫、仲仕	12	2.4
686	運搬労務者	2	0.4
687	清掃員	8	1.6
688	その他の労務作業	2	0.4
701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー	2	0.4
702	大工	2	0.4
703	教員	1	0.2
801	介護員、ヘルパー	8	1.6

802	その他の医療・福祉サービス職従事者	8	1.6
999	不明、無回答	0	0.0
		計	504
998	非該当	45	100.0
		計	549

問7 あなたは、先週、残業も含めてその仕事を合計何時間しましたか。

XJOBHWK_W3 就労時間数/週

コード		ケース数	%
実数記入	0時間	5	1.0
	1～9時間	16	3.2
	10～19時間	47	9.3
	20～29時間	60	11.9
	30～39時間	86	17.1
	40～49時間	174	34.5
	50～59時間	62	12.3
	60～69時間	30	6.0
	70～79時間	13	2.6
	80時間以上	8	1.6
999	無回答	3	0.6
		計	504
888	非該当	45	100.0
		計	549

問8 あなたは、通常1週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

XJBSCH_W3 通常労働時間数/週

コード		ケース数	%
実数記入	0時間	1	0.2
	1～9時間	13	2.6
	10～19時間	43	8.5
	20～29時間	59	11.7
	30～39時間	108	21.4
	40～49時間	245	48.6
	50～59時間	7	1.4
	60～69時間	6	1.2
	70～79時間	3	0.6
	80時間以上	1	0.2
999	無回答	18	3.6
		計	504
888	非該当	45	100.0
		計	549

問9〔回答票8〕同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

SZTTLSTA_W3 企業規模

コード		ケース数	%
1	(ア) 1人	19	3.8
2	(イ) 2～4人	38	7.5
3	(ウ) 5～9人	26	5.2
4	(エ) 10～29人	74	14.7
5	(オ) 30～99人	71	14.1
6	(カ) 100～299人	52	10.3
7	(キ) 300～499人	23	4.6
8	(ク) 500～999人	24	4.8
9	(ケ) 1,000～1,999人	18	3.6
10	(コ) 2,000～9,999人	43	8.5
11	(サ) 1万人以上	27	5.4
12	(シ) 官公庁	64	12.7
13	わからない	24	4.8
99	無回答	1	0.2
		計	504
88	非該当	45	100.0
		計	549

問10〔回答票9〕あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。

JOINUNI_W3 労働組合加入の有無

コード		ケース数	%
1	(ア) 職場の労働組合に入っている	113	22.4
2	(イ) 職場以外の労働組合に入っている	8	1.6
3	(ウ) 入っていない	373	74.0
4	わからない	10	2.0
9	無回答	0	0.0
		計	504
8	非該当	45	100.0
		計	549

問11〔回答票10〕あなたの職場には、正社員や正規職員でない人（派遣社員、契約社員、パート、アルバイト、臨時雇用）が、どれくらいいますか。

NOREGEM_W3 職場の非正規雇用者の規模

コード		ケース数	%
1	(ア) 0～1割くらい	177	35.1
2	(イ) 2～4割くらい	135	26.8
3	(ウ) 5割くらい	48	9.5
4	(エ) 6～8割くらい	82	16.3
5	(オ) 9～10割くらい	40	7.9
6	わからない	18	3.6
9	無回答	4	0.8
		計	504
8	非該当	45	100.0
		計	549

問 12〔回答票 11〕現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。

ST5JOB_W3 現在の仕事の満足度

コード		ケース数	%
1	(ア) 満足している	125	24.8
2	(イ) どちらかといえば満足している	251	49.8
3	(ウ) どちらともいえない	90	17.9
4	(エ) どちらかといえば不満である	32	6.3
5	(オ) 不満である	5	1.0
6	わからない	1	0.2
9	無回答	0	0.0
		計	504
8	非該当	45	
		計	549

問 13-1〔回答票 12〕今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA_W3 現在の会社・組織での就労継続意向

コード		ケース数	%
1	(ア) 近いうちにやめるつもり	26	5.2
2	(イ) 当分やめるつもりはない	240	47.6
3	(ウ) まったくやめるつもりはない	232	46.0
4	わからない	6	1.2
9	無回答	0	0.0
		計	504
8	非該当	45	
		計	549

「1 (ア) 近いうちにやめるつもり」の場合

問 13-2〔回答票 13〕その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

STPJBINC_W3～STPJBN0_W3 現在の会社・組織を離職するつもりである理由

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
8	非該当		
9	無回答		
多重回答			
STPJBINC_W3	1 (ア) より多くの収入を得たい	8	30.8
STPJBBCR_W3	2 (イ) キャリアアップをしたい	1	3.8
STPJBSUT_W3	3 (ウ) 自分にあった仕事をしたい	7	26.9
STPJBFTR_W3	4 (エ) 勤め先の将来に不安がある	3	11.5
STPJBWRT_W3	5 (オ) 仕事内容にやりがいを感じない	2	7.7
STPJBMCH_W3	6 (カ) 仕事量が多すぎる	3	11.5
STPJBREL_W3	7 (キ) 職場の人間関係に問題がある	4	15.4
STPJBHLT_W3	8 (ク) 健康上の問題がある	4	15.4
STPJBCAR_W3	9 (ケ) 家族の介護のため	1	3.8
STPJBMAR_W3	10 (コ) 結婚のため	1	3.8
STPJBCHL_W3	11 (サ) 出産・育児のため	4	15.4
STPJBOT_W3	12 (シ) その他 (具体的に)	8	30.8
STPJBN0_W3	13 特に理由はない	0	0.0
		該当者数	26
			100.0

問 14〔回答票 14〕 今後1年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

OP4UNEMP_W3 失業の可能性

コード		ケース数	%
1	(ア) かなりある	6	1.2
2	(イ) ある程度ある	44	8.7
3	(ウ) あまりない	168	33.3
4	(エ) まったくない	285	56.5
5	わからない	1	0.2
9	無回答	0	0.0
		計	504
8	非該当	45	
		計	549

問 15-1 主な仕事とは別に、副業など、何か別の仕事をしていますか。

XSJB1WK_W3 副業の有無

コード		ケース数	%
1	はい	40	7.9
2	いいえ	463	91.9
9	無回答	1	0.2
		計	504
8	非該当	45	
		計	549

「1 はい」の場合

問 15-2 いくつ副業をしていますか。

XSJBNUM_W3 副業の数

コード		ケース数	%
実数記入	1 個	34	85.0
	2 個	4	10.0
	3 個	2	5.0
99	無回答	0	0.0
		計	40
88	非該当	509	
		計	549

問 15-3 あなたは、先週、残業も含めて副業を合計何時間しましたか。

SZSJBHWK_W3 副業就労時間数/週

コード		ケース数	%
実数記入	0 時間	13	32.5
	1～9 時間	12	30.0
	10～19 時間	7	17.5
	20～29 時間	4	10.0
	30～39 時間	1	2.5
	40 時間以上	1	2.5
999	無回答	2	5.0
		計	40
888	非該当	509	
		計	549

問 15-4 [回答票 15] あなたの副業は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。複数ある場合には、主な1つについてお答えください。

XSJOBTP_W3 副業の就労形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 経営者・役員	1	2.5
2	(イ) 常時雇用の一般従業者	1	2.5
3	(ウ) 臨時雇用 (パート・アルバイト・内職)	23	57.5
4	(エ) 派遣社員	2	5.0
5	(オ) 契約社員・嘱託社員	1	2.5
6	(カ) 自営業主・自由業者	11	27.5
7	(キ) 家族従業者	0	0.0
8	わからない	0	0.0
99	無回答	1	2.5
		計	40
88	非該当	509	100.0
		計	549

問 15-5 あなたは通常、副業としてどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。複数ある場合には、主な1つについてお答えください。

XXSJOB_W3 副業の職種

コード		ケース数	%
510	薬剤師	1	2.5
524	大学教員	1	2.5
527	宗教家	1	2.5
533	音楽家 (個人に教授するものを除く)	1	2.5
539	個人教師	5	12.5
544	その他の専門的・技術的職業従事者	2	5.0
555	受付・案内事務員	1	2.5
557	営業・販売事務員	1	2.5
559	会計事務員	2	5.0
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	1	2.5
566	小売店主	1	2.5
569	販売店員	1	2.5
575	不動産仲買人・売買人	1	2.5
579	理容師、美容師	1	2.5
581	料理人	1	2.5
583	給仕係	1	2.5
588	その他の個人サービス職業従事者	1	2.5
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	1	2.5
593	自衛官	1	2.5
596	看守、守衛、監視員	1	2.5
607	自動車運転者	2	5.0
635	自動車組立工・整備工	1	2.5
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	2	5.0
652	縫製工、裁断工	1	2.5
672	その他の技能工・生産工程作業員	1	2.5
674	起重機・建設機械運転作業員	1	2.5
685	倉庫夫、仲仕	3	7.5
686	運搬労務者	1	2.5
687	清掃員	1	2.5
689	分類不能の職業	1	2.5
999	無回答	0	0.0
		計	40
998	非該当	509	100.0
		計	549

(全員に)

問 16-1 前回の調査 (2013 年 2～3 月) 以降に、学校に通いましたか。

SCH_W3 就学経験(w2 調査以降)

コード		ケース数	%
1	はい	12	2.2
2	いいえ	537	97.8
9	無回答	0	0.0
		計	549
			100.0

「1 はい」の場合

問 16-2 [回答票 16] 通った学校は、次のうちどれですか。

問 16-3 その学校は、国立ですか、公立ですか、私立 (わたくしりつ) ですか。

問 16-4 あなたの学部・学科 (専修学校の場合は、学んだ分野) を教えてください。高校の場合は、普通科、工業に関する学科、商業に関する学科、その他でお答えください。

問 16-5 その学校を卒業しましたか。

問 16-6 その学校にはいつからいつまで通っていましたか。

1つ目の学校

SCH01_W3 就学経験 01(w2 調査以降): 有無

コード		ケース数	%
1	あり	12	100.0
2	なし	0	0.0
		計	12
			100.0
8	非該当	537	
		計	549

SCH01TP_W3 就学経験 01(w2 調査以降): 種類

コード		ケース数	%
1	(ア) 高校	0	0.0
2	(イ) 短期大学 (短大)	0	0.0
3	(ウ) 大学	3	25.0
4	(エ) 大学院	2	16.7
5	(オ) 専修学校・専門学校	6	50.0
6	(カ) 高等専門学校 (高専)	0	0.0
9	無回答	1	8.3
		計	12
			100.0
8	非該当	537	
		計	549

SCH01SCT_W3 就学経験 01(w2 調査以降): 国・公・私立

コード		ケース数	%
1	国立	1	8.3
2	公立	0	0.0
3	私立	9	75.0
4	その他 ()	2	16.7
9	無回答	0	0.0
		計	12
			100.0
8	非該当	537	
		計	549

SCH01DPT_W3 就学経験 01 (w2 調査以降): 学部・学科

コード		ケース数	%	
1	人文科学	1	8.3	
2	社会科学	2	16.7	
3	理学	0	0.0	
4	工学	0	0.0	
5	農学	0	0.0	
6	保健	0	0.0	
7	商船	0	0.0	
8	家政	0	0.0	
9	教育	1	8.3	
10	芸術	0	0.0	
11	その他 (高等専門学校、短大、大学、大学院)	1	8.3	
21	工業関係	0	0.0	
22	農業関係	0	0.0	
23	医療関係	3	25.0	
24	衛生関係	0	0.0	
25	教育・社会福祉関係	2	16.7	
26	商業実務関係	0	0.0	
27	服飾・家政関係	0	0.0	
28	文化・教養関係	1	8.3	
29	その他 (専修学校)	0	0.0	
99	無回答	1	8.3	
		計	12	100.0
88	非該当	537		
		計	549	

SCH01GRD_W3 就学経験 01 (w2 調査以降): 卒業の有無

コード		ケース数	%	
1	卒業	11	91.7	
2	中退	0	0.0	
3	在学中	1	8.3	
9	無回答	0	0.0	
		計	12	100.0
8	非該当	537		
		計	549	

SCH01STY_W3 就学経験 01 (w2 調査以降): 在学期間: 開始年

この変数の単純集計は掲載していません。

コード	
実数記入	
8888	非該当
9999	無回答

SCH01STM_W3 就学経験 01 (w2 調査以降): 在学期間: 開始月

この変数の単純集計は掲載していません。

コード	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

SCH01ENY_W3 就学経験 01 (w2 調査以降): 在学期間: 終了年

この変数の単純集計は掲載していません。

<u>コード</u>	
実数記入	
7777	現在まで
8888	非該当
9999	無回答

SCH01ENM_W3 就学経験 01 (w2 調査以降): 在学期間: 終了月

この変数の単純集計は掲載していません。

<u>コード</u>	
実数記入	
77	現在まで
88	非該当
99	無回答

2つ目の学校

SCH02_W3 就学経験 02 (w2 調査以降): 有無

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	あり	0	0.0
2	なし	12	100.0
		計	12
			100.0
8	非該当	537	
		計	549

SCH02TP_W3 就学経験 02 (w2 調査以降): 種類

SCH02SCT_W3 就学経験 02 (w2 調査以降): 国・公・私立

SCH02DPT_W3 就学経験 02 (w2 調査以降): 学部・学科

SCH02GRD_W3 就学経験 02 (w2 調査以降): 卒業の有無

SCH02STY_W3 就学経験 02 (w2 調査以降): 在学期間: 開始年

SCH02STM_W3 就学経験 02 (w2 調査以降): 在学期間: 開始月

SCH02ENY_W3 就学経験 02 (w2 調査以降): 在学期間: 終了年

SCH02ENM_W3 就学経験 02 (w2 調査以降): 在学期間: 終了月

これらの変数の単純集計は掲載していません。

【事前転記】調査員確認設問 A

CONFQA_W3 調査員確認設問 A: 仕事の有無 (w2 調査時)

コード		ケース数	%
1	前回の調査時点で、仕事をしていた	447	81.4
2	前回の調査時点で、仕事をしていなかった	102	18.6
	計	549	100.0

(前回の調査時点で仕事についていた方のみに)

問 17-1 [回答票 17] 前回の調査時点 (2013 年 2 ~ 3 月) のお勤め先の事業内容 ([事前転記]) は、現在のお勤め先と同じですか。合併や吸収などで、所属組織が変化した場合や、派遣先が変わった場合は、勤め先が変わったとしてお答えください。派遣会社に登録されていた場合は、実際にお仕事をした期間をお答えください。お勤め先が変わった場合は、いつ変わりましたか。

勤め先 1 [前回調査時点 (2013 年 2 ~ 3 月) の勤め先]

JBW2ONG_W3 勤め先 01 (w2 調査時): 継続の有無 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) ____年__月に変わった (やめた)	138	30.9
2	(イ) 現在も同じ勤め先	309	69.1
9	無回答	0	0.0
	計	447	100.0
8	非該当	102	
	計	549	

「1 ____年__月に変わった (やめた)」の場合

JBW2STY_W3 勤め先 01 (w2 調査時): 変化: 年 (前回有職の人)

コード	実数記入	有効回答者数	ケース数	%
	9999	無回答	135	97.8
			3	2.2
			計	138
	8888	非該当	411	100.0
			計	549

JBW2STM_W3 勤め先 01 (w2 調査時): 変化: 月 (前回有職の人)

コード	実数記入	有効回答者数	ケース数	%
	99	無回答	134	97.1
			4	2.9
			計	138
	88	非該当	411	100.0
			計	549

問 17-2 [回答票 18] (勤め先が変わった場合、現在無職の場合) やめられたのは、自己都合でしょうか、会社都合でしょうか。

JBW2WYQT_W3 勤め先 01 (w2 調査時): 続けていない理由 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 自己都合	110	79.7
2	(イ) 会社都合	22	15.9
3	(ウ) その他	4	2.9
9	無回答	2	1.4
	計	138	100.0
8	非該当	411	
	計	549	

[前回の勤め先からの変化]

勤め先 2

問 18-1 その後、別のお勤め先につきましたか。

JBW202_W3 勤め先 02(w2 調査以降):有無(前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	あり	126	28.1
2	なし	322	71.9
		計	448
8	非該当	101	100.0
		計	549

「1 あり」の場合

問 18-2 [回答票 19] そのお勤め先で働き始めたのはいつですか。

JBW202STY_W3 勤め先 02(w2 調査以降):開始年(前回有職の人)

コード	実数記入	有効回答者数	ケース数	%
	9999	無回答	3	2.4
			計	126
8888	非該当		423	100.0
			計	549

JBW202STM_W3 勤め先 02(w2 調査以降):開始月(前回有職の人)

コード	実数記入	有効回答者数	ケース数	%
	99	無回答	3	2.4
			計	126
88	非該当		423	100.0
			計	549

問 18-3 [回答票 19] そのお勤め先は、今でも続けていますか。(続けていない場合)いつやめましたか。

JBW202ONG_W3 勤め先 02(w2 調査以降):継続の有無(前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	___年___月まで	35	27.8
2	現在まで	91	72.2
9	無回答	0	0.0
		計	126
8	非該当	423	100.0
		計	549

「1 ___年___月まで」の場合

JBW202ENY_W3 勤め先 02(w2 調査以降):終了年(前回有職の人)

コード	実数記入	有効回答者数	ケース数	%
	9999	無回答	2	5.7
			計	33
8888	非該当		514	100.0
			計	549

JBW202ENM_W3 勤め先 02(w2 調査以降):終了月(前回有職の人)

コード	実数記入	有効回答者数	ケース数	%
	99	無回答	2	5.7
			計	33
88	非該当		514	100.0
			計	549

問 18-4 (続けていない場合) やめられたのは、自己都合でしょうか、会社都合でしょうか。

JBW202WYQT_W3 勤め先 02 (w2 調査以降): 続けていない理由 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 自己都合	31	88.6
2	(イ) 会社都合	4	11.4
3	(ウ) その他	0	0.0
9	無回答	0	0.0
		計	35
8	非該当	514	
		計	549

問 18-5 [回答票 19] そのお勤め先で働いている間に、別の副業をしていたことがありますか。あれば、この中からあてはまる副業をすべて選んでください。

JBW202SJNO_W3~JBW202SJOT_W3 勤め先 02 (w2 調査以降): 副業

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
8	非該当		
9	無回答		
多重回答			
JBW202SJNO_W3	1 (ア) 副業はなし	107	84.9
JBW202SJDP_W3	2 (イ) 派遣の仕事	1	0.8
JBW202SJPT_W3	3 (ウ) パート・アルバイト	10	7.9
JBW202SJFB_W3	4 (エ) 家業の手伝い(実家を含む)	0	0.0
JBW202SJOT_W3	5 (オ) その他 ()	1	0.8
		該当者数	126
			100.0

問 18-6 そのお勤め先は、以前にも勤めたことがありますか。

JBW202PREV_W3 勤め先 02 (w2 調査以降): 元の勤め先 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	はい	11	8.7
2	いいえ	109	86.5
9	無回答	6	4.8
		計	126
8	非該当	423	
		計	549

勤め先 3

JBW203_W3 勤め先 03 (w2 調査以降): 有無 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	あり	32	7.2
2	なし	415	92.8
		計	447
8	非該当	102	
		計	549

「1 あり」の場合

JBW203STY_W3 勤め先 03 (w2 調査以降): 開始年 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答者数	30	93.8
9999	無回答	2	6.3
		計	32
8888	非該当	517	
		計	549

JBW203STM_W3 勤め先 03(w2 調査以降):開始月(前回有職の人)

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答者数	30	93.8
99	無回答	2	6.3
	計	32	100.0
88	非該当	517	
	計	549	

JBW203ONG_W3 勤め先 03(w2 調査以降):継続の有無(前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	___年___月まで	10	31.3
2	現在まで	22	68.8
9	無回答	0	0.0
	計	32	100.0
8	非該当	517	
	計	549	

「1 ___年___月まで」の場合

JBW203ENY_W3 勤め先 03(w2 調査以降):終了年(前回有職の人)

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答者数	10	100.0
9999	無回答	0	0.0
	計	10	100.0
8888	非該当	539	
	計	549	

JBW203ENM_W3 勤め先 03(w2 調査以降):終了月(前回有職の人)

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答者数	10	100.0
99	無回答	0	0.0
	計	10	100.0
88	非該当	539	
	計	549	

JBW203WYQT_W3 勤め先 03(w2 調査以降):続けていない理由(前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	自己都合	8	80.0
2	会社都合	2	20.0
9	無回答	0	0.0
	計	10	100.0
8	非該当	539	
	計	549	

JBW203SJNO_W3～JBW203SJOT_W3 勤め先 03 (w2 調査以降): 副業

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

多重回答		選択者数	%
JBW203SJNO_W3	1 (ア) 副業はなし	29	90.6
JBW203SJDP_W3	2 (イ) 派遣の仕事	0	0.0
JBW203SJPT_W3	3 (ウ) パート・アルバイト	1	3.1
JBW203SJFB_W3	4 (エ) 家業の手伝い(実家を含む)	0	0.0
JBW203SJOT_W3	5 (オ) その他 ()	1	3.1
		該当者数	32
			100.0

JBW203PREV_W3 勤め先 03 (w2 調査以降): 元の勤め先 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	はい	0	0.0
2	いいえ	28	87.5
9	無回答	4	12.5
		計	32
			100.0
8	非該当	517	
		計	549

勤め先 4～勤め先 6

- JBW2[04-06]_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 有無(前回有職の人)
- JBW2[04-06]STY_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 開始年(前回有職の人)
- JBW2[04-06]STM_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 開始月(前回有職の人)
- JBW2[04-06]ONG_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 継続の有無(前回有職の人)
- JBW2[04-06]ENY_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 終了年(前回有職の人)
- JBW2[04-06]ENM_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 終了月(前回有職の人)
- JBW2[04-06]WYQT_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 続けていない理由(前回有職の人)
- JBW2[04-06]SJNO_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 副業: なし(前回有職の人)
- JBW2[04-06]SJDP_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 副業: 派遣(前回有職の人)
- JBW2[04-06]SJPT_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 副業: パート(前回有職の人)
- JBW2[04-06]SJFB_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 副業: 家業(前回有職の人)
- JBW2[04-06]SJOT_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 副業: その他(前回有職の人)
- JBW2[04-06]PREV_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降): 元の勤め先(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

問 18 で、働いていたが主な勤め先が決められない期間がある場合
 短期の派遣の仕事やアルバイトなど、短い仕事（およそ3か月未満）ばかりを次々に行なっており、主な仕事が
 決められない期間

1回目～2回目

(1) 短い仕事ばかりを次々に行なっていた期間

NMJ[01-02]_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降):有無(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
1	あり
2	なし
8	非該当

NMJ[01-02]ONG_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降):継続の有無(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
1	____年____月まで
2	現在まで
8	非該当
9	無回答

NMJ[01-02]STY_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降):開始年(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
実数記入	
8888	非該当
9999	無回答

NMJ[01-02]STM_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降):開始月(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

NMJ[01-02]ENY_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降):終了年(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
実数記入	
8888	非該当
9999	無回答

NMJ[01-02]ENM_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降):終了月(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

(2) その期間の働き方 (あてはまるものすべてに○)

NMJ[01-02]DP_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 就労形態: 派遣(前回有職の人)
 NMJ[01-02]PT_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 就労形態: パート・アルバイト(前回有職の人)
 NMJ[01-02]FB_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 就労形態: 家業(前回有職の人)
 NMJ[01-02]OT_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 就労形態: その他(前回有職の人)
 これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

(3) その期間の仕事内容 (あてはまるものすべてに○)

NMJ[01-02]OCL_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 事務(前回有職の人)
 NMJ[01-02]OSV_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: サービス(前回有職の人)
 NMJ[01-02]OSL_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 営業(前回有職の人)
 NMJ[01-02]OFY_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 工場・倉庫内作業(前回有職の人)
 NMJ[01-02]OCR_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 建設作業(前回有職の人)
 NMJ[01-02]OTP_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 運搬(前回有職の人)
 NMJ[01-02]OSG_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 警備(前回有職の人)
 NMJ[01-02]OWF_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 福祉関係の専門職(前回有職の人)
 NMJ[01-02]OIT_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: IT関係の専門職(前回有職の人)
 NMJ[01-02]OOT_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: その他(前回有職の人)
 これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

問 17-1 に「1 (ア) ____年__月に変わった(やめた)」の場合

問 19 では、前回の調査以降、収入をとまなう仕事をまったくされていなかった期間は、次のとおりです。

無職期間 1 回目

UNEN01_W3 無職期間 01(w2 調査以降): 有無(前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	あり	49	35.5
2	なし	89	64.5
		計	138
8	非該当	411	100.0
		計	549

「1 あり」の場合

UNEN01STY_W3 無職期間 01(w2 調査以降): 開始年(前回有職の人)

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答数	48	98.0
9999	無回答	1	2.0
		計	49
8888	非該当	500	100.0
		計	549

UNEN01STM_W3 無職期間 01 (w2 調査以降): 開始月 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答数	47	95.9
99	無回答	2	4.1
		計	49
88	非該当	500	
		計	549

UNEN01ONG_W3 無職期間 01 (w2 調査以降): 継続の有無 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	___年___月まで	37	75.5
2	現在まで	12	24.5
9	無回答	0	0.0
		計	49
8	非該当	500	
		計	549

「1 ___年___月まで」の場合

UNEN01ENY_W3 無職期間 01 (w2 調査以降): 終了年 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答数	37	100.0
9999	無回答	0	0.0
		計	37
8888	非該当	512	
		計	549

UNEN01ENM_W3 無職期間 01 (w2 調査以降): 終了月 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答数	37	100.0
99	無回答	0	0.0
		計	37
88	非該当	512	
		計	549

無職期間 2 回目～無職期間 4 回目

UNEN[02-04]_W3 無職期間[02-04] (w2 調査以降): 有無 (前回有職の人)

UNEN[02-04]STY_W3 無職期間[02-04] (w2 調査以降): 開始年 (前回有職の人)

UNEN[02-04]STM_W3 無職期間[02-04] (w2 調査以降): 開始月 (前回有職の人)

UNEN[02-04]ONG_W3 無職期間[02-04] (w2 調査以降): 継続の有無 (前回有職の人)

UNEN[02-04]ENY_W3 無職期間[02-04] (w2 調査以降): 終了年 (前回有職の人)

UNEN[02-04]ENM_W3 無職期間[02-04] (w2 調査以降): 終了月 (前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

(前回の調査時点で仕事についていた方のみに)

問 20 この6年間のお仕事について順に少し詳しくお答えいただけます。前回の調査時点では、あなたの「働き方」「役職」「仕事内容」は次のようにお答えいただいております。

〔回答票 20〕その後、そのお勤め先の中で、「働き方」「役職」「仕事内容」が変わったことはありましたか。

JBW2CHG_W3 勤め先 01 (w2 調査時): 変化: 有無 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) その勤め先の中で、変化あり	99	22.1
2	(イ) その勤め先の中で、現在まで変化なし	215	48.1
3	(ウ) その勤め先の中では変化はなかったが、その勤め先を辞めて、現在まで仕事に就いていない	12	2.7
4	(エ) その勤め先の中では変化はなかったが、勤め先が変わった	121	27.1
9	無回答	0	0.0
		計	447
8	非該当	102	
		計	549

〔回答票 21〕いつ、どのような変化があったのかを6年前から順次現在までお答えください。

勤め先 1

【事前転記】〔前回調査時点での勤め先での「働き方」「役職」「仕事内容」〕

A 働き方 (従業上の地位)

JBW2S0TP_W3 勤め先 01 (w2 調査時): 就労形態 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	経営者・役員	16	3.6
2	常時雇用の一般従業者	252	56.4
3	臨時雇用 (パート・アルバイト・内職)	112	25.1
4	派遣社員	8	1.8
5	契約社員・嘱託社員	19	4.3
6	自営業主・自由業者	22	4.9
7	家族従業者	17	3.8
8	回答なし	1	0.2
		計	448
88	非該当	102	
		計	549

「2 (イ) 常時雇用の一般従業者」の場合

B 役職

JBW2S0TL_W3 勤め先 01 (w2 調査時): 役職 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	役職なし	146	57.9
2	職長・班長・組長など	18	7.1
3	係長 (係長相当)	39	15.5
4	課長 (課長相当)	22	8.7
5	部長 (部長相当)	3	1.2
6	その他の役職 ()	23	9.1
7	回答なし	1	0.4
		計	252
8	非該当	297	
		計	549

C 仕事内容

JBW2S00C_W3 勤め先 01(w2 調査時):職種(前回有職の人)

コード		ケース数	%
501	自然科学系研究者	2	0.4
503	機械・電気・化学技術者	10	2.2
504	建築・土木技術者	3	0.7
506	情報処理技術者	7	1.6
508	医師	1	0.2
509	歯科医師	1	0.2
510	薬剤師	7	1.6
511	助産師 (助産婦)	2	0.4
512	保健師 (保健婦)	2	0.4
513	栄養士	1	0.2
514	看護師 (看護婦・看護師)	8	1.8
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	1	0.2
516	その他の保健医療従事者	14	3.1
520	幼稚園教員	2	0.4
521	小学校教員	6	1.3
522	中学校教員	4	0.9
523	高等学校教員	1	0.2
524	大学教員	2	0.4
526	その他の教員	1	0.2
527	宗教家	1	0.2
529	記者、編集者	1	0.2
531	デザイナー	3	0.7
534	俳優、舞踊家、演芸家 (個人に教授するものを除く)	1	0.2
536	獣医師	1	0.2
537	保育士 (保母、保父)	8	1.8
538	社会福祉事業専門職員	7	1.6
539	個人教師	7	1.6
541	経営コンサルタント	2	0.4
543	図書館司書	2	0.4
544	その他の専門的・技術的職業従事者	2	0.4
545	管理的公務員	1	0.2
550	会社・団体等の管理職員	3	0.7
554	総務・企画事務員	72	16.1
555	受付・案内事務員	11	2.5
556	出荷・受荷事務員	3	0.7
557	営業・販売事務員	14	3.1
558	その他の一般事務員	7	1.6
559	会計事務員	24	5.4
560	郵便・通信事務員	1	0.2
562	その他の外勤事務従事者	1	0.2
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	3	0.7
565	電子計算機等操作員	3	0.7
566	小売店主	1	0.2
568	飲食店主	1	0.2
569	販売店員	23	5.1
570	行商人、呼売人、露天商	1	0.2
573	外交員 (保険、不動産を除く)	10	2.2
574	保険代理人・外交員	7	1.6
575	不動産仲買人・売買人	2	0.4
577	その他の販売類似職業従事者	1	0.2
579	理容師、美容師	2	0.4
580	クリーニング職、洗張職	1	0.2
581	料理人	6	1.3
583	給仕係	10	2.2
592	その他のサービス職業従事者	1	0.2

595	消防員	1	0.2	
596	看守、守衛、監視員	1	0.2	
599	農耕・養蚕作業	1	0.2	
600	植木職、造園師	1	0.2	
604	漁業作業	1	0.2	
606	電車・機関車運転士	1	0.2	
607	自動車運転者	6	1.3	
614	その他の運輸従事者	2	0.4	
626	その他の窯業・土石製品製造作業	2	0.4	
629	化学製品製造作業	2	0.4	
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業	4	0.9	
631	鉄工、板金工	1	0.2	
633	一般機械組立工・修理工	16	3.6	
634	電気機械器具組立工・修理工	1	0.2	
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	5	1.1	
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲料品製造作業	10	2.2	
652	縫製工、裁断工	3	0.7	
653	製材工、木工	1	0.2	
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業	1	0.2	
658	印刷・製本作業	2	0.4	
659	ゴム・プラスチック製品製造作業	1	0.2	
660	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業	1	0.2	
661	塗装工、画工、看板工	4	0.9	
670	製図工、現図工	1	0.2	
672	その他の技能工・生産工程作業	7	1.6	
674	起重機・建設機械運転作業	1	0.2	
675	その他の定置機関運転作業	2	0.4	
676	発電員、変電員	1	0.2	
677	電気工事・電話工事作業	2	0.4	
678	土木・建築請負師	1	0.2	
680	れんが積工、配管工	1	0.2	
682	土工、道路工夫	1	0.2	
684	現場監督、その他の建設作業	8	1.8	
685	倉庫夫、仲仕	4	0.9	
686	運搬労働者	1	0.2	
687	清掃員	2	0.4	
701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー	1	0.2	
702	大工	3	0.7	
703	教員	3	0.7	
801	介護員、ヘルパー	10	2.2	
802	その他の医療・福祉サービス職従事者	9	2.0	
999	無回答	2	0.4	
		計	447	100.0
998	非該当		102	
		計	549	

問 20 に「1 (ア) その勤め先の中で、変化あり」の場合
 [前回調査時点での勤め先での「働き方」「役職」「仕事内容」の変化 1]
 JBW2S1_W3 勤め先 01 (w2 調査時): 変化 1: 有無 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	あり	99	100.0
		計	99
8	非該当	450	
		計	549

A 働き方 (従業上の地位)

JBW2S1TP_W3 勤め先 01 (w2 調査時): 変化 1: 就労形態 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 経営者・役員	4	4.0
2	(イ) 常時雇用の一般従業者	86	86.9
3	(ウ) 臨時雇用 (パート・アルバイト・内職)	6	6.1
4	(エ) 派遣社員	0	0.0
5	(オ) 契約社員・嘱託社員	2	2.0
6	(カ) 自営業主・自由業者	1	1.0
7	(キ) 家族従業者	0	0.0
8	わからない	0	0.0
99	無回答	0	0.0
		計	99
88	非該当	450	100.0
		計	549

「2 (イ) 常時雇用の一般従業者」の場合

B 役職

JBW2S1TL_W3 勤め先 01 (w2 調査時): 変化 1: 役職 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	16	18.6
2	(イ) 職長・班長・組長など	14	16.3
3	(ウ) 係長 (係長相当)	23	26.7
4	(エ) 課長 (課長相当)	17	19.8
5	(オ) 部長 (部長相当)	11	12.8
6	(カ) その他の役職 ()	5	5.8
7	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
		計	86
8	非該当	463	100.0
		計	549

C 仕事内容

JBW2S1OC_W3 勤め先 01 (w2 調査時): 変化 1: 職種 (前回有職の人)

コード		ケース数	%
503	機械・電気・化学技術者	5	5.1
504	建築・土木技術者	4	4.0
505	農林技術者	1	1.0
506	情報処理技術者	1	1.0
510	薬剤師	2	2.0
514	看護師 (看護婦・看護師)	1	1.0
516	その他保険医療従事者	1	1.0
520	幼稚園教員	1	1.0
522	中学校教員	1	1.0
523	高等学校教員	1	1.0
524	大学教員	1	1.0
526	その他の教員	2	2.0
529	記者・編集者	1	1.0
537	保育士 (保母、保父)	1	1.0
538	社会福祉事業専門職員	3	3.0
539	個人教師	2	2.0
548	会社役員	3	3.0
550	会社・団体等の管理職員	1	1.0
553	その他の管理的職業従事者	3	3.0
554	総務・企画事務員	19	19.2
556	出荷・受荷事務員	1	1.0
557	営業・販売事務員	5	5.1
559	会計事務員	6	6.1
565	電子計算機等操作員	2	2.0
568	飲食店主	1	1.0

569	販売店員	4	4.0	
573	外交員（保険、不動産を除く）	8	8.1	
577	その他の販売類似職業従事者	1	1.0	
595	消防員	1	1.0	
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業	1	1.0	
633	一般機械組立工・修理工	3	3.0	
634	電気機械器具組立工・修理工	2	2.0	
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造業者	1	1.0	
651	洋服・和服仕立職	1	1.0	
661	塗装工、画工、看板工	1	1.0	
670	製図工、現図工	1	1.0	
678	土木・建築請負師	2	2.0	
687	清掃員	1	1.0	
801	介護員、ヘルパー	2	2.0	
802	その他の医療・福祉サービス職従事者	1	1.0	
999	無回答	0	0.0	
		計	99	100.0
998	非該当	450		
		計	549	

D 変化の時期

JBW2S1Y_W3 勤め先 01(w2 調査時):変化 1:年(前回有職の人)

コード		ケース数	%	
実数記入	有効回答者数	97	98.0	
9999	無回答	2	2.0	
		計	99	100.0
8888	非該当	450		
		計	549	

JBW2S1M_W3 勤め先 01(w2 調査時):変化 1:月(前回有職の人)

コード		ケース数	%	
実数記入	有効回答者数	96	97.0	
99	無回答	3	3.0	
		計	99	100.0
88	非該当	450		
		計	549	

[前回調査時点での勤め先での「働き方」「役職」「仕事内容」の変化 2]

JBW2S2_W3 勤め先 01(w2 調査時):変化 2:有無(前回有職の人)

この変数の単純集計は記載していません。

A 働き方 (従業上の地位)

JBW2S2TP_W3 勤め先 01(w2 調査時):変化 2:就労形態(前回有職の人)

この変数の単純集計は記載していません。

B 役職

JBW2S2TL_W3 勤め先 01(w2 調査時):変化 2:役職(前回有職の人)

この変数の単純集計は記載していません。

C 仕事内容

JBW2S2OC_W3 勤め先 01(w2 調査時):変化 2:職種(前回有職の人)

この変数の単純集計は記載していません。

D 変化の時期

JBW2S2Y_W3 勤め先 01(w2 調査時):変化 2:年(前回有職の人)

JBW2S2M_W3 勤め先 01(w2 調査時):変化 2:月(前回有職の人)

これら変数の単純集計は記載していません。

【調査員確認設問 B】問 17-1 の回答と問 18-1 の「勤め先 2」の回答結果より調査員が判断して記入
CONFQB_W3 調査員確認設問B:勤め先(w2 調査以降):変化

コード		ケース数	%
1	前回の調査時点から現在まで同じ勤め先	309	69.1
2	現在、有職か無職かにかかわらず、前回の調査時点から勤め先が変わった(変わっている)	126	28.2
3	前回の調査後、前回調査時点の仕事を辞めて、現在まで仕事に就いていない	12	2.7
		計	447
8	非該当	102	100.0
		計	549

「2 現在、有職か無職かにかかわらず、前回の調査時点から勤め先が変わった(変わっている)」の場合
(前回の調査時点から勤め先が変わっている人)
続いて、前回の調査時点以降、2番目のお仕事についておうかがいします。2番目のお勤め先が現在の主なお勤め先である方には、先ほどおうかがった内容に加え、その職場での働き方の変化についておうかがいます。

勤め先 2

[2番目の勤め先での働き始め]

問 20-2A [回答票 22] その働き始めたころのあなたは、この中のどれにあたりますか。

A 働き方(従業上の地位)

JBW202S0TP_W3 勤め先 02(w2 調査以降):働き始め:就労形態(前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 経営者・役員	1	0.8
2	(イ) 常時雇用の一般従業者	51	40.5
3	(ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職)	57	45.2
4	(エ) 派遣社員	3	2.4
5	(オ) 契約社員・嘱託社員	8	6.3
6	(カ) 自営業主・自由業者	2	1.6
7	(キ) 家族従業者	4	3.2
8	わからない	0	0.0
99	無回答	0	0.0
		計	126
88	非該当	423	100.0
		計	549

問 20-2B (常時雇用の一般従業者のみ) [回答票 22] 最初のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

B 役職

JBW202S0TL_W3 勤め先 02(w2 調査以降):働き始め:役職(前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	48	94.1
2	(イ) 職長・班長・組長など	1	2.0
3	(ウ) 係長(係長相当)	1	2.0
4	(エ) 課長(課長相当)	1	2.0
5	(オ) 部長(部長相当)	0	0.0
6	(カ) その他の役職()	0	0.0
7	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
		計	51
8	非該当	498	100.0
		計	549

問 20-2C あなたは、そこで最初どのような仕事をしていましたか。具体的にお聞かせください。

C 仕事内容

JBW202S00C_W3 勤め先 02 (w2 調査以降): 働き始め: 職種 (前回有職の人)

コード		ケース数	%	
510	薬剤師	2	1.6	
513	栄養士	1	0.8	
514	看護師 (看護婦・看護師)	3	2.4	
516	その他の保健医療従事者	7	5.6	
521	小学校教員	2	1.6	
522	中学校教員	2	1.6	
526	その他の教員	2	1.6	
536	獣医師	1	0.8	
537	保育士 (保母、保父)	4	3.2	
538	社会福祉事業専門職員	2	1.6	
539	個人教師	2	1.6	
548	会社役員	1	0.8	
554	総務・企画事務員	12	9.5	
555	受付・案内事務員	8	6.3	
556	出荷・受荷事務員	2	1.6	
557	営業・販売事務員	2	1.6	
558	その他の一般事務員	4	3.2	
559	会計事務員	5	4.0	
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	1	0.8	
569	販売店員	8	6.3	
580	クリーニング職、洗張職	1	0.8	
581	料理人	4	3.2	
583	給仕係	3	2.4	
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	2	1.6	
596	看守、守衛、監視員	1	0.8	
599	農耕・養蚕作業	2	1.6	
600	植木職、造園師	1	0.8	
607	自動車運転者	3	2.4	
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	1	0.8	
632	金属溶接工	1	0.8	
633	一般機械組立工・修理工	1	0.8	
634	電気機械器具組立工・修理工	2	1.6	
635	自動車組立工・整備工	1	0.8	
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	1	0.8	
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造業者	3	2.4	
652	縫製工、裁断工	1	0.8	
653	製材工、木工	1	0.8	
670	製図工、現図工	1	0.8	
672	その他の技能工・生産工程作業	3	2.4	
682	土工、道路工夫	1	0.8	
685	倉庫夫、仲仕	6	4.8	
686	運搬労務者	1	0.8	
687	清掃員	2	1.6	
688	その他の労務作業	1	0.8	
701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー	1	0.8	
801	介護員、ヘルパー	5	4.0	
802	その他の医療・福祉サービス職従事者	4	3.2	
999	無回答	1	0.8	
		計	126	100.0
998	非該当		423	
		計	549	

[変化1][変化2]

問 20-2D その後、そのお勤め先の中で、「働き方」や「役職」「仕事内容」が変わったことはありましたか。
 あれば、いつ、どのように変化したかを、早いものから順に教えてください。

JBW202S(1-2)W3 勤め先 02(w2 調査以降):変化(1-2):有無(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

A 働き方(従業上の地位)

JBW202S(1-2)TP_W3 勤め先 02(w2 調査以降):変化(1-2):就労形態(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

B 役職

JBW202S(1-2)TL_W3 勤め先 02(w2 調査以降):変化(1-2):役職(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

C 仕事内容

JBW202S(1-2)OC_W3 勤め先 02(w2 調査以降):変化(1-2):職種(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

D 変化の時期

JBW202S(1-2)Y_W3 勤め先 02(w2 調査以降):変化(1-2):年(前回有職の人)

JBW202S(1-2)M_W3 勤め先 02(w2 調査以降):変化(1-2):月(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

(2番目の勤め先が現在の主な勤め先ではない人にものみ)

問 20-2E そのお勤め先はどのような事業をしていましたか。具体的にお聞かせください。

JOBW202WPL_W3 勤め先 02(w2 調査以降):業種(前回有職の人)

コード		ケース数	%
50	建設業	1	2.9
60	製造業	8	22.9
81	運輸業	2	5.7
92	小売業	4	11.4
100	金融・保険業	1	2.9
122	広告業	1	2.9
140	医療・福祉サービス業	6	17.1
150	教育・研究サービス業	3	8.6
171	その他のサービス業	6	17.1
172	学習塾・教養技能・スポーツ施設	1	2.9
180	公務	1	2.9
999	無回答	1	2.9
	計	35	100.0
998	非該当	514	
	計	549	

問 20-2F [回答票 23] 同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。会社・組織全体でお答えください。

JOBW202SZ_W3 勤め先 02 (w2 調査以降): 企業規模 (前回有職の人)

コード		ケース数	%	
1	(ア) 1 人	0	0.0	
2	(イ) 2～4 人	1	2.9	
3	(ウ) 5～9 人	2	5.7	
4	(エ) 10～29 人	3	8.6	
5	(オ) 30～99 人	6	17.1	
6	(カ) 100～299 人	3	8.6	
7	(キ) 300～499 人	2	5.7	
8	(ク) 500～999 人	1	2.9	
9	(ケ) 1,000～1,999 人	2	5.7	
10	(コ) 2,000～9,999 人	1	2.9	
11	(サ) 1 万人以上	2	5.7	
12	(シ) 官公庁	4	11.4	
13	わからない	7	20.0	
99	無回答	1	2.9	
		計	35	100.0
88	非該当		514	
		計	549	

勤め先 3

[3 番目の勤め先での働き始め]

問 20-3A [回答票 22] そこで働き始めたころのあなたは、この中のどれにあたりますか。

A 働き方 (従業上の地位)

JBW203S0TP_W3 勤め先 03 (w2 調査以降): 働き始め: 就労形態 (前回有職の人)

コード		ケース数	%	
1	(ア) 経営者・役員	0	0.0	
2	(イ) 常時雇用の一般従業者	9	28.1	
3	(ウ) 臨時雇用 (パート・アルバイト・内職)	14	43.8	
4	(エ) 派遣社員	4	12.5	
5	(オ) 契約社員・嘱託社員	3	9.4	
6	(カ) 自営業主・自由業者	2	6.3	
7	(キ) 家族従業者	0	0.0	
8	わからない	0	0.0	
99	無回答	0	0.0	
		計	32	100.0
88	非該当		517	
		計	549	

問 20-3B (常時雇用の一般従業者のみ) [回答票 22] 最初のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

B 役職

JBW203S0TL_W3 勤め先 03 (w2 調査以降): 働き始め: 役職 (前回有職の人)

コード		ケース数	%	
1	(ア) 役職なし	9	100.0	
2	(イ) 職長・班長・組長など	0	0.0	
3	(ウ) 係長 (係長相当)	0	0.0	
4	(エ) 課長 (課長相当)	0	0.0	
5	(オ) 部長 (部長相当)	0	0.0	
6	(カ) その他の役職 ()	0	0.0	
7	わからない	0	0.0	
9	無回答	0	0.0	
		計	9	100.0
8	非該当		540	
		計	549	

問 20-3C あなたは、そこで最初どのような仕事をしていましたか。具体的にお聞かせください。

C 仕事内容

JBW203S00C_W3 勤め先 03(w2 調査以降):働き始め:職種(前回有職の人)

コード		ケース数	%	
511	助産師(助産婦)	1	3.1	
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	1	3.1	
537	保育士(保母、保父)	1	3.1	
539	個人教師	2	6.3	
542	アナウンサー(ラジオ・テレビ)	1	3.1	
554	総務・企画事務員	3	9.4	
555	受付・案内事務員	2	6.3	
557	営業・販売事務員	2	6.3	
558	その他の一般事務員	1	3.1	
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	1	3.1	
581	料理人	1	3.1	
583	給仕係	1	3.1	
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	1	3.1	
600	植木職、造園師	1	3.1	
607	自動車運転者	1	3.1	
618	郵便・電報外務員	1	3.1	
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	1	3.1	
634	電気機械器具組立工・修理工	2	6.3	
635	自動車組立工・整備工	1	3.1	
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業者	1	3.1	
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者	1	3.1	
685	倉庫夫、仲仕	1	3.1	
687	清掃員	1	3.1	
688	その他の労務作業者	1	3.1	
801	介護員、ヘルパー	1	3.1	
802	その他の医療・福祉サービス職従事者	1	3.1	
		計	32	100.0
998	非該当		517	
		計	549	

[変化1][変化2]

問 20-3D その後、そのお勤め先の中で、「働き方」や「役職」「仕事内容」が変わったことはありましたか。

あれば、いつ、どのように変化したかを、早いものから順に教えてください。

JBW203S(1-2)_W3 勤め先 03(w2 調査以降):変化(1-2):有無(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

A 働き方(従業上の地位)

JBW203S(1-2)TP_W3 勤め先 03(w2 調査以降):変化(1-2):就労形態(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

B 役職

JBW203S(1-2)TL_W3 勤め先 03(w2 調査以降):変化(1-2):役職(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

C 仕事内容

JBW203S(1-2)OC_W3 勤め先 03(w2 調査以降):変化(1-2):職種(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

D 変化の時期

JBW203S(1-2)Y_W3 勤め先 03(w2 調査以降):変化(1-2):年(前回有職の人)

JBW203S(1-2)M_W3 勤め先 03(w2 調査以降):変化(1-2):月(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

(3番目の勤め先が現在の主な勤め先ではない人にも)

問 20-3E そのお勤め先はどのような事業をしていましたか。具体的にお聞かせください。

JOBW203WPL_W3 勤め先 03(w2 調査以降):業種(前回有職の人)

コード		ケース数	%
60	製造業	2	20.0
92	小売業	1	10.0
93	飲食店	1	10.0
100	金融・保険業	1	10.0
140	医療・福祉サービス業	2	20.0
150	教育・研究サービス業	1	10.0
160	法律・会計サービス業	1	10.0
171	その他のサービス業	1	10.0
999	無回答	0	0.0
		計	10
998	非該当	539	
		計	549

問 20-3F [回答票 23] 同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。会社・組織全体でお答えください。

JOBW203SZ_W3 勤め先 03(w2 調査以降):企業規模(前回有職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 1人	0	0.0
2	(イ) 2~4人	1	10.0
3	(ウ) 5~9人	1	10.0
4	(エ) 10~29人	3	30.0
5	(オ) 30~99人	1	10.0
6	(カ) 100~299人	0	0.0
7	(キ) 300~499人	0	0.0
8	(ク) 500~999人	0	0.0
9	(ケ) 1,000~1,999人	0	0.0
10	(コ) 2,000~9,999人	1	10.0
11	(サ) 1万人以上	0	0.0
12	(シ) 官公庁	1	10.0
13	わからない	2	20.0
99	無回答	0	0.0
		計	10
88	非該当	539	
		計	549

勤め先 4~勤め先 6

[4~6番目の勤め先での働き始め]

A 働き方(従業上の地位)

JBW2[04-06]S0TP_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降):働き始め:就労形態(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

B 役職

JBW2[04-06]S0TL_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降):働き始め:役職(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

C 仕事内容

JBW2[04-06]S0OC_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降):働き始め:職種(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

[変化1][変化2]

JBW2[04-06]S(1-2)_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降):変化(1-2):有無(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

A 働き方(従業上の地位)

JBW2[04-06]S(1-2)_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降):変化(1-2):就労形態(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

B 役職

JBW2[04-06]S(1-2)_TL_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降):変化(1-2):役職(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

C 仕事内容

JBW2[04-06]S(1-2)_OC_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降):変化(1-2):職種(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

D 変化の時期

JBW2[04-06]S(1-2)_Y_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降):変化(1-2):年(前回有職の人)

JBW2[04-06]S(1-2)_M_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降):変化(1-2):月(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

(4~6番目の勤め先が現在の主な勤め先ではない人にも)

JOBW2[04-06]WPL_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降):業種(前回有職の人)

JOBW2[04-06]SZ_W3 勤め先[04-06](w2 調査以降):企業規模(前回有職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

(前回の調査時点で無職だった方のみに)

問 21-1 前回の調査時点(2013年2~3月)では、収入をとまなう仕事をなさっていませんでしたが、その後、収入をとまなうお仕事に就かれたことはありますか。

NJB01_W3 勤め先 01(w2 調査以降):有無(前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	仕事に就いたことがある	82	80.4
2	仕事に就いていない	20	19.6
	計	102	100.0
8	非該当	447	
	計	549	

「1 仕事に就いたことがある」の場合

勤め先 1

問 21-2 [回答票 24] そのお勤め先で働き始めたのはいつですか。

NJB01STY_W3 勤め先 01(w2 調査以降):開始年(前回無職の人)

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答数	82	100.0
9999	無回答	0	0.0
	計	82	100.0
8888	非該当	467	
	計	549	

NJB01STM_W3 勤め先 01(w2 調査以降):開始月(前回無職の人)

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答数	81	98.8
99	無回答	1	1.2
	計	82	100.0
88	非該当	467	
	計	549	

問 21-3 [回答票 24] そのお勤め先は、今でも続けていますか。合併や吸収などで、所属組織が変化した場合や、派遣先が変わった場合は、勤め先が変わったとしてお答えください。派遣会社に登録されていた場合は、実際にお仕事をした期間をお答えください。お勤め先が変わった場合は、いつ変わりましたか。

NJB01ONG_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 継続の有無 (前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	___年___月まで	32	39.0
2	現在まで	50	61.0
9	無回答	0	0.0
		計	82
8	非該当	467	
		計	549

「1 ___年___月まで」の場合

NJB01ENY_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 終了年 (前回無職の人)

コード	実数記入	有効回答数	ケース数	%
	9999	無回答	0	0.0
			計	32
8888	非該当		517	
			計	549

NJB01ENM_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 終了月 (前回無職の人)

コード	実数記入	有効回答数	ケース数	%
	99	無回答	0	0.0
			計	32
88	非該当		517	
			計	549

問 21-4 (続けていない場合) やめられたのは、自己都合でしょうか、会社都合でしょうか。

NJB01WYQT_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 続けていない理由 (前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 自己都合	23	71.9
2	(イ) 会社都合	5	15.6
3	(ウ) その他	1	3.1
9	無回答	3	9.4
		計	32
8	非該当	517	
		計	549

問 21-5 [回答票 24] そのお勤め先で働いている間に、別の副業をしていたことがありますか。あれば、この中からあてはまる副業をすべて選んでください。

NJB01SJNO_W3~NJB01SJOT_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 副業

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
8	非該当		
9	無回答		
多重回答			
NJB01SJNO_W3	1 (ア) 副業はなし	65	79.3
NJB01SJDP_W3	2 (イ) 派遣の仕事	2	2.4
NJB01SJPT_W3	3 (ウ) パート・アルバイト	6	7.3
NJB01SJFB_W3	4 (エ) 家業の手伝い(実家を含む)	6	7.3
NJB01SJOT_W3	5 (オ) その他 ()	1	1.2
		該当者数	82
			100.0

問 21-6 そのお勤め先は、以前にも勤めたことがありますか。

NJB01PREV_W3 勤め先 01 (w2 調査以降):元の勤め先(前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	はい	5	6.1
2	いいえ	74	90.2
9	無回答	3	3.7
		計	82
8	非該当	467	100.0
		計	549

勤め先 2～勤め先 5

- NJB[02-05]_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):有無(前回無職の人)
 - NJB[02-05]STY_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):開始年(前回無職の人)
 - NJB[02-05]STM_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):開始月(前回無職の人)
 - NJB[02-05]ONG_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):継続の有無(前回無職の人)
 - NJB[02-05]ENY_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):終了年(前回無職の人)
 - NJB[02-05]ENM_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):終了月(前回無職の人)
 - NJB[02-05]WYQT_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):続けていない理由(前回無職の人)
 - NJB[02-05]SJNO_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):副業:なし(前回無職の人)
 - NJB[02-05]SJDP_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):副業:派遣(前回無職の人)
 - NJB[02-05]SJPT_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):副業:パート(前回無職の人)
 - NJB[02-05]SJFB_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):副業:家業(前回無職の人)
 - NJB[02-05]SJOT_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):副業:その他(前回無職の人)
 - NJB[02-05]PREV_W3 勤め先[02-05](w2 調査以降):元の勤め先(前回無職の人)
- これらの変数の単純集計は記載していません。

問 21 で、前回の調査以降、働いていたが主な勤め先が決められない期間がある場合
短期の派遣の仕事やアルバイトなど、短い仕事(およそ3か月未満)ばかりを次々に行なっており、主な仕事が
決められない期間

1回目～2回目

(1) 短い仕事ばかりを次々に行なっていた期間

NMJA[01-02]_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降):有無(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	はい
2	いいえ
8	非該当

NMJA[01-02]ONG_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降):継続の有無(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	____年____月まで
2	現在まで
8	非該当
9	無回答

NMJA[01-02]STY_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降):開始年(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
8888	非該当
9999	無回答

NMJA[01-02]STM_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 開始月(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

NMJA[01-02]ENY_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 終了年(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
8888	非該当
9999	無回答

NMJA[01-02]ENM_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 終了月(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

(2) その期間の働き方 (あてはまるものすべてに○)

NMJA[01-02]DP_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 就労形態: 派遣(前回無職の人)

NMJA[01-02]PT_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 就労形態: パート・アルバイト(前回無職の人)

NMJA[01-02]FB_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 就労形態: 家業(前回無職の人)

NMJA[01-02]OT_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 就労形態: その他(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

(3) その期間の仕事内容 (あてはまるものすべてに○)

NMJA[01-02]OCL_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 事務(前回無職の人)

NMJA[01-02]OSV_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: サービス(前回無職の人)

NMJA[01-02]OSL_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 営業(前回無職の人)

NMJA[01-02]OFY_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 工場・倉庫内作業(前回無職の人)

NMJA[01-02]OCR_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 建設作業(前回無職の人)

NMJA[01-02]OTP_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 運搬(前回無職の人)

NMJA[01-02]OSG_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 警備(前回無職の人)

NMJA[01-02]OWF_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: 福祉関係の専門職(前回無職の人)

NMJA[01-02]OIT_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: IT関係の専門職(前回無職の人)

NMJA[01-02]OOT_W3 主な勤め先が決められない期間[01-02](w2 調査以降): 職種: その他(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

問 21-1 に「1 仕事に就いたことがある」の場合

問 22 では、前回の調査から現在に至るまでのあいだで、収入をとまなう仕事をまったくされていなかった期間は、次のとおりですね。

無職期間 1 回目～無職期間 4 回目

UNENA01_W3 無職期間 01 (w2 調査以降) : 有無 (前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	あり	78	96.3
2	なし	3	3.7
		計	81
8	非該当	468	100.0
		計	549

UNENA02_W3 無職期間 02 (w2 調査以降) : 有無 (前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	あり	24	29.6
2	なし	57	70.4
		計	81
8	非該当	468	100.0
		計	549

UNENA03_W3 無職期間 03 (w2 調査以降) : 有無 (前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	あり	4	4.9
2	なし	77	95.1
		計	81
8	非該当	468	100.0
		計	549

UNENA04_W3 無職期間 04 (w2 調査以降) : 有無 (前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	あり	0	0.0
2	なし	81	100.0
8	非該当	468	
		計	549

UNENA[01-04]STY_W3 無職期間[01-04] (w2 調査以降) : 開始年 (前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
8888	非該当
9999	無回答

UNENA[01-04]STM_W3 無職期間[01-04] (w2 調査以降) : 開始月 (前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

UNENA[01-04]ONG_W3 無職期間[01-04](w2 調査以降): 継続の有無(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	____年____月まで
2	現在まで
8	非該当
9	無回答

UNENA[01-04]ENY_W3 無職期間[01-04](w2 調査以降): 終了年(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
8888	非該当
9999	無回答

UNENA[01-04]ENM_W3 無職期間[01-04](w2 調査以降): 終了月(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

では、前回の調査以降のお仕事について順に少し詳しくおうかがいします。同じ時期に複数の仕事をしていた場合には、その時期の主な仕事1つについてお答えください。最初のお勤め先についてうかがいます。(前回の調査時点で無職だったが調査後に仕事についたことのある人が、問21で回答した「勤め先1」「勤め先2」・・・について順に尋ねていく。)

勤め先1

[最初の勤め先での働き始め]

問23-1A [回答票25] そこで働き始めたころのあなたは、この中のどれにあたりますか。

A 働き方(従業上の地位)

NJB01S0TP_W3 勤め先01(w2 調査以降): 働き始め: 就労形態(前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 経営者・役員	2	2.4
2	(イ) 常時雇用の一般従業者	5	6.1
3	(ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職)	58	70.7
4	(エ) 派遣社員	6	7.3
5	(オ) 契約社員・嘱託社員	2	2.4
6	(カ) 自営業主・自由業者	4	4.9
7	(キ) 家族従業者	4	4.9
8	わからない	1	1.2
99	無回答	0	0.0
		計	82
88	非該当	467	
		計	549

問 23-1B (常時雇用の一般従業者のみ) [回答票 25] 最初のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

B 役職

NJB01S0TL_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 働き始め: 役職 (前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	5	100.0
2	(イ) 職長・班長・組長など	0	0.0
3	(ウ) 係長 (係長相当)	0	0.0
4	(エ) 課長 (課長相当)	0	0.0
5	(オ) 部長 (部長相当)	0	0.0
6	(カ) その他の役職 ()	0	0.0
7	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
		計	5
8	非該当	544	
		計	549

問 23-1C あなたは、そこで最初どのような仕事をしていましたか。具体的にお聞かせください。

C 仕事内容

NJB01S00C_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 働き始め: 職種 (前回無職の人)

コード		ケース数	%
514	看護師 (看護婦・看護師)	5	6.2
516	その他の保健医療従事者	1	1.2
554	総務・企画事務員	9	11.1
555	受付・案内事務員	2	2.5
557	営業・販売事務員	2	2.5
558	その他の一般事務員	1	1.2
559	会計事務員	4	4.9
562	その他の外勤事務従事者	1	1.2
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	1	1.2
569	販売店員	8	9.9
570	行商人、呼売人、露天商	1	1.2
574	保険代理人・外交員	1	1.2
581	料理人	3	3.7
583	給仕係	2	2.5
586	娯楽場等の接客員	1	1.2
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	5	6.2
600	植木職、造園師	1	1.2
607	自動車運転者	2	2.5
634	電気機械器具組立工・修理工	1	1.2
635	自動車組立工・整備工	1	1.2
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	2	2.5
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲料品製造業者	7	8.6
672	その他の技能工・生産工程業者	7	8.6
685	倉庫夫、仲仕	3	3.7
686	運搬労働者	1	1.2
687	清掃員	4	4.9
801	介護員、ヘルパー	2	2.5
802	その他の医療・福祉サービス職従事者	1	1.2
999	無回答	2	2.5
		計	81
998	非該当	468	
		計	549

[変化1][変化2]

問 23-1D その後、そのお勤め先の中で、「働き方」や「役職」「仕事内容」が変わったことはありましたか。あれば、いつ、どのように変化したかを、早いものから順に教えてください。

NJB01S(1-2)_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 変化(1-2): 有無(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

A 働き方(従業上の地位)

NJB01S(1-2)TP_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 変化(1-2): 就労形態(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

B 役職

NJB01S(1-2)TL_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 変化(1-2): 役職(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

C 仕事内容

NJB01S(1-2)OC_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 変化(1-2): 職種(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

D 変化の時期

NJB01S(1-2)Y_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 変化(1-2): 年(前回無職の人)

NJB01S(1-2)M_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 変化(1-2): 月(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

(前回の調査以降に働き始めた勤め先が現在の主な勤め先ではない人のみ)

問 23-1E そのお勤め先はどのような事業をしていましたか。具体的にお聞かせください。

NJOB01WPL_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 業種(前回無職の人)

コード		ケース数	%
60	製造業	6	18.8
91	卸売業	1	3.1
92	小売業	8	25.0
93	飲食店	5	15.6
110	不動産業	1	3.1
121	新聞・放送・出版業、映画制作業	1	3.1
140	医療・福祉サービス業	5	15.6
150	教育・研究サービス業	3	9.4
171	その他のサービス業	2	6.3
999	無回答	0	0.0
		計	32
998	非該当	517	100.0
		計	549

問 23-1F [回答票 26] 同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。会社・組織全体でお答えください。

NJOB01SZ_W3 勤め先 01 (w2 調査以降): 企業規模 (前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 1 人	0	0.0
2	(イ) 2～4 人	0	0.0
3	(ウ) 5～9 人	1	3.1
4	(エ) 10～29 人	7	21.9
5	(オ) 30～99 人	6	18.8
6	(カ) 100～299 人	5	15.6
7	(キ) 300～499 人	2	6.3
8	(ク) 500～999 人	0	0.0
9	(ケ) 1,000～1,999 人	0	0.0
10	(コ) 2,000～9,999 人	1	3.1
11	(サ) 1 万人以上	2	6.3
12	(シ) 官公庁	1	3.1
13	わからない	5	15.6
99	無回答	2	6.3
		計	32
88	非該当		100.0
		計	517
		計	549

勤め先 2

[2 番目の勤め先での働き始め]

問 23-2A [回答票 25] そこで働き始めたころのあなたは、この中のどれにあたりますか。

A 働き方 (従業上の地位)

NJB02S0TP_W3 勤め先 02 (w2 調査以降): 働き始め: 就労形態 (前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 経営者・役員	0	0.0
2	(イ) 常時雇用の一般従業者	2	7.7
3	(ウ) 臨時雇用 (パート・アルバイト・内職)	22	84.6
4	(エ) 派遣社員	2	7.7
5	(オ) 契約社員・嘱託社員	0	0.0
6	(カ) 自営業主・自由業者	0	0.0
7	(キ) 家族従業者	0	0.0
8	わからない	0	0.0
99	無回答	0	0.0
		計	26
88	非該当		100.0
		計	523
		計	549

問 23-2B (常時雇用の一般従業者のみ) [回答票 25] 最初のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

B 役職

NJB02S0TL_W3 勤め先 02 (w2 調査以降): 働き始め: 役職 (前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	2	100.0
2	(イ) 職長・班長・組長など	0	0.0
3	(ウ) 係長 (係長相当)	0	0.0
4	(エ) 課長 (課長相当)	0	0.0
5	(オ) 部長 (部長相当)	0	0.0
6	(カ) その他の役職 ()	0	0.0
7	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
		計	2
8	非該当		100.0
		計	547
		計	549

問 23-2C あなたは、そこで最初どのような仕事をしていましたか。具体的にお聞かせください。

C 仕事内容

NJB02S00C_W3 勤め先 02(w2 調査以降):働き始め:職種(前回無職の人)

コード		ケース数	%
520	幼稚園教員	1	3.8
554	総務・企画事務員	4	15.4
555	受付・案内事務員	1	3.8
556	出荷・受荷事務員	1	3.8
559	会計事務員	2	7.7
563	運輸事務員	1	3.8
569	販売店員	2	7.7
581	料理人	1	3.8
583	給仕係	1	3.8
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	4	15.4
614	その他の運輸従事者	1	3.8
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業	2	7.7
672	その他の技能工・生産工程作業	3	11.5
801	介護員、ヘルパー	1	3.8
999	無回答	1	3.8
		計	26
998	非該当	523	100.0
		計	549

問 23-2D その後、そのお勤め先の中で、「働き方」や「役職」「仕事内容」が変わったことはありましたか。

あれば、いつ、どのように変化したかを、早いものから順に教えてください。

[変化1][変化2]

NJB02S(1-2)_W3 勤め先 02(w2 調査以降):変化(1-2):有無(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

A 働き方(従業上の地位)

NJB02S(1-2)TP_W3 勤め先 02(w2 調査以降):変化(1-2):就労形態(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

B 役職

NJB02S(1-2)TL_W3 勤め先 02(w2 調査以降):変化(1-2):役職(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

C 仕事内容

NJB02S(1-2)OC_W3 勤め先 02(w2 調査以降):変化(1-2):職種(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

D 変化の時期

NJB02S(1-2)Y_W3 勤め先 02(w2 調査以降):変化(1-2):年(前回無職の人)

NJB02S(1-2)M_W3 勤め先 02(w2 調査以降):変化(1-2):月(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

(2番目の勤め先が現在の主な勤め先ではない人のみ)

問 23-2E そのお勤め先はどのような事業をしていましたか。具体的にお聞かせください。

NJOB02WPL_W3 勤め先 02(w2 調査以降):業種(前回無職の人)

コード		ケース数	%
50	建設業	1	12.5
60	製造業	1	12.5
81	運輸業	1	12.5
92	小売業	2	25.0
93	飲食店	1	12.5
140	医療・福祉サービス業	1	12.5
171	その他のサービス業	1	12.5
999	無回答	0	0.0
		計	8
998	非該当	541	100.0
		計	549

問 23-2F [回答票 26] 同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。会社・組織全体でお答えください。

NJOB02SZ_W3 勤め先 02(w2 調査以降):企業規模(前回無職の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 1人	0	0.0
2	(イ) 2～4人	0	0.0
3	(ウ) 5～9人	1	12.5
4	(エ) 10～29人	2	25.0
5	(オ) 30～99人	1	12.5
6	(カ) 100～299人	1	12.5
7	(キ) 300～499人	0	0.0
8	(ク) 500～999人	1	12.5
9	(ケ) 1,000～1,999人	1	12.5
10	(コ) 2,000～9,999人	0	0.0
11	(サ) 1万人以上	1	12.5
12	(シ) 官公庁	0	0.0
13	わからない	0	0.0
99	無回答	0	0.0
		計	8
88	非該当	541	100.0
		計	549

勤め先 3～勤め先 5

[3～5番目の勤め先での働き始め]

A 働き方(従業上の地位)

NJB[03-05]S0TP_W3 勤め先[03-05](w2 調査以降):働き始め:就労形態(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

B 役職

NJB[03-05]S0TL_W3 勤め先[03-05](w2 調査以降):働き始め:役職(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

C 仕事内容

NJB[03-05]S0OC_W3 勤め先[03-05](w2 調査以降):働き始め:職種(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

[変化1][変化2]

NJB[03-05]S(1-2)W3 勤め先[03-05](w2 調査以降):変化(1-2):有無(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

A 働き方(従業上の地位)

NJB[03-05]S(1-2)TP_W3 勤め先[03-05](w2 調査以降):変化(1-2):就労形態(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

B 役職

NJB[03-05]S(1-2)TL_W3 勤め先[03-05](w2 調査以降):変化(1-2):役職(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

C 仕事内容

NJB[03-05]S(1-2)OC_W3 勤め先[03-05](w2 調査以降):変化(1-2):職種(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

D 変化の時期

NJB[03-05]S(1-2)Y_W3 勤め先[03-05](w2 調査以降):変化(1-2):年(前回無職の人)

NJB[03-05]S(1-2)M_W3 勤め先[03-05](w2 調査以降):変化(1-2):月(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

(3~5番目の勤め先が現在の主な勤め先ではない人のみ)

NJOB[03-05]WPL_W3 勤め先[03-05](w2 調査以降):業種(前回無職の人)

NJOB[03-05]SZ_W3 勤め先[03-05](w2 調査以降):企業規模(前回無職の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

問 24-1 あなたは、何か資格をお持ちですか。

QUAL_W3 資格の有無

コード		ケース数	%
1	持っている	378	68.9
2	持っていない	171	31.1
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

「1 持っている」の場合

問 24-2 [回答票 27] 現在の仕事にもっとも役立った資格の名称を1つだけ教えてください。あてはまるものがあれば番号でお答えください。あてはまるものがなければ具体的にお答えください。同じ種類の資格は、上級資格のみお答えください。なお、現在無職の方は「0」とお答えください。

問 24-3 その資格を取得した年齢を教えてください。

問 24-4 [回答票 28] その資格を取ったいきさつについて、もっともあてはまるものすべてを選んでください。

問 24-5 [回答票 29] その資格はどのように役立ちましたか。あてはまるものすべてを選んでください。

問 24-6 [回答票 30] その資格を取得する費用(学費やテキスト代、講習会の受講費用、資格試験の受験料などすべてを含む)は、主にどなたが負担されましたか。もっともあてはまるものを1つだけを選んでください。

問 24-6 [回答票 31] では、その資格を取得するのに、どれぐらい自己負担の費用がかかりましたか。もっともあてはまるものを1つだけを選んでください。

QLWTYPE_W3 資格:種類

この変数の単純集計は記載していません。

※資格の種類は、[回答票 27] (Ⅲ.2 参照) をもとにして、以下の資格コードに変換した。

資格コード表

コード	
1000	小学校教員免許
1001	小学校教諭一種(一級)免許状
1002	小学校教諭二種(二級)免許状
1010	中学校教員免許

1011	中学校教諭一種（一級）免許状
1012	中学校教諭二種（二級）免許状
1020	高等学校教員免許
1021	高等学校教諭専修（一級）免許状
1022	高等学校教諭一種（二級）免許状
1030	盲学校,聾学校及び養護学校（特別支援学校）教諭免許
1031	盲学校,聾学校及び養護学校（特別支援学校）教諭の一種（一級）免許状
1032	盲学校,聾学校及び養護学校（特別支援学校）教諭の二種（二級）免許状
1040	幼稚園教諭教員免許
1041	幼稚園教諭一種（一級）免許状
1042	幼稚園教諭二種（二級）免許状
1050	養護教諭免許状
1051	養護教諭一種免許状
1052	養護教諭二種免許状
1060	教員免許（分類不能を含む）
1061	小・中学校教員免許
1062	中・高校教員免許
1063	その他の複数教員免許
1064	学校図書館司書教諭
1071	学芸員・学芸員補
1072	司書・司書補
1073	社会教育主事
1079	その他の教育関係関連資格
1081	その他の教員（看護学校等）
1099	その他の教育関連資格
1101	医師
1102	薬剤師
1103	歯科医師
1111	歯科衛生士
1112	歯科技工士
1113	理学療法士
1114	作業療法士
1115	診療放射線技師
1116	臨床検査技師
1117	衛生検査技師
1118	救急救命士
1119	その他のコメディカル関連資格
1120	（看護婦）・看護師
1121	（正看護婦）・正看護師
1122	（准看護婦）・准看護師
1123	（助産婦）・助産師
1124	（保健婦）・保健師
1131	（保母）・保育士
1140	社会福祉従事者
1141	社会福祉士
1142	社会福祉主事
1143	精神保健福祉士
1144	介護支援専門員（ケアマネージャー）
1151	介護福祉士
1160	訪問介護員（ホームヘルパー）
1161	訪問介護員（ホームヘルパー）一級
1162	訪問介護員（ホームヘルパー）二級
1163	訪問介護員（ホームヘルパー）三級
1164	介護基礎研修修了
1171	移動介護従業者（ガイドヘルパー）
1181	あん摩マッサージ指圧師
1182	はり師
1183	きゆう師

1184	柔道整復師
1185	カイロプラクター・カイロプラティック
1186	歯科助手
1187	超音波検査士
1199	その他の医療・保健・社会福祉関連資格
1201	栄養士
1202	管理栄養士
1203	調理師
1204	ふぐ調理師
1205	製菓衛生師
1206	食品衛生管理者
1207	食品衛生責任者
1208	介護食士
1209	その他の食品・栄養関連資格
1211	理容師
1212	管理理容師
1213	美容師
1214	管理美容師
1215	認定エステティシャン（日本エステティック協会）
1219	その他の美容関連資格
1221	クリーニング師
1231	浄化槽管理士
1241	廃棄物処理施設技術管理者
1251	家畜人工授精師
1252	獣医師
1253	樹木医
1254	グリーンドクター
1255	専門技術員（農業、林業）
1256	農業機械士
1259	その他の農畜産関連資格
1261	トリマー
1299	その他の食品・衛生・農畜産関連資格
1301	司法試験（弁護士）
1311	司法書士
1321	行政書士
1331	防火管理者
1332	消防設備士（甲種、乙種）
1341	警備員指導教育責任者
1342	警備員検定（1級、2級）
1351	ビジネス実務法務検定試験
1399	その他の司法・警備・消防関連資格
1401	航空従事者（操縦士、航空士、整備士）
1411	海技従事者（海技士、航海士）
1412	小型船舶操縦士（1級、2級、特殊）
1420	自動車免許
1421	第1種普通自動車運転免許（普通免許）
1422	第1種大型自動車運転免許（大型免許）
1423	第1種大型特殊自動車運転免許（大型特殊免許）
1424	第1種自動二輪免許（大型二輪免許、普通二輪免許）
1425	牽引免許
1426	第2種（旅客）運転免許（大型第2種免許、普通第2種免許）
1427	大型特殊自動車第2種免許（大型特殊第2種）、牽引第2種免許
1428	原付運転免許証
1429	その他の自動車運転者関連資格
1431	動力車操縦者（鉄道の運転士）
1440	自動車整備士
1441	自動車整備士1級
1442	自動車整備士2級

1443	自動車整備士 3 級
1444	自動車検査員
1450	無線従事者
1451	無線通信士 (海上、航空、総合)
1452	陸上無線技術士 (1 級、2 級)
1453	特殊無線技士 (海上・航空・陸上)
1454	アマチュア無線技士 (第 1 級～第 4 級)
1455	電気通信の工事担任者 (アナログ、デジタル)
1460	運行管理者
1461	旅客自動車運送事業の運行管理者
1462	貨物自動車運送事業の運行管理者
1470	旅行業務取扱主任者試験
1471	旅行業務取扱主任者試験 (一般旅行業務)
1472	旅行業務取扱主任者試験 (国内旅行業務)
1473	通訳案内業
1481	電話交換手 (構内交換手)
1499	その他の運輸・通信関連資格
1501	公認会計士
1502	税理士
1503	通関士
1511	中小企業診断士
1521	社会保険労務士
1522	労務管理士
1523	JST (Jinjiin Supervisory Training) 講師
1531	生命保険一般課程試験 (生命保険募集人)、生命保険代理店
1532	生命保険大学課程試験 (トータル・ライフ・コンサルタント)
1533	損害保険募集人、損害保険代理店
1534	コンプライアンス・オフィサー認定試験
1535	証券外務員
1536	ファイナンシャルプランナー (AFP・CFP・FP)
1537	ファイナンシャルアドバイザー (FA)
1538	クレジッター (クレジット審査業務能力検定)
1539	その他の金融・保険営業関連資格
1541	医療事務技能者
1542	医療事務管理士 (医科、歯科)
1543	医療秘書技能検定 (1 級、準 1 級、2 級、3 級)
1544	建設業経理事務士 (1 級～4 級)
1545	事務専門士 (事務用機器操作部門、国内取引部門)
1546	ビジネス文書検定 (1 級～3 級)
1547	ビジネス能力検定 (B 検) (1 級～3 級)
1548	貿易実務検定
1549	その他の事務技能関連資格
1550	秘書
1551	秘書技能検定 (1 級、準 1 級、2 級、3 級)
1552	秘書能力検定 (全経) (1 級、2 級、3 級)
1553	秘書士
1560	簿記 (工業簿記、商業簿記)
1561	簿記検定 (日商、日本商工会議所)
1562	簿記能力検定 (全経、全国経理学校協会)
1563	簿記実務検定 (全商、全国商業高等学校協会)
1564	タイプ (和文、カナ、英文)
1565	日商簿記検定 1 級
1566	日商簿記検定 2 級
1567	日商簿記検定 3 級
1571	珠算 (珠算能力検定、珠算検定)
1572	暗算検定
1573	計算実務能力検定 (1 級～4 級)
1574	電卓技能検定、電卓計算能力検定試験 (全経)

1581	職業訓練指導員
1591	農業改良普及員
1592	販売士（1級～3級）
1593	速記技能検定（1級～6級）
1594	登録販売者
1599	その他の経理・事務・労務関連資格
1600	情報処理技術者
1601	第1種情報処理技術者
1602	第2種情報処理技術者
1603	システム監査技術者試験
1604	システムアナリスト試験
1605	プロジェクトマネージャ試験
1606	アプリケーションエンジニア試験
1607	テクニカルエンジニア
1608	テクニカルエンジニア（ネットワーク NW）
1609	テクニカルエンジニア（データベース DB）
1611	テクニカルエンジニア（システム管理 SM）
1612	テクニカルエンジニア（情報セキュリティ SV）
1613	テクニカルエンジニア（エンデベッドシステム ES）
1614	情報セキュリティアドミニストレータ（SU）
1615	システムアドミニストレータ
1616	上級システムアドミニストレータ試験（SD）
1617	初級システムアドミニストレータ試験（AD）
1618	ソフトウェア開発技術者試験（SW）
1619	基本情報技術者試験（FE）
1621	C言語プログラミング能力認定試験
1630	CAD
1631	CAD利用技術者試験
1632	CAD実務キャリア認定制度
1633	CADトレース技能審査
1634	DTPエキスパート
1640	画像処理
1641	マルチメディア技能検定（画像情報技能検定マルチメディア部門）
1642	CGエンジニア検定（画像情報技能検定CG部門）
1643	画像処理エンジニア検定
1651	データベース検索技術者
1660	ワープロ検定
1661	日本語文書処理技能検定（ワープロ技能検定）1～4級日商
1662	日商PC（文書作成）検定試験
1663	ワードプロセッサ技能認定試験1級～4級
1664	ワープロ実務検定
1665	文書処理能力検定
1670	コンピュータサービス技能評価試験
1671	ワープロ技士
1672	表計算技士
1673	情報処理活用能力検定（J検）
1674	情報検定（情報活用試験）
1675	情報検定（情報システム試験）
1676	情報検定（情報デザイン試験）
1677	情報処理検定
1678	ワード文書処理技能認定試験
1679	エクセル表計算処理技能認定試験
1681	マイクロソフト・オフィス・ユーザ・スペシャリスト（MOUS）
1682	マイクロソフト認定システムエンジニア（MCSE）
1683	マイクロソフト認定プロフェッショナル（MCP）
1684	シスコ技術者認定（CCNA等）
1685	オラクルマスター
1686	ドットコムマスター

1689	その他のベンダー資格
1691	パソコン検定 (P 検)
1692	コンピュータ利用技術検定試験
1693	日商 PC 検定 (1 級～3 級)
1694	パソコン整備士
1695	IT コーディネータ (ITC)
1699	その他の IT・パソコン関連資格
1700	環境計量士
1701	技術士、技術士補 (級別はない)
1710	安全衛生責任者
1711	衛生管理者 (第 1 種、第 2 種)
1712	衛生工学衛生管理者
1713	労働安全コンサルタント
1714	公害防止管理者
1719	その他の安全衛生管理関連資格
1721	電気主任技術者 (第 1 種～第 3 種)
1722	電気工事士 (第 1 種、第 2 種)
1723	計装士 (1 級、2 級)
1724	エネルギー管理士
1725	高圧ガス製造保安責任者
1726	高圧ガス販売主任者 (第 1 種、第 2 種)
1727	液化石油ガス設備士
1729	その他の電気・ガス・石油関連資格
1731	放射線取扱主任者 (第 1 種、第 2 種)
1732	エックス線作業主任者
1733	危険物取扱者 (甲種、乙種 (1～6 類)、丙種)
1734	酸素欠乏危険作業主任者 (1 種、2 種)
1735	特定化学物質等作業主任者
1736	有機溶剤作業主任者
1737	毒物劇物取扱責任者 (一般、農薬用品目、特定品目)
1738	火薬類 (製造、取扱) 保安責任者 (甲種、乙種、丙種)
1739	その他のエックス線・化学関連資格
1740	溶接
1741	ガス溶接作業主任者
1742	ガス溶接技能者
1743	PC 工法溶接技能者 (WES80 1 5)
1751	技能士 (技能検定試験)
1752	中古自動車査定士
1753	トレース技能検定
1759	その他の技能資格
1761	プレス機械作業主任者
1762	地山の掘削作業主任者
1763	足場の組立て等作業主任者
1764	建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者
1765	土止め支保工作業主任者
1766	型わく支保工の組立て等作業主任者
1767	はい作業主任者
1769	その他の現場安全衛生関連資格
1770	ボイラー
1771	ボイラー技士
1772	ボイラー整備士
1773	圧力容器取扱作業主任者
1780	クレーン
1781	クレーン運転士
1782	床上操作式クレーン運転技能講習
1783	小型移動式クレーン運転技能講習
1784	揚貨装置運転士
1785	フォークリフト運転者

1786	車両系建設機械運転技能者
1787	玉掛技能講習
1788	高所作業車運転技能者
1789	その他の運転関連資格
1799	その他の工業・技術・労働安全衛生関連資格
1800	建築士
1801	1級建築士
1802	2級建築士
1803	木造建築士
1804	専攻建築士
1811	建築設備士
1812	特殊建築物等調査資格者
1813	建築基準適合判定資格者
1814	商業施設士
1819	その他の建築物助言・調査関連資格
1821	測量士、測量士補
1822	測量専門技術認定
1829	その他の計量関連資格
1830	施工管理技士
1831	建設機械施工技士（1級、2級）
1832	建築施工管理技士（1級、2級）
1833	電気工事施工管理技士（1級、2級）
1834	土木施工管理技士（1級、2級）
1835	管工事施工管理技士（1級、2級）
1836	造園施工管理技士（1級、2級）
1837	コンクリート技士・コンクリート主任技士
1838	地質調査技士資格検定
1839	その他の建築関連技術資格
1840	水道
1841	水道技術管理者
1842	下水道管理技術認定
1843	給水装置工事主任技術者
1849	その他の水道関連資格
1851	宅地建物取引主任者
1861	不動産鑑定士
1862	不動産コンサルティング
1863	補償業務管理士
1864	被災宅地危険度判定士（宅地判定士）
1869	その他の不動産関連資格
1871	土地家屋調査士
1872	管理業務主任者
1873	マンション管理士
1874	ビル経営管理士
1875	福祉住環境コーディネーター検定試験
1876	インテリアプランナー・インテリアコーディネーター
1877	エクステリアプランナー
1879	その他の住環境関連資格
1899	その他の土木・建築関連資格
1900	英語（単に「英語検定」と記載の場合も含む）
1901	実用英語技能検定（1級、準1級、2級、準2級、3～5級）
1902	国連英検
1903	TOEIC
1904	TOEFL（Test of English as a Foreign Language）
1905	工業英語能力検定試験
1906	観光英語検定試験
1907	中国語検定
1908	「ハングル」能力検定
1909	その他の語学関連資格

1911	翻訳技能審査
1921	各種スポーツ指導員
1922	各種スポーツ審判員
1923	健康運動実践指導者
1924	柔道・剣道
1925	日本舞踊
1929	その他のスポーツ関連資格
1931	色彩能力検定、カラーコーディネーター検定
1932	フラワーデザイナー
1933	パターンメイキング技術検定（1級～3級）
1934	洋裁・洋裁技術検定、洋裁講師
1935	和裁・和裁検定、和裁講師
1936	着付け、着付け講師
1937	きものコンサルタント、着物アドバイザー
1938	編物、編物講師
1939	僧侶、神職
1941	毛筆・硬筆書写検定（書道検定、ペン字検定）、書道講師
1942	日本漢字能力検定（1級～8級）
1943	DIYアドバイザー
1944	アートフラワー
1945	手芸
1946	茶道・華道（師範）
1947	ピアノ、ピアノ講師
1948	電子オルガン、電子オルガン講師
1949	その他の趣味・教養関連資格
1951	博士学位
1952	修士学位
1961	実用英語技能検定（1級）
1962	実用英語技能検定（準1級、2級、準2級）
1963	TOEIC（860点以上）
1964	TOEIC（730点以上）
1999	その他の語学・スポーツ・生活・教養関連資格
7777	分類不能
8888	非該当
9999	無回答

JGSS-2013LCSwave2 でコード 1164、1565～1567、1594、1961～1964 を追加した。

QLWAGE_W3 資格:取得した年齢

コード		ケース数	%	
実数記入	10歳～19歳	52	16.3	
	20歳～29歳	147	45.9	
	30歳～39歳	62	19.4	
	40歳～49歳	49	15.3	
	50歳～53歳	3	0.9	
999	無回答	7	2.2	
		計	320	100.0
888	非該当	229		
		計	549	

QLWRSN_W3 資格:取得のいきさつ

コード		ケース数	%
1	学校で卒業や進級に必要な条件だった	41	12.8
2	学校で取得をすすめられた	25	7.8
3	職場で取得を義務づけられた	37	11.6
4	職場で取得をすすめられた	50	15.6
5	親に取得をすすめられた	13	4.1
6	自分からすすんで取得した	149	46.6
7	その他	5	1.6
8	わからない	0	0.0
99	無回答	0	0.0
		計	320
88	非該当		229
		計	549

QLWSLF_W3~QLWDK_W3 資格:役立ち方

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
8	非該当		
9	無回答		
多重回答			
QLWSLF_W3	1 (ア) 自営独立に役立った	31	9.7
QLWFJB_W3	2 (イ) 初めての就職に役立った	89	27.8
QLWCJB_W3	3 (ウ) 転職に役立った	60	18.8
QLWNJB_W3	4 (エ) 一度仕事をやめたあとの再就職に役立った	53	16.6
QLWBFT_W3	5 (オ) 給与や手当の面で優遇された	68	21.3
QLWPOST_W3	6 (カ) 希望する仕事を任せてもらった	48	15.0
QLWPRM_W3	7 (キ) 昇格・昇進に役立った	22	6.9
QLWCERT_W3	8 (ク) 技能の証明に役立った	69	21.6
QLWCONF_W3	9 (ケ) 自分に自信を持てた	87	27.2
QLWWRTH_W3	10 (コ) 生きがいや目標を持てた	40	12.5
QLWOT_W3	11 (サ) その他 ()	6	1.9
QLWDK_W3	12 わからない	5	1.6
QLWK_W3	仕事全般	8	2.5
QLLF_W3	生活全般	2	0.6
		該当者数	320
			100.0

QLWK_W3、QLLF_W3 は、「11 (サ) その他」の具体的記述から追加した。

QLWCOST_W3 資格:費用を負担した人

コード		ケース数	%
1	(ア) 主に自分が負担した	115	35.9
2	(イ) 主に学校が負担した	6	1.9
3	(ウ) 主に勤務先が負担した	73	22.8
4	(エ) 主に家族や親族が負担した	112	35.0
5	(オ) その他 ()	6	1.9
6	主にハローワークが負担した	3	0.9
7	学校卒業時に取得のため負担はない	2	0.6
9	無回答	3	0.9
		計	320
8	非該当		229
		計	549

コード「6 主にハローワークが負担した」「7 学校卒業時に取得のため負担はない」は、「5 (オ) その他」の具体的記述から追加した。

QLWPAID_W3 資格:かかった費用

コード		ケース数	%
1	(ア) 費用はかかっていない	59	18.4
2	(イ) 1万円未満	53	16.6
3	(ウ) 1万円以上5万円未満	49	15.3
4	(エ) 5万円以上10万円未満	23	7.2
5	(オ) 10万円以上50万円未満	48	15.0
6	(カ) 50万円以上100万円未満	13	4.1
7	(キ) 100万円以上	62	19.4
9	無回答	13	4.1
		計	320
8	非該当	229	100.0
		計	549

(全員に) ここからは、あなたのご家族のことについておうかがいします。
 前回の調査時点(2013年2~3月)では、あなたは、ご自身の婚姻状況について…と回答されていました。

【事前転記】

MARRYW2_W3 配偶者の有無(w2調査時)

コード		ケース数	%
1	配偶者あり(同棲含む)	452	82.3
2	配偶者なし(離婚を前提に別居中を含む)	97	17.7
		計	549
		計	100.0

その後の結婚歴についておうかがいします。

(前回の調査時点で配偶者ありだった方のみに)
 問25-1〔回答票32〕あなたとその配偶者の関係をこの中から選んでください。

MRGW2_W3 結婚状況(前回有配偶の人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 現在も結婚が続いている	433	95.8
2	(イ) 離別した	15	3.3
3	(ウ) 死別した	1	0.2
4	(エ) 離婚を前提に別居中	3	0.7
9	無回答	0	0.0
		計	452
8	非該当	97	100.0
		計	549

「2(イ) 離別した」「3(ウ) 死別した」の場合
 MRGW2ENY_W3 結婚状況:離死別:年(前回有配偶の人)

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答者数	16	100.0
9999	無回答	0	0.0
		計	16
8888	非該当	533	100.0
		計	549

MRGW2ENM_W3 結婚状況:離死別:月(前回有配偶の人)

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答者数	15	93.8
99	無回答	1	6.3
		計	16
88	非該当	533	100.0
		計	549

問 25-2 [回答票 33] その後、再婚されましたか。何度か結婚された方は、1つ1つについてお答えください。

再婚1回目

MRGW201_W3 結婚期間 01 (w2 調査以降): 有無(前回有配偶の人)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	あり	3	18.8
2	なし	13	81.3
		計	16
			100.0
8	非該当	533	
		計	549

MRGW201STY_W3 結婚期間 01 (w2 調査以降): 開始年(前回有配偶の人)

この変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
実数記入	
8888	非該当
9999	無回答

MRGW201STM_W3 結婚期間 01 (w2 調査以降): 開始月(前回有配偶の人)

この変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

MRGW201ONG_W3 結婚期間 01 (w2 調査以降): 継続の有無(前回有配偶の人)

この変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
1	(ア) 現在も結婚が続いている
2	(イ) その後、____年____月に離別した
3	(ウ) その後、____年____月に死別した
4	(エ) 離婚を前提に別居中
8	非該当
9	無回答

MRGW201ENY_W3 結婚期間 01 (w2 調査以降): 終了年(前回有配偶の人)

この変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
実数記入	
8888	非該当
9999	無回答

MRGW201ENM_W3 結婚期間 01 (w2 調査以降): 終了月(前回有配偶の人)

この変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

再婚2回目

MRGW202_W3 結婚期間 02(w2 調査以降):有無(前回有配偶の人)

コード		ケース数	%
1	あり	0	0.0
2	なし	16	100.0
		計	16
8	非該当	533	
		計	549

MRGW202STY_W3 結婚期間 02(w2 調査以降):開始年(前回有配偶の人)

MRGW202STM_W3 結婚期間 02(w2 調査以降):開始月(前回有配偶の人)

MRGW202ONG_W3 結婚期間 02(w2 調査以降):継続の有無(前回有配偶の人)

MRGW202ENY_W3 結婚期間 02(w2 調査以降):終了年(前回有配偶の人)

MRGW202ENM_W3 結婚期間 02(w2 調査以降):終了月(前回有配偶の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

(前回の調査時点で配偶者なしだった方のみに)

問 26-1 [回答票 34] 前回の調査以降、あなたは結婚しましたか。この中から選んでください。

結婚1回目

MRGNEW_W3 結婚(w2 調査以降):有無(前回無配偶の人)

コード		ケース数	%
1	結婚した	18	18.6
2	結婚していない	79	81.4
9	無回答	0	0.0
		計	97
8	非該当	452	
		計	549

問 26-2 [回答票 35] いつ結婚されましたか。何度か結婚された方は、1つ1つについてお答えください。

MRGN01_W3 結婚期間 01(w2 調査以降):有無(前回無配偶の人)

コード		ケース数	%
1	あり	18	100.0
2	なし	0	0.0
		計	18
8	非該当	531	
		計	549

MRGN01STY_W3 結婚期間 01(w2 調査以降):開始年(前回無配偶の人)

MRGN01STM_W3 結婚期間 01(w2 調査以降):開始月(前回無配偶の人)

MRGN01ONG_W3 結婚期間 01(w2 調査以降):継続の有無(前回無配偶の人)

MRGN01ENY_W3 結婚期間 01(w2 調査以降):終了年(前回無配偶の人)

MRGN01ENM_W3 結婚期間 01(w2 調査以降):終了月(前回無配偶の人)

これらの変数の単純集計は記載していません。

結婚2回目

MRGN02_W3 結婚期間 02(w2 調査以降):有無(前回無配偶の人)

コード		ケース数	%
1	あり	0	0.0
2	なし	18	100.0
		計	18
8	非該当	531	
		計	549

MRGN02STY_W3 結婚期間 02(w2 調査以降):開始年(前回無配偶の人)
 MRGN02STM_W3 結婚期間 02(w2 調査以降):開始月(前回無配偶の人)
 MRGN02ONG_W3 結婚期間 02(w2 調査以降):継続の有無(前回無配偶の人)
 MRGN02ENY_W3 結婚期間 02(w2 調査以降):終了年(前回無配偶の人)
 MRGN02ENM_W3 結婚期間 02(w2 調査以降):終了月(前回無配偶の人)
 これらの変数の単純集計は記載していません。

(前回の調査と配偶者が異なる方、および前回の調査以降に配偶者ありとなった方に)
 問 27 配偶者の方の兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

SSNBROE_W3 配偶者の兄弟姉妹人数:兄(w2 調査時とは配偶者が違う人)

コード		ケース数	%
実数記入	0 人	19	90.5
	1 人	2	9.5
	2 人	0	0.0
	99 無回答	0	0.0
		計	21
88	非該当	528	100.0
		計	549

SSNSISE_W3 配偶者の兄弟姉妹人数:姉(w2 調査時とは配偶者が違う人)

コード		ケース数	%
実数記入	0 人	14	66.7
	1 人	7	33.3
	99 無回答	0	0.0
		計	21
88	非該当	528	100.0
		計	549

SSNBROY_W3 配偶者の兄弟姉妹人数:弟(w2 調査時とは配偶者が違う人)

コード		ケース数	%
実数記入	0 人	9	42.9
	1 人	11	52.4
	2 人	1	4.8
	99 無回答	0	0.0
		計	21
88	非該当	528	100.0
		計	549

SSNSISY_W3 配偶者の兄弟姉妹人数:妹(w2 調査時とは配偶者が違う人)

コード		ケース数	%
実数記入	0 人	16	76.2
	1 人	4	19.0
	2 人	1	4.8
	99 無回答	0	0.0
		計	21
88	非該当	528	100.0
		計	549

問 28 [回答票 36] 配偶者の方が、最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。
中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

SSLSTSCH_W3 最終学校(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 中学校	0	0.0
2	(イ) 高校	9	42.9
3	(ウ) 高等専門学校(高専)	1	4.8
4	(エ) 短期大学(短大)	1	4.8
5	(オ) 大学	10	47.6
6	(カ) 大学院	0	0.0
7	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
		計	21
8	非該当	528	100.0
		計	549

問 29 あなたの配偶者は専門学校・専修学校に通ったことがありますか。高等専門学校は含みません。

PSPSCH_W3 専門学校・専修学校の通学経験(配偶者)

コード		ケース数	%
1	通ったことがある	5	23.8
2	通ったことがない	16	76.2
9	無回答	0	0.0
		計	21
8	非該当	528	100.0
		計	549

(現在、結婚している人に)

問 30 あなたの配偶者についておうかがいします。配偶者の方の年齢を教えてください。

SPAGEX_W3 配偶者の年齢

これらの変数の単純集計は記載していません。

問 31 配偶者の方とは一緒に暮らしていますか。

SPLVTG_W3 配偶者との同居

コード		ケース数	%
1	同居	437	96.3
2	別居(仕事の都合)	13	2.9
3	別居(その他の理由)	4	0.9
9	無回答	0	0.0
		計	454
8	非該当	95	100.0
		計	549

問 32-1 [回答票 37] 配偶者の方は、先週、収入をともなう仕事をしましたか。

SSJBLWK_W3 先週の就労経験(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事をした	404	89.0
2	(イ) 仕事をしていない	50	11.0
9	無回答	0	0.0
		計	454
8	非該当	95	100.0
		計	549

「2 (イ) 仕事をしていない」の場合
問 32-2 [回答票 38] 配偶者の方は、先週、収入をとまなう仕事をしましたか。

SSNOWRK_W3 収入を伴う仕事の有無(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ	3	6.0
2	(イ) 仕事をもっているが、先週は仕事がなかった	4	8.0
3	(ウ) 仕事をもっていない	43	86.0
9	無回答	0	0.0
		計	50
8	非該当	499	100.0
		計	549

「3 (ウ) 仕事をもっていない」の場合
問 32-3 [回答票 39] 配偶者の方の先週の状態は、この中のどれにあたりますか。

SSTPUNEM_W3 不労の理由(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 失業中	2	4.7
2	(イ) 学生	0	0.0
3	(ウ) 主に家事をしている	39	90.7
4	(エ) 心身上の事情で働けない	1	2.3
5	(オ) その他(具体的に)	1	2.3
6	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
		計	43
8	非該当	506	100.0
		計	549

問 32-4 配偶者の方は、現在、仕事を探していますか。

SSFINDJB_W3 不労者に:求職の有無(配偶者)

コード		ケース数	%
1	はい	2	4.7
2	いいえ	41	95.3
		計	43
8	非該当	506	100.0
		計	549

問 32-1に「1 (ア) 仕事をした」、あるいは、問 32-2に「1 (ア) 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」「2 (イ) 仕事をもっているが、先週は仕事がなかった」の場合

問 33 配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

SSJBHRWK_W3 就労時間数/週(配偶者)

コード		ケース数	%
実数記入	0時間	2	0.5
	1～9時間	7	1.7
	10～19時間	24	5.8
	20～29時間	24	5.8
	30～39時間	27	6.6
	40～49時間	188	45.7
	50～59時間	80	19.5
	60～69時間	33	8.0
	70～79時間	12	2.9
	80時間以上	7	1.7
999	無回答	7	1.7
		計	411
888	非該当	138	100.0
		計	549

SSSJBHWK_W3 副業就労時間数／週(配偶者)

コード		ケース数	%
実数記入	0 時間	400	97.3
	1～9 時間	4	1.0
	10～19 時間	0	0.0
	20～29 時間	1	0.2
	30～39 時間	0	0.0
	40～49 時間	1	0.2
999	無回答	5	1.2
	計	411	100.0
888	非該当	138	
	計	549	

配偶者の方のお仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 34-1 [回答票 40] 配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

SSTPJOB_W3 就労形態(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 経営者・役員	19	4.6
2	(イ) 常時雇用の一般従業者	271	65.9
3	(ウ) 臨時雇用 (パート・アルバイト・内職)	69	16.8
4	(エ) 派遣社員	4	1.0
5	(オ) 契約社員・嘱託社員	4	1.0
6	(カ) 自営業主・自由業者	36	8.8
7	(キ) 家族従業者	5	1.2
8	わからない	2	0.5
99	無回答	1	0.2
	計	411	100.0
88	非該当	138	
	計	549	

「2 (イ) 常時雇用の一般従業者」の場合

問 34-2 [回答票 41] 配偶者の方の役職は、この中のどれにあたりますか。

SSTPJOB_W3 役職(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	125	46.1
2	(イ) 職長・班長・組長など	25	9.2
3	(ウ) 係長 (係長相当)	35	12.9
4	(エ) 課長 (課長相当)	49	18.1
5	(オ) 部長 (部長相当)	24	8.9
6	(カ) その他の役職 (具体的に)	1	0.4
7	わからない	11	4.1
9	無回答	1	0.4
	計	271	100.0
8	非該当	278	
	計	549	

問 35 配偶者の方が働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行など、具体的にお聞かせください。

SSXXHQX_W3 業種(配偶者)

コード		ケース数	%	
10	農業	10	2.4	
30	漁業	2	0.5	
40	鉱業	1	0.2	
50	建設業	42	10.2	
60	製造業	78	19.0	
70	電気・ガス・熱供給・水道業	2	0.5	
81	運輸業	24	5.8	
82	旅行業	2	0.5	
91	卸売業	10	2.4	
92	小売業	39	9.5	
93	飲食店	10	2.4	
100	金融・保険業	12	2.9	
110	不動産業	6	1.5	
121	新聞・放送・出版業、映画制作業	2	0.5	
122	広告業	1	0.2	
131	情報・通信サービス業	21	5.1	
140	医療・福祉サービス業	53	12.9	
150	教育・研究サービス業	24	5.8	
160	法律・会計サービス業	4	1.0	
171	その他のサービス業	34	8.3	
172	学習塾・教養技能・スポーツ施設	3	0.7	
180	公務	28	6.8	
999	無回答	3	0.7	
		計	411	100.0
998	非該当	138		
		計	549	

問 36 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように）

SSXXJOB_W3 職種(配偶者)

コード		ケース数	%
503	機械・電気・化学技術者	12	2.9
504	建築・土木技術者	2	0.5
505	農林技術者	2	0.5
506	情報処理技術者	12	2.9
507	その他の技師・技術者	1	0.2
508	医師	2	0.5
509	歯科医師	2	0.5
510	薬剤師	2	0.5
511	助産師（助産婦）	2	0.5
512	保健師（保健婦）	2	0.5
513	栄養士	1	0.2
514	看護師（看護婦・看護師）	7	1.7
516	その他の保健医療従事者	10	2.4
521	小学校教員	3	0.7
522	中学校教員	2	0.5
523	高等学校教員	3	0.7
524	大学教員	2	0.5
525	盲・ろう・養護学校教員	2	0.5
526	その他の教員	1	0.2
527	宗教家	1	0.2
529	記者、編集者	1	0.2

531	デザイナー	4	1.0
533	音楽家（個人に教授するものを除く）	1	0.2
534	俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）	2	0.5
537	保育士（保母、保父）	8	1.9
538	社会福祉事業専門職員	3	0.7
539	個人教師	1	0.2
541	経営コンサルタント	2	0.5
543	図書館司書	1	0.2
544	その他の専門的・技術的職業従事者	4	1.0
548	会社役員	7	1.7
550	会社・団体等の管理職員	20	4.9
554	総務・企画事務員	40	9.7
555	受付・案内事務員	11	2.7
556	出荷・受荷事務員	4	1.0
557	営業・販売事務員	11	2.7
558	その他の一般事務員	7	1.7
559	会計事務員	6	1.5
560	郵便・通信事務員	2	0.5
563	運輸事務員	2	0.5
566	小売店主	2	0.5
567	卸売店主	1	0.2
569	販売店員	12	2.9
573	外交員（保険、不動産を除く）	24	5.8
574	保険代理人・外交員	2	0.5
579	理容師、美容師	3	0.7
581	料理人	9	2.2
583	給仕係	5	1.2
584	スチュワーデス、スチュワード	1	0.2
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	1	0.2
593	自衛官	1	0.2
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	3	0.7
595	消防員	5	1.2
596	看守、守衛、監視員	1	0.2
599	農耕・養蚕作業	7	1.7
600	植木職、造園師	2	0.5
601	畜産作業	1	0.2
603	その他の農林業作業	1	0.2
604	漁業作業	1	0.2
607	自動車運転者	18	4.4
613	船員	1	0.2
614	その他の運輸従事者	1	0.2
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業	1	0.2
629	化学製品製造作業	1	0.2
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業	5	1.2
631	鉄工、板金工	1	0.2
632	金属溶接工	2	0.5
633	一般機械組立工・修理工	11	2.7
634	電気機械器具組立工・修理工	6	1.5
635	自動車組立工・整備工	3	0.7
638	航空機組立工・整備工	1	0.2
640	その他の輸送機械組立・修理作業	1	0.2
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	3	0.7
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業	3	0.7
648	製糸作業	1	0.2
654	指物職、家具職、建具職	1	0.2
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業	1	0.2
658	印刷・製本作業	1	0.2
659	ゴム・プラスチック製品製造作業	1	0.2

661	塗装工、画工、看板工	3	0.7
670	製図工、現図工	1	0.2
672	その他の技能工・生産工程作業	2	0.5
674	起重機・建設機械運転作業	2	0.5
675	その他の定置機関運転作業	1	0.2
676	発電員、変電員	1	0.2
677	電気工事・電話工事作業	2	0.5
678	土木・建築請負師	1	0.2
679	左官、とび職	1	0.2
680	れんが積工、配管工	5	1.2
682	土工、道路工夫	3	0.7
684	現場監督、その他の建設作業	9	2.2
685	倉庫夫、仲仕	2	0.5
687	清掃員	2	0.5
688	その他の労務作業	6	1.5
690	旧地主	1	0.2
701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー	2	0.5
702	大工	3	0.7
703	教員	1	0.2
801	介護員、ヘルパー	6	1.5
802	その他の医療・福祉サービス職従事者	1	0.2
999	無回答	3	0.7
		計	411 100.0
998	非該当	138	
		計	549

問 37 配偶者の方は、通常 1 週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおおよその時間をお答えください。

SSXJBSCH_W3 通常労働時間数/週(配偶者)

コード		ケース数	%
実数記入	1～9 時間	5	1.2
	10～19 時間	20	4.9
	20～29 時間	26	6.3
	30～39 時間	29	7.1
	40～49 時間	256	62.3
	50～59 時間	31	7.5
	60～69 時間	7	1.7
	70 時間以上	4	1.0
999	無回答	33	8.0
		計	411 100.0
888	非該当	138	
		計	549

問 38 配偶者の方は、現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数をお答えください。

SSSZWKYR_W3 就労年数(配偶者)

コード		ケース数	%
実数記入	0 年	17	4.1
	1～9 年	117	28.5
	10～19 年	103	25.1
	20～29 年	110	26.8
	30～39 年	54	13.1
	40 年間以上	1	0.2
99	無回答	9	2.2
		計	411 100.0
88	非該当	138	
		計	549

問 39 [回答票 42] 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

SSSZSTFA_W3 企業規模(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 1人	21	5.1
2	(イ) 2～4人	24	5.8
3	(ウ) 5～9人	29	7.1
4	(エ) 10～29人	41	10.0
5	(オ) 30～99人	34	8.3
6	(カ) 100～299人	40	9.7
7	(キ) 300～499人	19	4.6
8	(ク) 500～999人	18	4.4
9	(ケ) 1,000～1,999人	26	6.3
10	(コ) 2,000～9,999人	23	5.6
11	(サ) 1万人以上	33	8.0
12	(シ) 官公庁	40	9.7
13	わからない	61	14.8
99	無回答	2	0.5
		計	411
88	非該当		138
		計	549

(全員に)

問 40 お子様についておうかがいします。前回の調査時点(2013年2～3月)では…と回答されていました。

[事前転記]

CCW2_W3 子どもの有無(w2 調査時)

コード		ケース数	%
1	子どもなし	111	20.2
2	子どもあり (人)	438	79.8
		計	549

「2 子どもあり」の場合

GCNUMW2_W3 子どもの人数(w2 調査時)

コード		ケース数	%
実数記入	1人	94	21.5
	2人	229	52.3
	3人	99	22.6
	4人	13	3.0
	5人	2	0.5
	6人	0	0.0
	7人	1	0.2
99	無回答	0	0.0
		計	438
88	非該当		111
		計	549

これまでもおもちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。

CCNUMTTL_W3 子どもの人数

コード		ケース数	%
実数記入	0人	88	16.0
	1人	96	17.5
	2人	232	42.3
	3人	114	20.8
	4人	16	2.9
	5人	2	0.4
	6人	0	0.0
	7人	1	0.2
99	無回答	0	0.0
		計	549
			100.0

問 41 [回答票 43] 昨年1年間にかかった、あなたの子どもの教育費は、世帯全体でこの中のどれにあたりますか。

SZEXED_W3 世帯支出:教育費

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	9	2.0
2	(イ) 3万円未満	11	2.4
3	(ウ) 3~5万円未満	9	2.0
4	(エ) 5~10万円未満	20	4.3
5	(オ) 10~15万円未満	14	3.0
6	(カ) 15~20万円未満	19	4.1
7	(キ) 20~30万円未満	36	7.8
8	(ク) 30~50万円未満	80	17.4
9	(ケ) 50~100万円未満	86	18.7
10	(コ) 100~200万円未満	77	16.7
11	(サ) 200~300万円未満	36	7.8
12	(シ) 300万円以上	21	4.6
13	(ス) すべての子どもが学業を終えている	24	5.2
14	回答したくない	1	0.2
15	わからない	18	3.9
99	無回答	0	0.0
		計	461
			100.0
88	非該当	88	
		計	549

前回調査時点でお子さまがいらっしゃる方については一部、前回と重複する内容もありますが、今から読み上げる質問に年齢の高いお子さまから順にお答えください。

問 42-1 そのお子様の性別を教えてください。

問 42-2 [回答票 44] そのお子様は何年何月に生まれましたか。

問 42-3 そのお子様が現在通っている学校は、国公立ですか。それとも私立（わたくしりつ）ですか。保育所や幼稚園も含みます。

問 42-4 そのお子様とは、一緒に暮らしていますか。

1人目

CC01SEX_W3 子ども01:性別

コード		ケース数	%
1	男	226	49.0
2	女	235	51.0
9	無回答	0	0
		計	461
8	非該当	88	
		計	549

CC01BYR_W3 子ども01:誕生年

コード	実数記入	有効回答者数	ケース数	%
	9999	無回答	460	99.8
			1	0.2
			計	461
8888	非該当		88	
			計	549

CC01BM_W3 子ども01:誕生月

コード	実数記入	有効回答者数	ケース数	%
	99	無回答	459	99.6
			2	0.4
			計	461
88	非該当		88	
			計	549

CC01SCT_W3 子ども01:学校:国公立

コード		ケース数	%
1	国公立	246	53.4
2	私立	94	20.4
3	現在、学校に行っていない	118	25.6
9	無回答	3	0.7
		計	461
8	非該当	88	
		計	549

CC01LVTG_W3 子ども01:同居・生死

コード		ケース数	%
1	同居	356	77.2
2	別居	103	22.3
3	死亡	1	0.2
9	無回答	1	0.2
		計	461
8	非該当	88	
		計	549

2人目

CC02SEX_W3 子ども 02:性別

コード		ケース数	%
1	男	187	51.2
2	女	178	48.8
9	無回答	0	0
		計	365
8	非該当	184	
		計	549

CC02BYR_W3 子ども 02:誕生年

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答者数	363	99.5
9999	無回答	2	0.5
		計	365
8888	非該当	184	
		計	549

CC02BM_W3 子ども 02:誕生月

コード		ケース数	%
実数記入	有効回答者数	362	99.2
99	無回答	3	0.8
		計	365
88	非該当	184	
		計	549

CC02SCT_W3 子ども 02:学校:国公立

コード		ケース数	%
1	国公立	244	66.8
2	私立	56	15.3
3	現在、学校に行っていない	61	16.7
9	無回答	4	1.1
		計	365
8	非該当	184	
		計	549

CC02LVTG_W3 子ども 02:同居・生死

コード		ケース数	%
1	同居	314	86.0
2	別居	49	13.4
3	死亡	1	0.3
9	無回答	1	0.3
		計	365
8	非該当	184	
		計	549

3人目

CC03SEX_W3 子ども 03:性別

コード		ケース数	%
1	男	65	48.9
2	女	67	50.4
9	無回答	1	0.8
	計	133	100.0
8	非該当	416	
	計	549	

CC03BYR_W3 子ども 03:誕生年

コード	実数記入	有効回答者数	ケース数	%
	9999	無回答	3	2.3
			計	133
8888	非該当		416	
			計	549

CC03BM_W3 子ども 03:誕生月

コード	実数記入	有効回答者数	ケース数	%
	99	無回答	3	2.3
			計	133
88	非該当		416	
			計	549

CC03SCT_W3 子ども 03:学校:国公立

コード		ケース数	%
1	国公立	96	72.2
2	私立	14	10.5
3	現在、学校に行っていない	21	15.8
9	無回答	2	1.5
	計	133	100.0
8	非該当	416	
	計	549	

CC03LVTG_W3 子ども 03:同居・生死

コード		ケース数	%
1	同居	117	88.0
2	別居	15	11.3
3	死亡	0	0.0
9	無回答	1	0.8
	計	133	100.0
8	非該当	416	
	計	549	

4人目

CC04SEX_W3 子ども04:性別

コード		ケース数	%
1	男	10	52.6
2	女	9	47.4
9	無回答	0	0.0
		計	19
8	非該当	530	
		計	549

CC04BYR_W3 子ども04:誕生日

コード	実数記入	有効回答者数	ケース数	%
	9999	無回答	0	0.0
		計	19	100.0
8888	非該当	530		
		計	549	

CC04BM_W3 子ども04:誕生月

コード	実数記入	有効回答者数	ケース数	%
	99	無回答	0	0.0
		計	19	100.0
88	非該当	530		
		計	549	

CC04SCT_W3 子ども04:学校:国公立

コード		ケース数	%
1	国公立	14	73.7
2	私立	1	5.3
3	現在、学校に行っていない	4	21.1
9	無回答	0	0.0
		計	19
8	非該当	530	
		計	549

CC04LVTG_W3 子ども04:同居・生死

コード		ケース数	%
1	同居	18	94.7
2	別居	1	5.3
3	死亡	0	0.0
9	無回答	0	0.0
		計	19
8	非該当	530	
		計	549

5人目～7人目

CC[05-07]SEX_W3 子ども[05-07]:性別

CC[05-07]BYR_W3 子ども[05-07]:誕生日

CC[05-07]BM_W3 子ども[05-07]:誕生月

CC[05-07]SCT_W3 子ども[05-07]:学校:国公立

CC[05-07]LVTG_W3 子ども[05-07]:同居・生死

これらの変数の単純集計は記載していません。

(全員)

問 43-1 前回の調査時点 (2013 年 2 ~ 3 月) では、あなた自身のお父様とお母様について…と回答されていました。

【事前転記】

PPALW2_W3 父親:生死(w2 調査時)

コード		ケース数	%
1	ご健在	427	77.8
2	お亡くなりになっている	112	20.4
3	回答なし	10	1.8
計		549	100.0

MMALW2_W3 母親:生死(w2 調査時)

コード		ケース数	%
1	ご健在	518	94.4
2	お亡くなりになっている	29	5.3
3	回答なし	2	0.4
計		549	100.0

あなた自身のお父様とお母様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。

PPLVTG_W3 父親:同居・生死

コード		ケース数	%
1	同居	62	11.3
2	別居	326	59.4
3	死亡	159	29.0
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

MMLVTG_W3 母親:同居・生死

コード		ケース数	%
1	同居	103	18.8
2	別居	398	72.5
3	死亡	47	8.6
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

問 43-2 お父様、お母様は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

PPJOB_W3 父親:就労の有無

コード		ケース数	%
1	している	127	32.6
2	していない	259	66.4
9	無回答	4	1.0
計		390	100.0
8	非該当	159	
計		549	

MMJOB_W3 母親:就労の有無

コード		ケース数	%
1	している	107	21.3
2	していない	392	78.1
9	無回答	3	0.6
計		502	100.0
8	非該当	47	
計		549	

問 43-3 お父様とお母様は、現在、一緒に暮らしていますか。

PMLVTG_W3 父母の同別居

コード		ケース数	%
1	同居	320	88.4
2	別居（離婚した）	14	3.9
3	別居（その他の理由）	16	4.4
9	無回答	12	3.3
		計	362
8	非該当	187	100.0
		計	549

問 44 前回の調査時点（2013年2～3月）では、お父様やお母様とあなたとの同居状況について…と回答されてきました。

【事前転記】

PMLVTGW2_W3 父母の同別居(w2 調査時)

コード		ケース数	%
1	同居	126	23.4
2	別居	407	75.7
3	回答なし	5	0.9
		計	538
8	非該当	11	100.0
		計	549

その後、お父様やお母様と一緒に暮らしていたのはいつからいつまでですか。一度別居してからまた同居した場合も含めて、同居していた時期をすべて教えてください。

PTLVTG_W3 両親との同居期間(w2 調査以降):有無

コード		ケース数	%
1	同居期間あり	133	24.7
2	同居期間なし	404	75.1
9	無回答	1	0.2
		計	538
8	非該当	11	100.0
		計	549

同居期間 1～同居期間 3

PLV[01-03]_W2 両親との同居期間[01-03](w2 調査以降):有無

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	あり
2	なし
8	非該当

PLV01W2_W3 両親との同居期間 01(w2 調査以降): 前回調査時から

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	前回調査時から
2	～年～月から
8	非該当
9	無回答

PLV[01-03]STY_W3 両親との同居期間[01-03](w2 調査以降):開始年

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
8888	非該当
9999	無回答

PLV[01-03]STM_W3 両親との同居期間[01-03](w2 調査以降):開始月

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

PLV[01-03]ONG_W3 両親との同居期間[01-03](w2 調査以降):継続の有無

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	____年____月まで
2	現在まで
8	非該当
9	無回答

PLV[01-03]ENY_W3 両親との同居期間[01-03](w2 調査以降):終了年

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
8888	非該当
9999	無回答

PLV[01-03]ENM_W3 両親との同居期間[01-03](w2 調査以降):終了月

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

【事前転記】調査員確認設問C(問25-1、問26-1の回答結果より判断)

CONFQC_W3 調査員確認設問C:結婚期間

コード		ケース数	%
1	問25-1で「1」～「4」と回答	452	82.3
2	問26-1で「1」と回答	18	3.3
3	問26-1で「2」と回答	79	14.4
計		549	100.0

調査員確認設問 C に「1 問 25-1 で「1」～「4」と回答」、あるいは「2 問 26-1 で「1」と回答」の場合
 (前回の調査以降、結婚期間がある人全員に)

問 45 前回の調査時点 (2013 年 2～3 月) では、配偶者のお父様とお母様との同居状況について…と回答されて
 いました。

【事前転記】

LLVW2_W3 義親との同居状況 (w2 調査時)

コード		ケース数	%
1	同居	53	11.3
2	別居	377	80.2
3	前回の調査時点では配偶者はいなかった	18	3.8
4	回答なし	22	4.7
		計	470
8	非該当	79	100.0
		計	549

その後、配偶者のお父様やお母様と一緒に暮らしていたことはありますか。あればその時期をすべてお答えください。

LLVTGL_W3 義親との同居期間 (w2 調査以降): 有無

コード		ケース数	%
1	同居期間あり	55	11.7
2	同居期間なし	413	87.9
9	無回答	2	0.4
		計	470
8	非該当	79	100.0
		計	549

同居期間 1～同居期間 2

LLV[01-02]_W3 義親との同居期間[01-02] (w2 調査以降): 有無

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	あり
2	なし
8	非該当

LLV01W2_W3 義親との同居期間 01 (w2 調査以降): 前回調査時から

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	前回調査時から
2	____年____月から
8	非該当
9	無回答

LLV[01-02]_STY_W3 義親との同居期間[01-02] (w2 調査以降): 開始年

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
8888	非該当
9999	無回答

LLV[01-02]STM_W3 義親との同居期間[01-02](w2 調査以降): 開始月

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

LLV[01-02]ONG_W3 義親との同居期間[01-02](w2 調査以降): 継続の有無

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	___年___月まで
2	現在まで
8	非該当
9	無回答

LLV[01-02]ENY_W3 義親との同居期間[01-02](w2 調査以降): 終了年

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
8888	非該当
9999	無回答

LLV[01-02]ENM_W3 義親との同居期間[01-02](w2 調査以降): 終了月

これらの変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

(全員に)

問 46 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

SZFFONLY_W3 家族人数(本人除く)

コード		ケース数	%
実数記入	0人	22	4.0
	1人	64	11.7
	2人	139	25.3
	3人	187	34.1
	4人	85	15.5
	5人以上	52	9.5
99	無回答	0	0.0
		計	549
			100.0

SZFF TTL_W3 家族人数(本人含む)

コード		ケース数	%
実数記入	1人	22	4.0
	2人	64	11.7
	3人	139	25.3
	4人	187	34.1
	5人以上	137	25.0
99	無回答	0	0.0
		計	549
			100.0

問 47 [回答票 45] 先ほどからのお尋ねと重なる部分もありますが、現在、あなたと一緒に暮らしている方をこの中からすべて選んでください。

COFMRSP_W3~COFMOT_W3:同居家族

コード	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答		選択者数	%
COFMRSP_W3	1 (ア) あなたご自身	549	100.0
COFMSS_W3	2 (イ) 配偶者	437	79.6
COFMCC_W3	3 (ウ) あなたの子ども (人)	422	76.9
COFMCS_W3	4 (エ) 子どもの配偶者 (人)	0	0.0
COFMGCC_W3	5 (オ) 孫 (人)	1	0.2
COFMPP_W3	6 (カ) あなたの父親	62	11.3
COFMMM_W3	7 (キ) あなたの母親	103	18.8
COFMPPL_W3	8 (ク) 配偶者の父親	30	5.5
COFMMML_W3	9 (ケ) 配偶者の母親	40	7.3
COFMGP_W3	10 (コ) あなたの祖父	2	0.4
COFMGM_W3	11 (サ) あなたの祖母	5	0.9
COFMGPL_W3	12 (シ) 配偶者の祖父	0	0.0
COFMGML_W3	13 (ス) 配偶者の祖母	3	0.5
COFMSB_W3	14 (セ) あなたの兄弟姉妹 (人)	16	2.9
COFMSBL_W3	15 (ソ) 配偶者の兄弟姉妹 (人)	2	0.4
COFMOT_W3	16 (タ) その他 () (人)	4	0.7
		該当者数	549
			100.0

「3 (ウ) あなたの子ども」の場合

COFMNCC_W3 同居家族:子どもの人数

コード		ケース数	%
実数記入	1 人	134	31.8
	2 人	199	47.2
	3 人	77	18.2
	4 人	11	2.6
	5 人	1	0.2
	6 人	0	0.0
	7 人	0	0.0
99	無回答	0	0.0
		計	422
			100.0
88	非該当	127	
		計	549

「4 (エ) 子どもの配偶者」の場合

COFMNCS_W3 同居家族:子どもの配偶者の人数

該当者なし

「5 (オ) 孫」の場合

COFMNGCC_W3 同居家族:孫の人数

コード		ケース数	%
実数記入	1 人	1	100.0
99	無回答	0	0.0
		計	1
			100.0
88	非該当	548	
		計	549

「14 (セ) あなたの兄弟姉妹」の場合

COFMNSB_W3 同居家族:兄弟姉妹の人数

コード	実数記入	ケース数	%
	1人	16	100.0
	2人	0	0.0
	3人	0	0.0
99	無回答	0	0.0
計			16
88	非該当	533	
計			549

「15 (ソ) 配偶者の兄弟姉妹」の場合

COFMNSBL_W3 同居家族:配偶者の兄弟姉妹の人数

コード	実数記入	ケース数	%
	1人	2	100.0
	2人	0	0.0
99	無回答	0	0.0
計			2
88	非該当	547	
計			549

「16 (タ) その他 ()」の場合

COFMNOT_W3 同居家族:その他の人数

コード	実数記入	ケース数	%
	1人	1	25.0
	2人	1	25.0
	3人	2	50.0
99	無回答	0	0.0
計			4
88	非該当	545	
計			549

(全員に)

問 48 [回答票 45] あなたの家の世帯主はどなたですか。現在一時的に別居している人も含め、戸籍にかかわらず、あなた自身が世帯主だと思っている人を、この中から1人だけ選んでください。

FFHEAD_W3 世帯主

コード	世帯主	ケース数	%
1	(ア) あなたご自身	213	38.8
2	(イ) 配偶者	272	49.5
3	(ウ) あなたの子ども	0	0.0
4	(エ) 子どもの配偶者	0	0.0
5	(オ) 孫	0	0.0
6	(カ) あなたの父親	33	6.0
7	(キ) あなたの母親	15	2.7
8	(ク) 配偶者の父親	9	1.6
9	(ケ) 配偶者の母親	0	0.0
10	(コ) あなたの祖父	1	0.2
11	(サ) あなたの祖母	0	0.0
12	(シ) 配偶者の祖父	0	0.0
13	(ス) 配偶者の祖母	1	0.2
14	(セ) あなたの兄弟姉妹	1	0.2
15	(ソ) 配偶者の兄弟姉妹	0	0.0
16	(タ) その他 ()	0	0.0
99	無回答	4	0.7
計			549
計			100.0

問 49 [回答票 46] かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入るとお考えですか。

OP10LVL_W3 自分の位置する階層

コード		ケース数	%
1	一番上	0	0.0
2	・	10	1.8
3	・	48	8.7
4	・	82	14.9
5	・	214	39.0
6	・	93	16.9
7	・	57	10.4
8	・	30	5.5
9	・	8	1.5
10	一番下	6	1.1
99	無回答	1	0.2
計		549	100.0

問 50-1 [回答票 47] 昨年 1 年間のあなたの家の世帯収入は、この中のどれにあたりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。仕事からの収入だけでなく、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

SZHSINCM_W3 世帯年収

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	0	0.0
2	(イ) 70 万円未満	0	0.0
3	(ウ) 70～100 万円未満	1	0.2
4	(エ) 100～130 万円未満	3	0.5
5	(オ) 130～150 万円未満	3	0.5
6	(カ) 150～250 万円未満	11	2.0
7	(キ) 250～350 万円未満	20	3.6
8	(ク) 350～450 万円未満	39	7.1
9	(ケ) 450～550 万円未満	46	8.4
10	(コ) 550～650 万円未満	56	10.2
11	(サ) 650～750 万円未満	55	10.0
12	(シ) 750～850 万円未満	67	12.2
13	(ス) 850～1,000 万円未満	66	12.0
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	58	10.6
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	29	5.3
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	13	2.4
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	8	1.5
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	6	1.1
19	(テ) 2,300 万円以上	5	0.9
20	回答したくない	14	2.6
21	わからない	49	8.9
99	無回答	0	0.0
計		549	100.0

問 50-2〔回答票 47〕 そのうち、あなたご自身の収入はどのくらいですか。仕事以外からの収入も含めてください。

SZINCOMA_W3 本人年収:全体

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	36	6.6
2	(イ) 70 万円未満	33	6.0
3	(ウ) 70～100 万円未満	58	10.6
4	(エ) 100～130 万円未満	46	8.4
5	(オ) 130～150 万円未満	19	3.5
6	(カ) 150～250 万円未満	57	10.4
7	(キ) 250～350 万円未満	49	8.9
8	(ク) 350～450 万円未満	56	10.2
9	(ケ) 450～550 万円未満	41	7.5
10	(コ) 550～650 万円未満	48	8.7
11	(サ) 650～750 万円未満	24	4.4
12	(シ) 750～850 万円未満	25	4.6
13	(ス) 850～1,000 万円未満	22	4.0
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	9	1.6
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	4	0.7
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	1	0.2
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	2	0.4
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	1	0.2
19	(テ) 2,300 万円以上	2	0.4
20	回答したくない	13	2.4
21	わからない	2	0.4
99	無回答	1	0.2
計		549	100.0

問 50-3 (現在、配偶者がいる方のみ質問)〔回答票 47〕 配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

SSSZINCA_W3 配偶者年収:全体

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	37	8.1
2	(イ) 70 万円未満	20	4.4
3	(ウ) 70～100 万円未満	27	5.9
4	(エ) 100～130 万円未満	18	4.0
5	(オ) 130～150 万円未満	12	2.6
6	(カ) 150～250 万円未満	20	4.4
7	(キ) 250～350 万円未満	38	8.4
8	(ク) 350～450 万円未満	41	9.0
9	(ケ) 450～550 万円未満	50	11.0
10	(コ) 550～650 万円未満	56	12.3
11	(サ) 650～750 万円未満	28	6.2
12	(シ) 750～850 万円未満	27	5.9
13	(ス) 850～1,000 万円未満	18	4.0
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	16	3.5
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	7	1.5
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	1	0.2
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	1	0.2
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	4	0.9
19	(テ) 2,300 万円以上	2	0.4
20	回答したくない	14	3.1
21	わからない	15	3.3
99	無回答	2	0.4
計		454	100.0
88	非該当	95	
計		549	

問 51 [回答票 48] あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

OWNHOUSE_W3 居住形態:持ち家

コード		ケース数	%
1	(ア) 持ち家 (親などが持ち主の場合も含む)	464	84.5
2	(イ) 民間の賃貸住宅	65	11.8
3	(ウ) 社宅・公務員住宅等の給与住宅	10	1.8
4	(エ) 公社・公団等の公営の賃貸住宅	10	1.8
5	(オ) その他 (具体的に)	0	0.0
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

問 52 あなたの現在のお住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。

TPHOUSE_W3 居住形態:一戸建て

コード		ケース数	%
1	一戸建て	449	81.8
2	集合住宅 (アパート・マンションなど)	99	18.0
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

問 53 [回答票 49] あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

XLIVEYR_W3 居住年数

コード		ケース数	%
1	(ア) 生まれてからずっと	75	13.7
2	(イ) 1年未満	14	2.6
3	(ウ) 1年～3年未満	18	3.3
4	(エ) 3年～5年未満	11	2.0
5	(オ) 5年～10年未満	53	9.7
6	(カ) 10年～20年未満	212	38.6
7	(キ) 20年～30年未満	87	15.8
8	(ク) 30年以上	79	14.4
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

問 54 [回答票 50] あなたの生年月を確認させてください。昭和でお答えください。

対象者の生年月については、データを公開していません。

【調査員確認設問 D】回答者の性別

SEXA_W3 調査員確認設問 D:性別

コード		ケース数	%
1	男	204	37.2
2	女	345	62.8
計		549	100.0

[調査員記入]

F1 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

COOP_W3 調査員への質問:回答者の協力度

コード		ケース数	%
1	とても協力的	445	81.1
2	どちらかといえば協力的	90	16.4
3	それほど協力的ではなかった	12	2.2
4	まったく協力的ではなかった	2	0.4
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

F2 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

USTAND_W3 調査員への質問:回答者の理解度

コード		ケース数	%
1	非常に良い	449	81.8
2	どちらかといえば良い	99	18.0
3	あまり良くない	1	0.2
4	まったく良くない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

F5 回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

AREA_W3 調査員への質問:回答者の居住地域

コード		ケース数	%
1	工場の多い地域	6	1.1
2	商店・事業所の多い地域	53	9.7
3	主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）	179	32.6
4	主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）	250	45.5
5	農山漁村	60	10.9
6	その他	0	0.0
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

F6 この面接調査票の調査時刻、所要時間を必ず記録して下さい

DURATION_W3 調査所要時間(分)

コード		ケース数	%
実数記入	7～19分	87	15.8
	20～29分	285	51.9
	30～39分	131	23.9
	40～49分	36	6.6
	50～59分	4	0.7
	60分以上	3	0.5
999	無回答	3	0.5
計		549	100.0

II.2 基礎集計・コード表：留置調査票

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV_W3 テレビ視聴時間

コード		ケース数	%
実数記入	0時間くらい	38	6.9
	1時間くらい	145	26.4
	2時間くらい	148	27.0
	3時間くらい	101	18.4
	4時間くらい	58	10.6
	5時間くらい	34	6.2
	6時間くらい	15	2.7
	7時間くらい	0	0.0
	8時間くらい	2	0.4
	9時間くらい	0	0.0
	10時間くらい	7	1.3
99	無回答	1	0.2
		計	549
			100.0

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ_W3 1ヶ月の読書冊数

コード		ケース数	%
0	ほとんど読まない	322	58.7
1	1冊程度	124	22.6
2	2冊程度	54	9.8
3	3冊程度	19	3.5
4	4冊以上	30	5.5
9	無回答	0	0.0
		計	549
			100.0

Q3 あなたはパソコンに関して、以下のことができますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

COMABPRG_W3~COMABNO_W3 パソコン使用能力

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
9	無回答		
多重回答			
COMABPRG_W3	1 コンピュータプログラムが作れる	16	2.9
COMABSET_W3	2 新しいパソコンを設定できる	175	31.9
COMABINS_W3	3 ソフトウェアのインストールができる	295	53.7
COMABGR_W3	4 簡単な表やグラフを作成できる	322	58.7
COMABDOC_W3	5 簡単な文書を作成できる	450	82.0
COMABNO_W3	6 いずれもできない	79	14.4
		該当者数	549
			100.0

Q4 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ（ウォーキング、水泳、野球など）を行なっていますか。

FQSPORT_W3 定期的に行なうスポーツ:頻度

コード		ケース数	%
1	週に数回以上	83	15.1
2	週に1回程度	86	15.7
3	月に1回程度	30	5.5
4	年に数回程度	64	11.7
5	ほとんどしない	286	52.1
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

Q5 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行（仕事以外）をしますか。

FQ5TRIP_W3 1泊以上の旅行頻度

コード		ケース数	%
1	月に数回	2	0.4
2	月に1回程度	10	1.8
3	年に数回	183	33.3
4	年に1回程度	202	36.8
5	まったくしない	152	27.7
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

Q6 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

A 家族と一緒にの夕食

FQ7FFDNR_W3 家族と一緒にの夕食:頻度

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	324	59.0
2	週に数回	135	24.6
3	週に1回程度	41	7.5
4	月に1回程度	16	2.9
5	年に数回	15	2.7
6	年に1回程度	2	0.4
7	まったくしていない	14	2.6
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

B 友人との会食や集まり

FQ7FRSEE_W3 友人との会食:頻度

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	0	0.0
2	週に数回	9	1.6
3	週に1回程度	36	6.6
4	月に1回程度	176	32.1
5	年に数回	214	39.0
6	年に1回程度	53	9.7
7	まったくしていない	60	10.9
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

C 夕食の用意

FQ7CKDNR_W3 夕食の用意:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	292	53.2
2	週に数回	63	11.5
3	週に1回程度	38	6.9
4	月に1回程度	27	4.9
5	年に数回	35	6.4
6	年に1回程度	13	2.4
7	まったくしていない	81	14.8
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

D 洗濯

FQ7WASH_W3 洗濯:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	290	52.8
2	週に数回	95	17.3
3	週に1回程度	37	6.7
4	月に1回程度	16	2.9
5	年に数回	27	4.9
6	年に1回程度	7	1.3
7	まったくしていない	76	13.8
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

E 買い物(日用品や食料品の買い物)

FQ7SHOP_W3 買い物:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	116	21.1
2	週に数回	254	46.3
3	週に1回程度	109	19.9
4	月に1回程度	38	6.9
5	年に数回	14	2.6
6	年に1回程度	2	0.4
7	まったくしていない	14	2.6
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

F 家の掃除

FQ7CLEAN_W3 家の掃除:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	113	20.6
2	週に数回	158	28.8
3	週に1回程度	142	25.9
4	月に1回程度	56	10.2
5	年に数回	42	7.7
6	年に1回程度	13	2.4
7	まったくしていない	25	4.6
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

G ゴミ出し

FQ7GARB_W3 ゴミ出し:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	58	10.6
2	週に数回	266	48.5
3	週に1回程度	78	14.2
4	月に1回程度	38	6.9
5	年に数回	30	5.5
6	年に1回程度	14	2.6
7	まったくしていない	65	11.8
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

Q7 あなたは、以下のことをどのくらい行ないますか。

A ドライブに行く

FQ6DRIVE_W3 娯楽の頻度:ドライブ(6点尺度)

コード		ケース数	%
1	週に数回	12	2.2
2	週に1回程度	51	9.3
3	月に1回程度	104	18.9
4	年に数回	171	31.1
5	年に1回程度	51	9.3
6	まったくしていない	159	29.0
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

B カラオケをする

FQ6KARA_W3 娯楽の頻度:カラオケ(6点尺度)

コード		ケース数	%
1	週に数回	0	0.0
2	週に1回程度	3	0.5
3	月に1回程度	16	2.9
4	年に数回	106	19.3
5	年に1回程度	109	19.9
6	まったくしていない	315	57.4
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

C 美術館・博物館に行く

FQ6MSUM_W3 娯楽の頻度:美術館・博物館(6点尺度)

コード		ケース数	%
1	週に数回	0	0.0
2	週に1回程度	1	0.2
3	月に1回程度	3	0.5
4	年に数回	85	15.5
5	年に1回程度	153	27.9
6	まったくしていない	307	55.9
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

D クラシックコンサートなどに行く

FQ6CLSS_W3 娯楽の頻度:クラシックコンサート(6点尺度)

コード		ケース数	%
1	週に数回	1	0.2
2	週に1回程度	0	0.0
3	月に1回程度	7	1.3
4	年に数回	33	6.0
5	年に1回程度	63	11.5
6	まったくしていない	444	80.9
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

E 映画を見る(ビデオ・DVDを含む)

FQ6MOVIE_W3 娯楽の頻度:映画鑑賞(6点尺度)

コード		ケース数	%
1	週に数回	31	5.6
2	週に1回程度	55	10.0
3	月に1回程度	129	23.5
4	年に数回	223	40.6
5	年に1回程度	48	8.7
6	まったくしていない	63	11.5
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

F テレビゲームをする(PCゲーム・携帯用を含む)

FQ6GAME_W3 娯楽の頻度:テレビゲーム(6点尺度)

コード		ケース数	%
1	週に数回	179	32.6
2	週に1回程度	45	8.2
3	月に1回程度	26	4.7
4	年に数回	31	5.6
5	年に1回程度	10	1.8
6	まったくしていない	256	46.6
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

G マージャンをする

FQ6MAJON_W3 娯楽の頻度:麻雀(6点尺度)

コード		ケース数	%
1	週に数回	0	0.0
2	週に1回程度	1	0.2
3	月に1回程度	0	0.0
4	年に数回	11	2.0
5	年に1回程度	5	0.9
6	まったくしていない	530	96.5
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

H パチンコ・パチスロをする

FQ6PACHI_W3 娯楽の頻度:パチンコ・パチスロ(6点尺度)

コード		ケース数	%
1	週に数回	1	0.2
2	週に1回程度	11	2.0
3	月に1回程度	14	2.6
4	年に数回	16	2.9
5	年に1回程度	3	0.5
6	まったくしていない	504	91.8
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

I 宝くじを買う

FQ6LOTTO_W3 娯楽の頻度:宝くじ(6点尺度)

コード		ケース数	%
1	週に数回	1	0.2
2	週に1回程度	6	1.1
3	月に1回程度	18	3.3
4	年に数回	67	12.2
5	年に1回程度	95	17.3
6	まったくしていない	361	65.8
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

J ガーデニング(庭いじり)をする

FQ6GREEN_W3 娯楽の頻度:ガーデニング・庭いじり(6点尺度)

コード		ケース数	%
1	週に数回	10	1.8
2	週に1回程度	41	7.5
3	月に1回程度	53	9.7
4	年に数回	100	18.2
5	年に1回程度	46	8.4
6	まったくしていない	299	54.5
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

Q8-1 家族や親類以外で、あなたには親しい友人が何人くらいいますか。

NUMFRND_W3 友人数

コード		ケース数	%
1	0人	28	5.1
2	1~2人	105	19.1
3	3~4人	187	34.1
4	5~9人	159	29.0
5	10~19人	50	9.1
6	20人以上	13	2.4
9	無回答	7	1.3
計		549	100.0

NUMFRND_W2 より作成した変数

FRND_W3 友人の有無

コード		ケース数	%
0	なし	28	5.1
1	あり	520	94.7
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

Q8-2 これらの友人のうち、以下にあてはまる人はどの程度いますか。

A あなたと同性の人

FRNDSEX_W3 友人数:同性

コード		ケース数	%
1	全員	335	64.4
2	何人か	172	33.1
3	まったくいない	3	0.6
9	無回答	10	1.9
		計	520
8	非該当	29	
		計	549

B あなたと同世代の人

FRNDGEN_W3 友人数:同世代

コード		ケース数	%
1	全員	269	51.7
2	何人か	227	43.7
3	まったくいない	6	1.2
9	無回答	18	3.5
		計	520
8	非該当	29	
		計	549

C あなたと学歴が同じくらいの人

FRNDEDU_W3 友人数:同学歴

コード		ケース数	%
1	全員	157	30.2
2	何人か	308	59.2
3	まったくいない	30	5.8
9	無回答	25	4.8
		計	520
8	非該当	29	
		計	549

D あなたと収入が同じくらいの人

FRNDINC_W3 友人数:同程度の収入

コード		ケース数	%
1	全員	76	14.6
2	何人か	347	66.7
3	まったくいない	64	12.3
9	無回答	33	6.3
		計	520
8	非該当	29	
		計	549

E 外国人

FRNDFRGN_W3 友人数:外国人

コード		ケース数	%
1	全員	0	0.0
2	何人か	22	4.2
3	まったくいない	457	87.9
9	無回答	41	7.9
		計	520
8	非該当	29	
		計	549

Q9 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ_W3 健康状態(本人)

コード		ケース数	%
1	良い	144	26.2
2	・	173	31.5
3	・	154	28.1
4	・	59	10.7
5	悪い	10	1.8
9	無回答	9	1.6
計		549	100.0

Q10 あなたは、普段お酒を飲みますか。

DO7DRINK_W3 飲酒頻度

コード		ケース数	%
1	ほとんど毎日	107	19.5
2	週に数回	73	13.3
3	週に1回程度	70	12.8
4	月に1回程度	70	12.8
5	年に数回	75	13.7
6	年に1回程度	33	6.0
7	まったく飲まない	118	21.5
9	無回答	3	0.5
計		549	100.0

Q11-1 あなたは煙草(タバコ)を吸いますか。

DOSMOKEX_W3 喫煙経験

コード		ケース数	%
1	現在吸っている	94	17.1
2	以前は吸っていたがやめた	126	23.0
3	ほとんど/まったく吸ったことはない	328	59.7
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

「1 現在吸っている」の場合

Q11-2 禁煙しようと努力したことがありますか。

XQTSMOKE_W3 禁煙努力

コード		ケース数	%
1	はい	48	51.1
2	いいえ	46	48.9
9	無回答	0	0.0
計		94	100.0
8	非該当	455	
計		549	

Q12 この1ヶ月のあなたの気分や心理的な状況についてお聞きします。回答例のように、以下のそれぞれの項目について、もっともあてはまる番号（1～5）を1つ選んでください。

A かなり神経質であったこと

MENHLNRV_W3 メンタルヘルス:神経質

コード		ケース数	%
1	いつもそうである	23	4.2
2	・	103	18.8
3	・	169	30.8
4	・	153	27.9
5	全くそうではない	97	17.7
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

B 落ち着いていて、おだやかな気分であったこと

MENHLCLM_W3 メンタルヘルス:おだやかな気分

コード		ケース数	%
1	いつもそうである	28	5.1
2	・	162	29.5
3	・	214	39.0
4	・	123	22.4
5	全くそうではない	19	3.5
9	無回答	3	0.5
計		549	100.0

C 落ち込んで、ゆううつな気分であったこと

MENHLDP_W3 メンタルヘルス:ゆううつな気分

コード		ケース数	%
1	いつもそうである	18	3.3
2	・	97	17.7
3	・	148	27.0
4	・	155	28.2
5	全くそうではない	127	23.1
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

D 楽しい気分であったこと

MENHLPLS_W3 メンタルヘルス:楽しい気分

コード		ケース数	%
1	いつもそうである	30	5.5
2	・	194	35.3
3	・	231	42.1
4	・	76	13.8
5	全くそうではない	14	2.6
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

E どうにもならないくらい気分が落ち込んでいたこと

MENHLDWN_W3 メンタルヘルス:気分の落ち込み

コード		ケース数	%
1	いつもそうである	11	2.0
2	・	53	9.7
3	・	99	18.0
4	・	116	21.1
5	全くそうではない	266	48.5
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

Q13 過去1ヶ月に以下のような症状はありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

SYMPHEAD_W3~SYMPNONE_W3 病気の症状

コード			選択者数	%
0		非選択		
1		選択		
9		無回答		
多重回答				
SYMPHEAD_W3	1	頭痛	223	40.6
SYMPVERT_W3	2	めまい	62	11.3
SYMPPALP_W3	3	動悸	55	10.0
SYMPDIAR_W3	4	下痢	111	20.2
SYMPCNST_W3	5	便秘	110	20.0
SYMPANRX_W3	6	食欲不振	34	6.2
SYMPABDN_W3	7	腹痛	74	13.5
SYMPSTMC_W3	8	胃痛	85	15.5
SYMPBACK_W3	9	腰痛	200	36.4
SYMPEYES_W3	10	目の疲れ	267	48.6
SYMPSTIF_W3	11	肩こり	325	59.2
SYMPSLPD_W3	12	寝つきの悪さ	108	19.7
SYMPSLP_W3	13	睡眠不足	201	36.6
SYMPOTHR_W3	14	その他（具体的に)	28	5.1
SYMPNONE_W3	15	いずれの症状もない	42	7.7
			該当者数	549
				100.0

Q14 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。

A 住んでいる地域

ST5AREAY_W3 生活満足度:居住地域

コード			ケース数	%
1		満足	184	33.5
2		・	192	35.0
3		・	123	22.4
4		・	34	6.2
5		不満	15	2.7
9		無回答	1	0.2
			計	549
				100.0

B 余暇の過ごし方

ST5LEISY_W3 生活満足度:余暇利用

コード			ケース数	%
1		満足	82	14.9
2		・	197	35.9
3		・	167	30.4
4		・	81	14.8
5		不満	19	3.5
9		無回答	3	0.5
			計	549
				100.0

C 家庭生活

ST5LIFEY_W3 生活満足度:家庭生活

コード		ケース数	%
1	満足	133	24.2
2	・	196	35.7
3	・	164	29.9
4	・	40	7.3
5	不満	15	2.7
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

D 現在の家計状態

ST5ECNY_W3 生活満足度:家計状態

コード		ケース数	%
1	満足	76	13.8
2	・	129	23.5
3	・	198	36.1
4	・	97	17.7
5	不満	47	8.6
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

E 友人関係

ST5FRIY_W3 生活満足度:友人関係

コード		ケース数	%
1	満足	131	23.9
2	・	195	35.5
3	・	190	34.6
4	・	29	5.3
5	不満	3	0.5
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

F 健康状態

ST5HLTHY_W3 生活満足度:健康状態

コード		ケース数	%
1	満足	75	13.7
2	・	170	31.0
3	・	210	38.3
4	・	67	12.2
5	不満	26	4.7
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

G 配偶者（夫や妻）との関係

ST5SSREL_W3 生活満足度:配偶者との関係

コード		ケース数	%
1	満足	136	24.8
2	・	146	26.6
3	・	111	20.2
4	・	37	6.7
5	不満	24	4.4
6	配偶者はいない	92	16.8
9	無回答	3	0.5
計		549	100.0

Q15 あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ_W3 幸福度

コード		ケース数	%
1	幸せ	190	34.6
2	・	195	35.5
3	・	134	24.4
4	・	27	4.9
5	不幸せ	2	0.4
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

Q16 過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと（例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死）を何回経験しましたか。

XTRAUM5Y_W3 トラウマの回数

コード		ケース数	%
0	なし	249	45.4
1	1回	177	32.2
2	2回	79	14.4
3	3回	21	3.8
4	4回以上	23	4.2
9	無回答	0	0
計		549	100.0

Q17 学生時代のアルバイトを除いて、あなたは、これまでに収入をとまなう仕事についてがありますか。

XWORKL_W3 学生時代のアルバイトを除く就労経験

コード		ケース数	%
1	ある	538	98.0
2	ない	11	2.0
9	無回答	0	0
計		549	100.0

Q18 あなたの今の職場には、次のことがどの程度あてはまりますか。現在働いていない方は、もっとも最近の職場について、お答えください。

A 勤務時間を柔軟に決められる

CNDFLX_W3 現職の状態:柔軟な勤務時間

コード		ケース数	%
1	あてはまる	113	21.0
2	どちらかといえばあてはまる	148	27.5
3	どちらかといえばあてはまらない	104	19.3
4	あてはまらない	173	32.2
9	無回答	0	0.0
計		538	100.0
8	非該当	11	
計		549	

B 仕事の手順を自分で決められる

CNDSMPR_W3 現職の状態: 仕事の手順の自己管理

コード		ケース数	%
1	あてはまる	144	26.8
2	どちらかといえばあてはまる	211	39.2
3	どちらかといえばあてはまらない	113	21.0
4	あてはまらない	70	13.0
9	無回答	0	0.0
		計	538
8	非該当	11	
		計	549

C 仕事の量を自分で決められる

CNDSMAMT_W3 現職の状態: 仕事の量の自己管理

コード		ケース数	%
1	あてはまる	81	15.1
2	どちらかといえばあてはまる	127	23.6
3	どちらかといえばあてはまらない	173	32.2
4	あてはまらない	155	28.8
9	無回答	2	0.4
		計	538
8	非該当	11	
		計	549

D 休日や休暇を自分で決められる

CNDSMHDY_W3 現職の状態: 休暇の自己管理

コード		ケース数	%
1	あてはまる	142	26.4
2	どちらかといえばあてはまる	194	36.1
3	どちらかといえばあてはまらない	105	19.5
4	あてはまらない	97	18.0
9	無回答	0	0.0
		計	538
8	非該当	11	
		計	549

E 自分の仕事の分担をこなさないと、同僚の負担が増える

CNDJNT_W3 現職の状態: 仕事量の連帯責任

コード		ケース数	%
1	あてはまる	176	32.7
2	どちらかといえばあてはまる	185	34.4
3	どちらかといえばあてはまらない	95	17.7
4	あてはまらない	82	15.2
9	無回答	0	0.0
		計	538
8	非該当	11	
		計	549

F 上下関係に関係なく、自由に話し合える

CNDUNRST_W3 現職の状態:自由に話し合える上下関係

コード		ケース数	%
1	あてはまる	130	24.2
2	どちらかといえばあてはまる	255	47.4
3	どちらかといえばあてはまらない	103	19.1
4	あてはまらない	50	9.3
9	無回答	0	0.0
		計	538
8	非該当	11	
		計	549

G 考え方や方針を十分に説明してくれる上司がいる

CNDINS_W3 現職の状態:教育的な上司

コード		ケース数	%
1	あてはまる	88	16.4
2	どちらかといえばあてはまる	233	43.3
3	どちらかといえばあてはまらない	128	23.8
4	あてはまらない	87	16.2
9	無回答	2	0.4
		計	538
8	非該当	11	
		計	549

H 指導や助言をしてくれるベテランがいる

CNDSPT_W3 現職の状態:助言をくれるベテラン

コード		ケース数	%
1	あてはまる	123	22.9
2	どちらかといえばあてはまる	215	40.0
3	どちらかといえばあてはまらない	119	22.1
4	あてはまらない	80	14.9
9	無回答	1	0.2
		計	538
8	非該当	11	
		計	549

I 学校で学んだ知識や技術を活かせる

CNDKNLG_W3 現職の状態:学校で学んだ知識や技術の活用

コード		ケース数	%
1	あてはまる	79	14.7
2	どちらかといえばあてはまる	127	23.6
3	どちらかといえばあてはまらない	184	34.2
4	あてはまらない	146	27.1
9	無回答	2	0.4
		計	538
8	非該当	11	
		計	549

J 教育や研修が効果的に実施されている

CNDTRN_W3 現職の状態:効果的な研修

コード		ケース数	%
1	あてはまる	53	9.9
2	どちらかといえばあてはまる	159	29.6
3	どちらかといえばあてはまらない	203	37.7
4	あてはまらない	120	22.3
9	無回答	3	0.6
		計	538
8	非該当	11	100.0
		計	549

K 自分の仕事は、同じことを繰り返している感じがする

CNDREP_W3 現職の状態:繰り返しの仕事

コード		ケース数	%
1	あてはまる	122	22.7
2	どちらかといえばあてはまる	202	37.5
3	どちらかといえばあてはまらない	155	28.8
4	あてはまらない	57	10.6
9	無回答	2	0.4
		計	538
8	非該当	11	100.0
		計	549

L 自分の能力を活かしている

CNDABL_W3 現職の状態:能力の活用

コード		ケース数	%
1	あてはまる	106	19.7
2	どちらかといえばあてはまる	280	52.0
3	どちらかといえばあてはまらない	126	23.4
4	あてはまらない	24	4.5
9	無回答	2	0.4
		計	538
8	非該当	11	100.0
		計	549

M 努力しだいで昇進できる

CNDEFT_W3 現職の状態:努力しだいの昇進

コード		ケース数	%
1	あてはまる	69	12.8
2	どちらかといえばあてはまる	136	25.3
3	どちらかといえばあてはまらない	164	30.5
4	あてはまらない	166	30.9
9	無回答	3	0.6
		計	538
8	非該当	11	100.0
		計	549

N 自分がどれだけ成果を上げたかで、収入が変わる

CNDACMP_W3 現職の状態:成果しだいの収入

コード		ケース数	%
1	あてはまる	47	8.7
2	どちらかといえばあてはまる	89	16.5
3	どちらかといえばあてはまらない	151	28.1
4	あてはまらない	249	46.3
9	無回答	2	0.4
		計	538
8	非該当	11	100.0
		計	549

O お金のためというより、仕事楽しいから働いている

CNDWRTH_W3 現職の状態:お金より仕事のやりがい

コード		ケース数	%
1	あてはまる	53	9.9
2	どちらかといえばあてはまる	134	24.9
3	どちらかといえばあてはまらない	209	38.8
4	あてはまらない	137	25.5
9	無回答	5	0.9
		計	538
8	非該当	11	100.0
		計	549

P 仕事と生活の時間配分のバランスが取れている

CNDBLC_W3 現職の状態:仕事と生活のバランス

コード		ケース数	%
1	あてはまる	86	16.0
2	どちらかといえばあてはまる	223	41.4
3	どちらかといえばあてはまらない	154	28.6
4	あてはまらない	74	13.8
9	無回答	1	0.2
		計	538
8	非該当	11	100.0
		計	549

Q19-1 以下の項目のなかで、前回の調査（2013年2～3月）以降この6年間で、あなたの能力や知識が向上したと思うものの番号すべてに○をつけてください。

SKAPDOC_W3～SKAPNW_W3 6年間で向上した能力

コード				
0		非選択		
1		選択		
9		無回答		
多重回答			選択者数	%
SKAPDOC_W3	1	パソコンで文書を作成する能力	185	33.7
SKAPENG_W3	2	英語で会話や読み書きをする力	32	5.8
SKAPCOOP_W3	3	上司や同僚との協調性	238	43.4
SKAPINTV_W3	4	指示がなくても、仕事を進める力	335	61.0
SKAPVERS_W3	5	いろいろな業務をこなす能力	282	51.4
SKAPLEAD_W3	6	チームを引っばる統率力	129	23.5
SKAPMNNR_W3	7	正しいマナーで応対する能力	176	32.1
SKAPRCPT_W3	8	相手の要望を的確に理解する能力	202	36.8
SKAPCHRC_W3	9	相手にわかりやすく話す能力	202	36.8
SKAPSOC_W3	10	社会情勢についての知識	129	23.5
SKAPLAW_W3	11	法律の知識	91	16.6
SKAPRGHT_W3	12	労働者の権利や義務についての知識	100	18.2
SKAPNO_W3	13	あてはまるものはこの中がない	64	11.7
SKAPNW_W3	14	過去6年間、働いたことはない	14	2.6
			該当者数	549
				100.0

Q19-2 以下の項目のなかで、今後身につけたい、あるいは現在の能力を高めたいと思うものの番号すべてに○をつけてください。

SKWTDOC_W3～SKWTNO_W3 今後高めたい能力

コード				
0		非選択		
1		選択		
9		無回答		
多重回答			選択者数	%
SKWTDOC_W3	1	パソコンで文書を作成する能力	175	31.9
SKWTENG_W3	2	英語で会話や読み書きをする力	239	43.5
SKWTCOOP_W3	3	上司や同僚との協調性	125	22.8
SKWTINTV_W3	4	指示がなくても、仕事を進める力	136	24.8
SKWTVERS_W3	5	いろいろな業務をこなす能力	198	36.1
SKWTLEAD_W3	6	チームを引っばる統率力	179	32.6
SKWTMNNR_W3	7	正しいマナーで応対する能力	210	38.3
SKWTRCPT_W3	8	相手の要望を的確に理解する能力	226	41.2
SKWTCHRC_W3	9	相手にわかりやすく話す能力	291	53.0
SKWTSOC_W3	10	社会情勢についての知識	209	38.1
SKWTLAW_W3	11	法律の知識	178	32.4
SKWTRGHT_W3	12	労働者の権利や義務についての知識	158	28.8
SKWTNO_W3	13	あてはまるものはこの中がない	35	6.4
			該当者数	549
				100.0

Q20 あなたは以下のことをする時間を増やしたいですか、減らしたいですか。

A 仕事をする時間

TMALWK_W3 理想の時間配分:仕事

コード		ケース数	%
1	増やしたい	23	4.2
2	少し増やしたい	78	14.2
3	いまのままでよい	256	46.6
4	少し減らしたい	114	20.8
5	減らしたい	77	14.0
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

B 趣味に費やす時間

TMALHBY_W3 理想の時間配分:趣味

コード		ケース数	%
1	増やしたい	131	23.9
2	少し増やしたい	244	44.4
3	いまのままでよい	169	30.8
4	少し減らしたい	2	0.4
5	減らしたい	1	0.2
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

C 家族と過ごす時間

TMALFAM_W3 理想の時間配分:家族

コード		ケース数	%
1	増やしたい	86	15.7
2	少し増やしたい	159	29.0
3	いまのままでよい	296	53.9
4	少し減らしたい	4	0.7
5	減らしたい	1	0.2
9	無回答	3	0.5
計		549	100.0

D 家事をする時間

TMALHW_W3 理想の時間配分:家事

コード		ケース数	%
1	増やしたい	32	5.8
2	少し増やしたい	119	21.7
3	いまのままでよい	285	51.9
4	少し減らしたい	70	12.8
5	減らしたい	41	7.5
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

Q21-1 現在、あなたには配偶者（夫や妻）がいますか。内縁や同棲中の相手も配偶者とみなしてください。

DOMARRYL_W3 配偶者の有無

コード		ケース数	%
1	現在、配偶者がいる	457	83.2
2	配偶者はいない	92	16.8
9	無回答	0	0.0
計		549	100.0

「2 配偶者はいない」の場合

Q21-2 次の A~F の項目は、あなたにどれくらいあてはまりますか。

A 今は結婚のタイミングをつかめない

UNMRTM_W3 未婚理由: タイミング

コード		ケース数	%
1	とてもあてはまる	37	40.2
2	ある程度あてはまる	18	19.6
3	あまりあてはまらない	13	14.1
4	まったくあてはまらない	20	21.7
9	無回答	4	4.3
		計	92
8	非該当	457	100.0
		計	549

B 今は仕事に達成感や楽しんでいる

UNMRWK_W3 未婚理由: 仕事

コード		ケース数	%
1	とてもあてはまる	9	9.8
2	ある程度あてはまる	33	35.9
3	あまりあてはまらない	26	28.3
4	まったくあてはまらない	20	21.7
9	無回答	4	4.3
		計	92
8	非該当	457	100.0
		計	549

C 今は自分の趣味を楽しみたい

UNMRHB_W3 未婚理由: 趣味

コード		ケース数	%
1	とてもあてはまる	15	16.3
2	ある程度あてはまる	33	35.9
3	あまりあてはまらない	27	29.3
4	まったくあてはまらない	13	14.1
9	無回答	4	4.3
		計	92
8	非該当	457	100.0
		計	549

D 理想にあう相手が現れない

UNMRNPRT_W3 未婚理由: 理想の相手が現れない

コード		ケース数	%
1	とてもあてはまる	32	34.8
2	ある程度あてはまる	21	22.8
3	あまりあてはまらない	14	15.2
4	まったくあてはまらない	21	22.8
9	無回答	4	4.3
		計	92
8	非該当	457	100.0
		計	549

E 出会うチャンスがない

UNMRNOP_W3 未婚理由:チャンスがない

コード		ケース数	%
1	とてもあてはまる	35	38.0
2	ある程度あてはまる	22	23.9
3	あまりあてはまらない	13	14.1
4	まったくあてはまらない	18	19.6
9	無回答	4	4.3
		計	92
8	非該当	457	100.0
		計	549

F 好きになる人は、すでに結婚している

UNMRMRRD_W3 未婚理由:相手が既婚者

コード		ケース数	%
1	とてもあてはまる	4	4.3
2	ある程度あてはまる	9	9.8
3	あまりあてはまらない	13	14.1
4	まったくあてはまらない	62	67.4
9	無回答	4	4.3
		計	92
8	非該当	457	100.0
		計	549

Q21-3 あなたは現在、親密に交際している方がいますか。

INTPTN_W3 親密交際の有無

コード		ケース数	%
1	婚約者がいる	3	3.3
2	恋人がいる	15	16.3
3	過去にはいたが、現在は交際相手がいない	54	58.7
4	交際したことはない	14	15.2
9	無回答	6	6.5
		計	92
8	非該当	457	100.0
		計	549

Q21-4 あなたは何歳までに結婚をしたいと考えていますか。

MARINT_W3 今後の結婚意思

コード		ケース数	%
1	___歳までに結婚したい	11	12.0
2	年齢にはこだわらない	42	45.7
3	結婚するつもりはない	35	38.0
9	無回答	4	4.3
		計	92
8	非該当	457	100.0
		計	549

「1 ____歳までに結婚したい」の場合

PRFMAGE_W3 希望の結婚年齢

コード		ケース数	%
実数記入	40歳	1	9.1
	43歳	3	27.3
	45歳	3	27.3
	46歳	1	9.1
	48歳	2	18.2
	52歳	1	9.1
999	無回答	0	0.0
		計	11
888	非該当	538	100.0
		計	549

Q21-1に「1 現在、配偶者がいる」の場合

Q22 次のことは、主にあなたと配偶者のどちらが決めていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

A 車や家具などの高価なものの購入

DMHIEPL_W3 家庭内の意思決定者: 車や家具などの高価なものの購入

コード		ケース数	%
1	私	24	5.3
2	どちらかという私	84	18.4
3	2人で一緒に	262	57.3
4	どちらかという配偶者	46	10.1
5	配偶者	23	5.0
6	2人別々に	16	3.5
9	無回答	2	0.4
		計	457
8	非該当	92	100.0
		計	549

B 貯蓄や投資

DMINV_W3 家庭内の意思決定者: 貯蓄や投資

コード		ケース数	%
1	私	65	14.2
2	どちらかという私	114	24.9
3	2人で一緒に	129	28.2
4	どちらかという配偶者	71	15.5
5	配偶者	40	8.8
6	2人別々に	36	7.9
9	無回答	2	0.4
		計	457
8	非該当	92	100.0
		計	549

C 子どものしつけや教育方針

DMCED_W3 家庭内の意思決定者: 子どものしつけや教育方針

コード		ケース数	%
1	私	38	8.3
2	どちらかという私	98	21.4
3	2人で一緒に	211	46.2
4	どちらかという配偶者	56	12.3
5	配偶者	11	2.4
6	2人別々に	13	2.8
7	子どもはいない	29	6.3
9	無回答	1	0.2
		計	457
8	非該当	92	100.0
		計	549

Q23 あなたの配偶者は、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

A 夕食の用意

SSFQ7CK_W3 夕食の用意:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	135	29.5
2	週に数回	41	9.0
3	週に1回程度	32	7.0
4	月に1回程度	39	8.5
5	年に数回	46	10.1
6	年に1回程度	17	3.7
7	まったくしていない	144	31.5
9	無回答	3	0.7
		計	457
8	非該当	92	100.0
		計	549

B 買い物(日用品や食料品の買い物)

SSFQ7SHP_W3 買い物:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	58	12.7
2	週に数回	115	25.2
3	週に1回程度	101	22.1
4	月に1回程度	40	8.8
5	年に数回	44	9.6
6	年に1回程度	9	2.0
7	まったくしていない	85	18.6
9	無回答	5	1.1
		計	457
8	非該当	92	100.0
		計	549

C ゴミ出し

SSFQ7GRB_W3 ゴミ出し:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	64	14.0
2	週に数回	136	29.8
3	週に1回程度	56	12.3
4	月に1回程度	31	6.8
5	年に数回	44	9.6
6	年に1回程度	8	1.8
7	まったくしていない	114	24.9
9	無回答	4	0.9
		計	457
8	非該当	92	100.0
		計	549

Q24 あなたは、配偶者が以下のことをする時間を増やしてほしいですか、減らしてほしいですか。

A 仕事をする時間

TMALSWK_W3 理想の時間配分:仕事(配偶者)

コード		ケース数	%
1	増やしてほしい	21	4.6
2	少し増やしてほしい	42	9.2
3	いまのままでよい	304	66.5
4	少し減らしてほしい	67	14.7
5	減らしてほしい	14	3.1
9	無回答	9	2.0
		計	457
8	非該当	92	100.0
		計	549

B 趣味に費やす時間

TMALSHBY_W3 理想の時間配分:趣味(配偶者)

コード		ケース数	%
1	増やしてほしい	29	6.3
2	少し増やしてほしい	101	22.1
3	いまのままでよい	278	60.8
4	少し減らしてほしい	30	6.6
5	減らしてほしい	13	2.8
9	無回答	6	1.3
		計	457
8	非該当	92	100.0
		計	549

C 家族と過ごす時間

TMALSFAM_W3 理想の時間配分:家族(配偶者)

コード		ケース数	%
1	増やしてほしい	21	4.6
2	少し増やしてほしい	74	16.2
3	いまのままでよい	340	74.4
4	少し減らしてほしい	10	2.2
5	減らしてほしい	4	0.9
9	無回答	8	1.8
		計	457
8	非該当	92	100.0
		計	549

D 家事をする時間

TMALSHW_W3 理想の時間配分:家事(配偶者)

コード		ケース数	%
1	増やしてほしい	47	10.3
2	少し増やしてほしい	116	25.4
3	いまのままでよい	266	58.2
4	少し減らしてほしい	21	4.6
5	減らしてほしい	7	1.5
9	無回答	457	100.0
		計	92
8	非該当	549	10.3
		計	47

Q25 あなたの配偶者の現在の健康状態は、いかがですか。

SS5HLTHZ_W3 健康状態(配偶者)

コード		ケース数	%
1	良い	138	30.2
2	・	137	30.0
3	・	128	28.0
4	・	49	10.7
5	悪い	2	0.4
9	無回答	3	0.7
		計	457
8	非該当	92	
		計	549

Q26-1 あなたは、これから子どもがほしいですか。すでにお子さんがある方は、さらにもう一人ほしいですか。

INTCHLD_W3 子どもをもつ意思

コード		ケース数	%
1	ぜひほしい	11	2.0
2	ほしい	38	6.9
3	どちらともいえない	104	18.9
4	あまりほしくない	38	6.9
5	ほしくない	355	64.7
9	無回答	3	0.5
		計	549
		計	100.0

「1 ぜひほしい」「2 ほしい」の場合

Q26-2 その子どもは、いつほしいですか。

PRFTMCLD_W3 子どもをもちたい時期

コード		ケース数	%
1	1年以内に	11	22.4
2	2～3年以内に	13	26.5
3	4年以上たってから	2	4.1
4	いつでもよい	22	44.9
5	現在、妊娠している	0	0.0
9	無回答	1	2.0
		計	49
8	非該当	500	
		計	549

Q27 あなたに子どもができたとなると、以下の項目は現在と比べて、どう変わるとお考えですか。すでにお子さんがある方は、もう一人増えた場についてお答えください。

A 家計の状態

LCHGFIN_W3 子どもによる変化:家計の状態

コード		ケース数	%
1	ずっと良くなる	0	0.0
2	良くなる	3	0.5
3	変わらない	114	20.8
4	悪くなる	320	58.3
5	ずっと悪くなる	109	19.9
9	無回答	3	0.5
		計	549
		計	100.0

B 就職や昇進の機会

LCHGEMP_W3 子どもによる変化:就職や昇進の機会

コード		ケース数	%
1	ずっと良くなる	0	0.0
2	良くなる	7	1.3
3	変わらない	337	61.4
4	悪くなる	140	25.5
5	ずっと悪くなる	61	11.1
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

C 友人とのつきあい

LCHGFRD_W3 子どもによる変化:友人とのつきあい

コード		ケース数	%
1	ずっと良くなる	1	0.2
2	良くなる	11	2.0
3	変わらない	306	55.7
4	悪くなる	185	33.7
5	ずっと悪くなる	42	7.7
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

D まわりからの評価

LCHGSOC_W3 子どもによる変化:まわりからの評価

コード		ケース数	%
1	ずっと良くなる	1	0.2
2	良くなる	55	10.0
3	変わらない	445	81.1
4	悪くなる	29	5.3
5	ずっと悪くなる	15	2.7
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

E 心の安らぎ

LCHGPEAC_W3 子どもによる変化:心の安らぎ

コード		ケース数	%
1	ずっと良くなる	10	1.8
2	良くなる	161	29.3
3	変わらない	239	43.5
4	悪くなる	101	18.4
5	ずっと悪くなる	33	6.0
9	無回答	5	0.9
計		549	100.0

F 生活全般の満足度

LCHGSAT_W3 子どもによる変化:生活全般の満足度

コード		ケース数	%
1	ずっと良くなる	13	2.4
2	良くなる	133	24.2
3	変わらない	248	45.2
4	悪くなる	110	20.0
5	ずっと悪くなる	40	7.3
9	無回答	5	0.9
計		549	100.0

Q28 今いるお子さんを含めて、全部で何人の子どもがほしいですか。

PRFCCNUM_W3 希望する子どもの総数

コード		ケース数	%
0	0人	55	10.0
1	1人	76	13.8
2	2人	233	42.4
3	3人	150	27.3
4	4人	19	3.5
5	5人以上（具体的に 人）	6	1.1
9	無回答	10	1.8
計		549	100.0

「5人以上（具体的に 人）」の場合

PRFCCNMX_W3 希望する子どもの総数:5人以上の場合(具体的記述)

コード		ケース数	%
実数記入	5人	4	66.7
	7人	1	16.7
99	無回答	1	16.7
計		6	100.0
88	非該当	543	
計		549	

Q29 あなたは、子育てについて悩んでいることがありますか。あてはまることすべてに○をつけてください。お子さんがいない方は番号10に○をつけてください。

ANXCARE_W3~ANXNO_W3 子育ての悩み

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
9	無回答		
多重回答			
ANXCARE_W3	1 子どもの世話	20	3.6
ANXDSP_W3	2 子どものしつけ	138	25.1
ANXCOMM_W3	3 子どもとのコミュニケーションの取り方	78	14.2
ANXCIR_W3	4 地域の子育て環境	15	2.7
ANXFRD_W3	5 子どもの友達関係	86	15.7
ANXLIFE_W3	6 子どもの生活態度	152	27.7
ANXACAD_W3	7 子どもの学業成績	149	27.1
ANXEDU_W3	8 子どもの教育費	184	33.5
ANXOT_W3	9 その他（具体的に ）	25	4.6
ANXNO_W3	10 特に悩みはない・子どもはいない	189	34.4
該当者数		549	100.0

Q30 子どもの教育に関する次の意見について、あなたはどのように思いますか。お子さんがいない方は、ご自分のお子さんがいる場合を想像して、お答えください。

A 子どもには、自分が受けたのと同じ、あるいはそれ以上の段階の学校まで進んでほしい

CEDUACAD_W3 子どもの教育:自分と同等以上の学歴

コード		ケース数	%
1	そう思う	231	42.1
2	どちらかといえばそう思う	214	39.0
3	どちらかといえばそう思わない	54	9.8
4	そう思わない	47	8.6
9	無回答	3	0.5
計		549	100.0

B 子どもには、大学に進学するよりも、早く就職してほしい

CEDUEMP_W3 子どもの教育:大学進学よりも就職

コード		ケース数	%
1	そう思う	14	2.6
2	どちらかといえばそう思う	57	10.4
3	どちらかといえばそう思わない	215	39.2
4	そう思わない	256	46.6
9	無回答	7	1.3
計		549	100.0

C 子どもの教育にはできる限りお金をかけたい

CEDUEXP_W3 子どもの教育:できる限り教育費をかけたい

コード		ケース数	%
1	そう思う	81	14.8
2	どちらかといえばそう思う	287	52.3
3	どちらかといえばそう思わない	137	25.0
4	そう思わない	40	7.3
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

D 子育て費用をもっと国や地方自治体が負担してほしい

CEDUGOV_W3 子どもの教育:国や地方自治体による負担

コード		ケース数	%
1	そう思う	246	44.8
2	どちらかといえばそう思う	210	38.3
3	どちらかといえばそう思わない	69	12.6
4	そう思わない	21	3.8
9	無回答	3	0.5
計		549	100.0

Q31 次のA~Eの意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 結婚しても、相手に満足できないときは、いつでも離婚すればよい

Q4DIVOK_W3 意見についての賛否:離婚

コード		ケース数	%
1	賛成	46	8.4
2	どちらかといえば賛成	208	37.9
3	どちらかといえば反対	244	44.4
4	反対	48	8.7
9	無回答	3	0.5
計		549	100.0

B 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ

Q4MNCOOK_W3 意見についての賛否:男性の家事

コード		ケース数	%
1	賛成	228	41.5
2	どちらかといえば賛成	299	54.5
3	どちらかといえば反対	16	2.9
4	反対	4	0.7
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

C 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

Q4WWHHX_W3 意見についての賛否:性役割分担

コード		ケース数	%
1	賛成	10	1.8
2	どちらかといえば賛成	141	25.7
3	どちらかといえば反対	256	46.6
4	反対	139	25.3
9	無回答	3	0.5
計		549	100.0

D 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによく影響を与える

Q4JBMMCC_W3 意見についての賛否:子どもへの影響

コード		ケース数	%
1	賛成	31	5.6
2	どちらかといえば賛成	115	20.9
3	どちらかといえば反対	263	47.9
4	反対	139	25.3
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

E 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である

Q4WWHPHH_W3 意見についての賛否:妻は夫の手助け

コード		ケース数	%
1	賛成	8	1.5
2	どちらかといえば賛成	99	18.0
3	どちらかといえば反対	275	50.1
4	反対	165	30.1
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

Q32 あなたは、悩みや心理的な問題が生じたときに、最初に誰に助けを求めましたか。1つだけ○をつけてください。一番最近の出来事を思い出してお答えください。

HLPWRRY_W3 援助を求める相手:悩みや心理的問題

コード		ケース数	%
1	同居家族	297	54.1
2	その他の親族	35	6.4
3	職場の人	22	4.0
4	近所の人	0	0.0
5	友人	78	14.2
6	専門職の人(カウンセラー、精神科医など)	12	2.2
7	誰にも助けを求めなかった	70	12.8
8	そのような問題は経験したことがない	25	4.6
9	同居家族/友人	10	1.8
99	無回答	0	0.0
計		549	100.0

コード「9」は、コード「1」と「5」の両方に回答したケースを活かして調査後に追加した。

Q33 あなたのお宅では以下のものを所有していますか。所有しているものすべてに○をつけてください。

CNSDBCAR_W3～CNSDBNO_W3 所有する耐久消費財や資産

コード	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答		選択者数	%
CNSDBCAR_W3	1 自家用車	504	91.8
CNSDBMCY_W3	2 バイク	80	14.6
CNSDBFTV_W3	3 大画面の薄型テレビ	337	61.4
CNSDBDRY_W3	4 衣類乾燥機（洗濯機と一体型も含む）	252	45.9
CNSDBSTK_W3	5 株券・債券	117	21.3
CNSDBNO_W3	6 いずれも持っていない	12	2.2
		該当者数	549
			100.0

Q34 あなたのお宅では、この1年くらいの間に支出を控えている項目はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

EXRSMEAL_W3～EXRSNO_W3 控えている支出

コード	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答		選択者数	%
EXRSMEAL_W3	1 食費	124	22.6
EXRSHOUS_W3	2 住居費	29	5.3
EXRSUTL_W3	3 光熱費・ガソリン代	76	13.8
EXRSCLTH_W3	4 衣料費	158	28.8
EXRSCOMM_W3	5 電話代などの通信費	130	23.7
EXRSMED_W3	6 医療費	44	8.0
EXRSEDU_W3	7 教育費	35	6.4
EXRSENT_W3	8 娯楽費	200	36.4
EXRSOT_W3	9 その他（具体的に)	4	0.7
EXRSNO_W3	10 控えているものはない	207	37.7
		該当者数	549
			100.0

Q35 あなたがとくにお金をかけたいと思っている項目はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

EXWTFOOD_W3~EXWTNO_W3 お金をかけたいこと

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
9	無回答		
多重回答			
EXWTFOOD_W3	1 食べる事	223	40.6
EXWTHOUS_W3	2 住まい	77	14.0
EXWTAPPL_W3	3 家電・AV 機器 (冷蔵庫、TV、パソコンなど)	62	11.3
EXWTCAR_W3	4 自家用車	46	8.4
EXWTFSHN_W3	5 ファッション・美容	72	13.1
EXWTLSSN_W3	6 習い事・資格	72	13.1
EXWTFRD_W3	7 友人との交際	78	14.2
EXWTTRAV_W3	8 旅行	201	36.6
EXWTSPRT_W3	9 スポーツ・健康づくり	100	18.2
EXWTSMC_W3	10 スポーツ観戦・映画・コンサートなど	85	15.5
EXWTHK_W3	11 家事代行サービス (育児などを含む)	8	1.5
EXWTEDU_W3	12 子どもの教育費	210	38.3
EXWTPET_W3	13 ペットに関する費用	31	5.6
EXWTOT_W3	14 その他 (具体的に)	5	0.9
EXWTNO_W3	15 特にない	91	16.6
		該当者数	549
			100.0

Q36 あなたは以下のことについて、どう思いますか。ご自身についてお答えください。

A 私には将来の希望がもてず、物事がよい方向に行くとは考えられない

NOFUTR_W3 希望のなさ: 将来の希望が持てない

コード		ケース数	%
1	強く賛成	18	3.3
2	どちらかといえば賛成	57	10.4
3	どちらともいえない	204	37.2
4	どちらかといえば反対	150	27.3
5	強く反対	115	20.9
9	無回答	5	0.9
		計	549
			100.0

B 私が目指している目標は達成できないだろう

NOGOAL_W3 希望のなさ: 目標は達成できない

コード		ケース数	%
1	強く賛成	18	3.3
2	どちらかといえば賛成	40	7.3
3	どちらともいえない	248	45.2
4	どちらかといえば反対	136	24.8
5	強く反対	102	18.6
9	無回答	5	0.9
		計	549
			100.0

Q37 この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

OP3ECN3A_W3 家計状態の変化

コード		ケース数	%
1	良くなった	136	24.8
2	悪くなった	139	25.3
3	変わらない	270	49.2
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

Q38 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

OP5FFINX_W3 世帯収入のレベル

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	38	6.9
2	平均より少ない	127	23.1
3	ほぼ平均	230	41.9
4	平均より多い	139	25.3
5	平均よりかなり多い	10	1.8
9	無回答	5	0.9
計		549	100.0

Q39 今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。

AXECNSF_W3 将来の経済的不安

コード		ケース数	%
1	とても感じている	116	21.1
2	ある程度感じている	231	42.1
3	どちらともいえない	108	19.7
4	あまり感じていない	83	15.1
5	まったく感じていない	7	1.3
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

Q40 昨年一年間で、あなたは、どのくらい貯金しましたか。

SAVELSTY_W3 過去1年間の貯金

コード		ケース数	%
1	0円	97	17.7
2	10万円未満	64	11.7
3	10万円以上 30万円未満	67	12.2
4	30万円以上 50万円未満	61	11.1
5	50万円以上 70万円未満	75	13.7
6	70万円以上 100万円未満	54	9.8
7	100万円以上 200万円未満	78	14.2
8	200万円以上	38	6.9
9	無回答	15	2.7
計		549	100.0

Q41 この4年間に、あなたの家計のうち、次の項目がどのように変化しましたか。

A 貯蓄

CHGSVNG_W3 4年間の家計の変化:貯蓄

コード		ケース数	%
1	増えた	77	14.0
2	少し増えた	138	25.1
3	変わらない	170	31.0
4	少し減った	58	10.6
5	減った	100	18.2
9	無回答	6	1.1
計		549	100.0

B 負債

CHGDFCT_W3 4年間の家計の変化:負債

コード		ケース数	%
1	増えた	45	8.2
2	少し増えた	42	7.7
3	変わらない	298	54.3
4	少し減った	91	16.6
5	減った	60	10.9
9	無回答	13	2.4
計		549	100.0

C 自分で自由に使えるお金

CHGMONY_W3 4年間の家計の変化:自分で自由に使えるお金

コード		ケース数	%
1	増えた	29	5.3
2	少し増えた	79	14.4
3	変わらない	296	53.9
4	少し減った	55	10.0
5	減った	81	14.8
9	無回答	9	1.6
計		549	100.0

Q42 あなたは、どの公的年金に加入していますか。

PENPLAN_W3 年金の種類

コード		ケース数	%
1	国民年金	133	24.2
2	厚生年金・共済年金	388	70.7
3	その他(具体的に)	3	0.5
4	いずれにも加入していない	4	0.7
5	国民年金/厚生年金・共済年金	15	2.7
6	国民年金/その他	0	0.0
7	厚生年金・共済年金/その他	0	0.0
9	無回答	6	1.1
計		549	100.0

コード「5」～「7」は複数回答ケースを活かして追加した。

Q43 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

OP5CHNCA_W3 生活水準向上機会の有無

コード		ケース数	%
1	充分にある	20	3.6
2	少しはある	89	16.2
3	どちらともいえない	192	35.0
4	あまりない	179	32.6
5	まったくない	65	11.8
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

Q44 かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入るとお考えですか。

OP5LEVK_W3 階層帰属意識

コード		ケース数	%
1	上	3	0.5
2	中の上	96	17.5
3	中の中	247	45.0
4	中の下	171	31.1
5	下	27	4.9
9	無回答	5	0.9
計		549	100.0

Q45 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

XX8PLPTY_W3 支持政党

コード		ケース数	%
1	自民党	124	22.6
2	立憲民主党	10	1.8
3	公明党	17	3.1
4	共産党	6	1.1
5	国民民主党	2	0.4
6	日本維新の会	7	1.3
7	社民党	0	0.0
8	自由党	0	0.0
9	希望の党	0	0.0
10	その他の政党 ()	1	0.2
11	特に支持する政党はない	288	52.5
12	わからない	89	16.2
99	無回答	5	0.9
計		549	100.0

JGSS-2013LCSwave2 とはコードに違いがある

Q46 これからの日本のあるべき姿として、あなたのイメージにもっとも近いのはどれですか。

JPSOCST_W3 日本のあるべき姿

コード		ケース数	%
1	アメリカのような競争と効率を重視した社会	37	6.7
2	北欧のような税は高率だが福祉を重視した社会	321	58.5
3	かつての日本のような終身雇用を重視した社会	132	24.0
4	その他 (具体的に)	16	2.9
9	無回答	43	7.8
計		549	100.0

Q47 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号（1～7）を1つ選んでください。

OP7GDEVO_W3 人間観(一般):人間の本性

コード		ケース数	%
1	人間の本性は本来「悪」である	14	2.6
2	・	35	6.4
3	・	82	14.9
4	・	165	30.1
5	・	131	23.9
6	・	79	14.4
7	人間の本性は本来「善」である	40	7.3
9	無回答	3	0.5
計		549	100.0

Q48 あなた自身についてお答えください。次のA～Kの項目は、あなたにどれくらいあてはまりますか。

A あらゆることにプラス思考で挑戦する

SEVPOS_W3 自分についての見方:プラス思考

コード		ケース数	%
1	あてはまる	60	10.9
2	どちらかといえばあてはまる	277	50.5
3	どちらかといえばあてはまらない	169	30.8
4	あてはまらない	41	7.5
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

B 自分の考えを他人にはっきり説明できる

SEVCHCY_W3 自分についての見方:はっきり説明できる

コード		ケース数	%
1	あてはまる	67	12.2
2	どちらかといえばあてはまる	237	43.2
3	どちらかといえばあてはまらない	211	38.4
4	あてはまらない	33	6.0
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

C 他人とは違う「自分流」のものを持っている

SEVORIG_W3 自分についての見方:他人とは違うものを持っている

コード		ケース数	%
1	あてはまる	72	13.1
2	どちらかといえばあてはまる	289	52.6
3	どちらかといえばあてはまらない	159	29.0
4	あてはまらない	25	4.6
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

D 友人に頼りにされている

SEVDPND_W3 自分についての見方:友達に頼りにされている

コード		ケース数	%
1	あてはまる	26	4.7
2	どちらかといえばあてはまる	274	49.9
3	どちらかといえばあてはまらない	213	38.8
4	あてはまらない	34	6.2
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

E 考え方が保守的である

SEVCNSV_W3 自分についての見方:保守的

コード		ケース数	%
1	あてはまる	55	10.0
2	どちらかといえばあてはまる	292	53.2
3	どちらかといえばあてはまらない	178	32.4
4	あてはまらない	22	4.0
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

F できるだけ尊敬される地位につきたい

SEVRSPCT_W3 自分についての見方:尊敬される地位につきたい

コード		ケース数	%
1	あてはまる	15	2.7
2	どちらかといえばあてはまる	177	32.2
3	どちらかといえばあてはまらない	277	50.5
4	あてはまらない	76	13.8
9	無回答	4	0.7
計		549	100.0

G できるだけ高い収入を得たい

SEVHISLR_W3 自分についての見方:高い収入を得たい

コード		ケース数	%
1	あてはまる	143	26.0
2	どちらかといえばあてはまる	289	52.6
3	どちらかといえばあてはまらない	106	19.3
4	あてはまらない	10	1.8
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

H ある程度はつらい思いをしないと成長できないと思っている

SEVSCS_W3 自分についての見方:成長にはつらい思いが必要

コード		ケース数	%
1	あてはまる	138	25.1
2	どちらかといえばあてはまる	311	56.6
3	どちらかといえばあてはまらない	80	14.6
4	あてはまらない	18	3.3
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

I 物事の本質を見抜くほうだ

SEVINSGH_W3 自分についての見方:本質を見抜く

コード		ケース数	%
1	あてはまる	52	9.5
2	どちらかといえばあてはまる	256	46.6
3	どちらかといえばあてはまらない	216	39.3
4	あてはまらない	23	4.2
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

J 長期的な視野で物事を考えるほうだ

SEVLGVIEW_W3 自分についての見方:長期的な視野

コード		ケース数	%
1	あてはまる	51	9.3
2	どちらかといえばあてはまる	245	44.6
3	どちらかといえばあてはまらない	227	41.3
4	あてはまらない	24	4.4
9	無回答	2	0.4
計		549	100.0

K リスクがあっても挑戦するほうだ

SEVCHLNG_W3 自分についての見方:リスクをとる

コード		ケース数	%
1	あてはまる	21	3.8
2	どちらかといえばあてはまる	181	33.0
3	どちらかといえばあてはまらない	278	50.6
4	あてはまらない	68	12.4
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

Q49 あなたは以下のことがどのくらいできますか。A~Cのそれぞれについて、お答えください。

A 英字新聞の短い記事を読む

EANWP_W3 英語能力:英字新聞の短い記事を読む

コード		ケース数	%
1	非常によくできる	3	0.5
2	よくできる	14	2.6
3	少しはできる	110	20.0
4	あまりできない	126	23.0
5	ほとんど/まったくできない	295	53.7
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

B 英語でおしゃべりする

EACHTT_W3 英語能力:英語でおしゃべりする

コード		ケース数	%
1	非常によくできる	3	0.5
2	よくできる	5	0.9
3	少しはできる	79	14.4
4	あまりできない	143	26.0
5	ほとんど/まったくできない	318	57.9
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

C 英語で手紙を書く

EALTRR_W3 英語能力:英語で手紙を書く

コード		ケース数	%
1	非常によくできる	2	0.4
2	よくできる	9	1.6
3	少しはできる	65	11.8
4	あまりできない	105	19.1
5	ほとんど/まったくできない	367	66.8
9	無回答	1	0.2
計		549	100.0

II.3 LCS 変数名索引 (アルファベット順)

[略号・記号] 面：面接調査票，留：留置調査票，F：調査員記入欄（面接調査票末尾），◇：抽出関連などの変数で質問番号なし

JGSS-2009LCS 変数名	JGSS-2009LCS 変数ラベル	JGSS-2009LCS 質問番号	JGSS-2013LCSwave2 変数名	JGSS-2013LCSwave2 変数ラベル	JGSS-2013LCSwave2 質問番号	JGSS-2019LCSwave3 変数名	JGSS-2019LCSwave3 変数ラベル	JGSS-2019LCSwave3 質問番号
AGEB	年齢	面接冒頭欄	AGEB_W2	年齢 (w2 調査時)	◇	AGEB_W3	年齢 (w3 調査時)	◇
ANXACAD	子育ての悩み：学業成績	留 33 7	ANXACAD_W2	子育ての悩み：学業成績	留 29 7	ANXACAD_W3	子育ての悩み：学業成績	留 29 7
ANXCARE	子育ての悩み：世話	留 33 1	ANXCARE_W2	子育ての悩み：世話	留 29 1	ANXCARE_W3	子育ての悩み：世話	留 29 1
ANXCIR	子育ての悩み：地域の子育て環境	留 33 4	ANXCIR_W2	子育ての悩み：地域の子育て環境	留 29 4	ANXCIR_W3	子育ての悩み：地域の子育て環境	留 29 4
ANXCOMM	子育ての悩み：コミュニケーション	留 33 3	ANXCOMM_W2	子育ての悩み：コミュニケーション	留 29 3	ANXCOMM_W3	子育ての悩み：コミュニケーション	留 29 3
ANXDSP	子育ての悩み：しつけ	留 33 2	ANXDSP_W2	子育ての悩み：しつけ	留 29 2	ANXDSP_W3	子育ての悩み：しつけ	留 29 2
ANXEDU	子育ての悩み：教育費	留 33 8	ANXEDU_W2	子育ての悩み：教育費	留 29 8	ANXEDU_W3	子育ての悩み：教育費	留 29 8
ANXFRD	子育ての悩み：友達関係	留 33 5	ANXFRD_W2	子育ての悩み：友達関係	留 29 5	ANXFRD_W3	子育ての悩み：友達関係	留 29 5
ANXLIFE	子育ての悩み：生活態度	留 33 6	ANXLIFE_W2	子育ての悩み：生活態度	留 29 6	ANXLIFE_W3	子育ての悩み：生活態度	留 29 6
ANXNO	子育ての悩み：悩みはない・子どもはいない	留 33 10	ANXNO_W2	子育ての悩み：悩みはない・子どもはいない	留 29 10	ANXNO_W3	子育ての悩み：悩みはない・子どもはいない	留 29 10
ANXOT	子育ての悩み：その他	留 33 9	ANXOT_W2	子育ての悩み：その他	留 29 9	ANXOT_W3	子育ての悩み：その他	留 29 9
ARBPTJB	フリーター経験の有無	留 19						
AREA	調査員への質問：回答者の居住地域	面 F5	AREA_W2	調査員への質問：回答者の居住地域	面 F5	AREA_W3	調査員への質問：回答者の居住地域	面 F5
			AXECNSF_W2	将来の経済的不安	留 39	AXECNSF_W3	将来の経済的不安	留 39
BESTENM	もっともよかった時期：終了月	面 68 1						
BESTENY	もっともよかった時期：終了年	面 68 1						
BESTSTM	もっともよかった時期：開始月	面 68 1						
BESTSTY	もっともよかった時期：開始年	面 68 1						
BESTTM	もっともよかった時期の有無	面 68						
BLOCK	地域ブロック		BLOCK_W2	地域ブロック (w2 調査時)	◇	BLOCK_W3	地域ブロック (w3 調査時)	◇
CC[01-07]LEAV	子ども[01-07]：育児休業取得の有無	面 47-5						
			CC[01-07]ATND_W2	子ども[01-07]：学校：種類	面 42-3			
CC[01-07]BM	子ども[01-07]：誕生月	面 47-2	CC[01-07]BM_W2	子ども[01-07]：誕生月	面 42-2	CC[01-07]BM_W3	子ども[01-07]：誕生月	面 42-2
CC[01-07]BYR	子ども[01-07]：誕生年	面 47-2	CC[01-07]BYR_W2	子ども[01-07]：誕生年	面 42-2	CC[01-07]BYR_W3	子ども[01-07]：誕生年	面 42-2
CC[01-07]DC	子ども[01-07]：保育所通園の有無	面 47-3	CC[01-07]DC_W2	子ども[01-07]：保育所通園の有無	面 42-6			
CC[01-07]DCA	子ども[01-07]：保育所通園の開始年齢	面 47-3	CC[01-07]DCA_W2	子ども[01-07]：保育所通園の開始年齢	面 42-6			
			CC[01-07]JOB_W2	子ども[01-07]：就労の有無	面 42-5			
			CC[01-07]LEAV_W2	子ども[01-07]：育児休業取得の有無	面 42-8			

			CC[01-07]LEAVM_W2	子ども[01-07]:育児休業の取得月数	面 42-8			
			CC[01-07]LVTG_W2	子ども[01-07]:同居・生死	面 42-9	CC[01-07]LVTG_W3	子ども[01-07]:同居・生死	面 42-4
CC[01-07]PRE	子ども[01-07]:幼稚園通園の有無	面 47-4	CC[01-07]PRE_W2	子ども[01-07]:幼稚園通園の有無	面 42-7			
CC[01-07]PREA	子ども[01-07]:幼稚園通園の開始年齢	面 47-4	CC[01-07]PREA_W2	子ども[01-07]:幼稚園通園の開始年齢	面 42-7			
			CC[01-07]SCT_W2	子ども[01-07]:学校:国公立	面 42-4	CC[01-07]SCT_W3	子ども[01-07]:学校:国公立	面 42-3
			CC[01-07]SEX_W2	子ども[01-07]:性別	面 42-1	CC[01-07]SEX_W3	子ども[01-07]:性別	面 42-1
CC[01-07]SEX	子ども[01-07]:性別	面 47-1						
CC[01-07]LVTG	子ども[01-07]:同居・生死	面 47-6						
CCNUMTTL	子どもの人数	面 46	CCNUMTTL_W2	子どもの人数	面 40	CCNUMTTL_W3	子どもの人数	面 40
			CCNUMW1_W2	子どもの人数 (w1 調査時)	面 40 (事前転記)	CCNUMW2_W3	子どもの人数 (w2 調査時)	面 40 (事前転記)
			CCW1_W2	子どもの有無 (w1 調査時)	面 40 (事前転記)	CCW2_W3	子どもの有無 (w2 調査時)	面 40 (事前転記)
CEDUACAD	子どもの教育:自分と同等以上の学歴	留 34A	CEDUACAD_W2	子どもの教育:自分と同等以上の学歴	留 30A	CEDUACAD_W3	子どもの教育:自分と同等以上の学歴	留 30A
CEDUEMP	子どもの教育:大学進学よりも就職	留 34B	CEDUEMP_W2	子どもの教育:大学進学よりも就職	留 30B	CEDUEMP_W3	子どもの教育:大学進学よりも就職	留 30B
CEDUEXP	子どもの教育:できる限り教育費をかけたい	留 34C	CEDUEXP_W2	子どもの教育:できる限り教育費をかけたい	留 30C	CEDUEXP_W3	子どもの教育:できる限り教育費をかけたい	留 30C
			CEDUGOV_W2	子どもの教育:国や地方自治体による負担	留 30D	CEDUGOV_W3	子どもの教育:国や地方自治体による負担	留 30D
			CHGDFCT_W2	4年間の家計の変化:負債	留 41B	CHGDFCT_W3	4年間の家計の変化:負債	留 41B
			CHGMONY_W2	4年間の家計の変化:自分で自由に使えるお金	留 41C	CHGMONY_W3	4年間の家計の変化:自分で自由に使えるお金	留 41C
			CHGSVNG_W2	4年間の家計の変化:貯蓄	留 41A	CHGSVNG_W3	4年間の家計の変化:貯蓄	留 41A
CLATTND	大学(短大)就学経験の有無	留 46-1						
CLCLBCUL	大学クラブ活動:文化系	留 46-3						
CLCLBPHY	大学クラブ活動:運動系	留 46-2						
CLSCHPF	大学生の頃の学業態度	留 46-4						
CNDABL	現職の状態:能力の活用	留 21L	CNDABL_W2	現職の状態:能力の活用	留 18L	CNDABL_W3	現職の状態:能力の活用	留 18L
CNDACMP	現職の状態:成果しだいの収入	留 21N	CNDACMP_W2	現職の状態:成果しだいの収入	留 18N	CNDACMP_W3	現職の状態:成果しだいの収入	留 18N
CNDBLC	現職の状態:仕事と生活のバランス	留 21P	CNDBLC_W2	現職の状態:仕事と生活のバランス	留 18P	CNDBLC_W3	現職の状態:仕事と生活のバランス	留 18P
CNDEFT	現職の状態:努力しだいの昇進	留 21M	CNDEFT_W2	現職の状態:努力しだいの昇進	留 18M	CNDEFT_W3	現職の状態:努力しだいの昇進	留 18M
CNDFLX	現職の状態:柔軟な勤務時間	留 21A	CNDFLX_W2	現職の状態:柔軟な勤務時間	留 18A	CNDFLX_W3	現職の状態:柔軟な勤務時間	留 18A
CNDINS	現職の状態:教育的な上司	留 21G	CNDINS_W2	現職の状態:教育的な上司	留 18G	CNDINS_W3	現職の状態:教育的な上司	留 18G
CNDJNT	現職の状態:仕事量の連帯責任	留 21E	CNDJNT_W2	現職の状態:仕事量の連帯責任	留 18E	CNDJNT_W3	現職の状態:仕事量の連帯責任	留 18E
CNDKNLG	現職の状態:学校で学んだ知識や技術の活用	留 21 I	CNDKNLG_W2	現職の状態:学校で学んだ知識や技術の活用	留 18I	CNDKNLG_W3	現職の状態:学校で学んだ知識や技術の活用	留 18I
CNDREP	現職の状態:繰り返しの仕事	留 21K	CNDREP_W2	現職の状態:繰り返しの仕事	留 18K	CNDREP_W3	現職の状態:繰り返しの仕事	留 18K
CNDSMAMT	現職の状態:仕事の量の自	留 21C	CNDSMAMT_W2	現職の状態:仕事の量の自	留 18C	CNDSMAMT_W3	現職の状態:仕事の量の自	留 18C

	己管理			己管理			己管理	
CNDSMHDY	現職の状態：休暇の自己管理	留 21D	CNDSMHDY_W2	現職の状態：休暇の自己管理	留 18D	CNDSMHDY_W3	現職の状態：休暇の自己管理	留 18D
CNDSMPR	現職の状態：仕事の手順の自己管理	留 21B	CNDSMPR_W2	現職の状態：仕事の手順の自己管理	留 18B	CNDSMPR_W3	現職の状態：仕事の手順の自己管理	留 18B
CNDSPT	現職の状態：助言をくれるベテラン	留 21H	CNDSPT_W2	現職の状態：助言をくれるベテラン	留 18H	CNDSPT_W3	現職の状態：助言をくれるベテラン	留 18H
CNDTRN	現職の状態：効果的な研修	留 21J	CNDTRN_W2	現職の状態：効果的な研修	留 18J	CNDTRN_W3	現職の状態：効果的な研修	留 18J
CNDUNRST	現職の状態：自由に話し合える上下関係	留 21F	CNDUNRST_W2	現職の状態：自由に話し合える上下関係	留 18F	CNDUNRST_W3	現職の状態：自由に話し合える上下関係	留 18F
CNDWRTH	現職の状態：お金より仕事のやりがい	留 21O	CNDWRTH_W2	現職の状態：お金より仕事のやりがい	留 18O	CNDWRTH_W3	現職の状態：お金より仕事のやりがい	留 18O
CNSDBCAR	所有する耐久消費財や資産：自家用車	留 37 1	CNSDBCAR_W2	所有する耐久消費財や資産：自家用車	留 33 1	CNSDBCAR_W3	所有する耐久消費財や資産：自家用車	留 33 1
CNSDBDRY	所有する耐久消費財や資産：衣料乾燥機	留 37 4	CNSDBDRY_W2	所有する耐久消費財や資産：衣料乾燥機	留 33 4	CNSDBDRY_W3	所有する耐久消費財や資産：衣料乾燥機	留 33 4
CNSDBFTV	所有する耐久消費財や資産：大画面の薄型テレビ	留 37 3	CNSDBFTV_W2	所有する耐久消費財や資産：大画面の薄型テレビ	留 33 3	CNSDBFTV_W3	所有する耐久消費財や資産：大画面の薄型テレビ	留 33 3
CNSDBMCY	所有する耐久消費財や資産：バイク	留 37 2	CNSDBMCY_W2	所有する耐久消費財や資産：バイク	留 33 2	CNSDBMCY_W3	所有する耐久消費財や資産：バイク	留 33 2
CNSDBNO	所有する耐久消費財や資産：いずれも持っていない	留 37 6	CNSDBNO_W2	所有する耐久消費財や資産：いずれも持っていない	留 33 6	CNSDBNO_W3	所有する耐久消費財や資産：いずれも持っていない	留 33 6
CNSDBSTK	所有する耐久消費財や資産：株券・債権	留 37 5	CNSDBSTK_W2	所有する耐久消費財や資産：株券・債権	留 33 5	CNSDBSTK_W3	所有する耐久消費財や資産：株券・債権	留 33 5
COFMCC	同居家族：子ども	面 60 3	COFMCC_W2	同居家族：子ども	面 47 3	COFMCC_W3	同居家族：子ども	面 47 3
COFMCSS	同居家族：子どもの配偶者	面 60 4	COFMCSS_W2	同居家族：子どもの配偶者	面 47 4	COFMCSS_W3	同居家族：子どもの配偶者	面 47 4
COFMGCC	同居家族：孫	面 60 5	COFMGCC_W2	同居家族：孫	面 47 5	COFMGCC_W3	同居家族：孫	面 47 5
COFMGM	同居家族：祖母	面 60 11	COFMGM_W2	同居家族：祖母	面 47 11	COFMGM_W3	同居家族：祖母	面 47 11
COFMGML	同居家族：配偶者の祖母	面 60 13	COFMGML_W2	同居家族：配偶者の祖母	面 47 13	COFMGML_W3	同居家族：配偶者の祖母	面 47 13
COFMGP	同居家族：祖父	面 60 10	COFMGP_W2	同居家族：祖父	面 47 10	COFMGP_W3	同居家族：祖父	面 47 10
COFMGPL	同居家族：配偶者の祖父	面 60 12	COFMGPL_W2	同居家族：配偶者の祖父	面 47 12	COFMGPL_W3	同居家族：配偶者の祖父	面 47 12
COFMMM	同居家族：母親	面 60 7	COFMMM_W2	同居家族：母親	面 47 7	COFMMM_W3	同居家族：母親	面 47 7
COFMMML	同居家族：配偶者の母親	面 60 9	COFMMML_W2	同居家族：配偶者の母親	面 47 9	COFMMML_W3	同居家族：配偶者の母親	面 47 9
COFMNCC	同居家族：子どもの人数	面 60 3	COFMNCC_W2	同居家族：子どもの人数	面 47 3	COFMNCC_W3	同居家族：子どもの人数	面 47 3
COFMNCSS	同居家族：子どもの配偶者の人数	面 60 4	COFMNCSS_W2	同居家族：子どもの配偶者の人数	面 47 4	COFMNCSS_W3	同居家族：子どもの配偶者の人数	面 47 4
COFMNGCC	同居家族：孫の人数	面 60 5	COFMNGCC_W2	同居家族：孫の人数	面 47 5	COFMNGCC_W3	同居家族：孫の人数	面 47 5
COFMNOT	同居家族：その他の人数	面 60 16	COFMNOT_W2	同居家族：その他の人数	面 47 16	COFMNOT_W3	同居家族：その他の人数	面 47 16
COFMNSB	同居家族：兄弟姉妹の人数	面 60 14	COFMNSB_W2	同居家族：兄弟姉妹の人数	面 47 14	COFMNSB_W3	同居家族：兄弟姉妹の人数	面 47 14
COFMNSBL	同居家族：配偶者の兄弟姉妹の人数	面 60 15	COFMNSBL_W2	同居家族：配偶者の兄弟姉妹の人数	面 47 15	COFMNSBL_W3	同居家族：配偶者の兄弟姉妹の人数	面 47 15
COFMOT	同居家族：その他	面 60 16	COFMOT_W2	同居家族：その他	面 47 16	COFMOT_W3	同居家族：その他	面 47 16
COFMPP	同居家族：父親	面 60 6	COFMPP_W2	同居家族：父親	面 47 6	COFMPP_W3	同居家族：父親	面 47 6
COFMPLL	同居家族：配偶者の父親	面 60 8	COFMPLL_W2	同居家族：配偶者の父親	面 47 8	COFMPLL_W3	同居家族：配偶者の父親	面 47 8
COFMRSB	同居家族：本人	面 60 1	COFMRSB_W2	同居家族：本人	面 47 1	COFMRSB_W3	同居家族：本人	面 47 1
COFMRSBL	同居家族：兄弟姉妹	面 60 14	COFMRSBL_W2	同居家族：兄弟姉妹	面 47 14	COFMRSBL_W3	同居家族：兄弟姉妹	面 47 14
COFMRSBL	同居家族：配偶者の兄弟姉妹	面 60 15	COFMRSBL_W2	同居家族：配偶者の兄弟姉妹	面 47 15	COFMRSBL_W3	同居家族：配偶者の兄弟姉妹	面 47 15

COFMSS	同居家族：配偶者	面 60 2	COFMSS_W2	同居家族：配偶者	面 47 2	COFMSS_W3	同居家族：配偶者	面 47 2
COMABDOC	パソコン使用能力：文書作成	留 6 5	COMABDOC_W2	パソコン使用能力：文書作成	留 3 5	COMABDOC_W3	パソコン使用能力：文書作成	留 3 5
COMABGR	パソコン使用能力：図表作成	留 6 4	COMABGR_W2	パソコン使用能力：図表作成	留 3 4	COMABGR_W3	パソコン使用能力：図表作成	留 3 4
COMABINS	パソコン使用能力：ソフトウェアのインストール	留 6 3	COMABINS_W2	パソコン使用能力：ソフトウェアのインストール	留 3 3	COMABINS_W3	パソコン使用能力：ソフトウェアのインストール	留 3 3
COMABNO	パソコン使用能力：いずれもできない	留 6 6	COMABNO_W2	パソコン使用能力：いずれもできない	留 3 6	COMABNO_W6	パソコン使用能力：いずれもできない	留 3 6
COMABPRG	パソコン使用能力：プログラミング	留 6 1	COMABPRG_W2	パソコン使用能力：プログラミング	留 3 1	COMABPRG_W3	パソコン使用能力：プログラミング	留 3 1
COMABSET	パソコン使用能力：新しいパソコンの設定	留 6 2	COMABSET_W2	パソコン使用能力：新しいパソコンの設定	留 3 2	COMABSET_W3	パソコン使用能力：新しいパソコンの設定	留 3 2
			CONFQA_W2	調査員確認設問A:仕事の有無 (w1 調査時)	面 16 (事前転記)	CONFQA_W3	調査員確認設問A:仕事の有無 (w2 調査時)	面 16 (事前転記)
			CONFQB_W2	調査員確認設問B:勤め先(w1 調査以降):変化	面 調査員確認設問 B (20の後)			
			CONFQC_W2	調査員確認設問C:結婚期間	面 調査員確認設問 C (44の後)	CONFQC_W3	調査員確認設問C:結婚期間	面 調査員確認設問 C (44の後)
COOP	調査員への質問：回答者の協力度	面 F1	COOP_W2	調査員への質問：回答者の協力度	面 F1	COOP_W3	調査員への質問：回答者の協力度	面 F1
COWKAMT	同僚との比較：仕事の量	留 22A						
COWKIDEA	同僚との比較：アイデアの提案	留 22B						
COWKSPT	同僚との比較：同僚へのサポート	留 22C						
DATE	面接完了日	面接冒頭欄						
DATEB	留置回収完了日	面接冒頭欄						
DAY	面接完了日：日	面接冒頭欄						
DAYB	留置回収完了日：日	面接冒頭欄						
DIST15	15歳頃の居住地(本人)：現居住地からの距離	面 19						
DMCED	家庭内の意思決定者：子どものしつけや教育方針	留 26C	DMCED_W2	家庭内の意思決定者：子どものしつけや教育方針	留 22C	DMCED_W3	家庭内の意思決定者：子どものしつけや教育方針	留 22C
DMHIEXPL	家庭内の意思決定者：車や家具などの高価なものの購入	留 26A	DMHIEXPL_W2	家庭内の意思決定者：車や家具などの高価なものの購入	留 22A	DMHIEXPL_W3	家庭内の意思決定者：車や家具などの高価なものの購入	留 22A
DMINV	家庭内の意思決定者：貯蓄や投資	留 26B	DMINV_W2	家庭内の意思決定者：貯蓄や投資	留 22B	DMINV_W3	家庭内の意思決定者：貯蓄や投資	留 22B
DO7DRINK	飲酒頻度	留 14	DO7DRINK_W2	飲酒頻度	留 10	DO7DRINK_W3	飲酒頻度	留 10
DOBYEAR	生年	面接冒頭欄	DOBYEAR	生年	面接冒頭欄	DOBYEAR	生年	面接冒頭欄
DOCMT	通勤の有無	面 3	DOCMT_W2	通勤の有無	面 3	DOCMT_W3	通勤の有無	面 3
DOCOMPJ	利用通信媒体：パソコン(職場)	留 4-1 1						
DOCOMPJ	利用通信媒体：パソコン(自宅)	留 4-1 2						
DOFINDJB	不就労者に：求職の有無	面 1-3	DOFINDJB_W2	不就労者に：求職の有無	面 1-4	DOFINDJB_W3	不就労者に：求職の有無	面 1-4
DOINBANK	インターネットの利用：パ	留 4-2 3						

	ンキング								
DOINBBS	インターネットの利用：コメントの書き込み	留 4-2 6							
DOINBRS	インターネットの利用：情報検索	留 4-2 1							
DOINCS	インターネットの利用：コミュニティサイト	留 4-2 7							
DOINHPB	インターネットの利用：ホームページの作成（ブログ含む）	留 4-2 4							
DOINNONE	インターネットの利用：いずれも行っていない	留 4-2 8							
DOINPIC	インターネットの利用：画像や音楽	留 4-2 5							
DOINSHOP	インターネットの利用：ショッピング	留 4-2 2							
DOMARRY	結婚状況	面 33-1							
DOMARRYL	配偶者の有無	留 25-1	DOMARRYL_W2	配偶者の有無	留 21-1	DOMARRYL_W3	配偶者の有無	留 21-1	
DONONEX	利用通信媒体：いずれも利用していない	留 4-1 4							
DOPHS	利用通信媒体：携帯電話または PHS	留 4-1 3							
DOSMOKEX	喫煙経験	留 13-1	DOSMOKEX_W2	喫煙経験	留 11-1	DOSMOKEX_W3	喫煙経験	留 11-1	
DURATION	調査所要時間（分）	面 F7	DURATION_W2	調査所要時間（分）	面 F6	DURATION_W3	調査所要時間（分）	面 F6	
EACHTT	英語能力：英語でおしゃべりする	留 55B	EACHTT_W2	英語能力：英語でおしゃべりする	留 49B	EACHTT_W3	英語能力：英語でおしゃべりする	留 49B	
EALTTR	英語能力：英語で手紙を書く	留 55C	EALTTR_W2	英語能力：英語で手紙を書く	留 49C	EALTTR_W3	英語能力：英語で手紙を書く	留 49C	
EANWP	英語能力：英字新聞の短い記事を読む	留 55A	EANWP_W2	英語能力：英字新聞の短い記事を読む	留 49A	EANWP_W3	英語能力：英字新聞の短い記事を読む	留 49A	
EDUADV18	18 歳の頃の進学希望	留 45							
EXRSCLTH	控えている支出：衣料費	留 38 4	EXRSCLTH_W2	控えている支出：衣料費	留 34 4	EXRSCLTH_W3	控えている支出：衣料費	留 34 4	
EXRSCOMM	控えている支出：通信費	留 38 5	EXRSCOMM_W2	控えている支出：通信費	留 34 5	EXRSCOMM_W3	控えている支出：通信費	留 34 5	
EXRSEDU	控えている支出：教育費	留 38 7	EXRSEDU_W2	控えている支出：教育費	留 34 7	EXRSEDU_W3	控えている支出：教育費	留 34 7	
EXRSENT	控えている支出：娯楽費	留 38 8	EXRSENT_W2	控えている支出：娯楽費	留 34 8	EXRSENT_W3	控えている支出：娯楽費	留 34 8	
EXRSHOUS	控えている支出：住居費	留 38 2	EXRSHOUS_W2	控えている支出：住居費	留 34 2	EXRSHOUS_W3	控えている支出：住居費	留 34 2	
EXRSMEAL	控えている支出：食費	留 38 1	EXRSMEAL_W2	控えている支出：食費	留 34 1	EXRSMEAL_W3	控えている支出：食費	留 34 1	
EXRSMED	控えている支出：医療費	留 38 6	EXRSMED_W2	控えている支出：医療費	留 34 6	EXRSMED_W3	控えている支出：医療費	留 34 6	
EXRSNO	控えている支出：控えているものはない	留 38 10	EXRSNO_W2	控えている支出：控えているものはない	留 34 10	EXRSNO_W3	控えている支出：控えているものはない	留 34 10	
EXRSOT	控えている支出：その他	留 38 9	EXRSOT_W2	控えている支出：その他	留 34 9	EXRSOT_W3	控えている支出：その他	留 34 9	
EXRSUTL	控えている支出：光熱費・ガソリン代	留 38 3	EXRSUTL_W2	控えている支出：光熱費・ガソリン代	留 34 3	EXRSUTL_W3	控えている支出：光熱費・ガソリン代	留 34 3	
EXWTAPPL	お金をかけたいこと：家電・AV 機器	留 39 3	EXWTAPPL_W2	お金をかけたいこと：家電・AV 機器	留 35 3	EXWTAPPL_W3	お金をかけたいこと：家電・AV 機器	留 35 3	
EXWTCAR	お金をかけたいこと：自家用車	留 39 4	EXWTCAR_W2	お金をかけたいこと：自家用車	留 35 4	EXWTCAR_W3	お金をかけたいこと：自家用車	留 35 4	
EXWTEDU	お金をかけたいこと：子ども	留 39 12	EXWTEDU_W2	お金をかけたいこと：子ども	留 35 12	EXWTEDU_W3	お金をかけたいこと：子ども	留 35 12	

	もの教育費			もの教育費			もの教育費	
EXWTFOOD	お金をかけたいこと：食べる事	留 39 1	EXWTFOOD_W2	お金をかけたいこと：食べる事	留 35 1	EXWTFOOD_W3	お金をかけたいこと：食べる事	留 35 1
EXWTFRD	お金をかけたいこと：友人との交際	留 39 7	EXWTFRD_W2	お金をかけたいこと：友人との交際	留 35 7	EXWTFRD_W3	お金をかけたいこと：友人との交際	留 35 7
EXWTFSHN	お金をかけたいこと：ファッション・美容	留 39 5	EXWTFSHN_W2	お金をかけたいこと：ファッション・美容	留 35 5	EXWTFSHN_W3	お金をかけたいこと：ファッション・美容	留 35 5
EXWTHK	お金をかけたいこと：家事代行サービス	留 39 11	EXWTHK_W2	お金をかけたいこと：家事代行サービス	留 35 11	EXWTHK_W3	お金をかけたいこと：家事代行サービス	留 35 11
EXWTHOUS	お金をかけたいこと：住まい	留 39 2	EXWTHOUS_W2	お金をかけたいこと：住まい	留 35 2	EXWTHOUS_W3	お金をかけたいこと：住まい	留 35 2
EXWTLSSN	お金をかけたいこと：習い事・資格	留 39 6	EXWTLSSN_W2	お金をかけたいこと：習い事・資格	留 35 6	EXWTLSSN_W3	お金をかけたいこと：習い事・資格	留 35 6
EXWTNO	お金をかけたいこと：特にない	留 39 15	EXWTNO_W2	お金をかけたいこと：特にない	留 35 15	EXWTNO_W3	お金をかけたいこと：特にない	留 35 15
EXWTOT	お金をかけたいこと：その他	留 39 14	EXWTOT_W2	お金をかけたいこと：その他	留 35 14	EXWTOT_W3	お金をかけたいこと：その他	留 35 14
EXWTPET	お金をかけたいこと：ペットに関する費用	留 39 13	EXWTPET_W2	お金をかけたいこと：ペットに関する費用	留 35 13	EXWTPET_W3	お金をかけたいこと：ペットに関する費用	留 35 13
EXWTSMC	お金をかけたいこと：スポーツ観戦・映画・コンサートなど	留 39 10	EXWTSMC_W2	お金をかけたいこと：スポーツ観戦・映画・コンサートなど	留 35 10	EXWTSMC_W3	お金をかけたいこと：スポーツ観戦・映画・コンサートなど	留 35 10
EXWTSVRT	お金をかけたいこと：スポーツ・健康づくり	留 39 9	EXWTSVRT_W2	お金をかけたいこと：スポーツ・健康づくり	留 35 9	EXWTSVRT_W3	お金をかけたいこと：スポーツ・健康づくり	留 35 9
EXWTTRAV	お金をかけたいこと：旅行	留 39 8	EXWTTRAV_W2	お金をかけたいこと：旅行	留 35 8	EXWTTRAV_W3	お金をかけたいこと：旅行	留 35 8
FFHEAD	世帯主	面 61	FFHEAD_W2	世帯主	面 48	FFHEAD_W3	世帯主	面 48
FQ5COMIC	マンガを読む頻度	留 3						
FQ5READ	1ヶ月の読書冊数	留 2	FQ5READ_W2	1ヶ月の読書冊数	留 2	FQ5READ_W3	1ヶ月の読書冊数	留 2
FQ5TRIP	1泊以上の旅行頻度	留 9	FQ5TRIP_W2	1泊以上の旅行頻度	留 5	FQ5TRIP_W3	1泊以上の旅行頻度	留 5
FQ6CLSS	娯楽の頻度：クラシックコンサート (6点尺度)	留 11D	FQ6CLSS_W2	娯楽の頻度：クラシックコンサート (6点尺度)	留 7D	FQ6CLSS_W3	娯楽の頻度：クラシックコンサート (6点尺度)	留 7D
FQ6DRIVE	娯楽の頻度：ドライブ (6点尺度)	留 11A	FQ6DRIVE_W2	娯楽の頻度：ドライブ (6点尺度)	留 7A	FQ6DRIVE_W3	娯楽の頻度：ドライブ (6点尺度)	留 7A
FQ6EMAIL	電子メール送信頻度	留 4-3						
FQ6GAME	娯楽の頻度：テレビゲーム (6点尺度)	留 11F	FQ6GAME_W2	娯楽の頻度：テレビゲーム (6点尺度)	留 7F	FQ6GAME_W3	娯楽の頻度：テレビゲーム (6点尺度)	留 7F
FQ6GREEN	娯楽の頻度：ガーデニング・庭いじり (6点尺度)	留 11J	FQ6GREEN_W2	娯楽の頻度：ガーデニング・庭いじり (6点尺度)	留 7J	FQ6GREEN_W3	娯楽の頻度：ガーデニング・庭いじり (6点尺度)	留 7J
FQ6KARA	娯楽の頻度：カラオケ (6点尺度)	留 11B	FQ6KARA_W2	娯楽の頻度：カラオケ (6点尺度)	留 7B	FQ6KARA_W3	娯楽の頻度：カラオケ (6点尺度)	留 7B
FQ6LOTTO	娯楽の頻度：宝くじ (6点尺度)	留 11I	FQ6LOTTO_W2	娯楽の頻度：宝くじ (6点尺度)	留 7I	FQ6LOTTO_W3	娯楽の頻度：宝くじ (6点尺度)	留 7I
FQ6MAJON	娯楽の頻度：麻雀 (6点尺度)	留 11G	FQ6MAJON_W2	娯楽の頻度：麻雀 (6点尺度)	留 7G	FQ6MAJON_W3	娯楽の頻度：麻雀 (6点尺度)	留 7G
FQ6MOVIE	娯楽の頻度：映画鑑賞 (6点尺度)	留 11E	FQ6MOVIE_W2	娯楽の頻度：映画鑑賞 (6点尺度)	留 7E	FQ6MOVIE_W3	娯楽の頻度：映画鑑賞 (6点尺度)	留 7E
FQ6MSUM	娯楽の頻度：美術館・博物館 (6点尺度)	留 11C	FQ6MSUM_W2	娯楽の頻度：美術館・博物館 (6点尺度)	留 7C	FQ6MSUM_W3	娯楽の頻度：美術館・博物館 (6点尺度)	留 7C
FQ6PACHI	娯楽の頻度：パチンコ・パチ	留 11H	FQ6PACHI_W2	娯楽の頻度：パチンコ・パチ	留 7H	FQ6PACHI_W3	娯楽の頻度：パチンコ・パチ	留 7H

	スロ (6点尺度)			スロ (6点尺度)			スロ (6点尺度)	
FQ7CKDNR	夕食の用意：頻度 (本人)	留 10C	FQ7CKDNR_W2	夕食の用意：頻度 (本人)	留 6C	FQ7CKDNR_W3	夕食の用意：頻度 (本人)	留 6C
FQ7CLEAN	家の掃除：頻度 (本人)	留 10F	FQ7CLEAN_W2	家の掃除：頻度 (本人)	留 6F	FQ7CLEAN_W3	家の掃除：頻度 (本人)	留 6F
FQ7FFDNR	家族と一緒にの夕食：頻度	留 10A	FQ7FFDNR_W2	家族と一緒にの夕食：頻度	留 6A	FQ7FFDNR_W3	家族と一緒にの夕食：頻度	留 6A
FQ7FRSEE	友人との会食：頻度	留 10B	FQ7FRSEE_W2	友人との会食：頻度	留 6B	FQ7FRSEE_W3	友人との会食：頻度	留 6B
FQ7GARB	ゴミ出し：頻度 (本人)	留 10G	FQ7GARB_W2	ゴミ出し：頻度 (本人)	留 6G	FQ7GARB_W3	ゴミ出し：頻度 (本人)	留 6G
FQ7SHOP	買い物：頻度 (本人)	留 10E	FQ7SHOP_W2	買い物：頻度 (本人)	留 6E	FQ7SHOP_W3	買い物：頻度 (本人)	
FQ7WASH	洗濯：頻度 (本人)	留 10D	FQ7WASH_W2	洗濯：頻度 (本人)	留 6D	FQ7WASH_W3	洗濯：頻度 (本人)	
FQSPORT	定期的に行なうスポーツ：頻度	留 8	FQSPORT_W2	定期的に行なうスポーツ：頻度	留 4	FQSPORT_W3	定期的に行なうスポーツ：頻度	留 4
			FRND_W2	友人の有無	留 8-1	FRND_W3	友人の有無	留 8-1
			FRNDEDU_W2	友人数：同学歴	留 8-2C	FRNDEDU_W3	友人数：同学歴	留 8-2C
			FRNDFRGN_W2	友人数：外国人	留 8-2E	FRNDFRGN_W3	友人数：外国人	留 8-2E
			FRNDGEN_W2	友人数：同世代	留 8-2B	FRNDGEN_W3	友人数：同世代	留 8-2B
			FRNDINC_W2	友人数：同程度の収入	留 8-2D	FRNDINC_W3	友人数：同程度の収入	留 8-2D
			FRNDSEX_W2	友人数：同性	留 8-2A	FRNDSEX_W3	友人数：同性	留 8-2A
			HLPWRRY_W2	援助を求める相手：悩みや心理的問題	留 32	HLPWRRY_W3	援助を求める相手：悩みや心理的問題	留 32
HRTV	テレビ視聴時間	留 1	HRTV_W2	テレビ視聴時間	留 1	HRTV_W3	テレビ視聴時間	留 1
HSADRATE	高校3年生の頃の同級生の進学率	留 44-5						
HSATTND	高校(高専)就学経験の有無	留 44-1						
HSCLBCUL	高校クラブ活動：文化系	留 44-3						
HSCLBPHY	高校クラブ活動：運動系	留 44-2						
HSENM	高校の在籍期間：終了月	面 23-4						
HSENY	高校の在籍期間：終了年	面 23-4						
HSGRAD	高校卒業の有無	面 23-3						
HSSCHPF	高校3年生の頃の成績	留 44-4						
HSSECT	高校：国・公・私立	面 23-1						
HSSTM	高校の在籍期間：開始月	面 23-4						
HSSTY	高校の在籍期間：開始年	面 23-4						
HSSUB	高校の学科	面 23-2						
IDUSE	識別番号	◇	IDUSE	識別番号		IDUSE	識別番号	
INTCHLD	子どもをもつ意思	留 30-1	INTCHLD_W2	子どもをもつ意思	留 26-1	INTCHLD_W3	子どもをもつ意思	留 26-1
INTPTN	親密交際の有無	留 25-3	INTPTN_W2	親密交際の有無	留 21-3	INTPTN_W3	親密交際の有無	留 21-3
JB[01-20]ENM	勤め先[01-20]：終了月	面 26-2/27-3						
JB[01-20]ENY	勤め先[01-20]：終了年	面 26-2/27-3						
JB[01-20]ONG	勤め先[01-20]：継続の有無	面 26-2/27-3						
JB[01-20]S(1-4)	勤め先[01-20]：変化(1-4)：有無	面 31-[1-20]F(1-4)						
JB[01-20]S(1-4)M	勤め先[01-20]：変化(1-4)：月	面 31-[1-20]F F(1-4)						
JB[01-20]S(1-4)OC	勤め先[01-20]：変化(1-4)：職種	面 31-[1-20]F E(1-4)						
JB[01-20]S(1-4)TL	勤め先[01-20]：変化(1-4)：役職	面 31-[1-20]F D(1-4)						
JB[01-20]S(1-4)TP	勤め先[01-20]：変化(1-4)：就労形態	面 31-[1-20]F C(1-4)						

JB[01-20]S(1-4)Y	勤め先[01-20]:変化(1-4):年	面 31-[1-20]F F(1-4)						
JB[01-20]S0OC	勤め先[01-20]:働き始め:職種	面 31-[1-20]E						
JB[01-20]S0TL	勤め先[01-20]:働き始め:役職	面 31-[1-20]D						
JB[01-20]S0TP	勤め先[01-20]:働き始め:就労形態	面 31-[1-20]C						
JB[01-20]SJDP	勤め先[01-20]:副業:派遣	面 26-3 2/27-4 2						
JB[01-20]SJFB	勤め先[01-20]:副業:家業	面 26-3 4/27-4 4						
JB[01-20]SJNO	勤め先[01-20]:副業:なし	面 26-3 1/27-4 1						
JB[01-20]SJOT	勤め先[01-20]:副業:その他	面 26-3 5/27-4 5						
JB[01-20]SJPT	勤め先[01-20]:副業:パート・アルバイト	面 26-3 3/27-4 3						
JB[01-20]STM	勤め先[01-20]:開始月	面 26-1/27-2						
JB[01-20]STY	勤め先[01-20]:開始年	面 26-1/27-2						
			JBW1[02-05]_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降):有無 (前回有職の人)	面 18-1	JBW2[02-06]_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降):有無 (前回有職の人)	面 18-1
			JBW1[02-05]ENM_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降):終了月 (前回有職の人)	面 18-3	JBW2[02-06]ENM_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降):終了月 (前回有職の人)	面 18-3
			JBW1[02-05]ENY_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降):終了年 (前回有職の人)	面 18-3	JBW2[02-06]ENY_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降):終了年 (前回有職の人)	面 18-3
			JBW1[02-05]ONG_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降):継続の有無 (前回有職の人)	面 18-3	JBW2[02-06]ONG_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降):継続の有無 (前回有職の人)	面 18-3
			JBW1[02-05]PREV_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降):元の勤め先 (前回有職の人)	面 18-6	JBW2[02-06]PREV_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降):元の勤め先 (前回有職の人)	面 18-6
			JBW1[02-05]S(1-2)_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降):変化 (1-2):有無 (前回有職の人)	面 20-[2-5](1-2)	JBW2[02-06]S(1-2)_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降):変化 (1-2):有無 (前回有職の人)	面 20-[2-6](1-2)
			JBW1[02-05]S(1-2)_M_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降):変化 (1-2):月 (前回有職の人)	面 20-[2-5]D(1-2)	JBW2[02-06]S(1-2)_M_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降):変化 (1-2):月 (前回有職の人)	面 20-[2-6]D(1-2)
			JBW1[02-05]S(1-2)_OC_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降):変化 (1-2):職種 (前回有職の人)	面 20-[2-5]C(1-2)	JBW2[02-06]S(1-2)_OC_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降):変化 (1-2):職種 (前回有職の人)	面 20-[2-6]C(1-2)
			JBW1[02-05]S(1-2)_TL_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降):変化 (1-2):役職 (前回有職の人)	面 20-[2-5]B(1-2)	JBW2[02-06]S(1-2)_TL_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降):変化 (1-2):役職 (前回有職の人)	面 20-[2-6]B(1-2)
			JBW1[02-05]S(1-2)_TP_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降):変化 (1-2):就労形態 (前回有職の人)	面 20-[2-5]A(1-2)	JBW2[02-06]S(1-2)_TP_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降):変化 (1-2):就労形態 (前回有職の人)	面 20-[2-6]A(1-2)
			JBW1[02-05]S(1-2)_Y_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降):変化 (1-2):年 (前回有職の人)	面 20-[2-5]D(1-2)	JBW2[02-06]S(1-2)_Y_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降):変化 (1-2):年 (前回有職の人)	面 20-[2-6]D(1-2)
			JBW1[02-05]S0OC_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降):働き始め:職種 (前	面 20-[2-5]C	JBW2[02-06]S0OC_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降):働き始め:職種 (前	面 20-[2-6]C

				回有職の人)			回有職の人)	
			JBW1[02-05]S0TL_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降) : 働き始め : 役職 (前回有職の人)	面 20-[2-5]B	JBW2[02-06]S0TL_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降) : 働き始め : 役職 (前回有職の人)	面 20-[2-6]B
			JBW1[02-05]S0TP_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降) : 働き始め : 就労形態 (前回有職の人)	面 20-[2-5]A	JBW2[02-06]S0TP_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降) : 働き始め : 就労形態 (前回有職の人)	面 20-[2-6]A
			JBW1[02-05]SJDP_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降) : 副業 : 派遣 (前回有職の人)	面 18-5 2	JBW2[02-06]SJDP_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降) : 副業 : 派遣 (前回有職の人)	面 18-5 2
			JBW1[02-05]SJFB_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降) : 副業 : 家業 (前回有職の人)	面 18-5 4	JBW2[02-06]SJFB_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降) : 副業 : 家業 (前回有職の人)	面 18-5 4
			JBW1[02-05]SJNO_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降) : 副業 : なし (前回有職の人)	面 18-5 1	JBW2[02-06]SJNO_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降) : 副業 : なし (前回有職の人)	面 18-5 1
			JBW1[02-05]SJOT_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降) : 副業 : その他 (前回有職の人)	面 18-5 5	JBW2[02-06]SJOT_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降) : 副業 : その他 (前回有職の人)	面 18-5 5
			JBW1[02-05]SJPT_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降) : 副業 : パート (前回有職の人)	面 18-5 3	JBW2[02-06]SJPT_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降) : 副業 : パート (前回有職の人)	面 18-5 3
			JBW1[02-05]STM_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降) : 開始月 (前回有職の人)	面 18-2	JBW2[02-06]STM_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降) : 開始月 (前回有職の人)	面 18-2
			JBW1[02-05]STY_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降) : 開始年 (前回有職の人)	面 18-2	JBW2[02-06]STY_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降) : 開始年 (前回有職の人)	面 18-2
			JBW1[02-05]WYQT_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以降) : 続いている理由 (前回有職の人)	面 18-4	JBW2[02-06]WYQT_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以降) : 続いている理由 (前回有職の人)	面 18-4
			JBW1CHG_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 変化 : 有無 (前回有職の人)	面 20	JBW2CHG_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 変化 : 有無 (前回有職の人)	面 20
			JBW1ONG_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 継続の有無 (前回有職の人)	面 17-1	JBW2ONG_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 継続の有無 (前回有職の人)	面 17-1
			JBW1S(1-2)_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 変化 (1-2) : 有無 (前回有職の人)	面 20(1-2)	JBW2S(1-2)_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 変化 (1-2) : 有無 (前回有職の人)	面 20(1-2)
			JBW1S(1-2)M_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 変化 (1-2) : 月 (前回有職の人)	面 20D(1-2)	JBW2S(1-2)M_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 変化 (1-2) : 月 (前回有職の人)	面 20D(1-2)
			JBW1S(1-2)OC_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 変化 (1-2) : 職種 (前回有職の人)	面 20C(1-2)	JBW2S(1-2)OC_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 変化 (1-2) : 職種 (前回有職の人)	面 20C(1-2)
			JBW1S(1-2)TL_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 変化 (1-2) : 役職 (前回有職の人)	面 20B(1-2)	JBW2S(1-2)TL_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 変化 (1-2) : 役職 (前回有職の人)	面 20B(1-2)
			JBW1S(1-2)TP_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 変化 (1-2) : 就労形態 (前回有職の人)	面 20A(1-2)	JBW2S(1-2)TP_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 変化 (1-2) : 就労形態 (前回有職の人)	面 20A(1-2)
			JBW1S(1-2)Y_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 変化 (1-2) : 年 (前回有職の人)	面 20D(1-2)	JBW2S(1-2)Y_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 変化 (1-2) : 年 (前回有職の人)	面 20D(1-2)

			JBW1S0OC_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 職種 (前回有職の人)	面 20C (事前転記)	JBW2S0OC_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 職種 (前回有職の人)	面 20C (事前転記)
			JBW1S0TL_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 役職 (前回有職の人)	面 20B (事前転記)	JBW2S0TL_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 役職 (前回有職の人)	面 20B (事前転記)
			JBW1S0TP_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 就労形態 (前回有職の人)	面 20A (事前転記)	JBW2S0TP_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 就労形態 (前回有職の人)	面 20A (事前転記)
			JBW1STM_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 変化 : 月 (前回有職の人)	面 17-1 1	JBW2STM_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 変化 : 月 (前回有職の人)	面 17-1 1
			JBW1STY_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 変化 : 年 (前回有職の人)	面 17-1 1	JBW2STY_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 変化 : 年 (前回有職の人)	面 17-1 1
			JBW1WYQT_W2	勤め先 01 (w1 調査時) : 続 けていない理由 (前回有職 の人)	面 17-2	JBW2WYQT_W3	勤め先 01 (w2 調査時) : 続 けていない理由 (前回有職 の人)	面 17-2
JHCLBCUL	中学校クラブ活動 : 文化系	留 41						
JHCLBPHY	中学校クラブ活動 : 運動系	留 40						
JHSCHPF	中学校 3 年生の頃の成績	留 42						
JHSGDYR	中学校卒業年	面 20						
JHSSECT	中学校 : 国・公・私立	面 21						
JOB[01-20]	勤め先[01-20] : 有無	面 26-1/27-1						
JOB[01-20]SZ	勤め先[01-20] : 企業規模	面 31-[1-20]B						
JOB[01-20]WPL	勤め先[01-20] : 業種	面 31-[1-20]A						
			JOBW1[02-05]SZ_W2	勤め先[02-05] (w1 調査以 降) : 企業規模 (前回有職の 人)	面 20-[2-5]F	JOBW2[02-06]SZ_W3	勤め先[02-06] (w2 調査以 降) : 企業規模 (前回有職の 人)	面 20-[2-6]F
			JOBW1[02-05]WPL_W 2	勤め先[02-05] (w1 調査以 降) : 業種 (前回有職の人)	面 20-[2-5]E	JOBW2[02-06]WPL_W 3	勤め先[02-06] (w2 調査以 降) : 業種 (前回有職の人)	面 20-[2-6]E
JOINUNI	労働組合加入の有無	面 10	JOINUNI_W2	労働組合加入の有無	面 10	JOINUNI_W3	労働組合加入の有無	面 10
JPSOCST	日本のあるべき姿	留 52	JPSOCST_W2	日本のあるべき姿	留 46	JPSOCST_W3	日本のあるべき姿	留 46
JSFJOB	初職に結びついた就職活動	面 30-2						
LCHGEMP	子どもによる変化 : 就職や 昇進の機会	留 31B	LCHGEMP_W2	子どもによる変化 : 就職や 昇進の機会	留 27B	LCHGEMP_W3	子どもによる変化 : 就職や 昇進の機会	留 27B
LCHGFIN	子どもによる変化 : 家計の 状態	留 31A	LCHGFIN_W2	子どもによる変化 : 家計の 状態	留 27A	LCHGFIN_W3	子どもによる変化 : 家計の 状態	留 27A
LCHGFRD	子どもによる変化 : 友人と のつきあい	留 31C	LCHGFRD_W2	子どもによる変化 : 友人と のつきあい	留 27C	LCHGFRD_W3	子どもによる変化 : 友人と のつきあい	留 27C
LCHGPEAC	子どもによる変化 : 心の安 らぎ	留 31E	LCHGPEAC_W2	子どもによる変化 : 心の安 らぎ	留 27E	LCHGPEAC_W3	子どもによる変化 : 心の安 らぎ	留 27E
LCHGSAT	子どもによる変化 : 生活全 般の満足度	留 31F	LCHGSAT_W2	子どもによる変化 : 生活全 般の満足度	留 27F	LCHGSAT_W3	子どもによる変化 : 生活全 般の満足度	留 27F
LCHGSOC	子どもによる変化 : まわり からの評価	留 31D	LCHGSOC_W2	子どもによる変化 : まわり からの評価	留 27D	LCHGSOC_W3	子どもによる変化 : まわり からの評価	留 27D
LLV[01-02]	義親との同居期間[01-02] : 有無	面 58	LLV[01-02]_W2	義親との同居期間[01-02] (w 1 調査以降) : 有無	面 45	LLV[01-02]_W3	義親との同居期間[01-02] (w 2 調査以降) : 有無	面 45
LLV[01-02]ENM	義親との同居期間[01-02] : 終了月	面 58	LLV[01-02]ENM_W2	義親との同居期間[01-02] (w 1 調査以降) : 終了月	面 45	LLV[01-02]ENM_W3	義親との同居期間[01-02] (w 2 調査以降) : 終了月	面 45
LLV[01-02]ENY	義親との同居期間[01-02] : 終了年	面 58	LLV[01-02]ENY_W2	義親との同居期間[01-02] (w 1 調査以降) : 終了年	面 45	LLV[01-02]ENY_W3	義親との同居期間[01-02] (w 2 調査以降) : 終了年	面 45
LLV[01-02]ONG	義親との同居期間[01-02] :	面 58	LLV[01-02]ONG_W2	義親との同居期間[01-02] (w	面 45	LLV[01-02]ONG_W3	義親との同居期間[01-02] (w	面 45

	継続の有無			1 調査以降)：継続の有無			2 調査以降)：継続の有無	
LLV[01-02]STM	義親との同居期間[01-02]：開始月	面 58	LLV[01-02]STM_W2	義親との同居期間[01-02] (w1 調査以降)：開始月	面 45	LLV[01-02]STM_W3	義親との同居期間[01-02] (w2 調査以降)：開始月	面 45
LLV[01-02]STY	義親との同居期間[01-02]：開始年	面 58	LLV[01-02]STY_W2	義親との同居期間[01-02] (w1 調査以降)：開始年	面 45	LLV[01-02]STY_W3	義親との同居期間[01-02] (w2 調査以降)：開始年	面 45
LLV01MRG	義親との同居期間 01：結婚時	面 58 1						
			LLV01W1_W2	義親との同居期間 01 (w1 調査以降)：前回調査時から	面 45	LLV01W2_W3	義親との同居期間 01 (w2 調査以降)：前回調査時から	面 45
LLVTGL	義親との同居期間の有無	面 58	LLVTGL_W2	義親との同居期間 (w1 調査以降)：有無	面 45	LLVTGL_W3	義親との同居期間 (w2 調査以降)：有無	面 45
			LLVW1_W2	義親との同居状況 (w1 調査時)	面 45 (事前転記)	LLVW2_W3	義親との同居状況 (w2 調査時)	面 45 (事前転記)
MARC	配偶者 (DOMARRY の転記)	面接冒頭欄						
MARINT	今後の結婚意思	留 25-4	MARINT_W2	今後の結婚意思	留 21-4	MARINT_W3	今後の結婚意思	留 21-4
			MARRYW1_W2	配偶者の有無 (w1 調査時)	面 25 (事前転記)	MARRYW2_W3	配偶者の有無 (w2 調査時)	面 25 (事前転記)
MENHLCLM	メンタルヘルス：おだやかな気分	留 15B	MENHLCLM_W2	メンタルヘルス：おだやかな気分	留 12B	MENHLCLM_W3	メンタルヘルス：おだやかな気分	留 12B
MENHLDP	メンタルヘルス：ゆううつな気分	留 15C	MENHLDP_W2	メンタルヘルス：ゆううつな気分	留 12C	MENHLDP_W3	メンタルヘルス：ゆううつな気分	留 12C
MENHLDWN	メンタルヘルス：気分の落ち込み	留 15E	MENHLDWN_W2	メンタルヘルス：気分の落ち込み	留 12E	MENHLDWN_W3	メンタルヘルス：気分の落ち込み	留 12E
MENHLNRV	メンタルヘルス：神経質	留 15A	MENHLNRV_W2	メンタルヘルス：神経質	留 12A	MENHLNRV_W3	メンタルヘルス：神経質	留 12A
MENHLPLS	メンタルヘルス：楽しい気分	留 15D	MENHLPLS_W2	メンタルヘルス：楽しい気分	留 12D	MENHLPLS_W3	メンタルヘルス：楽しい気分	留 12D
MMAGE	母親：年齢	面 49-2						
			MMALW1_W2	母親：生死 (w1 調査時)	面 43-1 (事前転記)	MMALW2_W3	母親：生死 (w2 調査時)	面 43-1 (事前転記)
MMJBSZ15	15 歳の頃の母：企業規模	面 55						
MMJBT15	15 歳の頃の母：就労形態	面 53-1						
MMJBT15P	15 歳の頃の母：役職	面 53-2						
MMJBXX15	15 歳の頃の母：職種	面 54						
MMJOB	母親：就労の有無	面 49-3	MMJOB_W2	母親：就労の有無	面 43-2	MMJOB_W3	母親：就労の有無	面 43-2
MMLSTSCH	最終学校 (母親)	面 56						
MMLVTG	母親：同居・生死	面 49-1	MMLVTG_W2	母親：同居・生死	面 43-1	MMLVTG_W3	母親：同居・生死	面 43-1
MONTH	面接完了日：月	面接冒頭欄						
MONTHB	留置回収完了日：月	面接冒頭欄						
MRG[01-02]	結婚期間[01-02]：有無	面 33-2						
MRG[01-02]ENM	結婚期間[01-02]：終了月	面 33-2						
MRG[01-02]ENY	結婚期間[01-02]：終了年	面 33-2						
MRG[01-02]ONG	結婚期間[01-02]：継続の有無	面 33-2						
MRG[01-02]STM	結婚期間[01-02]：開始月	面 33-2						
MRG[01-02]STY	結婚期間[01-02]：開始年	面 33-2						
			MRGN[01-02]_W2	結婚期間[01-02] (w1 調査以降)：有無 (前回無配偶の人)	面 26-2	MRGN[01-02]_W3	結婚期間[01-02] (w2 調査以降)：有無 (前回無配偶の人)	面 26-2
			MRGN[01-02]ENM_W2	結婚期間[01-02] (w1 調査以降)：終了月 (前回無配偶の人)	面 26-2	MRGN[01-02]ENM_W3	結婚期間[01-02] (w2 調査以降)：終了月 (前回無配偶の人)	面 26-2

			MRGN[01-02]ENY_W2	結婚期間[01-02] (w1 調査以降): 終了年 (前回無配偶の人)	面 26-2	MRGN[01-02]ENY_W3	結婚期間[01-02] (w2 調査以降): 終了年 (前回無配偶の人)	面 26-2
			MRGN[01-02]ONG_W2	結婚期間[01-02] (w1 調査以降): 継続の有無 (前回無配偶の人)	面 26-2	MRGN[01-02]ONG_W3	結婚期間[01-02] (w2 調査以降): 継続の有無 (前回無配偶の人)	面 26-2
			MRGN[01-02]STM_W2	結婚期間[01-02] (w1 調査以降): 開始月 (前回無配偶の人)	面 26-2	MRGN[01-02]STM_W3	結婚期間[01-02] (w2 調査以降): 開始月 (前回無配偶の人)	面 26-2
			MRGN[01-02]STY_W2	結婚期間[01-02] (w1 調査以降): 開始年 (前回無配偶の人)	面 26-2	MRGN[01-02]STY_W3	結婚期間[01-02] (w2 調査以降): 開始年 (前回無配偶の人)	面 26-2
			MRGNEW_W2	結婚(w1 調査以降): 有無(前回無配偶の人)	面 26-1	MRGNEW_W3	結婚(w2 調査以降): 有無(前回無配偶の人)	面 26-1
			MRGW1_W2	結婚状況 (前回有配偶の人)	面 25-1	MRGW2_W3	結婚状況 (前回有配偶の人)	面 25-1
			MRGW1[01-02]_W2	結婚期間[01-02] (w1 調査以降): 有無 (前回有配偶の人)	面 25-2	MRGW2[01-02]_W3	結婚期間[01-02] (w2 調査以降): 有無 (前回有配偶の人)	面 25-2
			MRGW1[01-02]ENM_W2	結婚期間[01-02] (w1 調査以降): 終了月 (前回有配偶の人)	面 25-2	MRGW2[01-02]ENM_W3	結婚期間[01-02] (w2 調査以降): 終了月 (前回有配偶の人)	面 25-2
			MRGW1[01-02]ENY_W2	結婚期間[01-02] (w1 調査以降): 終了年 (前回有配偶の人)	面 25-2	MRGW2[01-02]ENY_W3	結婚期間[01-02] (w2 調査以降): 終了年 (前回有配偶の人)	面 25-2
			MRGW1[01-02]ONG_W2	結婚期間[01-02] (w1 調査以降): 継続の有無 (前回有配偶の人)	面 25-2	MRGW2[01-02]ONG_W3	結婚期間[01-02] (w2 調査以降): 継続の有無 (前回有配偶の人)	面 25-2
			MRGW1[01-02]STM_W2	結婚期間[01-02] (w1 調査以降): 開始月 (前回有配偶の人)	面 25-2	MRGW2[01-02]STM_W3	結婚期間[01-02] (w2 調査以降): 開始月 (前回有配偶の人)	面 25-2
			MRGW1[01-02]STY_W2	結婚期間[01-02] (w1 調査以降): 開始年 (前回有配偶の人)	面 25-2	MRGW2[01-02]STY_W3	結婚期間[01-02] (w2 調査以降): 開始年 (前回有配偶の人)	面 25-2
			MRGW1ENM_W2	結婚状況: 離死別: 月 (前回有配偶の人)	面 25-1 2/3	MRGW2ENM_W3	結婚状況: 離死別: 月 (前回有配偶の人)	面 25-1 2/3
			MRGW1ENY_W2	結婚状況: 離死別: 年 (前回有配偶の人)	面 25-1 2/3	MRGW2ENY_W3	結婚状況: 離死別: 年 (前回有配偶の人)	面 25-1 2/3
NETFRND	インターネット上の友人数	留 5						
			NJB[01-03]_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 有無 (前回無職の人)	面 21-1	NJB[01-05]_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 有無 (前回無職の人)	面 21-1
			NJB[01-03]ENM_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 終了月 (前回無職の人)	面 21-3 1	NJB[01-05]ENM_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 終了月 (前回無職の人)	面 21-3 1
			NJB[01-03]ENY_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 終了年 (前回無職の人)	面 21-3 1	NJB[01-05]ENY_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 終了年 (前回無職の人)	面 21-3 1
			NJB[01-03]ONG_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 継続の有無 (前回無職の人)	面 21-3	NJB[01-05]ONG_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 継続の有無 (前回無職の人)	面 21-3
			NJB[01-03]PREV_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 元の勤め先 (前回無職の人)	面 21-6	NJB[01-05]PREV_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 元の勤め先 (前回無職の人)	面 21-6

			NJB[01-03]S(1-2)W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 変化(1-2): 有無 (前回無職の人)	面 23-[1-3]D(1-2)	NJB[01-05]S(1-2)W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 変化(1-2): 有無 (前回無職の人)	面 23-[1-5]D(1-2)
			NJB[01-03]S(1-2)M_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 変化(1-2): 月 (前回無職の人)	面 23-[1-3]D(1-2)	NJB[01-05]S(1-2)M_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 変化(1-2): 月 (前回無職の人)	面 23-[1-5]D(1-2)
			NJB[01-03]S(1-2)OC_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 変化(1-2): 職種 (前回無職の人)	面 23-[1-3]C(1-2)	NJB[01-05]S(1-2)OC_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 変化(1-2): 職種 (前回無職の人)	面 23-[1-5]C(1-2)
			NJB[01-03]S(1-2)TL_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 変化(1-2): 役職 (前回無職の人)	面 23-[1-3]B(1-2)	NJB[01-05]S(1-2)TL_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 変化(1-2): 役職 (前回無職の人)	面 23-[1-5]B(1-2)
			NJB[01-03]S(1-2)TP_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 変化(1-2): 就労形態 (前回無職の人)	面 23-[1-3]A(1-2)	NJB[01-05]S(1-2)TP_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 変化(1-2): 就労形態 (前回無職の人)	面 23-[1-5]A(1-2)
			NJB[01-03]S(1-2)Y_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 変化(1-2): 年 (前回無職の人)	面 23-[1-3]D(1-2)	NJB[01-05]S(1-2)Y_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 変化(1-2): 年 (前回無職の人)	面 23-[1-5]D(1-2)
			NJB[01-03]S0OC_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 働き始め: 職種 (前回無職の人)	面 23-[1-3]C	NJB[01-05]S0OC_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 働き始め: 職種 (前回無職の人)	面 23-[1-5]C
			NJB[01-03]S0TL_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 働き始め: 役職 (前回無職の人)	面 23-[1-3]B	NJB[01-05]S0TL_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 働き始め: 役職 (前回無職の人)	面 23-[1-5]B
			NJB[01-03]S0TP_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 働き始め: 就労形態 (前回無職の人)	面 23-[1-3]A	NJB[01-05]S0TP_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 働き始め: 就労形態 (前回無職の人)	面 23-[1-5]A
			NJB[01-03]SJDP_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 副業: 派遣 (前回無職の人)	面 21-5 2	NJB[01-05]SJDP_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 副業: 派遣 (前回無職の人)	面 21-5 2
			NJB[01-03]SJFB_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 副業: 家業 (前回無職の人)	面 21-5 4	NJB[01-05]SJFB_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 副業: 家業 (前回無職の人)	面 21-5 4
			NJB[01-03]SJNO_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 副業: なし (前回無職の人)	面 21-5 1	NJB[01-05]SJNO_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 副業: なし (前回無職の人)	面 21-5 1
			NJB[01-03]SJOT_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 副業: その他 (前回無職の人)	面 21-5 5	NJB[01-05]SJOT_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 副業: その他 (前回無職の人)	面 21-5 5
			NJB[01-03]SJPT_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 副業: パート (前回無職の人)	面 21-5 3	NJB[01-05]SJPT_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 副業: パート (前回無職の人)	面 21-5 3
			NJB[01-03]STM_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 開始月 (前回無職の人)	面 21-2	NJB[01-05]STM_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 開始月 (前回無職の人)	面 21-2
			NJB[01-03]STY_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 開始年 (前回無職の人)	面 21-2	NJB[01-05]STY_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 開始年 (前回無職の人)	面 21-2
			NJB[01-03]WYQT_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 続いている理由 (前回無職の人)	面 21-4	NJB[01-05]WYQT_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 続いている理由 (前回無職の人)	面 21-4

			NJOB[01-03]SZ_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 企業規模 (前回無職の人)	面 23-[1-3]F	NJOB[01-05]SZ_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 企業規模 (前回無職の人)	面 23-[1-5]F
			NJOB[01-03]WPL_W2	勤め先[01-03] (w1 調査以降): 業種 (前回無職の人)	面 23-[1-3]E	NJOB[01-05]WPL_W3	勤め先[01-05] (w2 調査以降): 業種 (前回無職の人)	面 23-[1-5]E
NMJ[01-03]	主な勤め先が決められない期間[01-03]: 有無	面 26/27S(1)	NMJ[01-02]_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降): 有無 (前回有職の人)	面 18S	NMJ[01-02]_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降): 有無 (前回有職の人)	面 18S
NMJ[01-03]DP	主な勤め先が決められない期間[01-03]: 就労形態: 派遣	面 26/27S(2)1	NMJ[01-02]DP_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降): 就労形態: 派遣 (前回有職の人)	面 18S(2)1	NMJ[01-02]DP_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降): 就労形態: 派遣 (前回有職の人)	面 18S(2)1
NMJ[01-03]ENM	主な勤め先が決められない期間[01-03]: 終了月	面 26/27S(1)	NMJ[01-02]ENM_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降): 終了月 (前回有職の人)	面 18S(1)1	NMJ[01-02]ENM_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降): 終了月 (前回有職の人)	面 18S(1)1
NMJ[01-03]ENY	主な勤め先が決められない期間[01-03]: 終了年	面 26/27S(1)	NMJ[01-02]ENY_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降): 終了年 (前回有職の人)	面 18S(1)1	NMJ[01-02]ENY_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降): 終了年 (前回有職の人)	面 18S(1)1
NMJ[01-03]FB	主な勤め先が決められない期間[01-03]: 就労形態: 家業	面 26/27S(2)3	NMJ[01-02]FB_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降): 就労形態: 家業 (前回有職の人)	面 18S(2)3	NMJ[01-02]FB_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降): 就労形態: 家業 (前回有職の人)	面 18S(2)3
NMJ[01-03]OCL	主な勤め先が決められない期間[01-03]: 職種: 事務	面 26/27S(3)1	NMJ[01-02]OCL_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降): 職種: 事務 (前回有職の人)	面 18S(3)1	NMJ[01-02]OCL_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降): 職種: 事務 (前回有職の人)	面 18S(3)1
NMJ[01-03]OCR	主な勤め先が決められない期間[01-03]: 職種: 建設作業	面 26/27S(3)5	NMJ[01-02]OCR_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降): 職種: 建設作業 (前回有職の人)	面 18S(3)5	NMJ[01-02]OCR_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降): 職種: 建設作業 (前回有職の人)	面 18S(3)5
NMJ[01-03]OFY	主な勤め先が決められない期間[01-03]: 職種: 工場・倉庫内作業	面 26/27S(3)4	NMJ[01-02]OFY_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降): 職種: 工場・倉庫内作業 (前回有職の人)	面 18S(3)4	NMJ[01-02]OFY_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降): 職種: 工場・倉庫内作業 (前回有職の人)	面 18S(3)4
NMJ[01-03]OIT	主な勤め先が決められない期間[01-03]: 職種: IT 関係の専門職	面 26/27S(3)9	NMJ[01-02]OIT_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降): 職種: IT 関係の専門職 (前回有職の人)	面 18S(3)9	NMJ[01-02]OIT_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降): 職種: IT 関係の専門職 (前回有職の人)	面 18S(3)9
NMJ[01-03]ONG	主な勤め先が決められない期間[01-03]: 継続の有無	面 26/27S(1)	NMJ[01-02]ONG_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降): 継続の有無 (前回有職の人)	面 18S(1)	NMJ[01-02]ONG_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降): 継続の有無 (前回有職の人)	面 18S(1)
NMJ[01-03]OOT	主な勤め先が決められない期間[01-03]: 職種: その他	面 26/27S(3)10	NMJ[01-02]OOT_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降): 職種: その他 (前回有職の人)	面 18S(3)10	NMJ[01-02]OOT_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降): 職種: その他 (前回有職の人)	面 18S(3)10

NMJ[01-03]OSG	主な勤め先が決められない 期間[01-03]: 職種: 警備	面 26/27S(3)7	NMJ[01-02]OSG_W2	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w1 調査以 降): 職種: 警備 (前回有 職の人)	面 18S(3)7	NMJ[01-02]OSG_W3	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w2 調査以 降): 職種: 警備 (前回有 職の人)	面 18S(3)7
NMJ[01-03]OSL	主な勤め先が決められない 期間[01-03]: 職種: 営業	面 26/27S(3)3	NMJ[01-02]OSL_W2	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w1 調査以 降): 職種: 営業 (前回有 職の人)	面 18S(3)3	NMJ[01-02]OSL_W3	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w2 調査以 降): 職種: 営業 (前回有 職の人)	面 18S(3)3
NMJ[01-03]OSV	主な勤め先が決められない 期間[01-03]: 職種: サービス	面 26/27S(3)2	NMJ[01-02]OSV_W2	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w1 調査以 降): 職種: サービス (前 回有職の人)	面 18S(3)2	NMJ[01-02]OSV_W3	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w2 調査以 降): 職種: サービス (前 回有職の人)	面 18S(3)2
NMJ[01-03]OT	主な勤め先が決められない 期間[01-03]: 就労形態: その 他	面 26/27S(2)4	NMJ[01-02]OT_W2	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w1 調査以 降): 就労形態: その他 (前回有職の人)	面 18S(2)4	NMJ[01-02]OT_W3	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w2 調査以 降): 就労形態: その他 (前回有職の人)	面 18S(2)4
NMJ[01-03]OTP	主な勤め先が決められない 期間[01-03]: 職種: 運搬	面 26/27S(3)6	NMJ[01-02]OTP_W2	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w1 調査以 降): 職種: 運搬 (前回有 職の人)	面 18S(3)6	NMJ[01-02]OTP_W3	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w2 調査以 降): 職種: 運搬 (前回有 職の人)	面 18S(3)6
NMJ[01-03]OWF	主な勤め先が決められない 期間[01-03]: 職種: 福祉関係 の専門職	面 26/27S(3)8	NMJ[01-02]OWF_W2	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w1 調査以 降): 職種: 福祉関係の専門職 (前 回有職の人)	面 18S(3)8	NMJ[01-02]OWF_W3	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w2 調査以 降): 職種: 福祉関係の専門職 (前 回有職の人)	面 18S(3)8
NMJ[01-03]PT	主な勤め先が決められない 期間[01-03]: 就労形態: パー ト・アルバイト	面 26/27S(2)2	NMJ[01-02]PT_W2	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w1 調査以 降): 就労形態: パート・ アルバイト (前回有職の 人)	面 18S(2)2	NMJ[01-02]PT_W3	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w2 調査以 降): 就労形態: パート・ アルバイト (前回有職の 人)	面 18S(2)2
NMJ[01-03]STM	主な勤め先が決められない 期間[01-03]: 開始月	面 26/27S(1)	NMJ[01-02]STM_W2	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w1 調査以 降): 開始月 (前回有職の 人)	面 18S(1)	NMJ[01-02]STM_W3	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w2 調査以 降): 開始月 (前回有職の 人)	面 18S(1)
NMJ[01-03]STY	主な勤め先が決められない 期間[01-03]: 開始年	面 26/27S(1)	NMJ[01-02]STY_W2	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w1 調査以 降): 開始年 (前回有職の 人)	面 18S(1)	NMJ[01-02]STY_W3	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w2 調査以 降): 開始年 (前回有職の 人)	面 18S(1)
			NMJA[01-02]_W2	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w1 調査以 降): 有無 (前回無職の 人)	面 21 S	NMJA[01-02]_W3	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w2 調査以 降): 有無 (前回無職の 人)	面 21 S
			NMJA[01-02]DP_W2	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w1 調査以 降): 就労形態: 派遣 (前 回無職の人)	面 21S(2)1	NMJA[01-02]DP_W3	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w2 調査以 降): 就労形態: 派遣 (前 回無職の人)	面 21S(2)1
			NMJA[01-02]ENM_W2	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w1 調査以 降): 終了月 (前回無職の 人)	面 21S(1)1	NMJA[01-02]ENM_W3	主な勤め先が決められない 期間[01-02] (w2 調査以 降): 終了月 (前回無職の 人)	面 21S(1)1

			NMJA[01-02]ENY_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降) : 終了年 (前回無職の人)	面 21S(1)1	NMJA[01-02]ENY_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降) : 終了年 (前回無職の人)	面 21S(1)1
			NMJA[01-02]FB_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降) : 就労形態 : 家業 (前回無職の人)	面 21S(2)3	NMJA[01-02]FB_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降) : 就労形態 : 家業 (前回無職の人)	面 21S(2)3
			NMJA[01-02]OCL_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降) : 職種 : 事務 (前回無職の人)	面 21S(3)1	NMJA[01-02]OCL_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降) : 職種 : 事務 (前回無職の人)	面 21S(3)1
			NMJA[01-02]OCR_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降) : 職種 : 建設作業 (前回無職の人)	面 21S(3)5	NMJA[01-02]OCR_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降) : 職種 : 建設作業 (前回無職の人)	面 21S(3)5
			NMJA[01-02]OFY_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降) : 職種 : 工場・倉庫内作業 (前回無職の人)	面 21S(3)4	NMJA[01-02]OFY_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降) : 職種 : 工場・倉庫内作業 (前回無職の人)	面 21S(3)4
			NMJA[01-02]OIT_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降) : 職種 : IT 関係の専門職 (前回無職の人)	面 21S(3)9	NMJA[01-02]OIT_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降) : 職種 : IT 関係の専門職 (前回無職の人)	面 21S(3)9
			NMJA[01-02]ONG_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降) : 継続の有無 (前回無職の人)	面 21S(1)	NMJA[01-02]ONG_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降) : 継続の有無 (前回無職の人)	面 21S(1)
			NMJA[01-02]OOT_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降) : 職種 : その他 (前回無職の人)	面 21S(3)10	NMJA[01-02]OOT_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降) : 職種 : その他 (前回無職の人)	面 21S(3)10
			NMJA[01-02]OSG_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降) : 職種 : 警備 (前回無職の人)	面 21S(3)7	NMJA[01-02]OSG_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降) : 職種 : 警備 (前回無職の人)	面 21S(3)7
			NMJA[01-02]OSL_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降) : 職種 : 営業 (前回無職の人)	面 21S(3)3	NMJA[01-02]OSL_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降) : 職種 : 営業 (前回無職の人)	面 21S(3)3
			NMJA[01-02]OSV_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降) : 職種 : サービス (前回無職の人)	面 21S(3)2	NMJA[01-02]OSV_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降) : 職種 : サービス (前回無職の人)	面 21S(3)2
			NMJA[01-02]OT_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降) : 就労形態 : その他 (前回無職の人)	面 21S(2)4	NMJA[01-02]OT_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降) : 就労形態 : その他 (前回無職の人)	面 21S(2)4
			NMJA[01-02]OTP_W2	主な勤め先が決められない	面 21S(3)6	NMJA[01-02]OTP_W3	主な勤め先が決められない	面 21S(3)6

				期間[01-02] (w1 調査以降)：職種：運搬 (前回無職の人)			期間[01-02] (w2 調査以降)：職種：運搬 (前回無職の人)		
			NMJA[01-02]OWF_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降)：職種：福祉関係の専門職 (前回無職の人)	面 21S(3)8		NMJA[01-02]OWF_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降)：職種：福祉関係の専門職 (前回無職の人)	面 21S(3)8
			NMJA[01-02]PT_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降)：就労形態：パート・アルバイト (前回無職の人)	面 21S(2)2		NMJA[01-02]PT_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降)：就労形態：パート・アルバイト (前回無職の人)	面 21S(2)2
			NMJA[01-02]STM_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降)：開始月 (前回無職の人)	面 21S(1)1		NMJA[01-02]STM_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降)：開始月 (前回無職の人)	面 21S(1)1
			NMJA[01-02]STY_W2	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w1 調査以降)：開始年 (前回無職の人)	面 21S(1)1		NMJA[01-02]STY_W3	主な勤め先が決められない期間[01-02] (w2 調査以降)：開始年 (前回無職の人)	面 21S(1)1
			NOFUTR_W2	希望のなさ：将来の希望が持てない	留 36A		NOFUTR_W3	希望のなさ：将来の希望が持てない	留 36A
			NOGOAL_W2	希望のなさ：目標は達成できない	留 36B		NOGOAL_W3	希望のなさ：目標は達成できない	留 36B
NOREGEM	職場の非正規雇用者の規模	面 11	NOREGEM_W2	職場の非正規雇用者の規模	面 11		NOREGEM_W3	職場の非正規雇用者の規模	面 11
			NUMFRND_W2	友人数	留 8-1		NUMFRND_W3	友人数	留 8-1
OP10LVL	自分の位置する階層	面 63	OP10LVL_W2	自分の位置する階層	面 49		OP10LVL_W3	自分の位置する階層	面 49
OP3ECN3A	家計状態の変化	留 47	OP3ECN3A_W2	家計状態の変化	留 37		OP3ECN3A_W3	家計状態の変化	留 37
OP4UNEMP	失業の可能性	面 14	OP4UNEMP_W2	失業の可能性	面 14		OP4UNEMP_W3	失業の可能性	面 14
OP5CHNCA	生活水準向上機会の有無	留 49	OP5CHNCA_W2	生活水準向上機会の有無	留 43		OP5CHNCA_W3	生活水準向上機会の有無	留 43
OP5FFINX	世帯収入のレベル	留 48	OP5FFINX_W2	世帯収入のレベル	留 38		OP5FFINX_W3	世帯収入のレベル	留 38
OP5HAPPZ	幸福度	留 18	OP5HAPPZ_W2	幸福度	留 15		OP5HAPPZ_W3	幸福度	留 15
OP5HLTHZ	健康状態 (本人)	留 12	OP5HLTHZ_W2	健康状態 (本人)	留 9		OP5HLTHZ_W3	健康状態 (本人)	留 9
OP5LEVK	階層帰属意識	留 50	OP5LEVK_W2	階層帰属意識	留 44		OP5LEVK_W3	階層帰属意識	留 44
OP7GDEVO	人間観 (一般)：人間の本性	留 53	OP7GDEVO_W2	人間観 (一般)：人間の本性	留 47		OP7GDEVO_W3	人間観 (一般)：人間の本性	留 47
OPFFIX15	15 歳の頃の世帯収入レベル	留 43							
OPPLNET	インターネット上の人の評価	留 7							
OWNHOUSE	居住形態：持ち家	面 65	OWNHOUSE_W2	居住形態：持ち家	面 51		OWNHOUSE_W3	居住形態：持ち家	面 51
			PENPLAN_W2	年金の種類	留 42		PENPLAN_W3	年金の種類	留 42
PLV[01-04]	両親との同居期間[01-04]：有無	面 57	PLV[01-02]_W2	両親との同居期間[01-02] (w1 調査以降)：有無	面 44		PLV[01-03]_W3	両親との同居期間[01-03] (w2 調査以降)：有無	面 44
PLV[01-04]ENM	両親との同居期間[01-04]：終了月	面 57	PLV[01-02]ENM_W2	両親との同居期間[01-02] (w1 調査以降)：終了月	面 44		PLV[01-03]ENM_W3	両親との同居期間[01-03] (w2 調査以降)：終了月	面 44
PLV[01-04]ENY	両親との同居期間[01-04]：終了年	面 57	PLV[01-02]ENY_W2	両親との同居期間[01-02] (w1 調査以降)：終了年	面 44		PLV[01-03]ENY_W3	両親との同居期間[01-03] (w2 調査以降)：終了年	面 44
PLV[01-04]ONG	両親との同居期間[01-04]：継続の有無	面 57	PLV[01-02]ONG_W2	両親との同居期間[01-02] (w1 調査以降)：継続の有無	面 44		PLV[01-03]ONG_W3	両親との同居期間[01-03] (w2 調査以降)：継続の有無	面 44

PLV[01-04]STM	両親との同居期間[01-04] : 開始月	面 57	PLV[01-02]STM_W2	両親との同居期間[01-02] (w1 調査以降) : 開始月	面 44	PLV[01-02]STM_W2	両親との同居期間[01-03] (w2 調査以降) : 開始月	面 44
PLV[01-04]STY	両親との同居期間[01-04] : 開始年	面 57	PLV[01-02]STY_W2	両親との同居期間[01-02] (w1 調査以降) : 開始年	面 44	PLV[01-02]STY_W2	両親との同居期間[01-03] (w2 調査以降) : 開始年	面 44
PLV01JH	両親との同居期間 01 : 中学校卒業時	面 57 1						
			PLV01W1_W2	両親との同居期間 01 (w1 調査以降) : 前回調査時から	面 44	PLV01W1_W2	両親との同居期間 01 (w1 調査以降) : 前回調査時から	面 44
PMLVTG	父母の同別居	面 49-4	PMLVTG_W2	父母の同別居	面 43-3	PMLVTG_W3	父母の同別居	面 43-3
			PMLVTGW1_W2	父母の同別居 (w1 調査時)	面 44 (事前転記)			
PPAGE	父親 : 年齢	面 49-2						
			PPALW1_W2	父親 : 生死 (w1 調査時)	面 43-1 (事前転記)	PPALW2_W3	父親 : 生死 (w2 調査時)	面 43-1 (事前転記)
PPJBSZ15	15歳の頃の父 : 企業規模	面 52						
PPJBT15	15歳の頃の父 : 就労形態	面 50-1						
PPJBT15P	15歳の頃の父 : 役職	面 50-2						
PPJBXX15	15歳の頃の父 : 職種	面 51						
PPJOB	父親 : 就労の有無	面 49-3	PPJOB_W2	父親 : 就労の有無	面 43-2	PPJOB_W3	父親 : 就労の有無	面 43-2
PPLSTSCH	最終学校 (父親)	面 56						
PPLVTG	父親 : 同居・生死	面 49-1	PPLVTG_W2	父親 : 同居・生死	面 43-1	PPLVTG_W3	父親 : 同居・生死	面 43-1
PREF	都道府県名	◇	PREF_W2	都道府県名 (w2 調査時)	◇	PREF_W3	都道府県名 (w3 調査時)	◇
PREF15	15歳の頃の居住地 (本人) : 都道府県名	面 16						
PRFCCNMX	希望する子どもの総数 : 5人以上の場合 (具体的記述)	留 32 5	PRFCCNMX_W2	希望する子どもの総数 : 5人以上の場合 (具体的記述)	留 28 5	PRFCCNMX_W3	希望する子どもの総数 : 5人以上の場合 (具体的記述)	留 28 5
PRFCCNUM	希望する子どもの総数	留 32	PRFCCNUM_W2	希望する子どもの総数	留 28	PRFCCNUM_W3	希望する子どもの総数	留 28
PRFMAGE	希望の結婚年齢	留 25-4 1	PRFMAGE_W2	希望の結婚年齢	留 21-4 1	PRFMAGE_W3	希望の結婚年齢	留 21-4 1
PRFTMCLD	子どもをもちたい時期	留 30-2	PRFTMCLD_W2	子どもをもちたい時期	留 26-2	PRFTMCLD_W3	子どもをもちたい時期	留 26-2
PROC	調査手順 (留置/面接の順序)	面 F6						
PSNCNS	悩みの相談相手	留 36						
PSPSCH	専修学校・専門学校への就学経験 (配偶者)	面 37	PSPSCH_W2	専修学校・専門学校の通学経験 (配偶者)	面 29	PSPSCH_W3	専修学校・専門学校の通学経験 (配偶者)	面 29
PTJBAHS	学生時代のアルバイト経験 : 高校卒業後の学生時代	面 25 3						
PTJBDK	学生時代のアルバイト経験 : わからない	面 25 5						
PTJBHS	学生時代のアルバイト経験 : 高校時代	面 25 2						
PTJBHHS	学生時代のアルバイト経験 : 中学校時代	面 25 1						
PTJBNO	学生時代のアルバイト経験 : アルバイトはしていない	面 25 4						
			PTLVTG_W2	両親との同居期間 (w1 調査以降) : 有無	面 44	PTLVTG_W3	両親との同居期間 (w2 調査以降) : 有無	面 44
PTLVTGL	両親との同居期間の有無	面 57						
Q4DIVOK	意見についての賛否 : 離婚	留 35A	Q4DIVOK_W2	意見についての賛否 : 離婚	留 31A	Q4DIVOK_W3	意見についての賛否 : 離婚	留 31A
Q4JBMCC	意見についての賛否 : 子ど	留 35D	Q4JBMCC_W2	意見についての賛否 : 子ど	留 31D	Q4JBMCC_W3	意見についての賛否 : 子ど	留 31D

	もへの影響			もへの影響			もへの影響	
Q4MNCOOK	意見についての賛否：男性の家事	留 35B	Q4MNCOOK_W2	意見についての賛否：男性の家事	留 31B	Q4MNCOOK_W3	意見についての賛否：男性の家事	留 31B
Q4WWHHX	意見についての賛否：性役割分担	留 35C	Q4WWHHX_W2	意見についての賛否：性役割分担	留 31C	Q4WWHHX_W3	意見についての賛否：性役割分担	留 31C
Q4WWHPHH	意見についての賛否：妻は夫の手助け	留 35E	Q4WWHPHH_W2	意見についての賛否：妻は夫の手助け	留 31E	Q4WWHPHH_W3	意見についての賛否：妻は夫の手助け	留 31E
QL[01-03]	資格[01-03]：有無	面 32-2						
QL[01-03]BFT	資格[01-03]：役立ち方：給与の優遇	面 32-5 2						
QL[01-03]CERT	資格[01-03]：役立ち方：技能の証明	面 32-5 6						
QL[01-03]CRR	資格[01-03]：役立ち方：転職・再就職	面 32-5 5						
QL[01-03]JB[01-20]	資格[01-03]：役立った勤め先：[01-20]番目	面 32-6						
QL[01-03]NONE	資格[01-03]：役立ち方：役立っていない	面 32-5 8						
QL[01-03]OBT	資格[01-03]：取得時期	面 32-3						
QL[01-03]OT	資格[01-03]：役立ち方：その他	面 32-5 7						
QL[01-03]POST	資格[01-03]：役立ち方：希望どおりの配属	面 32-5 3						
QL[01-03]PRE	資格[01-03]：役立ち方：必須条件	面 32-5 1						
QL[01-03]PRM	資格[01-03]：役立ち方：昇格・昇進	面 32-5 4						
QL[01-03]RSN	資格[01-03]：取得のいきさつ	面 32-4						
QL[01-03]TYPE	資格[01-03]：種類	面 32-2						
						QLWAGE_W3	資格：取得した年齢	面 24-3
						QLWBFT_W3	資格：役立ち方：給与の優遇	面 24-5 5
						QLWCERT_W3	資格：役立ち方：技能の証明	面 24-5 8
						QLWCJB_W3	資格：役立ち方：転職	面 24-5 3
						QLWCONF_W3	資格：役立ち方：自信	面 24-5 9
						QLWCOST_W3	資格：費用を負担した人	面 24-6
						QLWDK_W3	資格：役立ち方：わからない	面 24-5 12
						QLWFJB_W3	資格：役立ち方：初職	面 24-5 2
						QLWNJB_W3	資格：役立ち方：再就職	面 24-5 4
						QLWOT_W3	資格：役立ち方：その他	面 24-5 11
						QLWPAID_W3	資格：かかった費用	面 24-7
						QLWPOST_W3	資格：役立ち方：希望どおりの配属	面 24-5 6
						QLWPRM_W3	資格：役立ち方：昇格・昇進	面 24-5 7
						QLWRSN_W3	資格：取得のいきさつ	面 24-4
						QLWSLF_W3	資格：役立ち方：自営独立	面 24-5 1
						QLWTYPE_W3	資格：種類	面 24-2
						QLWWRTH_W3	資格：役立ち方：生きがい・	面 24-5 10

			QQ[01-03]W2	資格[01-03]:有無	面 24-2		目標	
			QQ[01-03]AGE_W2	資格[01-03]:取得した年齢	面 24-3			
			QQ[01-03]BFT_W2	資格[01-03]:役立ち方:給与の優遇	面 24-4 5			
			QQ[01-03]CERT_W2	資格[01-03]:役立ち方:技能の証明	面 24-4 8			
			QQ[01-03]CJB_W2	資格[01-03]:役立ち方:転職	面 24-4 3			
			QQ[01-03]CONF_W2	資格[01-03]:役立ち方:自信	面 24-4 9			
			QQ[01-03]COST_W2	資格[01-03]:費用を負担した人	面 24-5			
			QQ[01-03]DK_W2	資格[01-03]:役立ち方:わからない	面 24-4 12			
			QQ[01-03]FJB_W2	資格[01-03]:役立ち方:初職	面 24-4 2			
			QQ[01-03]LF_W2	資格[01-03]:役立ち方:生活全般	面 24-4 11S			
			QQ[01-03]NJB_W2	資格[01-03]:役立ち方:再就職	面 24-4 4			
			QQ[01-03]NT_W2	資格[01-03]:役立ち方:役立っていない	面 24-4 11S			
			QQ[01-03]OT_W2	資格[01-03]:役立ち方:その他	面 24-4 11			
			QQ[01-03]PAID_W2	資格[01-03]:かかった費用	面 24-6			
			QQ[01-03]POST_W2	資格[01-03]:役立ち方:希望どおりの配属	面 24-4 6			
			QQ[01-03]PRM_W2	資格[01-03]:役立ち方:昇格・昇進	面 24-4 7			
			QQ[01-03]SLF_W2	資格[01-03]:役立ち方:自営独立	面 24-4 1			
			QQ[01-03]TYPE_W2	資格[01-03]:種類	面 24-2			
			QQ[01-03]WK_W2	資格[01-03]:役立ち方:仕事全般	面 24-4 11S			
			QQ[01-03]WRTH_W2	資格[01-03]:役立ち方:生きがい・目標	面 24-4 10			
			QUAL_W2	資格の有無	面 24-1	QUAL_W3	資格の有無	面 24-1
QUALWK	仕事に役立つ資格の有無	面 32-1						
REMOTE15	15歳の頃の居住地(本人): 農山村地域	面 18						
SAMWK(1-2)	同じ勤め先(1-2):有無	面 28						
SAMWK(1-2)[01-20]	同じ勤め先(1-2):[01-20]番 目	面 28 2						
SAMWKL	同じ勤め先への再就職経験 の有無	面 28						
			SAVELSTY_W2	過去1年間の貯金	留 40	SAVELSTY_W3	過去1年間の貯金	留 40
			SCH_W2	就学経験(w1調査以降)	面 16-1	SCH_W3	就学経験(w2調査以降)	面 16-1
SCH[01-03]	中学・高校以外の学校[01-03]:有無	面 24-1	SCH[01-02]_W2	就学経験[01-02](w1調査以降):有無	面 16-[2-6]	SCH[01-02]_W3	就学経験[01-02](w2調査以降):有無	面 16-[2-6]
SCH[01-03]DPT	中学・高校以外の学校[01-03]	面 24-3	SCH[01-02]DPT_W2	就学経験[01-02](w1調査以	面 16-4	SCH[01-02]DPT_W3	就学経験[01-02](w2調査以	面 16-4

	3]: 学部・学科			降): 学部・学科			降): 学部・学科	
SCH[01-03]ENM	中学・高校以外の学校[01-03]: 在籍期間: 終了月	面 24-5	SCH[01-02]ENM_W2	就学経験[01-02] (w1 調査以降): 在学期間: 終了月	面 16-6	SCH[01-02]ENM_W3	就学経験[01-02] (w2 調査以降): 在学期間: 終了月	面 16-6
SCH[01-03]ENY	中学・高校以外の学校[01-03]: 在籍期間: 終了年	面 24-5	SCH[01-02]ENY_W2	就学経験[01-02] (w1 調査以降): 在学期間: 終了年	面 16-6	SCH[01-02]ENY_W3	就学経験[01-02] (w2 調査以降): 在学期間: 終了年	面 16-6
SCH[01-03]GRD	中学・高校以外の学校[01-03]: 卒業の有無	面 24-4	SCH[01-02]GRD_W2	就学経験[01-02] (w1 調査以降): 卒業の有無	面 16-5	SCH[01-02]GRD_W3	就学経験[01-02] (w2 調査以降): 卒業の有無	面 16-5
SCH[01-03]SCT	中学・高校以外の学校[01-03]: 国・公・私立	面 24-2	SCH[01-02]SCT_W2	就学経験[01-02] (w1 調査以降): 国・公・私立	面 16-3	SCH[01-02]SCT_W3	就学経験[01-02] (w2 調査以降): 国・公・私立	面 16-3
SCH[01-03]STM	中学・高校以外の学校[01-03]: 在籍期間: 開始月	面 24-5	SCH[01-02]STM_W2	就学経験[01-02] (w1 調査以降): 在学期間: 開始月	面 16-6	SCH[01-02]STM_W3	就学経験[01-02] (w2 調査以降): 在学期間: 開始月	面 16-6
SCH[01-03]STY	中学・高校以外の学校[01-03]: 在籍期間: 開始年	面 24-5	SCH[01-02]STY_W2	就学経験[01-02] (w1 調査以降): 在学期間: 開始年	面 16-6	SCH[01-02]STY_W3	就学経験[01-02] (w2 調査以降): 在学期間: 開始年	面 16-6
SCH[01-03]TP	中学・高校以外の学校[01-03]: 種類	面 24-1	SCH[01-02]TP_W2	就学経験[01-02] (w1 調査以降): 種類	面 16-2	SCH[01-02]TP_W3	就学経験[01-02] (w2 調査以降): 種類	面 16-2
SCHOT	その他の学校: 有無	面 22 7/23						
SCHOTENM	その他の学校: 在学期間: 終了月	面 22 7/23						
SCHOTENY	その他の学校: 在学期間: 終了年	面 22 7/23						
SCHOTSTM	その他の学校: 在学期間: 開始月	面 22 7/23						
SCHOTSTY	その他の学校: 在学期間: 開始年	面 22 7/23						
SCHOTTP	その他の学校: 種類	面 22 7/23						
SCHTP2YC	中学校卒業後の就学経験: 短期大学	面 22 2						
SCHTPCT	中学校卒業後の就学経験: 高等専門学校	面 22 6						
SCHTPGS	中学校卒業後の就学経験: 大学院	面 22 4						
SCHTPHS	中学校卒業後の就学経験: 高校	面 22 1						
SCHTPNO	中学校卒業後の就学経験: いずれもない	面 22 8						
SCHTPOT	中学校卒業後の就学経験: その他	面 22 7						
SCHTPUNV	中学校卒業後の就学経験: 大学	面 22 3						
SCHTPVS	中学校卒業後の就学経験: 専修学校・専門学校	面 22 5						
SEVCHCY	自分についての見方: はっきり説明できる	留 54B	SEVCHCY_W2	自分についての見方: はっきり説明できる	留 48B	SEVCHCY_W3	自分についての見方: はっきり説明できる	留 48B
			SEVCHLNG_W2	自分についての見方: リスクをとる	留 48K	SEVCHLNG_W3	自分についての見方: リスクをとる	留 48K
SEVCNSV	自分についての見方: 保守的	留 54E	SEVCNSV_W2	自分についての見方: 保守的	留 48E	SEVCNSV_W3	自分についての見方: 保守的	留 48E
SEVDPND	自分についての見方: 友達	留 54D	SEVDPND_W2	自分についての見方: 友達	留 48D	SEVDPND_W3	自分についての見方: 友達	留 48D

	に頼りにされている			に頼りにされている			に頼りにされている	
SEVHISLR	自分についての見方：高い収入を得たい	留 54G	SEVHISLR_W2	自分についての見方：高い収入を得たい	留 48G	SEVHISLR_W3	自分についての見方：高い収入を得たい	留 48G
			SEVINSGH_W2	自分についての見方：本質を見抜く	留 48I	SEVINSGH_W3	自分についての見方：本質を見抜く	留 48I
			SEVLGVIEW_W2	自分についての見方：長期的な視野	留 48J	SEVLGVIEW_W3	自分についての見方：長期的な視野	留 48J
SEVORIG	自分についての見方：他人とは違うものを持っている	留 54C	SEVORIG_W2	自分についての見方：他人とは違うものを持っている	留 48C	SEVORIG_W3	自分についての見方：他人とは違うものを持っている	留 48C
SEVPOS	自分についての見方：プラス思考	留 54A	SEVPOS_W2	自分についての見方：プラス思考	留 48A	SEVPOS_W3	自分についての見方：プラス思考	留 48A
SEVRSPCT	自分についての見方：尊敬される地位につきたい	留 54F	SEVRSPCT_W2	自分についての見方：尊敬される地位につきたい	留 48F	SEVRSPCT_W3	自分についての見方：尊敬される地位につきたい	留 48F
SEVSCS	自分についての見方：成長にはつらい思いが必要	留 54H	SEVSCS_W2	自分についての見方：成長にはつらい思いが必要	留 48H	SEVSCS_W3	自分についての見方：成長にはつらい思いが必要	留 48H
SEXA	性別	面接冒頭欄	SEXA_W2	調査員確認設問 D：性別	面 調査員確認設問 D (54の後)	SEXA_W3	調査員確認設問 D：性別	面 調査員確認設問 D (54の後)
SIZE	市郡規模	◇	SIZE_W2	市郡規模 (w2 調査時)	◇	SIZE_W3	市郡規模 (w3 調査時)	◇
SIZE2K	市郡規模 (2000 年時点)	◇	SIZE2K_W2	市郡規模 (2000 年時点) (w 2 調査時)	◇	SIZE2K_W3	市郡規模 (2000 年時点) (w 3 調査時)	◇
			SKAPCHRC_W2	4 年間で向上した能力：相手にわかりやすく話す	留 19-1 9	SKAPCHRC_W2	4 年間で向上した能力：相手にわかりやすく話す	留 19-1 9
			SKAPCOOP_W2	4 年間で向上した能力：上司や同僚との協調性	留 19-1 3	SKAPCOOP_W3	4 年間で向上した能力：上司や同僚との協調性	留 19-1 3
			SKAPDOC_W2	4 年間で向上した能力：パソコンで文書を作成する	留 19-1 1	SKAPDOC_W3	4 年間で向上した能力：パソコンで文書を作成する	留 19-1 1
			SKAPENG_W2	4 年間で向上した能力：英語で会話や読み書きをする	留 19-1 2	SKAPENG_W3	4 年間で向上した能力：英語で会話や読み書きをする	留 19-1 2
			SKAPINTV_W2	4 年間で向上した能力：指示がなくても仕事を進める	留 19-1 4	SKAPINTV_W3	4 年間で向上した能力：指示がなくても仕事を進める	留 19-1 4
			SKAPLAW_W2	4 年間で向上した能力：法律の知識	留 19-1 11	SKAPLAW_W3	4 年間で向上した能力：法律の知識	留 19-1 11
			SKAPLEAD_W2	4 年間で向上した能力：チームを引っ張る統率力	留 19-1 6	SKAPLEAD_W3	4 年間で向上した能力：チームを引っ張る統率力	留 19-1 6
			SKAPMNNR_W2	4 年間で向上した能力：正しいマナーで対応する	留 19-1 7	SKAPMNNR_W3	4 年間で向上した能力：正しいマナーで対応する	留 19-1 7
			SKAPNO_W2	4 年間で向上した能力：この中にある	留 19-1 13	SKAPNO_W3	4 年間で向上した能力：この中にある	留 19-1 13
			SKAPNW_W2	4 年間で向上した能力：働いたことがない	留 19-1 14	SKAPNW_W3	4 年間で向上した能力：働いたことがない	留 19-1 14
			SKAPRCPT_W2	4 年間で向上した能力：相手を理解する能力	留 19-1 8	SKAPRCPT_W3	4 年間で向上した能力：相手を理解する能力	留 19-1 8
			SKAPRGHT_W2	4 年間で向上した能力：労働者の権利や義務についての知識	留 19-1 12	SKAPRGHT_W3	4 年間で向上した能力：労働者の権利や義務についての知識	留 19-1 12
			SKAPSOC_W2	4 年間で向上した能力：社会情勢についての知識	留 19-1 10	SKAPSOC_W3	4 年間で向上した能力：社会情勢についての知識	留 19-1 10
			SKAPVERS_W2	4 年間で向上した能力：い	留 19-1 5	SKAPVERS_W3	4 年間で向上した能力：い	留 19-1 5

				ろいろな業務をこなす			ろいろな業務をこなす	
SKSCCHRC	学校で得た能力：相手にわかりやすく話す	留 23-1 9						
SKSCCOOP	学校で得た能力：上司や同僚との協調性	留 23-1 3						
SKSCDOC	学校で得た能力：パソコンで文書を作成する	留 23-1 1						
SKSCENG	学校で得た能力：英語で会話や読み書きをする	留 23-1 2						
SKSCINTV	学校で得た能力：指示がなくても仕事を進める	留 23-1 4						
SKSCLAW	学校で得た能力：法律の知識	留 23-1 11						
SKSCLEAD	学校で得た能力：チームを引っ張る統率力	留 23-1 6						
SKSCMNNR	学校で得た能力：正しいマナーで応対する	留 23-1 7						
SKSCNO	学校で得た能力：この中がない	留 23-1 13						
SKSCRCPT	学校で得た能力：相手を理解する能力	留 23-1 8						
SKSCRGHT	学校で得た能力：労働者の権利や義務についての知識	留 23-1 12						
SKSCSOC	学校で得た能力：社会情勢についての知識	留 23-1 10						
SKSCVERS	学校で得た能力：いろいろな業務をこなす	留 23-1 5						
SKWKCHRC	職場で得た能力：相手にわかりやすく話す	留 23-2 9						
SKWKCOOP	職場で得た能力：上司や同僚との協調性	留 23-2 3						
SKWKDOC	職場で得た能力：パソコンで文書を作成する	留 23-2 1						
SKWKENG	職場で得た能力：英語で会話や読み書きをする	留 23-2 2						
SKWKINTV	職場で得た能力：指示がなくても仕事を進める	留 23-2 4						
SKWKLAW	職場で得た能力：法律の知識	留 23-2 11						
SKWKLEAD	職場で得た能力：チームを引っ張る統率力	留 23-2 6						
SKWKMNNR	職場で得た能力：正しいマナーで応対する	留 23-2 7						
SKWKNO	職場で得た能力：この中がない	留 23-2 13						
SKWKNW	職場で得た能力：働いたことはない	留 23-2 14						
SKWKRCPT	職場で得た能力：相手を理	留 23-2 8						

	解する能力							
SKWKRGHT	職場で得た能力：労働者の権利や義務についての知識	留 23-2 12						
SKWKSOC	職場で得た能力：社会情勢についての知識	留 23-2 10						
SKWKVERS	職場で得た能力：いろいろな業務をこなす	留 23-2 5						
SKWTCHRC	今後高めたい能力：相手にわかりやすく話す	留 23-3 9	SKWTCHRC_W2	今後高めたい能力：相手にわかりやすく話す	留 19-2 9	SKWTCHRC_W3	今後高めたい能力：相手にわかりやすく話す	留 19-2 9
SKWTCOOP	今後高めたい能力：上司や同僚との協調性	留 23-3 3	SKWTCOOP_W2	今後高めたい能力：上司や同僚との協調性	留 19-2 3	SKWTCOOP_W3	今後高めたい能力：上司や同僚との協調性	留 19-2 3
SKWTDOC	今後高めたい能力：パソコンで文書を作成する	留 23-3 1	SKWTDOC_W2	今後高めたい能力：パソコンで文書を作成する	留 19-2 1	SKWTDOC_W3	今後高めたい能力：パソコンで文書を作成する	留 19-2 1
SKWTENG	今後高めたい能力：英語で会話や読み書きをする	留 23-3 2	SKWTENG_W2	今後高めたい能力：英語で会話や読み書きをする	留 19-2 2	SKWTENG_W3	今後高めたい能力：英語で会話や読み書きをする	留 19-2 2
SKWTINTV	今後高めたい能力：指示がなくても仕事を進める	留 23-3 4	SKWTINTV_W2	今後高めたい能力：指示がなくても仕事を進める	留 19-2 4	SKWTINTV_W3	今後高めたい能力：指示がなくても仕事を進める	留 19-2 4
SKWTLAW	今後高めたい能力：法律の知識	留 23-3 11	SKWTLAW_W2	今後高めたい能力：法律の知識	留 19-2 11	SKWTLAW_W3	今後高めたい能力：法律の知識	留 19-2 11
SKWTLEAD	今後高めたい能力：チームを引っ張る統率力	留 23-3 6	SKWTLEAD_W2	今後高めたい能力：チームを引っ張る統率力	留 19-2 6	SKWTLEAD_W3	今後高めたい能力：チームを引っ張る統率力	留 19-2 6
SKWTMNNR	今後高めたい能力：正しいマナーで対応する	留 23-3 7	SKWTMNNR_W2	今後高めたい能力：正しいマナーで対応する	留 19-2 7	SKWTMNNR_W3	今後高めたい能力：正しいマナーで対応する	留 19-2 7
SKWTNO	今後高めたい能力：この中ではない	留 23-3 13	SKWTNO_W2	今後高めたい能力：この中ではない	留 19-2 13	SKWTNO_W3	今後高めたい能力：この中ではない	留 19-2 13
SKWTRCPT	今後高めたい能力：相手を理解する能力	留 23-3 8	SKWTRCPT_W2	今後高めたい能力：相手を理解する能力	留 19-2 8	SKWTRCPT_W3	今後高めたい能力：相手を理解する能力	留 19-2 8
SKWTRGHT	今後高めたい能力：労働者の権利や義務についての知識	留 23-3 12	SKWTRGHT_W2	今後高めたい能力：労働者の権利や義務についての知識	留 19-2 12	SKWTRGHT_W3	今後高めたい能力：労働者の権利や義務についての知識	留 19-2 12
SKWTSOC	今後高めたい能力：社会情勢についての知識	留 23-3 10	SKWTSOC_W2	今後高めたい能力：社会情勢についての知識	留 19-2 10	SKWTSOC_W3	今後高めたい能力：社会情勢についての知識	留 19-2 10
SKWTVERS	今後高めたい能力：いろいろな業務をこなす	留 23-3 5	SKWTVERS_W2	今後高めたい能力：いろいろな業務をこなす	留 19-2 5	SKWTVERS_W3	今後高めたい能力：いろいろな業務をこなす	留 19-2 5
SPAGEX	配偶者の年齢	面 34	SPAGEX_W2	配偶者の年齢	面 30	SPAGEX_W3	配偶者の年齢	面 30
SPLVTG	配偶者との同居	面 35	SPLVTG_W2	配偶者との同居	面 31	SPLVTG_W3	配偶者との同居	面 31
SS5HLTHZ	健康状態（配偶者）	留 29	SS5HLTHZ_W2	健康状態（配偶者）	留 25	SS5HLTHZ_W3	健康状態（配偶者）	留 25
			SSFINDJB_W2	不就労者に：求職の有無（配偶者）	面 32-4	SSFINDJB_W3	不就労者に：求職の有無（配偶者）	面 32-4
SSFQ7CK	夕食の用意：頻度（配偶者）	留 27A	SSFQ7CK_W2	夕食の用意：頻度（配偶者）	留 23A	SSFQ7CK_W3	夕食の用意：頻度（配偶者）	留 23A
SSFQ7GRB	ゴミ出し：頻度（配偶者）	留 27C	SSFQ7GRB_W2	ゴミ出し：頻度（配偶者）	留 23C	SSFQ7GRB_W3	ゴミ出し：頻度（配偶者）	留 23C
SSFQ7SHP	買い物：頻度（配偶者）	留 27B	SSFQ7SHP_W2	買い物：頻度（配偶者）	留 23B	SSFQ7SHP_W3	買い物：頻度（配偶者）	留 23B
SSJB1WK	先週の就労経験（配偶者）	面 38-1						
SSJBHRWK	就労時間数／週（配偶者）	面 39	SSJBHRWK_W2	就労時間数／週（配偶者）	面 33	SSJBHRWK_W3	就労時間数／週（配偶者）	面 33
			SSJBLWK_W2	先週の就労経験（配偶者）	面 32-1	SSJBLWK_W3	先週の就労経験（配偶者）	面 32-1
SSLSTSCH	最終学校（配偶者）	面 36	SSLSTSCH_W2	最終学校（配偶者）	面 28	SSLSTSCH_W3	最終学校（配偶者）	面 28
			SSNBROE_W2	配偶者の兄弟姉妹人数：兄（w1 調査時とは配偶者が違	面 27	SSNBROE_W3	配偶者の兄弟姉妹人数：兄（w2 調査時とは配偶者が違	面 27

				う人)			う人)	
			SSNBROY_W2	配偶者の兄弟姉妹人数：弟 (w1 調査時とは配偶者が違 う人)	面 27	SSNBROY_W3	配偶者の兄弟姉妹人数：弟 (w2 調査時とは配偶者が違 う人)	面 27
			SSNOWRK_W2	収入を伴う仕事の有無 (配 偶者)	面 32-2	SSNOWRK_W3	収入を伴う仕事の有無 (配 偶者)	面 32-2
			SSNSISE_W2	配偶者の兄弟姉妹人数：姉 (w1 調査時とは配偶者が違 う人)	面 27	SSNSISE_W3	配偶者の兄弟姉妹人数：姉 (w2 調査時とは配偶者が違 う人)	面 27
			SSNSISY_W2	配偶者の兄弟姉妹人数：妹 (w1 調査時とは配偶者が違 う人)	面 27	SSNSISY_W3	配偶者の兄弟姉妹人数：妹 (w2 調査時とは配偶者が違 う人)	面 27
SSSJJBHWK	副業就労時間数/週 (配偶 者)	面 39	SSSJJBHWK_W2	副業就労時間数/週 (配偶 者)	面 33	SSSJJBHWK_W3	副業就労時間数/週 (配偶 者)	面 33
SSSZINCA	配偶者年収：全体	面 64-3	SSSZINCA_W2	配偶者年収：全体	面 50-3	SSSZINCA_W3	配偶者年収：全体	面 50-3
SSSZSTFA	企業規模 (配偶者)	面 45	SSSZSTFA_W2	企業規模 (配偶者)	面 39	SSSZSTFA_W3	企業規模 (配偶者)	面 39
SSSZWKYR	就労年数 (配偶者)	面 44	SSSZWKYR_W2	就労年数 (配偶者)	面 38	SSSZWKYR_W3	就労年数 (配偶者)	面 38
SSTPJJOB	就労形態 (配偶者)	面 40-1	SSTPJJOB_W2	就労形態 (配偶者)	面 34-1	SSTPJJOB_W3	就労形態 (配偶者)	面 34-1
SSTPJJOBP	役職 (配偶者)	面 40-2	SSTPJJOBP_W2	役職 (配偶者)	面 34-2	SSTPJJOBP_W3	役職 (配偶者)	面 34-2
SSTPUNEM	不就労の理由 (配偶者)	面 38-2	SSTPUNEM_W2	不就労の理由 (配偶者)	面 32-3	SSTPUNEM_W3	不就労の理由 (配偶者)	面 32-3
SSXJBSCHE	通常労働時間数/週 (配偶 者)	面 43	SSXJBSCHE_W2	通常労働時間数/週 (配偶 者)	面 37	SSXJBSCHE_W3	通常労働時間数/週 (配偶 者)	面 37
SSXXHQX	業種 (配偶者)	面 41	SSXXHQX_W2	業種 (配偶者)	面 35	SSXXHQX_W3	業種 (配偶者)	面 35
SSXXJOB	職種 (配偶者)	面 42	SSXXJOB_W2	職種 (配偶者)	面 36	SSXXJOB_W3	職種 (配偶者)	面 36
ST5AREAY	生活満足度：居住地域	留 17A	ST5AREAY_W2	生活満足度：居住地域	留 14A	ST5AREAY_W3	生活満足度：居住地域	留 14A
ST5ECNY	生活満足度：家計状態	留 17D	ST5ECNY_W2	生活満足度：家計状態	留 14D	ST5ECNY_W3	生活満足度：家計状態	留 14D
ST5FRIY	生活満足度：友人関係	留 17E	ST5FRIY_W2	生活満足度：友人関係	留 14E	ST5FRIY_W3	生活満足度：友人関係	留 14E
ST5HLTHY	生活満足度：健康状態	留 17F	ST5HLTHY_W2	生活満足度：健康状態	留 14F	ST5HLTHY_W3	生活満足度：健康状態	留 14F
ST5JOB	現在の仕事の満足度	面 12	ST5JOB_W2	現在の仕事の満足度	面 12	ST5JOB_W3	現在の仕事の満足度	面 12
ST5LEISY	生活満足度：余暇利用	留 17B	ST5LEISY_W2	生活満足度：余暇利用	留 14B	ST5LEISY_W3	生活満足度：余暇利用	留 14B
ST5LIFEY	生活満足度：家庭生活	留 17C	ST5LIFEY_W2	生活満足度：家庭生活	留 14C	ST5LIFEY_W3	生活満足度：家庭生活	留 14C
ST5SSREL	生活満足度：配偶者との関 係	留 17G	ST5SSREL_W2	生活満足度：配偶者との関 係	留 14G	ST5SSREL_W3	生活満足度：配偶者との関 係	留 14G
			STPJBBCR_W2	現在の会社・組織を離職す るつもりである理由：キャ リア	面 13-2 2	STPJBBCR_W3	現在の会社・組織を離職す るつもりである理由：キャ リア	面 13-2 2
			STPJBCCR_W2	現在の会社・組織を離職す るつもりである理由：家族の介 護	面 13-2 9	STPJBCCR_W3	現在の会社・組織を離職す るつもりである理由：家族の介 護	面 13-2 9
			STPJBCHL_W2	現在の会社・組織を離職す るつもりである理由：出産・育 児	面 13-2 11	STPJBCHL_W3	現在の会社・組織を離職す るつもりである理由：出産・育 児	面 13-2 11
			STPJBFTTR_W2	現在の会社・組織を離職す るつもりである理由：将来 への不安	面 13-2 4	STPJBFTTR_W3	現在の会社・組織を離職す るつもりである理由：将来 への不安	面 13-2 4
			STPJBHLT_W2	現在の会社・組織を離職す るつもりである理由：健康 上の問題	面 13-2 8	STPJBHLT_W3	現在の会社・組織を離職す るつもりである理由：健康 上の問題	面 13-2 8

			STPJBINC_W2	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：収入	面 13-2 1	STPJBINC_W3	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：収入	面 13-2 1
			STPJBMAR_W2	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：結婚	面 13-2 10	STPJBMAR_W3	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：結婚	面 13-2 10
			STPJBMCCH_W2	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：仕事量	面 13-2 6	STPJBMCCH_W3	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：仕事量	面 13-2 6
			STPJBNO_W2	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：特になし	面 13-2 13	STPJBNO_W3	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：特になし	面 13-2 13
			STPJBOT_W2	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：その他	面 13-2 12	STPJBOT_W3	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：その他	面 13-2 12
			STPJBREL_W2	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：人間関係の問題	面 13-2 7	STPJBREL_W3	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：人間関係の問題	面 13-2 7
			STPJSUT_W2	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：自分にあった仕事	面 13-2 3	STPJSUT_W3	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：自分にあった仕事	面 13-2 3
			STPJBWRT_W2	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：やりがいを感じない	面 13-2 5	STPJBWRT_W3	現在の会社・組織を離職するつもりである理由：やりがいを感じない	面 13-2 5
			SYMPABDN_W2	病気の症状：腹痛	留 13 7	SYMPABDN_W3	病気の症状：腹痛	留 13 7
			SYMPANRX_W2	病気の症状：食欲不振	留 13 6	SYMPANRX_W3	病気の症状：食欲不振	留 13 6
			SYMPBACK_W2	病気の症状：腰痛	留 13 9	SYMPBACK_W3	病気の症状：腰痛	留 13 9
			SYMPCNST_W2	病気の症状：便秘	留 13 5	SYMPCNST_W3	病気の症状：便秘	留 13 5
			SYMPDIAR_W2	病気の症状：下痢	留 13 4	SYMPDIAR_W3	病気の症状：下痢	留 13 4
			SYMPEYES_W2	病気の症状：目の疲れ	留 13 10	SYMPEYES_W3	病気の症状：目の疲れ	留 13 10
			SYMPHEAD_W2	病気の症状：頭痛	留 13 1	SYMPHEAD_W3	病気の症状：頭痛	留 13 1
			SYMPNONE_W2	病気の症状：いずれの症状もない	留 13 15	SYMPNONE_W3	病気の症状：いずれの症状もない	留 13 15
			SYMPOTHR_W2	病気の症状：その他	留 13 14	SYMPOTHR_W3	病気の症状：その他	留 13 14
			SYMPPALP_W2	病気の症状：動悸	留 13 3	SYMPPALP_W3	病気の症状：動悸	留 13 3
			SYMPSLP_W2	病気の症状：睡眠不足	留 13 13	SYMPSLP_W3	病気の症状：睡眠不足	留 13 13
			SYMPSLPD_W2	病気の症状：寝付きの悪さ	留 13 12	SYMPSLPD_W3	病気の症状：寝付きの悪さ	留 13 12
			SYMPSTIF_W2	病気の症状：肩こり	留 13 11	SYMPSTIF_W3	病気の症状：肩こり	留 13 11
			SYMPSTMC_W2	病気の症状：胃痛	留 13 8	SYMPSTMC_W3	病気の症状：胃痛	留 13 8
			SYMPVERT_W2	病気の症状：めまい	留 13 2	SYMPVERT_W3	病気の症状：めまい	留 13 2
SZCMTHR	通勤時間：時間	面 3 1	SZCMTHR_W2	通勤時間：時間	面 3 1	SZCMTHR_W3	通勤時間：時間	面 3 1
SZCMTMIN	通勤時間：分	面 3 1	SZCMTMIN_W2	通勤時間：分	面 3 1	SZCMTMIN_W3	通勤時間：分	面 3 1
SZCMTTL	通勤時間：合計	面 3 1	SZCMTTL_W2	通勤時間：合計	面 3 1	SZCMTTL_W3	通勤時間：合計	面 3 1
SZEXED	世帯支出：教育費	面 48	SZEXED_W2	世帯支出：教育費	面 41	SZEXED_W3	世帯支出：教育費	面 41
SZFFONLY	家族人数（本人除く）	面 59	SZFFONLY_W2	家族人数（本人除く）	面 46	SZFFONLY_W3	家族人数（本人除く）	面 46
SZFFTTL	家族人数（本人含む）	面 59	SZFFTTL_W2	家族人数（本人含む）	面 46	SZFFTTL_W3	家族人数（本人含む）	面 46
SZHSINCM	世帯年収	面 64-1	SZHSINCM_W2	世帯年収	面 50-1	SZHSINCM_W3	世帯年収	面 50-1
SZINCOMA	本人年収：全体	面 64-2	SZINCOMA_W2	本人年収：全体	面 50-2	SZINCOMA_W3	本人年収：全体	面 50-2
SZSJBHWK	副業就労時間数／週	面 15-3	SZSJBHWK_W2	副業就労時間数／週	面 15-3	SZSJBHWK_W3	副業就労時間数／週	面 15-3
SZTTLSTA	企業規模	面 9	SZTTLSTA_W2	企業規模	面 9	SZTTLSTA_W3	企業規模	面 9

TMALFAM	理想の時間配分：家族	留 24C	TMALFAM_W2	理想の時間配分：家族	留 20C	TMALFAM_W3	理想の時間配分：家族	留 20C
TMALHBY	理想の時間配分：趣味	留 24B	TMALHBY_W2	理想の時間配分：趣味	留 20B	TMALHBY_W3	理想の時間配分：趣味	留 20B
TMALHW	理想の時間配分：家事	留 24D	TMALHW_W2	理想の時間配分：家事	留 20D	TMALHW_W3	理想の時間配分：家事	留 20D
TMALSFAM	理想の時間配分：家族（配偶者）	留 28C	TMALSFAM_W2	理想の時間配分：家族（配偶者）	留 24C	TMALSFAM_W3	理想の時間配分：家族（配偶者）	留 24C
TMALSHBY	理想の時間配分：趣味（配偶者）	留 28B	TMALSHBY_W2	理想の時間配分：趣味（配偶者）	留 24B	TMALSHBY_W3	理想の時間配分：趣味（配偶者）	留 24B
TMALSHW	理想の時間配分：家事（配偶者）	留 28D	TMALSHW_W2	理想の時間配分：家事（配偶者）	留 24D	TMALSHW_W3	理想の時間配分：家事（配偶者）	留 24D
TMALSWK	理想の時間配分：仕事（配偶者）	留 28A	TMALSWK_W2	理想の時間配分：仕事（配偶者）	留 24A	TMALSWK_W3	理想の時間配分：仕事（配偶者）	留 24A
TMALWK	理想の時間配分：仕事	留 24A	TMALWK_W2	理想の時間配分：仕事	留 20A	TMALWK_W3	理想の時間配分：仕事	留 20A
			TP3NOWRK_W2	収入を伴う仕事の有無	面 1-2	TP3NOWRK_W3	収入を伴う仕事の有無	面 1-2
TP4WPLA	事業所形態	面 4	TP4WPLA_W2	事業所形態	面 4	TP4WPLA_W3	事業所形態	面 4
TP5LOC15	15歳の頃の居住地（本人）	面 17						
TP5UNEMP	不就労の理由	面 1-2	TP5UNEMP_W2	不就労の理由	面 1-3	TP5UNEMP_W3	不就労の理由	面 1-3
TPHOUSE	居住形態：一戸建て	面 66	TPHOUSE_W2	居住形態：一戸建て	面 52	TPHOUSE_W3	居住形態：一戸建て	面 52
TPJOB	就労形態	面 2-1	TPJOB_W2	就労形態	面 2-1	TPJOB_W3	就労形態	面 2-1
TPJOBP	役職	面 2-2	TPJOBP_W2	役職	面 2-2	TPJOBP_W3	役職	面 2-2
TPJSAD	就職活動の種類：求人広告を見て直接応募	面 30-1 7						
TPJSAPOT	就職活動の種類：その他の方法で直接応募（公務員試験など）	面 30-1 15						
TPJSDK	就職活動の種類：わからない	面 30-1 14						
TPJSFAM	就職活動の種類：家族や親戚の紹介	面 30-1 1						
TPJSFB	就職活動の種類：家業の後継	面 30-1 11						
TPJSFRD	就職活動の種類：友人や知人の紹介	面 30-1 2						
TPJSNEW	就職活動の種類：起業	面 30-1 12						
TPJSOFF	就職活動の種類：学校での求人情報を見て直接応募	面 30-1 5						
TPJSOT	就職活動の種類：その他	面 30-1 13						
TPJSPRV	就職活動の種類：民間の職業紹介機関	面 30-1 9						
TPJSPT	就職活動の種類：学生時代のアルバイト先	面 30-1 10						
TPJSPUB	就職活動の種類：公共職業安定所	面 30-1 8						
TPJSREC	就職活動の種類：学校推薦	面 30-1 4						
TPJSWEB	就職活動の種類：就職サイトを見て直接応募	面 30-1 6						
TPJSWK	就職活動の種類：勤め先からの勧誘	面 30-1 3						
UNE[01-08]ENM	無職期間[01-08]：終了月	面 29						

UNE[01-08]ENY	無職期間[01-08]：終了年	面 29						
UNE[01-08]ONG	無職期間[01-08]：継続の有無	面 29						
UNE[01-08]STM	無職期間[01-08]：開始月	面 29						
UNE[01-08]STY	無職期間[01-08]：開始年	面 29						
UNE[01-08]	無職期間[01-08]：有無	面 29						
			UNEN[01-04]_W2	無職期間[01-04] (w1 調査以降)：有無 (前回有職の人)	面 19	UNEN[01-04]_W3	無職期間[01-04] (w2 調査以降)：有無 (前回有職の人)	面 19
			UNEN[01-04]ENM_W2	無職期間[01-04] (w1 調査以降)：終了月 (前回有職の人)	面 19	UNEN[01-04]ENM_W3	無職期間[01-04] (w2 調査以降)：終了月 (前回有職の人)	面 19
			UNEN[01-04]ENY_W2	無職期間[01-04] (w1 調査以降)：終了年 (前回有職の人)	面 19	UNEN[01-04]ENY_W3	無職期間[01-04] (w2 調査以降)：終了年 (前回有職の人)	面 19
			UNEN[01-04]ONG_W2	無職期間[01-04] (w1 調査以降)：継続の有無 (前回有職の人)	面 19	UNEN[01-04]ONG_W3	無職期間[01-04] (w2 調査以降)：継続の有無 (前回有職の人)	面 19
			UNEN[01-04]STM_W2	無職期間[01-04] (w1 調査以降)：開始月 (前回有職の人)	面 19	UNEN[01-04]STM_W3	無職期間[01-04] (w2 調査以降)：開始月 (前回有職の人)	面 19
			UNEN[01-04]STY_W2	無職期間[01-04] (w1 調査以降)：開始年 (前回有職の人)	面 19	UNEN[01-04]STY_W3	無職期間[01-04] (w2 調査以降)：開始年 (前回有職の人)	面 19
			UNENA[01-04]_W2	無職期間[01-04] (w1 調査以降)：有無 (前回無職の人)	面 22	UNENA[01-04]_W3	無職期間[01-04] (w2 調査以降)：有無 (前回無職の人)	面 22
			UNENA[01-04]ENM_W2	無職期間[01-04] (w1 調査以降)：終了月 (前回無職の人)	面 22	UNENA[01-04]ENM_W3	無職期間[01-04] (w2 調査以降)：終了月 (前回無職の人)	面 22
			UNENA[01-04]ENY_W2	無職期間[01-04] (w1 調査以降)：終了年 (前回無職の人)	面 22	UNENA[01-04]ENY_W3	無職期間[01-04] (w2 調査以降)：終了年 (前回無職の人)	面 22
			UNENA[01-04]ONG_W2	無職期間[01-04] (w1 調査以降)：継続の有無 (前回無職の人)	面 22	UNENA[01-04]ONG_W3	無職期間[01-04] (w2 調査以降)：継続の有無 (前回無職の人)	面 22
			UNENA[01-04]STM_W2	無職期間[01-04] (w1 調査以降)：開始月 (前回無職の人)	面 22	UNENA[01-04]STM_W3	無職期間[01-04] (w2 調査以降)：開始月 (前回無職の人)	面 22
			UNENA[01-04]STY_W2	無職期間[01-04] (w1 調査以降)：開始年 (前回無職の人)	面 22	UNENA[01-04]STY_W3	無職期間[01-04] (w2 調査以降)：開始年 (前回無職の人)	面 22
UNMRHB	未婚理由：趣味	留 25-2C	UNMRHB_W2	未婚理由：趣味	留 21-2C	UNMRHB_W3	未婚理由：趣味	留 21-2C
UNMRMRRD	未婚理由：相手が既婚者	留 25-2F	UNMRMRRD_W2	未婚理由：相手が既婚者	留 21-2F	UNMRMRRD_W3	未婚理由：相手が既婚者	留 21-2F
UNMRNOP	未婚理由：チャンスがない	留 25-2E	UNMRNOP_W2	未婚理由：チャンスがない	留 21-2E	UNMRNOP_W3	未婚理由：チャンスがない	留 21-2E
UNMRNPRT	未婚理由：理想の相手が現れない	留 25-2D	UNMRNPRT_W2	未婚理由：理想の相手が現れない	留 21-2D	UNMRNPRT_W3	未婚理由：理想の相手が現れない	留 21-2D
UNMRTM	未婚理由：タイミング	留 25-2A	UNMRTM_W2	未婚理由：タイミング	留 21-2A	UNMRTM_W3	未婚理由：タイミング	留 21-2A
UNMRWK	未婚理由：仕事	留 25-2B	UNMRWK_W2	未婚理由：仕事	留 21-2B	UNMRWK_W3	未婚理由：仕事	留 21-2B
USTAND	調査員への質問：回答者の理解度	面 F2	USTAND_W2	調査員への質問：回答者の理解度	面 F2	USTAND_W3	調査員への質問：回答者の理解度	面 F2
WEIGHT	ウェイト	◇						
WLKEEPJA	現在の会社・組織での就労継続意向	面 13	WLKEEPJA_W2	現在の会社・組織での就労継続意向	面 13-1	WLKEEPJA_W3	現在の会社・組織での就労継続意向	面 13-1
WRSTENM	もっともつらかった時期：終了月	面 67 1						
WRSTENY	もっともつらかった時期：終了年	面 67 1						

WRSTSTM	もっともつらかった時期： 開始月	面 67 1						
WRSTSTY	もっともつらかった時期： 開始年	面 67 1						
WRSTTM	もっともつらかった時期の 有無	面 67						
XJBSCHE	通常労働時間数／週	面 8	XJBSCHE_W2	通常労働時間数／週	面 8	XJBSCHE_W3	通常労働時間数／週	面 8
XJOB1WK	先週の就労経験	面 1-1						
XJOBHWK	就労時間数／週	面 7	XJOBHWK_W2	就労時間数／週	面 7	XJOBHWK_W3	就労時間数／週	面 7
			XJOB1WK_W2	先週の就労経験	面 1-1	XJOB1WK_W3	先週の就労経験	面 1-1
			XLIVEYR_W2	居住年数	面 53	XLIVEYR_W3	居住年数	面 53
XNUMBROE	兄弟姉妹人数（兄）	面 62-1						
XNUMBROY	兄弟姉妹人数（弟）	面 62-1						
XNUMSISE	兄弟姉妹人数（姉）	面 62-1						
XNUMSISY	兄弟姉妹人数（妹）	面 62-1						
XQTSMOKE	禁煙努力	留 13-2	XQTSMOKE_W2	禁煙努力	留 11-2	XQTSMOKE_W3	禁煙努力	留 11-2
XSJB1WK	副業の有無	面 15-1	XSJB1WK_W2	副業の有無	面 15-1	XSJB1WK_W3	副業の有無	面 15-1
XSJBNUM	副業の数	面 15-2	XSJBNUM_W2	副業の数	面 15-2	XSJBNUM_W3	副業の数	面 15-2
XSJOBTP	副業の就労形態	面 15-4	XSJOBTP_W2	副業の就労形態	面 15-4	XSJOBTP_W3	副業の就労形態	面 15-4
XSSNBROE	配偶者の兄弟姉妹人数（兄）	面 62-2						
XSSNBROY	配偶者の兄弟姉妹人数（弟）	面 62-2						
XSSNSISE	配偶者の兄弟姉妹人数（姉）	面 62-2						
XSSNSISY	配偶者の兄弟姉妹人数（妹）	面 62-2						
XTRAUM5Y	トラウマの回数	留 16	XTRAUM5Y_W2	トラウマの回数	留 16	XTRAUM5Y_W3	トラウマの回数	留 16
XWORKL	学生時代のアルバイトを除く 就労経験	留 20	XWORKL_W2	学生時代のアルバイトを除く 就労経験	留 17	XWORKL_W3	学生時代のアルバイトを除く 就労経験	留 17
XX8PLPTY	支持政党	留 51	XX8PLPTY_W2	支持政党	留 45	XX8PLPTY_W3	支持政党	留 45
XXJOB	職種	面 6	XXJOB_W2	職種	面 6	XXJOB_W3	職種	面 6
XXSJOB	副業の職種	面 15-5	XXSJOB_W2	副業の職種	面 15-5	XXSJOB_W3	副業の職種	面 15-5
XXWPL	業種	面 5	XXWPL_W2	業種	面 5	XXWPL_W3	業種	面 5

Ⅱ.4 産業コード

10	農業
20	林業
30	漁業
40	鉱業
50	建設業
60	製造業
70	電気・ガス・熱供給・水道業
81	運輸業
82	旅行業
91	卸売業
92	小売業
93	飲食店
100	金融・保険業
110	不動産業
121	新聞・放送・出版業、映画制作業
122	広告業
131	情報・通信サービス業
132	郵貯・簡保
140	医療・福祉サービス業
150	教育・研究サービス業
160	法律・会計サービス業
171	その他のサービス業
172	学習塾・教養技能・スポーツ施設
180	公務
190	分類不能の産業
987	兵役
998	非該当
999	無回答

産業カテゴリーの分類コードについては、原則として『SSM 産業分類・職業分類 95年版』（1995年 SSM 調査研究会）を利用した。1995年 SSM 分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授（当時）の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。

また、JGSS-2009LCS、JGSS-2013LCSwave2、JGSS-2019LCSwave3 では、田辺・相澤『職業・産業コーディングマニュアルと作業記録』（2008年）を参考にし、従来の JGSS 「産業コード」の一部をより詳しくしたコードを使用した。

[参考文献]

田辺俊介・相澤真一，2008，『職業・産業コーディングマニュアルと作業記録』東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト ディスカッションペーパーシリーズ No.6

Ⅱ.5 職業コード

501	(専門) 自然科学系研究者
502	(専門) 人文科学系研究者
503	(専門) 機械・電気・化学技術者
504	(専門) 建築・土木技術者
505	(専門) 農林技術者
506	(専門) 情報処理技術者
507	(専門) その他の技師・技術者
508	(専門) 医師
509	(専門) 歯科医師
510	(専門) 薬剤師
511	(専門) 助産師 (助産婦)
512	(専門) 保健師 (保健婦)
513	(専門) 栄養士
514	(専門) 看護師 (看護婦、看護師)
515	(専門) あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師
516	(専門) その他の保健医療従事者
517	(専門) 裁判官、検察官、弁護士
518	(専門) その他の法務従事者
519	(専門) 公認会計士、税理士
520	(専門) 幼稚園教員
521	(専門) 小学校教員
522	(専門) 中学校教員
523	(専門) 高等学校教員
524	(専門) 大学教員
525	(専門) 盲・ろう・養護学校教員
526	(専門) その他の教員
527	(専門) 宗教家
528	(専門) 文芸家、著述家
529	(専門) 記者、編集者
530	(専門) 彫刻家、画家、工芸美術家
531	(専門) デザイナー
532	(専門) 写真家、カメラマン
533	(専門) 音楽家 (個人に教授するものを除く)
534	(専門) 俳優、舞踊家、演芸家 (個人に教授するものを除く)
535	(専門) 職業スポーツ家 (個人に教授するものを除く)
536	(専門) 獣医師
537	(専門) 保育士 (保母、保父)
538	(専門) 社会福祉事業専門職員
539	(専門) 個人教師
540	(専門) 不動産鑑定士
541	(専門) 経営コンサルタント
542	(専門) アナウンサー (ラジオ・テレビ)

543	(専門) 図書館司書
544	(専門) その他の専門的・技術的職業従事者
545	(管理) 管理的公務員
546	(管理) 国会議員
547	(管理) 地方議員
548	(管理) 会社役員
549	(管理) その他の法人・団体の役員
550	(管理) 会社・団体等の管理職員
551	(管理) 駅長、区長
552	(管理) 郵便局長、電報・電話局長
553	(管理) その他の管理的職業従事者
554	(事務) 総務・企画事務員
555	(事務) 受付・案内事務員
556	(事務) 出荷・受荷事務員
557	(事務) 営業・販売事務員
558	(事務) その他の一般事務員
559	(事務) 会計事務員
560	(事務) 郵便・通信事務員
561	(事務) 集金人
562	(事務) その他の外勤事務従事者
563	(事務) 運輸事務員
564	(事務) 速記者、タイピスト、キーパンチャー
565	(事務) 電子計算機等操作員
566	(販売) 小売店主
567	(販売) 卸売店主
568	(販売) 飲食店主
569	(販売) 販売店員
570	(販売) 行商人、呼売人、露天商
571	(販売) 再生資源卸売人・回収人
572	(販売) 商品仲立人
573	(販売) 外交員 (保険、不動産を除く)
574	(販売) 保険代理人・外交員
575	(販売) 不動産仲買人・売買人
576	(販売) 質屋店主・店員
577	(販売) その他の販売類似職業従事者
578	(非熟練) 家政婦、家事サービス職業従事者
579	(熟練) 理容師、美容師
580	(半熟練) クリーニング職、洗張職
581	(熟練) 料理人
582	(販売) バーテンダー
583	(販売) 給仕係
584	(販売) スチュワーデス、スチュワード
585	(販売) 接客社交係
586	(事務) 娯楽場等の接客員
587	(販売) 旅行・観光案内人

588	(販売) その他の個人サービス職業従事者
589	(販売) 旅館主人・番頭、ホテル支配人
590	(事務) 下宿・アパートの管理人、舎監、寮母
591	(非熟練) ファッションモデル
592	(非熟練) その他のサービス職業従事者
593	(事務) 自衛官
594	(事務) 警察官、海上保安官、鉄道公安員
595	(事務) 消防員
596	(事務) 看守、守衛、監視員
597	(事務) その他の保安職業従事者
598	(事務) 旧職業軍人
599	(農林) 農耕・養蚕作業者
600	(農林) 植木職、造園師
601	(農林) 畜産作業者
602	(農林) 林業作業者
603	(農林) その他の農林業作業者
604	(農林) 漁業作業者
605	(農林) 漁船の船長・航海士・機関長・機関士
606	(半熟練) 電車・機関車運転士
607	(半熟練) 自動車運転者
608	(管理) 船長・航海士(漁船を除く)、水先人
609	(専門) 船舶機関長・機関士(漁船を除く)
610	(専門) 航空機操縦士、航空士、航空機関士
611	(半熟練) 車掌
612	(半熟練) 鉄道員
613	(半熟練) 船員
614	(半熟練) その他の運輸従事者
615	(専門) 無線通信士、無線技術士
616	(事務) 有線通信士
617	(事務) 電話交換手
618	(事務) 郵便・電報外務員
619	(事務) その他の通信従事者
620	(非熟練) 採鉱員、採炭員
621	(非熟練) 石切出作業者
622	(非熟練) その他の採掘作業者
623	(熟練) 陶磁器工、絵付作業者
624	(熟練) 石工
625	(半熟練) ガラス・セメント製品製造作業者
626	(熟練) その他の窯業・土石製品製造作業者
627	(半熟練) 製鉄工、製鋼工、精錬工
628	(熟練) 鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業者
629	(半熟練) 化学製品製造作業者
630	(半熟練) 金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者
631	(熟練) 鉄工、板金工
632	(半熟練) 金属溶接工

- 633 (熟練) 一般機械組立工・修理工
- 634 (半熟練) 電気機械器具組立工・修理工
- 635 (熟練) 自動車組立工・整備工
- 636 (熟練) 鉄道車両組立工・修理工
- 637 (熟練) 船舶ぎ装工 (他に分類されない)
- 638 (熟練) 航空機組立工・整備工
- 639 (熟練) 自転車組立工・修理工
- 640 (熟練) その他の輸送機械組立・修理作業
- 641 (熟練) 時計組立工・修理工
- 642 (熟練) 光学機械・精密機械器具組立工・修理工
- 643 (熟練) 精穀工、製粉工
- 644 (熟練) パン・菓子・めん類・豆腐製造工
- 645 (半熟練) 味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業
- 646 (半熟練) たばこ製造工
- 647 (熟練) 酒類製造工
- 648 (半熟練) 製糸作業
- 649 (半熟練) 織布工、紡織作業
- 650 (半熟練) 漂白工、染色工
- 651 (熟練) 洋服・和服仕立職
- 652 (半熟練) 縫製工、裁断工
- 653 (半熟練) 製材工、木工
- 654 (熟練) 指物職、家具職、建具職
- 655 (熟練) 船大工
- 656 (熟練) おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業
- 657 (半熟練) 製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業
- 658 (熟練) 印刷・製本作業
- 659 (半熟練) ゴム・プラスチック製品製造作業
- 660 (熟練) くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業
- 661 (熟練) 塗装工、画工、看板工
- 662 (熟練) 漆塗師、まき絵師
- 663 (熟練) 表具師、内張工
- 664 (熟練) 和がさ・ちょうちん・うちわ職
- 665 (熟練) 貴金属・宝石・甲・角等細工
- 666 (熟練) 印判師
- 667 (半熟練) 洋傘組立工
- 668 (熟練) かばん・袋物製造工
- 669 (半熟練) がん具製造工
- 670 (熟練) 製図工、現図工
- 671 (熟練) 映写技士
- 672 (半熟練) その他の技能工・生産工程作業
- 673 (熟練) 汽かん士、汽かん火夫
- 674 (熟練) 起重機・建設機械運転作業
- 675 (熟練) その他の定置機関運転作業
- 676 (半熟練) 発電員、変電員
- 677 (熟練) 電気工事・電話工事作業

678	(熟練) 土木・建築請負師
679	(熟練) 左官、とび職
680	(熟練) れんが積工、配管工
681	(熟練) 畳職
682	(非熟練) 土工、道路工夫
683	(非熟練) 鉄道線路工夫
684	(熟練) 現場監督、その他の建設作業
685	(非熟練) 倉庫夫、仲仕
686	(非熟練) 運搬労務者
687	(非熟練) 清掃員
688	(非熟練) その他の労務作業
689	(分類不能) 分類不能の職業
690	(分類不能) 旧地主
691	(分類不能) 名目上の役員
701	(事務) スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー
702	(分類不能) 大工
703	(専門) 教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合
704	(分類不能) 製品製造作業
705	(分類不能) 会社員
706	(半熟練) 宅配便の配達
707	(分類不能) 自営業：(特に父母職で) 記入が「自営業」とあった場合
801	(半熟練) 介護員、ヘルパー
802	(半熟練) その他の医療・福祉サービス職従事者
803	(販売) 雇われている販売店長
804	(販売) 雇われている飲食店長
986	(分類不能) 無職
987	(分類不能) 兵役
998	(非該当) 非該当
999	(無回答) 不明、無回答

※括弧内の分類は、JGSS 累積データ 2000-2003 コードブック内で、基礎集計を示すにあたって便宜的に用いた分類カテゴリーの割り当てであり、参考までに記した。

職業の職種分類コードについては、『SSM 産業分類・職業分類 95 年版』(1995 年 SSM 調査研究会)における 1995 年 SSM 分類を参考に、自由記述の内容にアフターコードを割り当てている。1995 年 SSM 分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。JGSS 分類と SSM 分類との相違点は、以下のとおりである。

SSM 分類と内容が若干異なるコード

511	助産師 (助産婦)
512	保健師 (保健婦)
514	看護師 (看護婦、看護師)
537	保育士 (保母、保父)
578	家政婦、家事サービス職業従事者

SSM 分類にはないコード

701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー：「559 会計事務員」から分離
702	大工：「679 大工・左官、とび職」から分離
703	教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合に用いた
704	製品製造作業者
705	会社員
706	宅配便の配達
707	自営業：(特に父母職で) 記入が「自営業」とあった場合
801	介護員、ヘルパー
802	その他の医療・福祉サービス職従事者
803	雇われている販売店長
804	雇われている飲食店長

SSM 分類には存在するが、JGSS にはあてはまらないので含まれないコード

988	大学生、短大生
989	大学院生
990	その他の生徒・学生

また、JGSS-2009LCS、JGSS-2013LCswave2、JGSS-2019LCswave3 では、田辺・相澤『職業・産業コーディングマニュアルと作業記録』（2008年）をもとに、従来のJGSS「職業コード」に以下を追加した。

706	宅配便の配達
801	介護員、ヘルパー
802	その他の医療・福祉サービス職従事者
803	雇われている販売店長
804	雇われている飲食店長

さらに、職業・産業自動コーディングシステムの開発にご尽力いただいた下記の研究者にも、謝意を表したい(所属は2005年3月現在)。

- 高橋和子：敬愛大学国際学部 助教授
- 奥村 学：東京工業大学精密工学研究所 助教授
- 高村大也：東京工業大学精密工学研究所 助手
- 須山 敦：東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻 修士2年
- 村山紀文：東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻 修士2年

[参考文献]

田辺俊介・相澤真一，2008，『職業・産業コーディングマニュアルと作業記録』東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト ディスカッションペーパーシリーズ No.6

Ⅲ. JGSS-2019LCswave3 資料



文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

2019年2月
〔面接調査票〕

「働き方と暮らしについての調査 2019年継続調査」

(調査企画) 大阪商業大学 JGSS 研究センター
京都大学大学院教育学研究科 教育社会学講座
(調査実施) 一般社団法人 中央調査社

IDUSE 識別番号
SIZE_W3 市郡規模(W3 調査時)
SIZE2k_W3 市郡規模(2000年時点)(W3 調査時)
DOBYEAR 生年
AGEB_W2 年齢 (W3 調査時)

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
2	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
3	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
4	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
5	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
6	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
7	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
8	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
9	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
10	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

回収状況
面接票
1 面接完了 (月 日)
2 面接不能
留置票
1 面接完了日と同じ日に回収完了
2 面接完了日と違う日に回収完了 (月 日)
3 回収不能 (郵送返送依頼含む)
【一方でも調査不能の場合、次のページを忘れず記入する。】

支局—地点—対象番号			—						
パネル番号									

点検者

【面接票か留置票の一方でも調査不能であった場合、このページを必ず記入する。】

N1 調査不能と決定した日時

	月		日	1 午前		時	
				2 午後			分頃

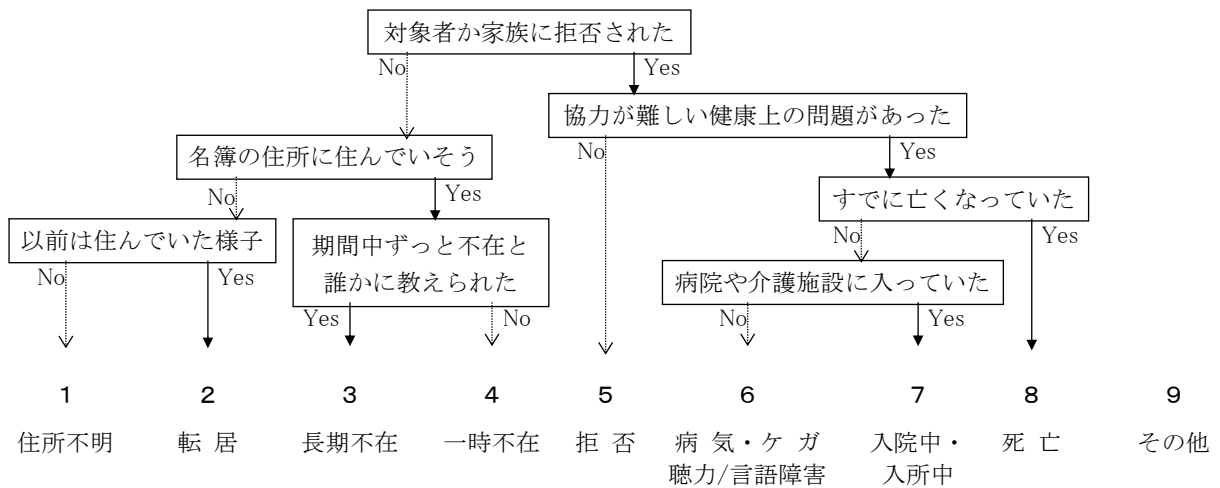
N2-1 対象者の家の種類

- 1 一戸建て 2 集合住宅（アパート・マンションなど） 3 不明

N2-2 その集合住宅の入口は、オートロックでしたか。

1 はい 2 いいえ

N3 調査不能の理由



【上の流れ図に沿って理由を分類する。
結果に違和感がある場合や変わった状況の場合は、「9 その他」に○をつけ、下の欄を詳しく記入する。】

N4 調査不能の具体的な状況（複雑な状況については、詳しく記入してください）

はじめに、あなたのお仕事について、おうかがいします。

問 1-1〔回答票 1〕先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか。

【パートやアルバイト、家族従業者など、あらゆる収入をとまなう仕事を含める。】

XJOB_LWK_W3

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1
(ア)
仕事をした | 2
(イ)
仕事をしていない |
|-------------------|----------------------|

問 1-2〔回答票 2〕あなたは、収入をとまなう仕事をもっていますか。

TP3NOWRK_W3

- | | | |
|---|--------------------------------------|-----------------------|
| 1
(ア)
仕事を持っているが、
病気、休暇などで先週は仕事を休んだ | 2
(イ)
仕事をもっているが、
先週は仕事がなかった | 3
(ウ)
仕事をもっていない |
|---|--------------------------------------|-----------------------|

問 2-1 へ

問 1-3〔回答票 3〕先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP_W3

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 (ア) 失業中 | 4 (エ) 心身上の事情で働けない |
| 2 (イ) 学 生 | 5 (オ) その他 (具体的に) |
| 3 (ウ) 主に家事をしている | 6 わからない |

問 1-4 あなたは現在、仕事を探していますか。

DOFINDJB_W3

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

7 ページ問 16-1 へ

問 2-1 お仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事 1 つについてお答えください。

〔回答票 4〕あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

【1 (ア)「経営者」と 6 (カ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。
公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらおう。】

TPJOB_W3

- | | | | | | | | |
|------------------------|----------------------------|--|------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------|------------|
| 1
(ア)
経営者・
役員 | 2
(イ)
常時雇用の
一般従業者 | 3
(ウ)
臨時雇用
(パート・アル
バイト・内職) | 4
(エ)
派遣社員 | 5
(オ)
契約社員・
嘱託社員 | 6
(カ)
自営業主・
自由業者 | 7
(キ)
家族従業者 | 8
わからない |
|------------------------|----------------------------|--|------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------|------------|

問 2-2〔回答票 5〕あなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

TPJOBP_W3

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 (ア) 役職なし | 5 (オ) 部長 (部長相当) |
| 2 (イ) 職長・班長・組長など | 6 (カ) その他の役職 (具体的に) |
| 3 (ウ) 係長 (係長相当) | 7 わからない |
| 4 (エ) 課長 (課長相当) | |

問3〔回答票6〕あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

DOCMT_W3

<p>SZCMTTL_W3</p> <p>およそ <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間</p> <p>SZCMTHR_W3</p>	<p>1 (ア)</p> <p><input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 分</p> <p>SZCMTMIN_W3</p>	<p>2 (イ)</p> <p>住まいと 職場は同じ</p>	<p>3 (ウ)</p> <p>日によって 行き先が違う</p>
--	---	---	---

問4〔回答票7〕あなたが働く職場は、この中のどれにあたりますか。

【省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

TP4WPLA_W3

- 1 (ア) 官公庁
- 2 (イ) 単独事業所（他に事業所はない）
- 3 (ウ) 支店・支所（本社・本店は他にある）
- 4 (エ) 本社・本店（他に支店・支所などがある）
- 5 わからない

問5 あなたが働いているお勤め先はどのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行など、具体的にお聞かせください。

【派遣社員の場合は、派遣先の事業について答えてもらう。】

XXWPL_W3

（できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可）

問6 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように）

XXJOB_W3

（できるだけ詳しく具体的に）

問7 あなたは、先週、残業も含めてその仕事を合計何時間しましたか。

【サービス残業も含め、実際に働いた時間数を答えてもらう。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。】

XJOBHWK_W3

週合計で 時間

問8 あなたは、通常1週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおおよその時間をお答えください。

XJBSCW_W3

週合計で 時間

問 9 [回答票 8] 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

【省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。派遣社員の場合は、派遣先の規模について答えてもらう。】

SZTTLSTA_W3

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人 | 7 (キ) 300~499 人 |
| 2 (イ) 2~4 人 | 8 (ク) 500~999 人 |
| 3 (ウ) 5~9 人 | 9 (ケ) 1,000~1,999 人 |
| 4 (エ) 10~29 人 | 10 (コ) 2,000~9,999 人 |
| 5 (オ) 30~99 人 | 11 (サ) 1 万人以上 |
| 6 (カ) 100~299 人 | 12 (シ) 官公庁 |
| | 13 わからない |

問 10 [回答票 9] あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。

JOINUNI_W3

- | | | | |
|-------------------|---------------------|----------|-------|
| 1
(ア) | 2
(イ) | 3
(ウ) | 4 |
| 職場の労働組合に
入っている | 職場以外の労働組合に
入っている | 入っていない | わからない |

問 11 [回答票 10] あなたの職場には、正社員や正規職員でない人（派遣社員、契約社員、パート、アルバイト、臨時雇用）が、どれくらいいますか。

NOREGEM_W3

- | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|-----------|-------|
| 1
(ア) | 2
(イ) | 3
(ウ) | 4
(エ) | 5
(オ) | 6 |
| 0~1 割くらい | 2~4 割くらい | 5 割くらい | 6~8 割くらい | 9~10 割くらい | わからない |

問 12 [回答票 11] 現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。

ST5JOB_W3

- | | | | | | |
|----------|--------------------|---------------|-------------------|----------|-------|
| 1
(ア) | 2
(イ) | 3
(ウ) | 4
(エ) | 5
(オ) | 6 |
| 満足している | どちらかといえば
満足している | どちらとも
いえない | どちらかといえば
不満である | 不満である | わからない |

問 13-1 [回答票 12] 今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA_W3

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------|-------|
| 1
(ア) | 2
(イ) | 3
(ウ) | 4 |
| 近いうちに
やめるつもり | 当分やめる
つもりはない | まったくやめる
つもりはない | わからない |

問 13-2 [回答票 13] その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| STPJBINC_W3 | 1 (ア) より多くの収入を得たい |
| STPJBBCR_W3 | 2 (イ) キャリアアップをしたい |
| STPJBsut_W3 | 3 (ウ) 自分にあつた仕事をしたい |
| STPJBfTR_W3 | 4 (エ) 勤め先の将来に不安がある |
| STPJBWRT_W3 | 5 (オ) 仕事内容にやりがいを感じない |
| STPJBmCH_W3 | 6 (カ) 仕事量が多すぎる |
| STPJBREL_W3 | 7 (キ) 職場の人間関係に問題がある |
| STPJBHLT_W3 | 8 (ク) 健康上の問題がある |
| STPJBcar_W3 | 9 (ケ) 家族の介護のため |
| STPJBmar_W3 | 10 (コ) 結婚のため |
| STPJBchl_W3 | 11 (サ) 出産・育児のため |
| STPJBOT_W3 | 12 (シ) その他（具体的に) |
| STPJBNO_W3 | 13 (ス) 特に理由はない |

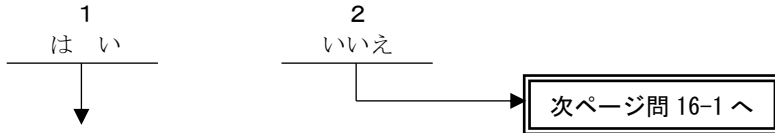
問 14〔回答票 14〕 今後 1 年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。
 【自営業主が倒産などで失職する場合も含む。】

OP4UNEMP_W3

- | | | | | |
|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| 1
(ア)
かなりある | 2
(イ)
ある程度ある | 3
(ウ)
あまりない | 4
(エ)
まったくない | 5
(オ)
わからない |
|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|

問 15-1 主な仕事とは別に、副業など、何か別の仕事をしていますか。

XSJB1WK_W3



問 15-2 いくつ副業をしていますか。

XSJBNUM_W3

副業 個

問 15-3 あなたは、先週、残業も含めて副業を合計何時間しましたか。

【サービス残業も含め、実際に働いた時間数を答えてもらう。
 先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。】

SZSJBHWK_W3

副業を週合計で 時間

問 15-4〔回答票 15〕 あなたの副業は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。複数ある場合には、主な 1 つについてお答えください。

【1 (ア)「経営者」と 6 (カ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。】

XSJOBTP_W3

- | | | | | | | | |
|------------------------|----------------------------|---------------------------------------|------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------|------------|
| 1
(ア)
経営者・
役員 | 2
(イ)
常時雇用の
一般従業者 | 3
(ウ)
臨時雇用
(パートアル
バイト・内職) | 4
(エ)
派遣社員 | 5
(オ)
契約社員・
嘱託社員 | 6
(カ)
自営業主・
自由業者 | 7
(キ)
家族従業者 | 8
わからない |
|------------------------|----------------------------|---------------------------------------|------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------|------------|

問 15-5 あなたは通常、副業としてどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。複数ある場合には、主な 1 つについてお答えください。

XXSJOB_W3

(できるだけ詳しく具体的に)

(全員に)

問 16-1 前回の調査 (2013 年 2~3 月) 以降に、学校に通いましたか。

SCH_W3

- 1 はい 2 いいえ

CONFQA_W3
調査員確認設問 A ★事前転記★

1 前回の調査時点で、仕事をしていた → 次ページ問 17-1 へ

2 前回の調査時点で、仕事をしていなかった → 14 ページ問 21-1 へ

問 16-2 [回答票 16] 通った学校は、次のうちどれですか。

3 つ以上の学校がある場合、余白に記入する。

問 16-3 その学校は、国立ですか、公立ですか、私立 (わたくしりつ) ですか。

問 16-4 あなたの学部・学科 (専修学校の場合は、学んだ分野) を教えてください。高校の場合は、普通科、工業に関する学科、商業に関する学科、その他でお答えください。

問 16-5 その学校を卒業しましたか。

問 16-6 その学校にはいつからいつまで通っていましたか。

		1 つ目 SCH01_W3	2 つ目 SCH02_W3
問 16-2 SCH**TP_W3	学校の種類	1 (ア) 高校 2 (イ) 短期大学 (短大) 3 (ウ) 大学 4 (エ) 大学院 5 (オ) 専修学校・専門学校 6 (カ) 高等専門学校 (高専)	1 (ア) 高校 2 (イ) 短期大学 (短大) 3 (ウ) 大学 4 (エ) 大学院 5 (オ) 専修学校・専門学校 6 (カ) 高等専門学校 (高専)
問 16-3 SCH**SCT_W3	国公立	1 国立 2 公立 3 私立 4 その他 ()	1 国立 2 公立 3 私立 4 その他 ()
問 16-4 SCH**DPT_W3	学部・学科 (分野)		
問 16-5 SCH**GRD_W3	卒業	1 卒業 2 中退 3 在学中	1 卒業 2 中退 3 在学中
問 16-6	在学期間	20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 から SCH01STY_W3 SCH01STM_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 まで SCH01ENY_W3 SCH01ENM_W3	20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 から SCH01STY_W3 SCH01STM_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 まで SCH01ENY_W3 SCH01ENM_W3

調査員確認設問 A ★事前転記★

- 1 前回の調査時点で、仕事をしていた → 次ページ問 17-1 へ
- 2 前回の調査時点で、仕事をしていなかった → 14 ページ問 21-1 へ

(前回の調査時点で仕事についていた方のみに)

問 17-1 前回の調査時点 (2013 年 2~3 月) のお勤め先の事業内容は、 **★事前転記★**

と回答されていました。

【回答票 17】 現在のお勤め先と同じですか。合併や吸収などで、所属組織が変化した場合や、派遣先が変わった場合は、勤め先が変わったとしてお答えください。派遣会社に登録されていた場合は、実際にお仕事をした期間をお答えください。お勤め先が変わった場合は、いつ変わりましたか。

【5 ページまでの回答内容で、現在無職の場合や明らかに勤め先が変わっている場合は、「お勤め先が変わりましたか」「やめられましたか」と言い換える。】

問 17-2 【回答票 18】 (勤め先が変わった場合、現在無職の場合) やめられたのは、自己都合でしょうか、会社都合でしょうか。

【合併や吸収で勤め先が変わった場合も会社都合とみなす。】

	問 17-1 前回の勤め先からの変化	問 17-2 続けている理由
勤め先 1	JBW2ONG_W3 1 (ア) <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 に変わった (やめた) JBW2STY_W3 JBW2STM_W3 2 (イ) 現在も同じ勤め先	JBW2WYQT_W3 1 (ア) 自己都合 2 (イ) 会社都合 3 (ウ) その他 ()

10 ページ問 20 へ

問 18-1 その後、別のお勤め先につきましたか。

(働いていたが主な勤め先が決められない期間がある場合は、9 ページ上の表へ)

問 18-2 【回答票 19】 そのお勤め先で働き始めたのはいつですか。

問 18-3 【回答票 19】 そのお勤め先は、今でも続けていますか。(続けている場合) いつやめましたか。

問 18-4 (続けている場合) やめられたのは、自己都合でしょうか、会社都合でしょうか。

(続けている場合は、この質問を飛ばし、問 18-5 へ)

問 18-5 【回答票 19】 そのお勤め先で働いている間に、別の副業をしていたことがありますか。あれば、この中からあてはまる副業をすべて選んでください。

問 18-6 そのお勤め先は、以前にも勤めたことがありますか。

(同じようにしてすべての勤め先について現職に至るまで繰り返す。勤め先がなくなれば問 19 へ)

【前の仕事の終了年月と次の仕事の開始年月が重なっていても構わない。ただし、同じ時期に複数の勤め先があった場合には、主な勤め先 1 つについて答えをもらう。産休・育休・病休などの期間も、在籍していれば働いている期間と考える。5 つ以上の勤め先があった場合、余白に記入する。】

	問 18-1 有無	問 18-2 開始年月	問 18-3 終了年月	問 18-4 続けている理由	問 18-5 副業 (すべてに○)	問 18-6 元の勤め先
			JBW2**ONG_W3	JBW2**WYQT_W3		JBW2**PREV_W3
勤め先 2	1 有 2 無 ↓ 問 19 へ	20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 から JBW2**STY_W3 JBW2**STM_W3	1 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 から JBW2**ENY_W3 JBW2**ENM_W3	1 (ア) 自己都合 2 (イ) 会社都合 3 (ウ) その他	JBW2**SJNO_W3 1 (ア) 副業はなし JBW2**SJDP_W3 2 (イ) 派遣の仕事 JBW2**SJPT_W3 3 (ウ) パート・アルバイト JBW2**SJFB_W3 4 (エ) 家業の手伝い(実家を含む) JBW2**SJOT_W3 5 (オ) その他 ()	1 はい 2 いいえ
勤め先 3	1 有 2 無 ↓ 問 19 へ	20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 から	1 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 から	1 (ア) 自己都合 2 (イ) 会社都合 3 (ウ) その他	1 (ア) 副業はなし 2 (イ) 派遣の仕事 3 (ウ) パート・アルバイト 4 (エ) 家業の手伝い(実家を含む) 5 (オ) その他 ()	1 はい 2 いいえ
勤め先 4	1 有 2 無 ↓ 問 19 へ	20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 から	1 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 から	1 (ア) 自己都合 2 (イ) 会社都合 3 (ウ) その他	1 (ア) 副業はなし 2 (イ) 派遣の仕事 3 (ウ) パート・アルバイト 4 (エ) 家業の手伝い(実家を含む) 5 (オ) その他 ()	1 はい 2 いいえ

(問 18 で、働いていたが主な勤め先が決められない期間がある場合に記入)

【短期の派遣の仕事やアルバイトなど、短い仕事（およそ3か月未満）ばかりを次々に行なっており、主な仕事が決められない期間については、代わりに下の欄を用いて、次の事柄を聞き取る。

- (1) 短い仕事ばかりを次々に行なっていた期間
 - (2) その期間の働き方（あてはまるものすべてに○）
 - (3) その期間の仕事内容（あてはまるものすべてに○）
- そのような期間が3回以上あった場合、余白に記入する。】

	NMJ**ONG_W3 (1) 開始・終了年月	(2) 働き方 (すべてに○)	(3) 仕事内容 (すべてに○)
NMJ**_W3 1 回目	NMJ**STY_W3 20 [] [] 年 [] [] 月 から NMJ**STM_W3 NMJ**ENY_W3 1 20 [] [] 年 [] [] 月 まで NMJ**ENM_W3 2 現在まで	NMJ**DP_W3 1 派遣の仕事 NMJ**PT_W3 2 パート・アルバイト NMJ**FB_W3 3 家業の手伝い (実家を含む) NMJ**OT_W3 4 その他 ()	NMJ**OCL_W3 1 事務 NMJ**OSV_W3 2 サービス NMJ**OSL_W3 3 営業 NMJ**OFY_W3 4 工場・倉庫内作業 NMJ**OCR_W3 5 建設作業 NMJ**OTP_W3 6 運搬 NMJ**OSG_W3 7 警備 NMJ**OWF_W3 8 福祉関係の専門職 NMJ**OIT_W3 9 IT 関係の専門職 NMJ**OOT_W3 10 その他 ()
2 回目	20 [] [] 年 [] [] 月 から 1 20 [] [] 年 [] [] 月 まで 2 現在まで	1 派遣の仕事 2 パート・アルバイト 3 家業の手伝い (実家を含む) 4 その他 ()	1 事務 2 サービス 3 営業 4 工場・倉庫内作業 5 建設作業 6 運搬 7 警備 8 福祉関係の専門職 9 IT 関係の専門職 10 その他 ()

問 19 では、前回の調査以降、収入をとまなう仕事をまったくされていなかった期間は、次のとおりです。

【問 17 と問 18 で仕事があった期間を確認して、下の欄にそれ以外の期間を記入する。
勤め先をやめた翌月（または最後の学校を終えた翌月）から、次の勤め先につく前月までを無職期間とみなす。
無職の期間が5回以上あった場合、余白に記入する。】

UNEN**_W3 無職 1 回目	UNEN**STY_W3 20 [] [] 年 [] [] 月 から UNEN**STM_W3	UNEN**ONG_W3 UNEN**ENY_W3 1 20 [] [] 年 [] [] 月 まで UNEN**ENM_W3 2 現在まで
無職 2 回目	20 [] [] 年 [] [] 月 から	1 20 [] [] 年 [] [] 月 まで 2 現在まで
無職 3 回目	20 [] [] 年 [] [] 月 から	1 20 [] [] 年 [] [] 月 まで 2 現在まで
無職 4 回目	20 [] [] 年 [] [] 月 から	1 20 [] [] 年 [] [] 月 まで 2 現在まで

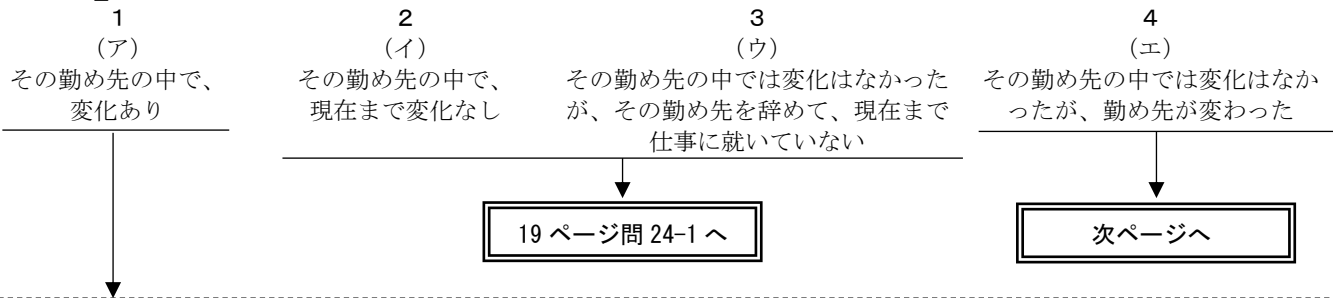
問 20 この6年間のお仕事について順に少し詳しくおうかがいします。

前回の調査時点では、あなたの「働き方」「役職」「仕事内容」は次のようにお答えいただいております。

【2013年時点での「働き方」「役職」「仕事内容」は、下記の表に転記しておき、太線枠内を読み上げる。】

→ [回答票 20] その後、そのお勤め先の中で、「働き方」「役職」「仕事内容」が変わったことはありましたか。

JBW2CHG_W3



[回答票 21] いつ、どのような変化があったのかを6年前から順次現在までお答えください。

【変わった年月を記入し、変化した項目についてのみ、尋ねる。変化のなかった箇所には斜線を引く。

3回以上の変化があった場合、余白に記入する。】

	前回調査時点での勤め先での「働き方」「役職」「仕事内容」 ★事前転記★	前回調査時点での勤め先での「働き方」「役職」「仕事内容」の変化1 JBW2S1_W3	前回調査時点での勤め先での「働き方」「役職」「仕事内容」の変化2 JBW2S2_W3
A 働き方 (従業員上の地位)	JBW2S0TP_W3 1 経営者・役員 2 常時雇用の一般従業者 3 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 派遣社員 5 契約社員・嘱託社員 6 自営業主・自由業者 7 家族従業者 8 回答なし	JBW2S1TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	JBW2S2TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない
B 役職	JBW2S0TL_W3 1 役職なし 2 職長・班長・組長など 3 係長(係長相当) 4 課長(課長相当) 5 部長(部長相当) 6 その他の役職() 7 回答なし	JBW2S1TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	JBW2S2TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない
C 仕事内容	JBW2S0OC_W3	JBW2S1OC_W3	JBW2S2OC_W3
D 変化の時期	/	JBW2S1Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 JBW2S1M_W3	JBW2S2Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 JBW2S2M_W3

CONFQB_W3

調査員確認設問 B (8 ページ問 17-1、問 18-1 勤め先②の回答結果より判断)

- 1 前回の調査時点から現在まで同じ勤め先(8 ページ問 17-1 で「2」と回答) → 19 ページ問 24-1 へ
- 2 現在、有職か無職かにかかわらず、前回の調査時点から勤め先が変わった(変わっている) → 次ページへ
(8 ページ問 18-1 の勤め先②で「1」と回答)
- 3 前回の調査後、前回調査時点の仕事を辞めて、現在まで仕事に就いていない → 19 ページ問 24-1 へ
(8 ページ問 18-1 の勤め先②で「2」と回答)

(前回の調査時点から勤め先が変わっている人)

続いて、前回の調査時点以降、2番目のお仕事についておうかがいします。2番目のお勤め先が現在の主なお勤め先である方には、先ほどかがった内容に加え、その職場での働き方の変化についてうかがいます。

【問18で回答のあった「勤め先2」「勤め先3」……について順に尋ねていく。】

問20-2A [回答票22] そこで働き始めたころのあなたは、この中のどれにあたりますか。

問20-2B (常時雇用の一般従業者のみ) [回答票22] 最初のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

問20-2C あなたは、そこで最初どのような仕事をしていましたか。具体的にお聞かせください。

問20-2D その後、そのお勤め先の中で、「働き方」や「役職」「仕事内容」が変わったことはありませんか。あれば、いつ、どのように変化したかを、早いものから順に教えてください。

【変化のなかった箇所には斜線を引く。3回以上の変化があった場合、余白に記入する。】

	2番目の勤め先での働き始め	変化1 JBW202S1_W3	変化2 JBW202S2_W3
A 働き方 (従業員上の地位)	JBW202S0TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	JBW202S1TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	JBW202S2TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない
B 役職	JBW202S0TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	JBW202S1TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	JBW202S2TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない
C 仕事内容	JBW202S0OC_W3	JBW202S1OC_W3	JBW202S2OC_W3
D 変化の時期	/	JBW202S1Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 JBW202S1M_W3	JBW202S2Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 JBW202S2M_W3

(2番目の勤め先が現在の主な勤め先ではない人へのみ)

問20-2E そのお勤め先はどのような事業をしていましたか。具体的にお聞かせください。

【派遣社員の場合は、派遣先の事業について答えてもらう。】

JOBW202WPL_W3

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問20-2F [回答票23] 同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。会社・組織全体でお答えください。

【派遣社員の場合は、派遣先の規模について答えてもらう。】

JOBW202SZ_W3

- | | | |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人 | 5 (オ) 30~99人 | 9 (ケ) 1,000~1,999人 |
| 2 (イ) 2~4人 | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人 | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上 |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 (シ) 官公庁 |
| | | 13 わからない |

【勤め先が3つ以上ない場合は、19ページ問24-1へ。】

前回の調査以降 **3番目**のお勤め先についておうかがいします。3番目のお勤め先が現在の主なお勤め先である方には、先ほどうかがった内容に加え、その職場での働き方の変化についてうかがいます。

【3番目の勤め先がなければ19ページ問24-1へ。】

問20-3A [回答票22] そこで働き始めたころのあなたは、この中のどれにあたりますか。

問20-3B (常時雇用の一般従業者のみ) [回答票22] 最初のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

問20-3C あなたは、そこで最初どのような仕事をしていましたか。具体的にお聞かせください。

問20-3D その後、そのお勤め先の中で、「働き方」や「役職」「仕事内容」が変わったことはありませんか。あれば、いつ、どのように変化したかを、早いものから順に教えてください。

【変化のなかった箇所には斜線を引く。3回以上の変化があった場合、余白に記入する。】

	3番目の勤め先での働き始め	変化1 JBW203S1_W3	変化2 JBW203S2_W3
A 働き方 (従業上の地位)	JBW203S0TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	JBW203S1TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	JBW203S2TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない
B 役職	JBW203S0TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	JBW203S1TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	JBW203S2TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない
C 仕事内容	JBW203S0OC_W3	JBW203S1OC_W3	JBW203S2OC_W3
D 変化の時期	/	JBW203S1Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 JBW203S1M_W3	JBW203S2Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 JBW203S2M_W3

(3番目の勤め先が現在の主な勤め先ではない人へのみ)

問20-3E そのお勤め先はどのような事業をしていましたか。具体的にお聞かせください。

【派遣社員の場合は、派遣先の事業について答えてもらう。】

JOBW203WPL_W3

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問20-3F [回答票23] 同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。会社・組織全体でお答えください。

【派遣社員の場合は、派遣先の規模について答えてもらう。】

JOBW203SZ_W3

- | | | |
|---------------|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人 | 5 (オ) 30~99 人 | 9 (ケ) 1,000~1,999 人 |
| 2 (イ) 2~4 人 | 6 (カ) 100~299 人 | 10 (コ) 2,000~9,999 人 |
| 3 (ウ) 5~9 人 | 7 (キ) 300~499 人 | 11 (サ) 1 万人以上 |
| 4 (エ) 10~29 人 | 8 (ク) 500~999 人 | 12 (シ) 官公庁 |
| | | 13 わからない |

【勤め先が4つ以上ない場合は、19ページ問24-1へ。】

前回の調査以降4番目のお勤め先についておうかがいします。4番目のお勤め先が現在の主なお勤め先である方には、先ほどうかがった内容に加え、その職場での働き方の変化についてうかがいます。

【4番目の勤め先がなければ19ページ問24-1へ。】

問20-4A [回答票22] そこで働き始めたころのあなたは、この中のどれにあたりますか。

問20-4B (常時雇用の一般従業者のみ) [回答票22] 最初のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

問20-4C あなたは、そこで最初どのような仕事をしていましたか。具体的にお聞かせください。

問20-4D その後、そのお勤め先の中で、「働き方」や「役職」「仕事内容」が変わったことはありませんか。あれば、いつ、どのように変化したかを、早いものから順に教えてください。

【変化のなかった箇所には斜線を引く。3回以上の変化があった場合、余白に記入する。】

	4番目の勤め先での働き始め	変化1 JBW204S1_W3	変化2 JBW204S2_W3
A 働き方 (従業上の地位)	JBW204S0TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	JBW204S1TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	JBW204S2TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない
B 役職	JBW204S0TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	JBW204S1TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	JBW204S2TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない
C 仕事内容	JBW204S0OC_W3	JBW204S1OC_W3	JBW204S2OC_W3
D 変化の時期		JBW204S1Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 JBW204S1M_W3	JBW204S2Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 JBW204S2M_W3

(4番目の勤め先が現在の主な勤め先ではない人へのみ)

問20-4E そのお勤め先はどのような事業をしていましたか。具体的にお聞かせください。

【派遣社員の場合は、派遣先の事業について答えてもらう。】

JOBW204WPL_W3

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問20-4F [回答票23] 同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。会社・組織全体でお答えください。

【派遣社員の場合は、派遣先の規模について答えてもらう。】

JOBW204SZ_W3

- | | | |
|---------------|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人 | 5 (オ) 30~99 人 | 9 (ケ) 1,000~1,999 人 |
| 2 (イ) 2~4 人 | 6 (カ) 100~299 人 | 10 (コ) 2,000~9,999 人 |
| 3 (ウ) 5~9 人 | 7 (キ) 300~499 人 | 11 (サ) 1 万人以上 |
| 4 (エ) 10~29 人 | 8 (ク) 500~999 人 | 12 (シ) 官公庁 |
| | | 13 わからない |

【勤め先が5つ以上ない場合は、19ページ問24-1へ。勤め先が5つ以上ある場合は、補助用紙を使う。】

(前回の調査時点で無職だった方のみに)

問 21-1 前回の調査時点 (2013 年 2~3 月) では、収入をとまなう仕事をなさっていませんでしたが、その後、収入をとまなうお仕事に就かれたことはありますか。

1

仕事に就いたことがある

【下の表の問 21-1 欄<勤め先 1>の「有」に○】

2

仕事に就いていない

19 ページ問 24-1 へ

問 21-2 【回答票 24】 そのお勤め先で働き始めたのはいつですか。

【自営業を始めたり、家業を手伝い始めた場合も、収入をとまなう仕事であれば、含める。】

(働いていたが主な勤め先が決められない期間がある場合は、15 ページ上の表へ)

問 21-3 【回答票 24】 そのお勤め先は、今でも続けていますか。合併や吸収などで、所属組織が変化した場合や、派遣先が変わった場合は、勤め先が変わったとしてお答えください。派遣会社に登録されていた場合は、実際にお仕事をした期間をお答えください。お勤め先が変わった場合は、いつ変わりましたか。

問 21-4 (続けていない場合) やめられたのは、自己都合でしょうか、会社都合でしょうか。

(続けている場合は、この質問を飛ばし、問 21-5 へ)

【合併や吸収で勤め先が変わった場合も会社都合とみなす。】

問 21-5 【回答票 24】 そのお勤め先で働いている間に、別の副業をしていたことがありますか。あれば、この中からあてはまる副業をすべて選んでください。

問 21-6 そのお勤め先は、以前にも勤めたことがありますか。

(同じようにして、その後のすべての勤め先について現職に至るまで繰り返す。勤め先がなくなれば問 22 へ)

【前の仕事の終了年月と次の仕事の開始年月が重なっていても構わない。ただし、同じ時期に複数の勤め先があった場合には、主な勤め先 1 つについて答えてもらう。

産休・育休・病休などの期間も、在籍していれば働いている期間と考える。

4 個以上の勤め先があった場合、余白に記入する。】

	問 21-1 有無	問 21-2 開始年月	問 21-3 終了年月 NJB**ONG_W3	問 21-4 続けていない理由 NJB**WYQT_W3	問 21-5 副業 (すべてに○)	問 21-6 元の勤め先 NJB**PREV_W3
勤め先 1	NJB**_W3 1 有 2 無	NJB**STY_W3 20 年 月 NJB**STM_W3 から	NJB**ENY_W3 1 20 年 月 NJB**ENM_W3 まで	1 (ア)自己都合 2 (イ)会社都合 3 (ウ)その他	NJB**SJNO_W3 1 (ア)副業はなし NJB**SJDP_W3 2 (イ)派遣の仕事 NJB**SJPT_W3 3 (ウ)パート・アルバイト NJB**SJFB_W3 4 (エ)家業の手伝い (実家を含む) NJB**SJOT_W3 5 (オ)その他 ()	1 はい 2 いいえ
勤め先 2	1 有 2 無 ↓ 問 22 へ	20 年 月 から	1 20 年 月	1 (ア)自己都合 2 (イ)会社都合 3 (ウ)その他	1 (ア)副業はなし 2 (イ)派遣の仕事 3 (ウ)パート・アルバイト 4 (エ)家業の手伝い (実家を含む) 5 (オ)その他 ()	1 はい 2 いいえ
勤め先 3	1 有 2 無 ↓ 問 22 へ	20 年 月 から	1 20 年 月	1 (ア)自己都合 2 (イ)会社都合 3 (ウ)その他	1 (ア)副業はなし 2 (イ)派遣の仕事 3 (ウ)パート・アルバイト 4 (エ)家業の手伝い (実家を含む) 5 (オ)その他 ()	1 はい 2 いいえ

(問 21 で、前回の調査以降、働いていたが主な勤め先が決められない期間がある場合に記入)

【短期の派遣の仕事やアルバイトなど、短い仕事（およそ3か月未満）ばかりを次々に行なっており、主な仕事が決められない期間については、代わりに下の欄を用いて、次の事柄を聞き取る。

- (1) 短い仕事ばかりを次々に行なっていた期間
 - (2) その期間の働き方（あてはまるものすべてに○）
 - (3) その期間の仕事内容（あてはまるものすべてに○）
- そのような期間が3回以上あった場合、余白に記入する。】

	NMJ**ONG_W3 (1) 開始・終了年月	(2) 働き方 (すべてに○)	(3) 仕事内容 (すべてに○)
1 回目	NMJA**STY_W3 20 [] [] 年 [] [] 月 から NMJA**STM_W3 <hr/> NMJA**ENY_W3 1 20 [] [] 年 [] [] 月 まで NMJA**ENM_W3 2 現在まで	NMJA**DP_W3 1 派遣の仕事 NMJA**PT_W3 2 パート・アルバイト NMJA**FB_W3 3 家業の手伝い（実家を含む） NMJA**OT_W3 4 その他（ ）	NMJA**OCL_W3 1 事務 NMJA**OSV_W3 2 サービス NMJA**OSL_W3 3 営業 NMJA**OFY_W3 4 工場・倉庫内作業 NMJA**OCR_W3 5 建設作業 NMJA**OTP_W3 6 運搬 NMJA**OSG_W3 7 警備 NMJA**OWF_W3 8 福祉関係の専門職 NMJA**OIT_W3 9 IT 関係の専門職 NMJA**OOT_W3 10 その他（ ）
2 回目	20 [] [] 年 [] [] 月 から <hr/> 1 20 [] [] 年 [] [] 月 まで 2 現在まで	1 派遣の仕事 2 パート・アルバイト 3 家業の手伝い（実家を含む） 4 その他（ ）	1 事務 2 サービス 3 営業 4 工場・倉庫内作業 5 建設作業 6 運搬 7 警備 8 福祉関係の専門職 9 IT 関係の専門職 10 その他（ ）

問 22 では、前回の調査から現在に至るまでのあいだで、収入をとまなう仕事をまったくされていなかった期間は、次のとおりです。

【問 21 で仕事があった期間を確認して、下の欄にそれ以外の期間を記入する。
 勤め先をやめた翌月（または最後の学校を終えた翌月）から、次の勤め先につく前月までを無職期間とみなす。
 無職の期間が5回以上あった場合、余白に記入する。】

無職 1 回目	UNENA**STM_W3 20 [] [] 年 [] [] 月 から UNENA**STY_W3	UNENA**ONG_W3 UNENA**ENY_W3 1 20 [] [] 年 [] [] 月 まで UNENA**ENM_W3 2 現在まで
無職 2 回目	20 [] [] 年 [] [] 月 から	1 20 [] [] 年 [] [] 月 まで 2 現在まで
無職 3 回目	20 [] [] 年 [] [] 月 から	1 20 [] [] 年 [] [] 月 まで 2 現在まで
無職 4 回目	20 [] [] 年 [] [] 月 から	1 20 [] [] 年 [] [] 月 まで 2 現在まで

では、前回の調査以降のお仕事について順に少し詳しくお答えください。同じ時期に複数の仕事をしていた場合には、その時期の主な仕事1つについてお答えください。最初のお勤め先についてうかがいます。

【問21で回答のあった「勤め先1」「勤め先2」……について順に尋ねていく。】

問23-1A [回答票25] そこで働き始めたころのあなたは、この中のどれにあたりますか。

問23-1B (常時雇用の一般従業者のみ) [回答票25] 最初のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

問23-1C あなたは、そこで最初どのような仕事をしていましたか。具体的にお聞かせください。

問23-1D その後、そのお勤め先の中で、「働き方」や「役職」「仕事内容」が変わったことはありましたか。あれば、いつ、どのように変化したかを、早いものから順に教えてください。

【変化のなかった箇所には斜線を引く。3回以上の変化があった場合、余白に記入する。】

	最初の勤め先での働き始め	変化1 NJB01S1_W3	変化2 NJB01S2_W3
A 働き方 (従業上の地位)	NJB01S0TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	NJB01S1TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	NJB01S2TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない
B 役職	NJB01S0TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	NJB01S1TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	NJB01S2TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない
C 仕事内容	NJB01S0OC_W3	NJB01S1OC_W3	NJB01S2OC_W3
D 変化の時期	/	NJB01S1Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 NJB01S1M_W3	NJB01S2Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 NJB01S2M_W3

(前回の調査以降に働き始めた勤め先が現在の主な勤め先ではない人へのみ)

問23-1E そのお勤め先はどのような事業をしていましたか。具体的にお聞かせください。

【派遣社員の場合は、派遣先の事業について答えてもらう。】

NJOB01WPL_W3

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問23-1F [回答票26] 同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。会社・組織全体でお答えください。

【派遣社員の場合は、派遣先の規模について答えてもらう。】

NJOB01SZ_W3

- | | | |
|---------------|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人 | 5 (オ) 30~99 人 | 9 (ケ) 1,000~1,999 人 |
| 2 (イ) 2~4 人 | 6 (カ) 100~299 人 | 10 (コ) 2,000~9,999 人 |
| 3 (ウ) 5~9 人 | 7 (キ) 300~499 人 | 11 (サ) 1 万人以上 |
| 4 (エ) 10~29 人 | 8 (ク) 500~999 人 | 12 (シ) 官公庁 |
| | | 13 わからない |

【勤め先が2つ以上ない場合は、19 ページ問24-1へ。】

2番目のお勤め先についておうかがいします。2番目のお勤め先が現在の主なお勤め先である方には、先ほどいかがった内容に加え、その職場での働き方の変化についてうかがいます。

【2番目の勤め先がなければ19ページ問24-1へ。】

問23-2A [回答票25] そこで働き始めたころのあなたは、この中のどれにあたりますか。

問23-2B (常時雇用の一般従業者のみ) [回答票25] 最初のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

問23-2C あなたは、そこで最初どのような仕事をしていましたか。具体的にお聞かせください。

問23-2D その後、そのお勤め先の中で、「働き方」や「役職」「仕事内容」が変わったことはありませんか。あれば、いつ、どのように変化したかを、早いものから順に教えてください。

【変化のなかった箇所には斜線を引く。3回以上の変化があった場合、余白に記入する。】

	2番目の勤め先での働き始め	変化1 NJB02S1_W3	変化2 NJB02S2_W3
A 働き方 (従業員上の地位)	NJB02S0TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	NJB02S1TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	NJB02S2TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない
B 役職	NJB02S0TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	NJB02S1TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	NJB02S2TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない
C 仕事内容	NJB02S0OC_W3	NJB02S1OC_W3	NJB02S2OC_W3
D 変化の時期	/	NJB02S1Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 NJB02S1M_W3	NJB02S2Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 NJB02S2M_W3

(2番目の勤め先が現在の主な勤め先ではない人へのみ)

問23-2E そのお勤め先はどのような事業をしていましたか。具体的にお聞かせください。

【派遣社員の場合は、派遣先の事業について答えてもらう。】

NJOB02WPL_W3

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問23-2F [回答票26] 同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。会社・組織全体でお答えください。

【派遣社員の場合は、派遣先の規模について答えてもらう。】

NJOB02SZ_W3

- | | | |
|---------------|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人 | 5 (オ) 30~99 人 | 9 (ケ) 1,000~1,999 人 |
| 2 (イ) 2~4 人 | 6 (カ) 100~299 人 | 10 (コ) 2,000~9,999 人 |
| 3 (ウ) 5~9 人 | 7 (キ) 300~499 人 | 11 (サ) 1 万人以上 |
| 4 (エ) 10~29 人 | 8 (ク) 500~999 人 | 12 (シ) 官公庁 |
| | | 13 わからない |

【勤め先が3つ以上ない場合は、19ページ問24-1へ。】

3番目のお勤め先についておうかがいします。3番目のお勤め先が現在の主なお勤め先である方には、先ほどお答えいただいた内容に加え、その職場での働き方の変化についておうかがいします。

【3番目の勤め先がなければ19ページ問24-1へ。】

問23-3A [回答票25] そこで働き始めたころのあなたは、この中のどれにあたりますか。

問23-3B (常時雇用の一般従業者のみ) [回答票25] 最初のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

問23-3C あなたは、そこで最初どのような仕事をしていましたか。具体的にお聞かせください。

問23-3D その後、そのお勤め先の中で、「働き方」や「役職」「仕事内容」が変わったことはありましたか。あれば、いつ、どのように変化したかを、早いものから順に教えてください。

【変化のなかった箇所には斜線を引く。3回以上の変化があった場合、余白に記入する。】

	3番目の勤め先での働き始め	変化1 NJB03S1_W3	変化2 NJB03S2_W3
A 働き方 (従業上の地位)	NJB03S0TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	NJB03S1TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない	NJB03S2TP_W3 1 (ア) 経営者・役員 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 3 (ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職) 4 (エ) 派遣社員 5 (オ) 契約社員・嘱託社員 6 (カ) 自営業主・自由業者 7 (キ) 家族従業者 8 わからない
B 役職	NJB03S0TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	NJB03S1TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない	NJB03S2TL_W3 1 (ア) 役職なし 2 (イ) 職長・班長・組長など 3 (ウ) 係長(係長相当) 4 (エ) 課長(課長相当) 5 (オ) 部長(部長相当) 6 (カ) その他の役職() 7 わからない
C 仕事内容	NJB03S0OC_W3	NJB03S1OC_W3	NJB03S2OC_W3
D 変化の時期	/	NJB03S1Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 NJB03S1M_W3	NJB03S2Y_W3 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 NJB03S2M_W3

(3番目の勤め先が現在の主な勤め先ではない人へのみ)

問23-3E そのお勤め先はどのような事業をしていましたか。具体的にお聞かせください。

【派遣社員の場合は、派遣先の事業について答えてもらう。】

NJOB03WPL_W3

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問23-3F [回答票26] 同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。会社・組織全体でお答えください。

【派遣社員の場合は、派遣先の規模について答えてもらう。】

NJOB03SZ_W3

- | | | |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人 | 5 (オ) 30~99人 | 9 (ケ) 1,000~1,999人 |
| 2 (イ) 2~4人 | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人 | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上 |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 (シ) 官公庁 |
| | | 13 わからない |

【勤め先が4つ以上ない場合は、19ページ問24-1へ。勤め先が4つ以上ある場合は、補助用紙を使う。】

(全員に)

問 24-1 あなたは、何か資格をお持ちですか。

QUAL_W3

1 持っている

2 持っていない

次ページへ

問 24-2 [回答票 27] 現在の仕事にもっとも役立った資格の名称を1つだけ教えてください。あてはまるものがあれば番号でお答えください。あてはまるものがなければ具体的にお答えください。

同じ種類の資格は、上級資格のみお答えください。

なお、現在無職の方は「0」とお答えください。【現在無職は下表<名称>欄に「0」と記入し次ページへ】

問 24-3 その資格を取得した年齢を教えてください。

問 24-4 [回答票 28] その資格を取ったいきさつについて、もっともあてはまるものを1つだけ選んでください。

問 24-5 [回答票 29] その資格はどのように役立ちましたか。あてはまるものすべてを選んでください。

問 24-6 [回答票 30] その資格を取得する費用（学費やテキスト代、講習会の受講費用、資格試験の受験料などすべてを含む）は、主にどなたが負担されましたか。もっともあてはまるものを1つだけ選んでください。

問 24-7 [回答票 31] では、その資格を取得するのに、どれぐらい自己負担の費用がかかりましたか。もっともあてはまるものを1つだけ選んでください。

現在の仕事にもっとも役立った資格	
名称	QLWTYPE_W3
年齢	QLWAGE_W3 歳
取得のいきさつ	<p>QLWRSN_W3</p> <p>1 (ア) 学校で卒業や進級に必要な条件だった 5 (オ) 親に取得をすすめられた 2 (イ) 学校で取得をすすめられた 6 (カ) 自分からすすんで取得した 3 (ウ) 職場で取得を義務づけられた 7 (キ) その他 () 4 (エ) 職場で取得をすすめられた 8 わからない</p>
役立ち方	<p>QLWSLF_W3 1 (ア) 自営独立に役立った QLWCERT_W3 8 (ク) 技能の証明に役立った QLWFJB_W3 2 (イ) 初めての就職に役立った QLWCONF_W3 9 (ケ) 自分に自信を持てた QLWCJB_W3 3 (ウ) 転職に役立った QLWWRTH_W3 10 (コ) 生きがいや目標を持てた QLWNJB_W3 4 (エ) 一度仕事をやめたあとの再就職に役立った QLWOT_W3 11 (サ) その他 () QLWBFT_W3 5 (オ) 給与や手当の面で優遇された QLWDK_W3 12 わからない QLWPOST_W3 6 (カ) 希望する仕事を任せてもらえた 「その他」の具体的記述から追加したコード QLWPRM_W3 7 (キ) 昇格・昇進に役立った QLWK_W3 仕事全般 QLLF_W3 生活全般</p>
負担	<p>QLWCOST_W3</p> <p>1 (ア) 主に自分が負担した 5 (オ) その他 () 2 (イ) 主に学校が負担した 「その他」の具体的記述から追加したコード 3 (ウ) 主に勤務先が負担した 6 主にハローワークが負担した 4 (エ) 主に家族や親族が負担した 7 学校卒業時に取得のため負担はない</p>
費用	<p>QLWPAID_W3</p> <p>1 (ア) 費用はかかっていない 5 (オ) 10万円以上 50万円未満 2 (イ) 1万円未満 6 (カ) 50万円以上 100万円未満 3 (ウ) 1万円以上 5万円未満 7 (キ) 100万円以上 4 (エ) 5万円以上 10万円未満</p>

(全員に) ここからは、あなたのご家族のことについておうかがいします。
 前回の調査時点 (2013年2~3月) では、あなたは、ご自身の婚姻状況について

MARRYW2_W3
★事前転記★

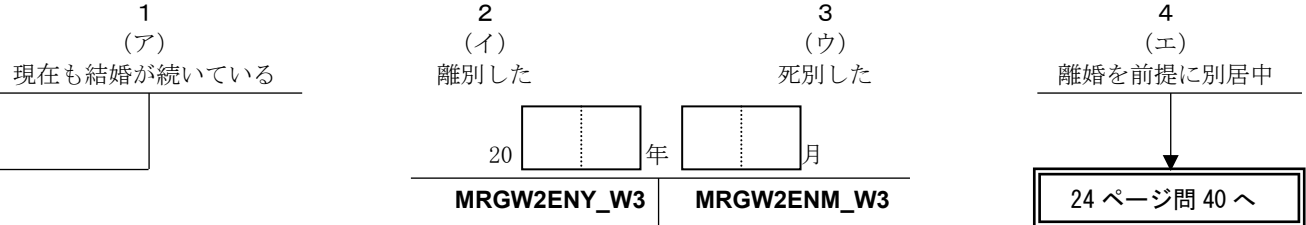
1 配偶者あり (同棲含む) → **問 25-1 へ**

2 配偶者なし (離婚を前提に別居中を含む) → **問 26-1 へ**

と回答されていましたが、その後の結婚歴についておうかがいします。
 (前回の調査時点で配偶者ありだった方のみに)

問 25-1 [回答票 32] あなたとその配偶者の関係をこの中から選んでください。

MRGW2_W3



問 25-2 [回答票 33] その後、再婚されましたか。何度か結婚された方は、1つ1つについてお答えください。

【3回以上結婚している場合、余白に記入する。同棲中の場合は、一緒に住み始めた時期を尋ねる。】

<p>MRGW2**_W3</p> <p>1 いいえ → 24 ページ問 40 へ</p> <p>MRGW2**STY_W3 MRGW2**STM_W3</p> <p>2 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 に結婚して</p>	<p>MRGW2**ONG_W3</p> <p>1 (ア) 現在も結婚が続いている → 次ページ問 27 へ</p> <p>MRGW2**ENY_W3 MRGW2**ENM_W3</p> <p>2 (イ) その後、<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月に離別した</p> <p>3 (ウ) その後、20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月に死別した →これ以降結婚がなければ 24 ページ問 40 へ</p> <p>4 (エ) 離婚を前提に別居中 → 24 ページ問 40 へ</p>
<p>20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 に結婚して</p>	<p>1 (ア) 現在も結婚が続いている → 次ページ問 27 へ</p> <p>2 (イ) その後、<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月に離別した</p> <p>3 (ウ) その後、20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月に死別した →これ以降結婚がなければ 24 ページ問 40 へ</p> <p>4 (エ) 離婚を前提に別居中 → 24 ページ問 40 へ</p>

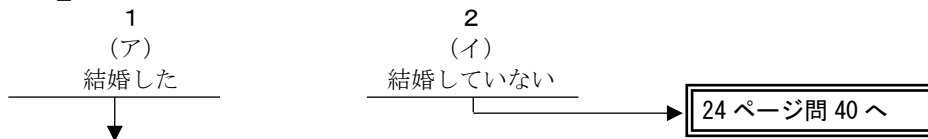
次ページ問 30 へ

(前回の調査時点で配偶者なしだった方のみに)

問 26-1 [回答票 34] 前回の調査以降、あなたは結婚しましたか。この中から選んでください。

【同棲を含む。】

MRGNEW_W3



問 26-2 [回答票 35] いつ結婚されましたか。何度か結婚された方は、1つ1つについてお答えください。

【3回以上結婚している場合、余白に記入する。同棲中の場合は、一緒に住み始めた時期を尋ねる。】

<p>MRGN**_W3</p> <p>MRGN**STY_W3 MRGN**STM_W3</p> <p>20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 に結婚して</p>	<p>MRGN**ONG_W3</p> <p>1 (ア) 現在も結婚が続いている → 次ページ問 27 へ</p> <p>MRGN**ENY_W3 MRGN**ENM_W3</p> <p>2 (イ) その後、<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月に離別した</p> <p>3 (ウ) その後、20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月に死別した →これ以降結婚がなければ 24 ページ問 40 へ</p> <p>4 (エ) 離婚を前提に別居中 → 24 ページ問 40 へ</p>
<p>20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 に結婚して</p>	<p>1 (ア) 現在も結婚が続いている → 次ページ問 27 へ</p> <p>2 (イ) その後、<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月に離別した</p> <p>3 (ウ) その後、20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月に死別した →これ以降結婚がなければ 24 ページ問 40 へ</p> <p>4 (エ) 離婚を前提に別居中 → 24 ページ問 40 へ</p>

問 32-1 [回答票 37] 配偶者の方は、先週、収入をとまなう仕事をしましたか。
パートやアルバイト、家族従業者など、あらゆる収入をとまなう仕事を含める。

SSJBLWK_W3

- 1 (ア) 仕事をした
- 2 (イ) 仕事をしていない

問 32-2 [回答票 38] 配偶者の方は、収入をとまなう仕事をもっていますか。

SSNOWRK_W3

- 1 (ア) 仕事をもっているが、
病気、休暇などで先週は仕事を休んだ
 - 2 (イ) 仕事は持っているが、
先週は仕事がなかった
 - 3 (ウ) 仕事を持っていない
- 問 33 へ

問 32-3 [回答票 39] 配偶者の方の先週の状態は、この中のどれにあたりますか。

SSTPUNEM_W3

- 1 (ア) 失業中
- 2 (イ) 学 生
- 3 (ウ) 主に家事をしている
- 4 (エ) 心身上の事情で働けない
- 5 (オ) その他 (具体的に)
- 6 わからない

問 32-4 配偶者の方は、現在、仕事を探していますか。

SSFINDJB_W3

- 1 は い
 - 2 いいえ
- 24 ページ問 40 へ

問 33 配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

【副業を持っていない場合は、副業の時間数に0（ゼロ）と記入する。
先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。】

SSJBHRWK_W3

SSSJBHWK_W3

主な仕事を週合計で

--	--	--	--

時間

副業を週合計で

--	--	--	--

時間

配偶者の方のお仕事について少し詳しくおうかがいします。
2つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 34-1 【回答票 40】 配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

【1 (ア)「経営者」と6 (カ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。
公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。】

SSTPJOB_W3

- | | | | | | | | |
|------------------------|----------------------------|--|------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------|------------|
| 1
(ア)
経営者・
役員 | 2
(イ)
常時雇用の
一般従業者 | 3
(ウ)
臨時雇用
(パート・アル
バイト・内職) | 4
(エ)
派遣社員 | 5
(オ)
契約社員・
嘱託社員 | 6
(カ)
自営業主・
自由業者 | 7
(キ)
家族従業者 | 8
わからない |
|------------------------|----------------------------|--|------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------|------------|



問 34-2 【回答票 41】 配偶者の方の役職は、この中のどれにあたりますか。

SSTPJOBP_W3

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 (ア) 役職なし | 5 (オ) 部長 (部長相当) |
| 2 (イ) 職長・班長・組長など | 6 (カ) その他の役職 (具体的に) |
| 3 (ウ) 係長 (係長相当) | 7 わからない |
| 4 (エ) 課長 (課長相当) | |

問 35 配偶者の方が働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行など、具体的にお聞かせください。

【派遣社員の場合は、派遣先の事業について答えてもらう。】

SSXXHQX_W3

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 36 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

SSXXJOB_W3

(できるだけ詳しく具体的に)

問 37 配偶者の方は、通常1週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおおよその時間をお答えください。

SSXJBSCH_W3

週合計で 時間

問 38 配偶者の方は、現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数をお答えください。

SSSZWKYR_W3

年間 【1年未満の場合は0 (ゼロ) と記入】

問 39 【回答票 42】 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

【省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。派遣社員の場合は、派遣先の規模について答えてもらう。】

SSSZSTFA_W3

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人 | 7 (キ) 300~499 人 |
| 2 (イ) 2~4 人 | 8 (ク) 500~999 人 |
| 3 (ウ) 5~9 人 | 9 (ケ) 1,000~1,999 人 |
| 4 (エ) 10~29 人 | 10 (コ) 2,000~9,999 人 |
| 5 (オ) 30~99 人 | 11 (サ) 1 万人以上 |
| 6 (カ) 100~299 人 | 12 (シ) 官公庁 |
| | 13 わからない |

(全員に)

CCW2_W3

問 40 お子様についておうかがいします。前回の調査時点（2013 年 2~3 月）では、

★事前転記★

1 子どもなし	2 子どもあり (人)
---------	-------------------

CCNUMW1_W3

と回答されていました。

これまでにおもちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。

【いない場合は 0（ゼロ）と記入。養子・連れ子について尋ねられた場合は、含めて答えてもらう。】

CCNUMTTL_W3

|

人



0 子どもをもったことはない→

26 ページ問 43-1 へ

問 41 【回答票 43】 昨年 1 年間にかかった、あなたの子どもの教育費は、世帯全体でこの中のどれにあたりますか。

【幼児から専門学校生、大学生まですべて。教育費には、在学中の子どもの下宿代・仕送りを含む。】

SZEXED_W3

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 (ア) なし | 9 (ケ) 50~100 万円未満 |
| 2 (イ) 3 万円未満 | 10 (コ) 100~200 万円未満 |
| 3 (ウ) 3~5 万円未満 | 11 (サ) 200~300 万円未満 |
| 4 (エ) 5~10 万円未満 | 12 (シ) 300 万円以上 |
| 5 (オ) 10~15 万円未満 | 13 (ス) すべての子どもが学業を終えている |
| 6 (カ) 15~20 万円未満 | 14 回答したくない |
| 7 (キ) 20~30 万円未満 | 15 わからない |
| 8 (ク) 30~50 万円未満 | |

前回の調査時点でお子さまがいらっしゃった方については一部、前回と重複する内容もありますが、今から読み上げる質問に年齢の高いお子様から順にお答えください。はじめに、1人目のお子様についておうかがいします。

【前回の調査以降に養子・連れ子がいる場合も、実子と養子を区別することなく、年齢順に答えてもらう。】

	1人目	2人目	3人目	4人目
問 42-1 そのお子様の性別を教えてください。 CC**SEX_W3	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女
問 42-2 [回答票 44] そのお子様は何年何月に生まれましたか。 CC**BYR_W3 CC**BM_W3	19 <input type="text"/> 年 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	19 <input type="text"/> 年 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	19 <input type="text"/> 年 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	19 <input type="text"/> 年 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
問 42-3 そのお子様が現在通っている学校は、国公立ですか。それとも私立（わたくしりつ）ですか。保育所や幼稚園も含みます。 CC**SCT_W3	1 国公立 2 私立 3 現在、学校に行っていない	1 国公立 2 私立 3 現在、学校に行っていない	1 国公立 2 私立 3 現在、学校に行っていない	1 国公立 2 私立 3 現在、学校に行っていない
問 42-4 そのお子様とは、一緒に暮らしていますか。 CC**LVTG_W3	1 同居 2 別居 3 死亡	1 同居 2 別居 3 死亡	1 同居 2 別居 3 死亡	1 同居 2 別居 3 死亡

【5人以上の場合は、余白に記入する。】

(全員に)

問 43-1 前回の調査時点 (2013 年 2~3 月) では、あなた自身のお父様とお母様について、 **★事前転記★**

PPALW2_W3	お父様	1	ご健在	2	お亡くなりになっている	3	回答なし
MMALW2_W3	お母様	1	ご健在	2	お亡くなりになっている	3	回答なし

と回答されていました。(両者ともすでに死亡の場合は、確認だけして問 43-1 の「3」に○をして、このページ下部の調査員確認設問 C へ)

あなた自身のお父様とお母様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。

【二世帯住宅などの判断は回答者に任せるが、迷うときには「台所が同じ場合を同居とお考えください」と答える。】

問 43-2 お父様、お母様は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

問 43-3 お父様とお母様は、現在、一緒に暮らしていますか。

	問 43-1 回答者との同別居・死亡	問 43-2 仕事の有無 【死亡の場合聞かない】	問 43-3 父母の同別居 【一方でも死亡の場合聞かない】
父親	PPLVTG_W3 1 同居 2 別居 3 死亡	PPJOB_W3 1 している 2 していない	PMLVTG_W3 1 同居 2 別居 (離婚した) 3 別居 (その他の理由)
母親	MMLVTG_W3 1 同居 2 別居 3 死亡	MMJOB_W3 1 している 2 していない	

問 44 前回の調査時点 (2013 年 2~3 月) では、お父様やお母様とあなたとの同居状況について **★事前転記★**

PMLVTGW2_W3 1 同居 2 別居 3 回答なし

と回答されていました。

その後、お父様やお母様と一緒に暮らしていたのはいつからいつまでですか。一度別居してからまた同居した場合も含めて、同居していた時期をすべて教えてください。

【3回以上ある場合には、余白に記入する。離婚や死亡で、片方の親とだけ同居していた場合も含める。】

PTLVTG_W3

1 同居期間あり

2 同居期間なし

下の調査員確認設問 C へ

	開始年月	終了年月
PLV**_W3	PLV01W2_W3	PLV**ONG_W3
1 回目	1 前回調査時 (2013 年 2~3 月) から 2 20 [] 年 [] 月 から PLV**STY_W3 PLV**STM_W3	1 20 [] 年 [] 月 まで PLV**ENY_W3 PLV**ENM_W3 2 現在まで
2 回目	20 [] 年 [] 月 から	1 20 [] 年 [] 月 まで 2 現在まで

CONFQC_W3

調査員確認設問 C (20 ページ問 25-1、問 26-1 の回答結果より判断)

1 20 ページの問 25-1 で「1」~「4」と回答

2 20 ページの問 26-1 で「1」と回答

3 20 ページの問 26-1 で「2」と回答

次ページ問 45 へ

次ページ問 46 へ

(前回の調査以降、結婚期間がある人全員に)

問 45 前回の調査時点 (2013 年 2~3 月) では、配偶者のお父様とお母様との同居状況について **★事前転記★**

LLVW2_W3 1 同居 2 別居 3 前回の調査時点では配偶者はいなかった 4 回答なし

と回答されていました。

その後、配偶者のお父様やお母様と一緒に暮らしていたことはありますか。あればその時期をすべてお答えください。

【前回の調査から離死別や再婚した場合、どの配偶者の親かは問わない。

3回以上ある場合には、余白に記入する。離婚や死亡で、片方の親とだけ同居していた場合も含める。】

LLVTGL_W3

1 同居期間あり

2 同居期間なし

	開始年月	終了年月
LLV**_W3	LLV01W2_W3	PLV**ONG_W3
1 回目	1 前回調査時 (2013 年 2~3 月) から 2 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 から LLV**STY_W3 LLV**STM_W3	1 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 まで LLV**ENY_W3 LLV**ENM_W3 2 現在まで
2 回目	20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 から	1 20 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 まで 2 現在まで

(全員に)

問 46 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

SZFFONLY_W3 **SZFF TTL_W3**
同居者 人 + 本人 (1 人) = 合計 人

(現在一人暮らしの人は次ページ問 48 へ)

問 47 【回答票 45】先ほどからのお尋ねと重なる部分もありますが、現在、あなたと一緒に暮らしている方をこの中からすべて選んでください。

【上の問と人数が同じになることを確認する。】

- COFMRSP_W3** ① (ア) あなたご自身
- COFMSS_W3** 2 (イ) 配偶者
- COFMCC_W3** 3 (ウ) あなたの子ども (人) **COFMNCC_W3**
- COFMCSS_W3** 4 (エ) 子どもの配偶者 (人) **COFMNCSS_W3**
- COFMGCC_W3** 5 (オ) 孫 (人) **COFMNGCC_W3**
- COFMPP_W3** 6 (カ) あなたの父親
- COFMMM_W3** 7 (キ) あなたの母親
- COFMPPL_W3** 8 (ク) 配偶者の父親
- COFMML_W3** 9 (ケ) 配偶者の母親
- COFMGP_W3** 10 (コ) あなたの祖父
- COFMGM_W3** 11 (サ) あなたの祖母
- COFMGPL_W3** 12 (シ) 配偶者の祖父
- COFMGML_W3** 13 (ス) 配偶者の祖母
- COFMSB_W3** 14 (セ) あなたの兄弟姉妹 (人) **COFMNSB_W3**
- COFMSBL_W3** 15 (ソ) 配偶者の兄弟姉妹 (人) **COFMNSBL_W3**
- COFMOT_W3** 16 (タ) その他 () (人) **COFMNOT_W3**

(全員に)

問 48 [回答票 45] あなたの家の世帯主はどなたですか。現在一時的に別居している人も含め、戸籍にかかわらず、あなた自身が世帯主だと思っている人を、この中から1人だけ選んでください。

FFHEAD_W3

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 (ア) あなたご自身 | 9 (ケ) 配偶者の母親 |
| 2 (イ) 配偶者 | 10 (コ) あなたの祖父 |
| 3 (ウ) あなたの子ども | 11 (サ) あなたの祖母 |
| 4 (エ) 子どもの配偶者 | 12 (シ) 配偶者の祖父 |
| 5 (オ) 孫 | 13 (ス) 配偶者の祖母 |
| 6 (カ) あなたの父親 | 14 (セ) あなたの兄弟姉妹 |
| 7 (キ) あなたの母親 | 15 (ソ) 配偶者の兄弟姉妹 |
| 8 (ク) 配偶者の父親 | 16 (タ) その他 () |

問 49 [回答票 46] かりに現在の日本の社会全体を、次のような10段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入ると
 思いますか。

OP10LVL_W3

- 一番上 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 一番下

問 50-1 [回答票 47] 昨年1年間のあなたの家の世帯収入は、この中のどれにあたりますか。税金を差し引く前の収入でお答え
 ください。仕事からの収入だけでなく、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

問 50-2 [回答票 47] そのうち、あなたご自身の収入はどのくらいですか。仕事以外からの収入も含めてください。

問 50-3 (現在、配偶者がいる方にのみ質問) [回答票 47] 配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も
 含めてください。

	SZHSINCM_W3 問 50-1 世帯全体 ↓	SZINCOMA_W3 問 50-2 本人 ↓	SSSZINCA_W3 問 50-3 配偶者 ↓
なし	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)
70万円未満	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)
70～100万円未満	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)
100～130万円未満	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)
130～150万円未満	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)
150～250万円未満	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)
250～350万円未満	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)
350～450万円未満	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)
450～550万円未満	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)
550～650万円未満	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)
650～750万円未満	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)
750～850万円未満	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)
850～1,000万円未満	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)
1,000～1,200万円未満	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)
1,200～1,400万円未満	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)
1,400～1,600万円未満	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)
1,600～1,850万円未満	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)
1,850～2,300万円未満	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)
2,300万円以上	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)
回答したくない	20	20	20
わからない	21	21	21

問 51 [回答票 48] あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

OWNHOUSE_W3

- 1 (ア) 持ち家 (親などが持ち主の場合も含む)
- 2 (イ) 民間の賃貸住宅
- 3 (ウ) 社宅・公務員住宅等の給与住宅
- 4 (エ) 公社・公団等の公営の賃貸住宅
- 5 (オ) その他 (具体的に)

問 52 あなたの現在のお住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。

TPHOUSE_W3

- 1 一戸建て
- 2 集合住宅 (アパート・マンションなど)

問 53 [回答票 49] あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

XLIVEYR_W3

- 1 (ア) 生まれてからずっと
- 2 (イ) 1年未満
- 3 (ウ) 1年～3年未満
- 4 (エ) 3年～5年未満
- 5 (オ) 5年～10年未満
- 6 (カ) 10年～20年未満
- 7 (キ) 20年～30年未満
- 8 (ク) 30年以上

問 54 [回答票 50] あなたの生年月を確認させてください。昭和でお答えください。

昭和 年 月

これで終わりです。長時間のご協力、誠にありがとうございました。

調査員確認設問 D

回答者の性別

SEXA

- 1 男性
- 2 女性

〔調査員記入〕

F1 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

COOP_W3

- | | | | |
|--------|-------------|---------------|---------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| とても協力的 | どちらかといえば協力的 | それほど協力的ではなかった | まったく協力的ではなかった |

F2 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

USTAND_W3

- | | | | |
|-------|------------|---------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 非常に良い | どちらかといえば良い | あまり良くない | まったく良くない |

F3 質問内容が不明瞭（回答者が理解していない）と思われる質問はどれでしたか。

(できるだけ詳しく具体的に。)

F4 その他（どんなことでも結構ですから、気づいた点をご記入ください。）

(謝礼や回答者の反応など、できるだけ詳しく具体的に。)

F5 回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

AREA_W3

- 1 工場の多い地域
- 2 商店・事業所の多い地域
- 3 主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）
- 4 主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）
- 5 農山漁村
- 6 その他（具体的に _____）

F6 この面接調査票の調査時刻、所要時間を必ず記録して下さい

【所要時間は、インタビューの時間であり、調査依頼のための説明時間は含まない。】

DURATION_W3

この面接調査票の調査時刻		所要時間
(開始) _____時_____分頃	(終了) _____時_____分頃	およそ_____分

III.2 面接調査票 回答票 (サンプル)

面接調査では、ほとんどの設問において調査対象者に下記のような回答票を示して、該当する番号を答えてもらっている。下記は実際に使用した回答票を縮小したものである。

問 1-2

〔回答票 2〕

(ア) 仕事をもっているが、
病気、休暇などで先週は仕事を休んだ

(イ) 仕事をもっているが、
先週は仕事がなかった

(ウ) 仕事をもっていない

問 9

〔回答票 8〕

(ア) 1 人
(イ) 2～4人
(ウ) 5～9人
(エ) 10～29人
(オ) 30～99人
(カ) 100～299人
(キ) 300～499人
(ク) 500～999人
(ケ) 1,000～1,999人
(コ) 2,000～9,999人
(サ) 1万人以上
(シ) 官公庁

問 20

〔回答票 2 1〕

同じ勤め先の中で……

働き方	(ア) 経営者・役員 (イ) 常時雇用の一般従業者 (ウ) 臨時雇用 (パート・アルバイト・内職) (エ) 派遣社員 (オ) 契約社員・嘱託社員 (カ) 自営業主・自由業者 (キ) 家族従業者
役職	(ア) 役職なし (イ) 職長・班長・組長など (ウ) 係長 (係長相当) (エ) 課長 (課長相当) (オ) 部長 (部長相当) (カ) その他の役職 (具体的に)
仕事内容	(具体的に、あなたがしている仕事)

……が変わりましたか?

問 49

〔回答票 4 6〕

一番上	1
↑	2
↑	3
↑	4
↑	5
↑	6
↑	7
↑	8
↑	9
↑	10
↓	
一番下	

〔回答票 27〕

教育関係

- 1 小学校教諭免許
2 中学校教諭免許
3 高等学校教諭免許
4 幼稚園教諭免許
5 学芸員・学芸員補
6 司書・司書補

医療・保健・社会福祉関係

- 7 医師
8 歯科医師
9 薬剤師
10 歯科衛生士
11 理学療法士
12 診療放射線技師
13 看護師
14 准看護師
15 助産師
16 保健師
17 保育士
18 社会福祉士
19 社会福祉主事
20 介護支援専門員（ケアマネジャー）
21 介護福祉士
22 訪問介護員（ホームヘルパー）2級

食品・衛生・農畜産関係

- 23 栄養士
24 管理栄養士
25 調理師
26 理容師
27 美容師

運輸・通信関係

- 28 第1種普通自動車運転免許（普通免許）
29 第1種大型自動車運転免許（大型免許）
30 第1種大型特殊自動車運転免許（大型特殊免許）
31 第1種自動二輪免許（大型二輪免許、普通二輪免許）
32 第2種（大型、普通）運転免許
33 自動車整備士2級
34 自動車整備士3級
35 運行管理者
36 国内旅行業務取扱主任者試験

経理・事務・労務関係

- 37 公認会計士
38 税理士
39 社会保険労務士
40 生命保険一般課程試験（生命保険募集人）
41 損害保険募集人
42 証券外務員
43 ファイナンシャルプランナー
44 医療事務技能者
45 秘書技能検定
48 日商簿記検定1級
47 日商簿記検定2級
48 日商珠算能力検定

コンピュータ・情報処理関係

- 49 情報処理技術者
50 初級システムアドミニストレータ試験（AD）
51 ソフトウェア開発技術者試験（SW）
52 基本情報技術者試験（FE）
53 ワープロ検定
54 ワード文書処理技能認定試験

- 55 エクセル表計算処理技能認定試験
56 マイクロソフト・オフィス・ユーザ・スペシャリスト（MOUS）
57 パソコン検定（P検）

工業・技術・労働安全衛生関係

- 58 衛生管理者
59 電気工事士
60 危険物取扱者
61 ガス溶接技能者
62 技能士（技能検定試験）
63 ボイラー技士
64 クレーン運転士
65 小型移動式クレーン運転技能講習
66 フォークリフト運転者
67 車両系建設機械運転技能者
68 玉掛技能講習
69 高所作業車運転技能者

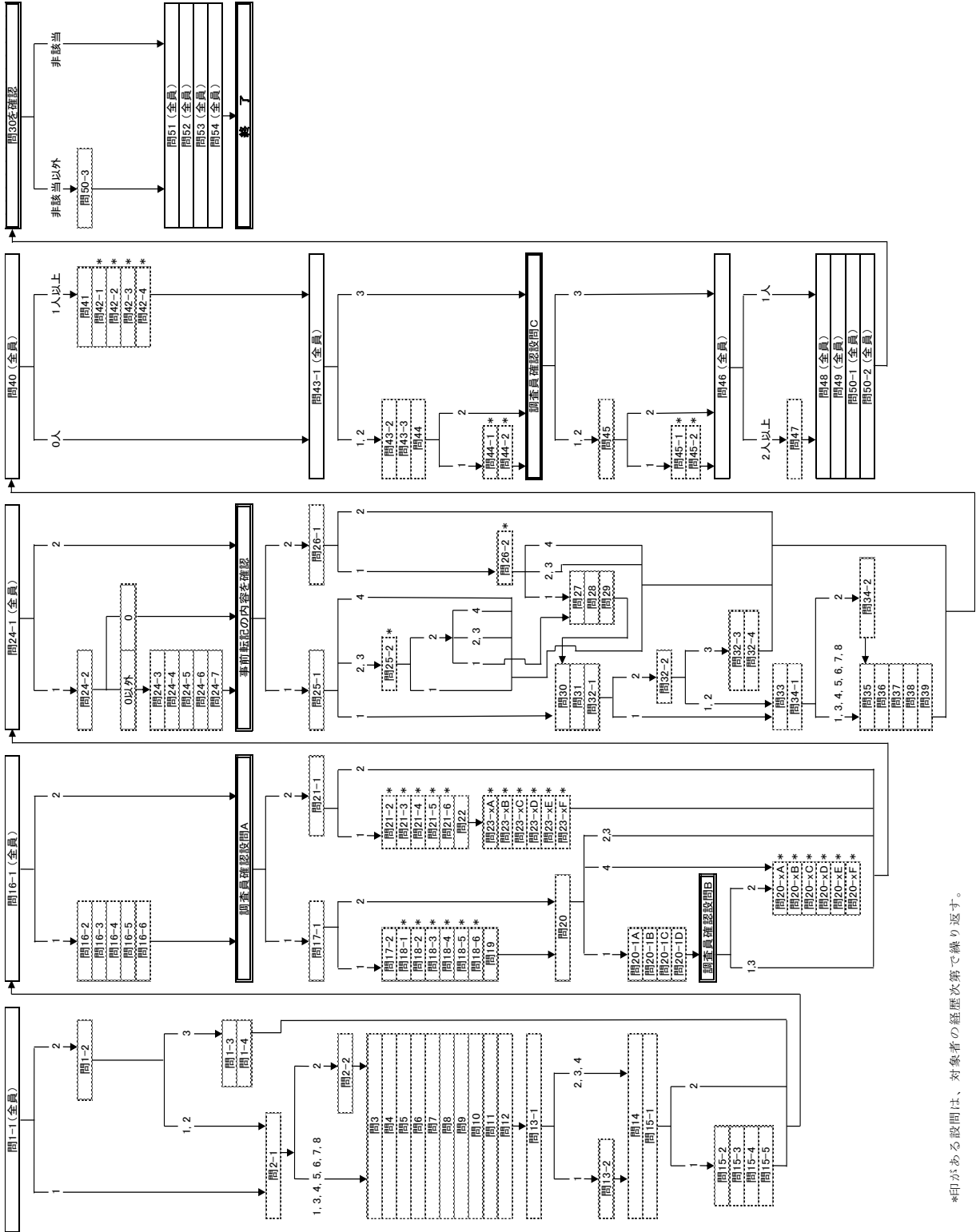
土木・建築・不動産関係

- 70 1級建築士
71 2級建築士
72 測量士・測量士補
73 土木施工管理技士
74 宅地建物取引主任者

語学・スポーツ・生活・教養関係

- 75 実用英語技能検定（1級）
76 実用英語技能検定（準1級、2級、準2級）
77 TOEIC（860点以上）
78 TOEIC（730点以上）
79 各種スポーツ指導員
80 毛筆書写検定、硬筆書写検定

Ⅲ.3 面接調査票フローチャート



*印がある設問は、対象者の経歴次第で繰り返す。



文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

2019年2月
〔留置調査票〕

「働き方と暮らしについての調査 2019年継続調査」

(調査企画) 大阪商業大学 JGSS 研究センター
京都大学 大学院教育学研究科 教育社会学講座
(調査実施) 一般社団法人 中央調査社

最初に、あなたの日常的な生活について、おうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV_W3

--	--

時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ_W3

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたはパソコンに関して、以下のことができますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|---|-------------------|
| COMABPRG_W3 | 1 | コンピュータプログラムが作れる |
| COMABSET_W3 | 2 | 新しいパソコンを設定できる |
| COMABINS_W3 | 3 | ソフトウェアのインストールができる |
| COMABGR_W3 | 4 | 簡単な表やグラフを作成できる |
| COMABDOC_W3 | 5 | 簡単な文書を作成できる |
| COMABNO_W3 | 6 | いずれもできない |

Q4 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ(ウォーキング、水泳、野球など)を行なっていますか。

FQSPORT_W3

1	2	3	4	5
週に数回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんどしない

Q5 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行(仕事以外)をしますか。

FQ5TRIP_W3

1	2	3	4	5
月に数回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくしない

Q6 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

- | | | ほぼ
毎日 | 週に
数回 | 週に
1回程度 | 月に
1回程度 | 年に
数回 | 年に
1回程度 | まったく
していない |
|--------------------|---------------------|----------|----------|------------|------------|----------|------------|---------------|
| FQ7FFDNR_W3 | A 家族と一緒に夕食 -----> | 1..... | 2..... | 3..... | 4..... | 5..... | 6..... | 7 |
| FQ7FRSEE_W3 | B 友人との会食や集まり -----> | 1..... | 2..... | 3..... | 4..... | 5..... | 6..... | 7 |
| FQ7CKDNR_W3 | C 夕食の用意 -----> | 1..... | 2..... | 3..... | 4..... | 5..... | 6..... | 7 |
| FQ7WASH_W3 | D 洗濯 -----> | 1..... | 2..... | 3..... | 4..... | 5..... | 6..... | 7 |
| FQ7SHOP_W3 | E 買い物(日用品や食料品の買い物) | 1..... | 2..... | 3..... | 4..... | 5..... | 6..... | 7 |
| FQ7CLEAN_W3 | F 家の掃除 -----> | 1..... | 2..... | 3..... | 4..... | 5..... | 6..... | 7 |
| FQ7GARB_W3 | G ゴミ出し -----> | 1..... | 2..... | 3..... | 4..... | 5..... | 6..... | 7 |

Q7 あなたは、以下のことをどのくらい行ないますか。

		週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	まったく していない
FQ6DRIVE_W3	A ドライブに行く ----->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6
FQ6KARA_W3	B カラオケをする ----->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6
FQ6MSUM_W3	C 美術館・博物館に行く ----->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6
FQ6CLSS_W3	D クラシックコンサートなどに行く	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6
FQ6MOVIE_W3	E 映画を見る(ビデオ・DVDを含む)	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6
FQ6GAME_W3	F テレビゲームをする (PCゲーム・携帯用を含む) --->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6
FQ6MAJON_W3	G マージャンをする ----->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6
FQ6PACHI_W3	H パチンコ・パチスロをする -->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6
FQ6LOTTO_W3	I 宝くじを買う ----->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6
FQ6GREEN_W3	J ガーデニング(庭いじり)をする	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6

Q8-1 家族や親類以外で、あなたには親しい友人が何人くらいいますか。

NUMFRND_W3

1	2	3	4	5	6
0 人	1~2 人	3~4 人	5~9 人	10~19 人	20 人以上
FRND_W3 友人の有無					

Q8-2 これらの友人のうち、以下にあてはまる人はどの程度いますか。

		全員	何人か	まったくいない
FRNDSEX_W3	A あなたと同性の人 ----->	1.....	2.....	3
FRNDGEN_W3	B あなたと同世代の人 ----->	1.....	2.....	3
FRNDEDU_W3	C あなたと学歴が同じくらいの人 -->	1.....	2.....	3
FRNDINC_W3	D あなたと収入が同じくらいの人 -->	1.....	2.....	3
FRNDFRGN_W3	E 外国人 ----->	1.....	2.....	3

ここからは、あなたの心身の健康について、おうかがいします。

Q9 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ_W3

1	2	3	4	5
良い				悪い
←----->				

Q10 あなたは、普段お酒を飲みますか。

DO7DRINK_W3

1	2	3	4	5	6	7
ほとんど 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	まったく 飲まない

Q11-1 あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。

DOSMOKEX_W3

- | | | |
|---------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| <p>1
現在
吸っている</p> | <p>2
以前は吸って
いたがやめた</p> | <p>3
ほとんど／まったく
吸ったことはない</p> |
|---------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|

Q11-2 禁煙しようと努力したことがありますか。

XQTSMOKE_W3 1 はい 2 いいえ

Q12 この1ヶ月のあなたの気分や心理的な状況についてお聞きします。回答例のように、以下のそれぞれの項目について、もっともあてはまる番号（1～5）を1つ選んでください。

いつも
 そうである ←————→ まったく
 そうでない

(回答例)		1	2	3	4	5
MENHLNRV_W3	A かなり神経質であったこと	1	2	3	4	5
MENHLCLM_W3	B 落ち着いていて、おだやかな気分であったこと	1	2	3	4	5
MENHLDP_W3	C 落ち込んで、ゆううつな気分であったこと	1	2	3	4	5
MENHLPLS_W3	D 楽しい気分であったこと	1	2	3	4	5
MENHLDWN_W3	E どうにもならないくらい気分が落ち込んでいたこと	1	2	3	4	5

Q13 過去1ヶ月に以下のような症状はありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| SYMPHEAD_W3 1 頭痛 | SYMPSTMC_W3 8 胃痛 |
| SYMPVERT_W3 2 めまい | SYMPBACK_W3 9 腰痛 |
| SYMPPALP_W3 3 動悸 | SYMPEYES_W3 10 目の疲れ |
| SYMPDIAR_W3 4 下痢 | SYMPSTIF_W3 11 肩こり |
| SYMPCNST_W3 5 便秘 | SYMPSLPD_W3 12 寝つきの悪さ |
| SYMPANRX_W3 6 食欲不振 | SYMPSLP_W3 13 睡眠不足 |
| SYMPABDN_W3 7 腹痛 | SYMPOTHR_W3 14 その他（具体的に) |
| | SYMPNONE_W3 15 いずれの症状もない |

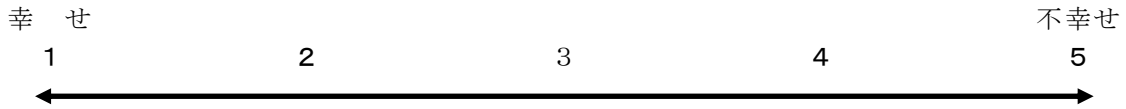
Q14 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。

満 足 ←————→ 不 満

ST5AREAY_W3	A 住んでいる地域	1	2	3	4	5		
ST5LEISY_W3	B 余暇の過ごし方	1	2	3	4	5		
ST5LIFEY_W3	C 家庭生活	1	2	3	4	5		
ST5ECNY_W3	D 現在の家計状態	1	2	3	4	5		
ST5FRIY_W3	E 友人関係	1	2	3	4	5		
ST5HLTHY_W3	F 健康状態	1	2	3	4	5		
ST5SSREL_W3	G 配偶者（夫や妻）との関係	1	2	3	4	5	6	配偶者はいない

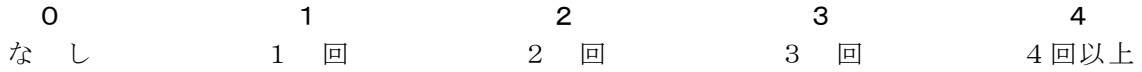
Q15 あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ_W3



Q16 過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと（例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死）を何回経験しましたか。

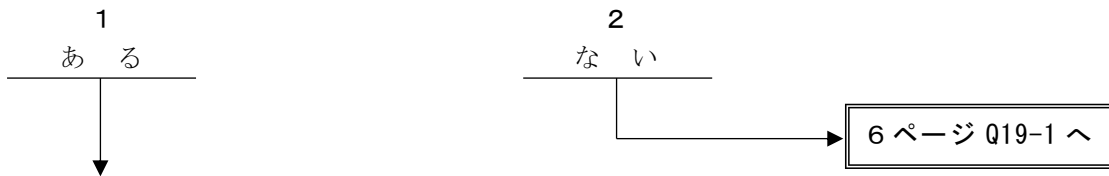
XTRAUM5Y_W3



ここからはあなたの仕事に関することについておうかがいします。

Q17 学生時代のアルバイトを除いて、あなたは、これまでに収入をとまなう仕事についてありますか。

XWORKL_W3



Q18 あなたの今の職場には、次のことがどの程度あてはまりますか。現在働いていない方は、もっとも最近の職場について、お答えください。

			どちらかといえば	どちらかといえば
		あてはまる	あてはまる	あてはまらない
CNDFLX_W3	A 勤務時間を柔軟に決められる ----->	1	2	3
CNDSMPR_W3	B 仕事の手順を自分で決められる ----->	1	2	3
CNDSMAMT_W3	C 仕事の量を自分で決められる ----->	1	2	3
CNDSMHDY_W3	D 休日や休暇を自分で決められる ----->	1	2	3
CNDJNT_W3	E 自分の仕事の分担をこなさないと、同僚の負担が増える→	1	2	3
CNDUNRST_W3	F 上下関係に関係なく、自由に話し合える ----->	1	2	3
CNDINS_W3	G 考え方や方針を十分に説明してくれる上司がいる →	1	2	3
CNDSPT_W3	H 指導や助言をしてくれるベテランがいる ----->	1	2	3
CNDKNLG_W3	I 学校で学んだ知識や技術を活かせる ----->	1	2	3
CNDTRN_W3	J 教育や研修が効果的に実施されている ----->	1	2	3
CNDREP_W3	K 自分の仕事は、同じことを繰り返している感じがする →	1	2	3
CNDABL_W3	L 自分の能力を活かしている ----->	1	2	3
CNDEFT_W3	M 努力しただけで昇進できる ----->	1	2	3
CNDACMP_W3	N 自分がどれだけ成果を上げたかで、収入が変わる →	1	2	3
CNDWRTH_W3	O お金のためというより、仕事が楽しいから働いている→	1	2	3
CNDBLC_W3	P 仕事と生活の時間配分のバランスが取れている --->	1	2	3

働いている方にも、働いていない方にも、全員におうかがいします。

Q19-1 以下の項目のなかで、前回の調査（2013年2～3月）以降この6年間で、あなたの能力や知識が向上したと思うものの番号すべてに○をつけてください。

Q19-2 以下の項目のなかで、今後身につけたい、あるいは現在の能力を高めたいと思うものの番号すべてに○をつけてください。

Q19-1
この6年間に、
向上したと
思うもの
すべてに○
↓

Q19-2
今後
身につけたい、
高めたいもの
すべてに○
↓

パソコンで文書を作成する能力	SKAPDOC_W3	1	SKWTDOC_W3	1
英語で会話や読み書きをする力	SKAPENG_W3	2	SKWTENG_W3	2
上司や同僚との協調性	SKAPCOOP_W3	3	SKWTCOOP_W3	3
指示がなくても、仕事を進める力	SKAPINTV_W3	4	SKWTINTV_W3	4
いろいろな業務をこなす能力	SKAPVERS_W3	5	SKWTVERS_W3	5
チームを引っばる統率力	SKAPLEAD_W3	6	SKWTLEAD_W3	6
正しいマナーで対応する能力	SKAPMNR_W3	7	SKWTMNR_W3	7
相手の要望を的確に理解する能力	SKAPRCPT_W3	8	SKWTRCPT_W3	8
相手にわかりやすく話す能力	SKAPCHRC_W3	9	SKWTCHRC_W3	9
社会情勢についての知識	SKAPSOC_W3	10	SKWTSOC_W3	10
法律の知識	SKAPLAW_W3	11	SKWTLAW_W3	11
労働者の権利や義務についての知識	SKAPRGHT_W3	12	SKWTRGHT_W3	12
あてはまるものはこの中に入らない	SKAPNO_W3	13	SKWTNO_W3	13
過去6年間、働いたことはない	SKAPNW_W3	14		

Q20 あなたは以下のことをする時間を増やしたいですか、減らしたいですか。

		少し 増やしたい	増やしたい	今のままで よい	減らしたい	少し 減らしたい
TMALWK_W3	A 仕事をする時間	---->	1	2	3	4
TMALHBY_W3	B 趣味に費やす時間	-->	1	2	3	4
TMALFAM_W3	C 家族と過ごす時間	-->	1	2	3	4
TMALHW_W3	D 家事をする時間	---->	1	2	3	4

ここからは家庭についてのあなたのお考えをうかがいます。

Q21-1 現在、あなたには配偶者(夫や妻)がいますか。内縁や同棲中の相手も配偶者とみなしてください。

DOMARRYL_W3

1 現在、配偶者がいる

2 配偶者はいない

Q21-2 次のA~Fの項目は、あなたにどれくらいあてはまりますか。

		とても あてはまる	ある程度 あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
UNMRTM_W3	A 今は結婚のタイミングをつかめない→	1	2	3	4
UNMRWK_W3	B 今は仕事に達成感や楽しさを感じている	1	2	3	4
UNMRHB_W3	C 今は自分の趣味を楽しみたい-----→	1	2	3	4
UNMRNPRT_W3	D 理想にあう相手が現れない-----→	1	2	3	4
UNMRNOP_W3	E 出会うチャンスがない-----→	1	2	3	4
UNMRMRRD_W3	F 好きになる人は、すでに結婚している	1	2	3	4

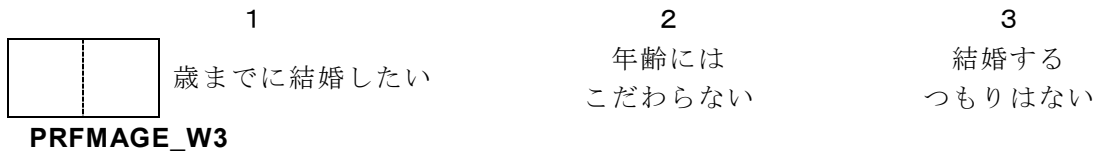
Q21-3 あなたは現在、親密に交際している方がいますか。

INTPTN_W3

- 1 婚約者がいる
- 2 恋人がいる
- 3 過去にはいたが、現在は交際相手がいない
- 4 交際したことはない

Q21-4 あなたは何歳までに結婚をしたいと考えていますか。

MARINT_W3



PRFMAGE_W3

8 ページ Q26-1 へ

Q22 次のことは、主にあなたと配偶者のどちらが決めていますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

		どちらか というと 私	どちらか 2人で 一緒に	どちらか というと 配偶者	2人 別々に 配偶者	
DMHIEXPL_W3	A 車や家具などの高価なものの購入	1	2	3	4	5 6
DMINV_W3	B 貯蓄や投資 -----→	1	2	3	4	5 6
DMCED_W3	C 子どものしつけや教育方針 ---→	1	2	3	4	5 6 7 子どもはいない

Q23 あなたの配偶者は、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

		ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	まったく していない
SSFQ7CK_W3	A 夕食の用意 ----->	1	2	3	4	5	6	7
SSFQ7SHP_W3	B 買い物 (日用品や食料品の買い物)	1	2	3	4	5	6	7
SSFQ7GRB_W3	C ゴミ出し ----->	1	2	3	4	5	6	7

Q24 あなたは、配偶者が以下のことをする時間を増やしてほしいですか、減らしてほしいですか。

		増やして ほしい	少し増やして ほしい	今のままで よい	少し減らして ほしい	減らして ほしい
TMALSWK_W3	A 仕事をする時間 ---->	1	2	3	4	5
TMALSHBY_W3	B 趣味に費やす時間 -->	1	2	3	4	5
TMALSFAM_W3	C 家族と過ごす時間 -->	1	2	3	4	5
TMALSHW_W3	D 家事をする時間 ---->	1	2	3	4	5

Q25 あなたの配偶者の現在の健康状態は、いかがですか。

SS5HLTHZ_W3

良	い							悪	い
1		2		3		4		5	

←----->

ここからは結婚している方も、していない方も、全員お答えください。

Q26-1 あなたは、これから子どもがほしいですか。すでにお子さんがいる方は、さらにもう一人ほしいですか。

INTCHLD_W3

1	2	3	4	5
ぜひほしい	ほしい	どちらともいえない	あまりほしくない	ほしくない

Q26-2 その子どもは、いつほしいですか。

PRFTMCLD_W3

1	2	3	4	5
1年以内に	2~3年以内に	4年以上たってから	いつでもよい	現在、妊娠している

Q27 あなたに子どもができたとする、以下の項目は現在と比べて、どう変わるとお考えですか。すでにお子さんがある方は、もう一人増えた場合についてお答えください。

		ずっと良くなる	良くなる	変わらない	悪くなる	ずっと悪くなる
LCHGFIN_W3	A 家計の状態 ----->	1	2	3	4	5
LCHGEMP_W3	B 就職や昇進の機会 -->	1	2	3	4	5
LCHGFRD_W3	C 友人とのつきあい -->	1	2	3	4	5
LCHGSOC_W3	D まわりからの評価 -->	1	2	3	4	5
LCHGPEAC_W3	E 心の安らぎ ----->	1	2	3	4	5
LCHGSAT_W3	F 生活全般の満足度 -->	1	2	3	4	5

Q28 今いるお子さんを含めて、全部で何人の子どもがほしいですか。

PRFCCNUM_W3

0 1 2 3 4 5
0人 1人 2人 3人 4人 5人以上(具体的に 人)

PRFCCNMX_W3

Q29 あなたは、子育てについて悩んでいることがありますか。あてはまることすべてに○をつけてください。お子さんがいない方は番号 **10** に○をつけてください。

- | | | | | | |
|-------------------|---|--------------------|-------------------|----|-----------------|
| ANXCARE_W3 | 1 | 子どもの世話 | ANXLIFE_W3 | 6 | 子どもの生活態度 |
| ANXDSP_W3 | 2 | 子どものしつけ | ANXACAD_W3 | 7 | 子どもの学業成績 |
| ANXCOMM_W3 | 3 | 子どもとのコミュニケーションの取り方 | ANXEDU_W3 | 8 | 子どもの教育費 |
| ANXCIR_W3 | 4 | 地域の子育て環境 | ANXOT_W3 | 9 | その他(具体的に) |
| ANXFRD_W3 | 5 | 子どもの友達関係 | ANXNO_W3 | 10 | 特に悩みはない・子どもはいない |

Q30 子どもの教育に関する次の意見について、あなたはどう思いますか。お子さんのいない方は、ご自分のお子さんがある場合を想像して、お答えください。

- | | | | | | | |
|--------------------|---|--|----------|----------|--------|------|
| | | | どちらかといえば | どちらかといえば | | |
| | | | そう思う | そう思う | そう思わない | 思わない |
| CEDUACAD_W3 | A | 子どもには、自分が受けたのと同じ、あるいはそれ以上の段階の学校まで進んでほしい -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| CEDUEMP_W3 | B | 子どもには、大学に進学するよりも、早く就職してほしい -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| CEDUEXP_W3 | C | 子どもの教育にはできる限りお金をかけたい -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| CEDUGOV_W3 | D | 子育て費用をもっと国や地方自治体が負担してほしい -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |

Q31 次の A~E の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

- | | | | | | | |
|--------------------|---|---|----------|----------|-------|----|
| | | | どちらかといえば | どちらかといえば | | |
| | | | 賛成 | いえば賛成 | いえば反対 | 反対 |
| Q4DIVOK_W3 | A | 結婚しても、相手に満足できないときは、いつでも離婚すればよい -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| Q4MNCOOK_W3 | B | 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| Q4WWHHX_W3 | C | 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| Q4JBMCC_W3 | D | 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによく影響を与える -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| Q4WWHPHH_W3 | E | 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である → | 1 | 2 | 3 | 4 |

Q32 あなたは、悩みや心理的な問題が生じたときに、最初に誰に助けを求めましたか。 1つだけ○をつけてください。 一番最近の出来事を思い出してお答えください。

HLPWRRY_W3

- | | | | |
|---|--------|---|----------------------|
| 1 | 同居家族 | 5 | 友人 |
| 2 | その他の親族 | 6 | 専門職の人(カウンセラー、精神科医など) |
| 3 | 職場の人 | 7 | 誰にも助けを求めなかった |
| 4 | 近所の人 | 8 | そのような問題は経験したことがない |

Q33 あなたのお宅では以下のものを所有していますか。所有しているものすべてに○をつけてください。

CNSDBCAR_W3	1	自家用車	CNSDBDRY_W3	4	衣類乾燥機(洗濯機と一体型も含む)
CNSDBMCY_W3	2	バイク	CNSDBSTK_W3	5	株券・債券
CNSDBFTV_W3	3	大画面の薄型テレビ	CNSDBNO_W3	6	いずれも持っていない

Q34 あなたのお宅では、この1年くらいの間に支出を控えている項目はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

EXRSMEAL_W3	1	食費	EXRSMED_W3	6	医療費
EXRSHOUS_W3	2	住居費	EXRSEDU_W3	7	教育費
EXRSUTL_W3	3	光熱費・ガソリン代	EXRSENT_W3	8	娯楽費
EXRSCPTH_W3	4	衣料費	EXRSOT_W3	9	その他(具体的に)
EXRSCOMM_W3	5	電話代などの通信費	EXRSNO_W3	10	控えているものはない

Q35 あなたがとくにお金をかけたいと思っている項目はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

EXWTFOOD_W3	1	食べる事	EXWTSPRT_W3	9	スポーツ・健康づくり
EXWTHOUS_W3	2	住まい	EXWTSMC_W3	10	スポーツ観戦・映画・コンサートなど
EXWTAPPL_W3	3	家電・AV機器 (冷蔵庫、TV、パソコンなど)	EXWTHK_W3	11	家事代行サービス (育児などを含む)
EXWTCAR_W3	4	自家用車	EXWTEDE_W3	12	子どもの教育費
EXWTFSHN_W3	5	ファッション・美容	EXWTPET_W3	13	ペットに関する費用
EXWTLSSN_W3	6	習い事・資格	EXWTOT_W3	14	その他(具体的に)
EXWTFRD_W3	7	友人との交際	EXWTNO_W3	15	特になし
EXWTTRAV_W3	8	旅行			

ここからは、あなたの暮らし向きについて、おうかがいします。

Q36 あなたは以下のことについて、どう思いますか。ご自身についてお答えください。

強く どちらかと どちらとも どちらかと 強く
賛成 といえば賛成 いない といえば反対 反対

NOFUTR_W3	A	<u>私</u> には将来の希望がもてず、 物事がよい方向に行くとは 考えられない -----> 1.....2.....3.....4.....5
NOGOAL_W3	B	<u>私</u> が目指している目標は 達成できないだろう -----> 1.....2.....3.....4.....5

Q37 この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

OP3ECN3A_W3	1	2	3
	良くなった	悪くなった	変わらない

Q38 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

OP5FFINX_W3

- | | | | | |
|----------------|-------------|------|------------|---------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 平均より
かなり少ない | 平均より
少ない | ほぼ平均 | 平均より
多い | 平均より
かなり多い |

Q39 今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。

AXECNSF_W3

- | | | | | |
|--------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| とても
感じている | ある程度
感じている | どちらとも
いえない | あまり
感じていない | まったく
感じていない |

Q40 昨年一年間で、あなたは、どのくらい貯金しましたか。

SAVELSTY_W3

- | | | | | | | | |
|-----|---------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|-------------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 0 円 | 10 万円未満 | 10 万円以上 30 万円未満 | 30 万円以上 50 万円未満 | 50 万円以上 70 万円未満 | 70 万円以上 100 万円未満 | 100 万円以上 200 万円未満 | 200 万円以上 |

Q41 この4年間に、あなたの家計のうち、次の項目がどのように変化したと思いますか。

- | | | | | | | |
|-------------------|-----------------|-----|-------|-------|-------|-----|
| | | 増えた | 少し増えた | 変わらない | 少し減った | 減った |
| CHGSVNG_W3 | A 貯蓄 -----> | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| CHGDFCT_W3 | B 負債 -----> | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| CHGMONY_W3 | C 自分で自由に使えるお金 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

Q42 あなたは、どの公的年金に加入していますか。

PENPLAN_W3

- 1 国民年金
 - 2 厚生年金・共済年金
 - 3 その他（具体的に ）
 - 4 いずれにも加入していない
 - 5 国民年金／厚生年金・共済年金
 - 6 国民年金／その他
 - 7 厚生年金・共済年金/その他
- 5～7は調査後の追加コード

Q43 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

OP5CHNCA_W3

- | | | | | |
|-------|-------|---------------|-------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 充分にある | 少しはある | どちらとも
いえない | あまりない | まったくない |

Q44 かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると
思いますか。

OP5LEVK_W3

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 上 | 中の上 | 中の中 | 中の下 | 下 |

Q45 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

XX8PLPTY_W3

- 1 自民党 4 共産党 7 社民党 10 その他の政党（)
 2 立憲民主党 5 国民民主党 8 自由党 11 特に支持する政党はない
 3 公明党 6 日本維新の会 9 希望の党 12 わからない

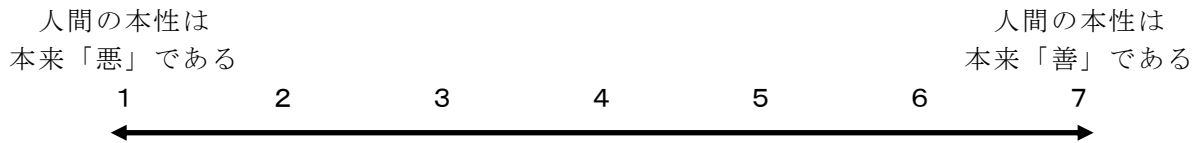
Q46 これからの日本のあるべき姿として、あなたのイメージにもっとも近いのはどれですか。

JPSOCST_W3

- | | | | |
|--------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| アメリカのような競争と
効率を重視した社会 | 北欧のような税は高率だ
が福祉を重視した社会 | かつての日本のような
終身雇用を重視した社会 | その他
(具体的に) |

Q47 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号（1～7）を1つ選んでください。

OP7GDEVO_W3



Q48 あなた自身についてお答えください。次のA～Kの項目は、あなたにどれくらいあてはまりますか。

- | | | どちらかといえば
あてはまる | どちらかといえば
あてはまる | どちらかといえば
あてはまらない | どちらかといえば
あてはまらない |
|---------------------|------------------------------------|-------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| SEVPOS_W3 | A あらゆることにプラス思考で挑戦する | ----> 1 | 2 | 3 | 4 |
| SEVCHCY_W3 | B 自分の考えを他人にはっきり説明できる | → 1 | 2 | 3 | 4 |
| SEVORIG_W3 | C 他人とは違う「自分流」のものを持っている | → 1 | 2 | 3 | 4 |
| SEVDPND_W3 | D 友人に頼りにされている | -----> 1 | 2 | 3 | 4 |
| SEVCNSV_W3 | E 考え方が保守的である | -----> 1 | 2 | 3 | 4 |
| SEVRSPCT_W3 | F できるだけ尊敬される地位につきたい | → 1 | 2 | 3 | 4 |
| SEVHISLR_W3 | G できるだけ高い収入を得たい | -----> 1 | 2 | 3 | 4 |
| SEVSCS_W3 | H ある程度はつらい思いをしなないと
成長できないと思っている | -----> 1 | 2 | 3 | 4 |
| SEVINSGH_W3 | I 物事の本質を見抜くほうだ | -----> 1 | 2 | 3 | 4 |
| SEVLGVIEW_W3 | J 長期的な視野で物事を考えるほうだ | ----> 1 | 2 | 3 | 4 |
| SEVCHLNG_W3 | K リスクがあっても挑戦するほうだ | ----> 1 | 2 | 3 | 4 |

Q49 あなたは以下のことがどのくらいできますか。A～Cのそれぞれについて、お答えください。

- | | | 非常によく
できる | よく
できる | 少しは
できる | あまり
できない | ほとんど/まったく
できない |
|------------------|----------------|--------------|-----------|------------|-------------|-------------------|
| EANWP_W3 | A 英字新聞の短い記事を読む | ----> 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| EACHTT_W3 | B 英語でおしゃべりする | -----> 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| EALTTR_W3 | C 英語で手紙を書く | -----> 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

長時間のご協力、誠にありがとうございました。担当の調査員にお渡しください。



第0944号

「働き方と暮らしについての調査 2019年継続調査」

〔 調査要領 〕

2019年2月 一般社団法人 中央調査社

1. この調査の特徴

この調査は、大阪商業大学 JGSS 研究センターが実施している「生活と意識についての国際比較調査」(略称 JGSS) の姉妹調査で、2009年2～3月に実施した「働き方と暮らしについての調査」の3回目の継続調査であり、2回目の継続調査(2013年2～3月)からは6年ぶりの調査となる。今回調査の対象者は、前回2回目調査の完了対象者(2012年12月31日時点で満32歳～46歳の約720人)のうち、今後の継続調査への協力を同意してくれた約650人(2018年12月31日時点で満38歳～52歳)となる。前回調査と同様、近年非常に多様化が進んでいる職業の履歴や生活意識について調査し、広く現代日本の社会構造や意識構造を解明することを目的とした学術調査である。

なお、今回の継続調査では、調査主体が大阪商業大学 JGSS 研究センターと京都大学 大学院教育学研究科 教育社会学講座の二者になっているので注意すること。

また、この調査は、以下の点が他の調査と異なるので、本要領を熟読の上、調査にのぞむこと。

- ・ 1人の対象者が2つの調査法による調査(面接調査と留置調査)に回答する。両方を完了しなければならない。
- ・ 面接調査は、各対象者の前回調査の回答データの一部を参照しながら調査をすすめる。働き方や家族構成について、前回調査から今回調査までの6年間の空白部分の変化を埋めていくような質問構成となっている。
- ・ 留置調査票は、すでに対象者へ郵送している。対象者本人から面接調査を完了した際に、記入済の留置調査票を回収できるのが望ましいが、場合によっては郵送返送を依頼することも可。
- ・ 対象者への調査謝礼はクオカード1000円分となっているが、500円カードを2枚に分けている。留置調査票の回収状況により、1枚渡すか2枚渡すかが異なってくる。
- ・ 地点にもよるが、多くの調査地点の対象者数が1～2名となっているので、効率的に調査地点を回ることを心がけ、汎用の「不在メモ」を有効活用すること。

2. 調査の日程

調査期間 2月27日(水)～4月14日(日)

※対象者からの早めの留置調査票回収要請があった場合は、早めてスタートしてよい。

* 1月上旬 6年ぶりに調査を実施することを封書にて事前告知済
(その際の挨拶状は8ページ参照)

* 2月20日(水)頃 留置調査票を事前郵送済
(その際に同封した挨拶状は9ページ参照)

3. 調査関係の書類・物品一覧の確認

調査要領	この冊子
対象者名簿	
面接調査票（ページ）	<u>使用する調査票があらかじめ対象者ごとに決められている。取り違えに注意。</u> <u>各調査票には、前回の回答内容が含まれているので、取り扱いには十分注意（完了調査票のように厳重に管理）する。</u> 1～2ページに訪問記録や欠票理由などを記入するので、破棄してよい調査票はない（必ず提出）。
回答票	面接調査で使用
補助用紙（緑色&桃色）	面接調査で必要があれば使用
留置調査票（青色）	対象者が紛失したなどの場合の予備として使用
留置調査票返送用封筒（切手不要）	留置調査票を回収できない場合に使用
持参用挨拶状	訪問時に説明のために持参
500円相当クオカード（対象者数の2倍の枚数）	<u>面接調査が完了かつ留置調査票が回収できた場合に対象者に2枚手渡すが、留置調査票を郵送返送依頼とした場合は、1枚のみ手渡す。</u>
調査員記入票	精算のための情報を記入
調査員証明書	訪問時には必ず首から下げておく
訪問確認カード	

4. 調査に際しての一般的注意事項

- 挨拶状などの調査書類上では調査主体（委託元）を明記してあるが、調査実施上の責任は全て中央調査社にあることを十分念頭に置くこと。
- 対象者のプライバシー保護には、細心の注意が必要である。特に、対象者名簿については、紛失・置き忘れはもちろんのこと、他人の目に触れないように気をつける。また、誤って記入済みの調査票を他の対象者に手渡したりしないように注意する。
- 対象者は、どんなことがあっても変えてはならない。名前、年齢などを聞いて、本人であることを必ず確認すること。
- 訪問の際は調査員証を必ず提示する。
- 急病など、やむを得ない理由で提出期限に間に合わなかったり、調査続行が不可能な場合には、ただちに担当者に連絡する。

5. 訪問前の手続き

対象者の家を訪問する前に以下のことをすべて済ませておく。

- 調査要領・留置調査票・対象者名簿の確認
調査要領を熟読し、頭に入れておく。また、留置調査票の内容を確認する。
- 面接調査票の下準備及び内容の確認
面接調査票の表紙には対象者の支局-地点-対象番号とパネル番号を記したラベルが、最終ページには各対象者の前回調査の回答データを記したラベルが貼付されている。
調査票7、8、10、20、24、26、27ページの所定箇所に、最終ページのラベル情報を必ず事前に転記しておくこと（8ページ、10ページの転記は不要の場合もあり）。また、本要領4ページに面接調査票の質問構成表を掲載しているので、調査票の流れをよく頭に入れておくこと。

6. 訪問時の手続き

対象者の家を訪問する際には、以下の点に注意する。

a) 訪問日時 of 記録

訪問をした際には、そのつど面接調査票の表紙に記録をとる。

b) 訪問日数について

対象数が1～2名の調査地点の訪問日数は、「**3日程度**」をめどとする。3名以上の調査地点については、「**4～5日程度**」をめどとする。対象者が38～52歳であることを考慮し、訪問曜日や時間を工夫する。同じ日に時間を変えて数回訪問してもよい。

この調査では、稼働効率を上げるために、面接調査完了時に留置調査票を回収することを心がける。

c) より多くの対象者を効率よく完了させるために

今回の調査対象者は、継続調査への協力を示している方々で、対象者本人や家族と会えれば、完了できる可能性が非常に高い。初回訪問時に対象者本人や家族と接触できない場合は、支社局や調査員の連絡先を記した汎用の不在メモを投函して訪問の証跡を確実に残し、対象者と次回以降の訪問日時を円滑に調整できるように心がける。

7. 面接調査の実施

対象者と会えたら、面接調査を実施する。対象者が、事前に二度郵送した書類（1月の告知と2月の留置調査票郵送）をよく読んでいないと思われる場合には、持参挨拶状を渡す際に、主要領の内容を参考に調査趣旨や手順を十分に説明したうえで、協力を仰ぐこと。

面接調査を始める前に、その対象者の携行用名簿の番号と使用する調査票表紙のラベル番号をよく確認し、調査にあたっては、以下の点に注意する。

a) 質問文をそのまま読み上げる

調査員は、質問文をまず「そのまま」読み上げる。勝手に省略したり、言葉を補ったりしてはならない。

b) 回答票の使用

質問文の前に〔回答票〇〇〕と書かれている場合は、その番号の回答票を相手に示し、その中から回答を選んでもらう。回答は回答票ではなく、調査票に記入する。

c) 文中のカッコ【】の部分は読み上げない

文中のカッコ【】の部分は、調査員への注釈なので読み上げない。回答者から不明な点を尋ねられた場合には、注釈を参考にしながら対応する。

d) 補助用紙の使用

補助用紙は、問20と問23（それぞれの勤め先での詳しい仕事）で回答欄が足りなくなった場合に使用する。使用した補助用紙は、支局-地点-対象番号とパネル番号を転記した上で、使用したページの間に挟んでおく。

e) 面接調査後の記入

面接調査が終わった後には、30ページの「調査員記入」欄を調査員が記入する。また、表紙の「回収状況」欄に印を付け、面接調査が完了した日付を記入する。

f) 前回調査の回答内容を確認する箇所、「その前回の回答は違う」と言われた場合……

まずは、最終ページのラベルからの転記ミスがないかどうか確認し、転記ミスの場合は調査票の該当箇所を修正して、調査を続行する。転記ミスでない場合は、対象者の今回の回答を優先し、余白に情報を記入しながら調査を続行する。

8. 面接調査票・回答票の特記事項

a) 質問構成表

以下に面接調査票の質問構成表を掲載するので、流れを頭に入れておくこと。なお、下の表は質問の流れをイメージとして理解しやすくするための大まかなもので、実際の質問の飛び先などを完全に網羅している訳ではない。実施上は、必ず面接調査票の飛び先指示に従うこと。

3ページ 問1～	現在の(先週した)仕事について その1
6ページ 問15	
7ページ 問16	前回調査以降に学校に通ったか

点線内は、事前転記や調査実施中に調査員の判断が必要な箇所
↓

・7ページ 上部と下部の2箇所 調査員確認設問A ★事前転記★
前回調査時点での有職/無職

8ページ 問17～ 13ページ 問20	【前回調査時点で有職の人】 前回～今回調査までの6年間の仕事の変化 現在の(先週した)仕事について その2
14ページ 問21～ 18ページ 問23	【前回調査時点で無職の人】 前回調査以降、仕事についていたことがあるか 【仕事についていた人は】 そこから今回調査までの仕事の変化 現在の(先週した)仕事について その2
19ページ 問24	持っている資格について

・8ページ 最上部
★事前転記★
前回調査時点での勤め先事業内容
・10ページ 表左側
★事前転記★
前回調査時点での働き方・役職・仕事内容
・10ページ 下部
調査員確認設問B
※対象者の回答結果より
その場で判断して○
前回調査時点から勤め先が同じか

・20ページ 最上部 ★事前転記★
前回調査時点での配偶者有無

20ページ 問25	【前回調査時点で配偶者有りの人】 前回～今回調査までの6年間の婚姻状況の変化
20ページ 問26	【前回調査時点で配偶者無しの人】 前回～今回調査までの6年間の婚姻状況の変化
21ページ 問27～ 24ページ 問39	配偶者の学歴、仕事などについて

・24ページ 中段 ★事前転記★
前回調査時点での子ども有無・人数

24ページ 問40	現在の子どもの有無
24ページ 問41～ 25ページ 問42	子どもの教育費、性別、年齢、同別居などについて

・26ページ 最上部 ★事前転記★
前回調査時点での対象者両親の生存状況

26ページ 問43	現在の対象者両親の状況
-----------	-------------

・26ページ 中段 ★事前転記★
前回調査時点での対象者と対象者両親との同別居状況

26ページ 問44	前回～今回調査までの対象者と対象者両親との同別居状況
-----------	----------------------------

・26ページ 下部 調査員確認設問C
※対象者の回答結果よりその場で判断して○
前回調査時点～今回調査時点での結婚・同棲期間の有無
・27ページ 最上部 ★事前転記★
前回調査時点での対象者と義理の両親との同別居状況

27ページ 問45	前回～今回調査までの対象者と義理の両親との同別居状況
27ページ 問46～ 29ページ 問54	同居家族、年収、住居形態などについて

b) 個々の質問等に対する注意点

◆ 7ページの「調査員確認設問A」は、上部と下部の2箇所に事前転記しておく。対象者の問16-1の回答によって、どちらかの転記は飛び先確認に利用しないことになる。

◆ 10ページ 問20

質問の読み上げる順番を矢印で示してあるので、矢印に従って調査をすすめる。

なお、このページでは、事前転記箇所が表内に3箇所設けられており、対象者の回答によっては下部の「調査員確認設問B」への記入もその場で必要となってくる。

◆ 9ページ上部の点線四角囲い部分

◆ 15ページ上部の点線四角囲い部分

短期の派遣労働を繰り返したり、アルバイトやパートを数カ月で転々とした期間がある対象者は、主な勤め先が決められない期間が出てくるので、そのような期間がある場合は、点線四角囲い中の質問を聞き取る。

対象者の記憶が曖昧な部分もあるかもしれないが、必要に応じて調査票の余白を活用し、参考となる対象者の情報をメモするように心がける。

◆ 26ページ 下部の「調査員確認設問C」は対象者の婚姻状況の履歴によって、飛び先を指定する設問なので、20ページの対象者の回答から判断して○をする。なお、27ページ上部の事前転記は、26ページの「調査員確認設問C」で「3」となった場合には利用しないことになる。

c) 産業・職業の記述について

いくつかの質問で、「働いている場所の事業」（産業）および「仕事の内容」（職業）の具体的な記入を求めている。後からコンピュータで分類コードをあてるので、以下の点に注意して、なるべく詳しく聞き取り記入すること。

<不適切な回答例>

[働いている場所の事業・仕事の内容で]

×会社名のみの記入 ← どのような事業をしているか、その中でどのような仕事をしているかが不明確なため

[働いている場所の事業で]

×製品名のみの記入 ← 「製造」なのか「卸売」なのか「小売」なのか「修理」なのか「メンテナンス」なのか等、どのような事業をしているか不明確なため

[仕事の内容で]

×営業 → ○「生命保険を販売する外勤の営業」「携帯電話の材料となる化学樹脂を携帯電話メーカーに卸す営業」

×事務 → ○「経理事務」「支社営業部でセールスマンの補助をする営業事務」

×公務員 → ○「公立高校の用務員」「県庁で政策立案の企画をしている」

×介護関係 → ○「ケアマネージャーとして、特別養護老人ホームの相談員をしている」

「要介護者宅で訪問ヘルパー（ヘルパー2級）」「デイサービスで介護手伝い（資格なし）」

×建設関係 → ○「1人親方で戸建住宅の現場監督」「ショベルマシンの運転」

「ビルの設計（一級建築士として）」

×運送会社勤務 → ○「乗務員の勤務シフト管理」「大型免許所持で生鮮食品の配送」

×△△の製造 → ○「工場で機械を操作しながら△△を作っている」のか「手作業で職人のように△△を作っている」のか

聞き取りポイント

「どこで、どのような製品やサービスを扱って、どのような資格をもって、どのように働いているか？」

d) 回答票の表紙について

今回の面接調査では、働き方や家族構成について、前回調査から今回調査までの6年間の空白部分の変化を埋めていくような質問構成となっている。対象者の回答の一助となるように回答票表紙に2013年～2018年までの主な出来事とその年の新語・流行語を掲載しているため、場合によって対象者に見てもらおうよう促して活用する。

9. 留置調査票の回収

留置調査票は、すでに対象者に郵送してあるが、面接調査完了時に対象者が記入済か未記入であるかによって、対応が異なる。それぞれ、以下の点に注意しながら回収する。この調査では、通常の留置調査のように、後日回収日時を調整して改めて対象者宅を訪問することは原則行わない。

a) 面接調査完了時に対象者が記入済の場合……

対応Ⅰ：その場で留置調査票を受取り、回収時のチェックを行う。チェックが終わったら、500円分クオカードを2枚渡す。

- ・「〇〇様、ご本人のお答えですね」
- ・「記入漏れがないか、パラパラと確認してもかまいませんか」
「かまわない」→確認し回答がない項目があれば、記入漏れかノーコメントかを尋ねる。
記入漏れの場合は、その場で記入してもらう。
「見られたくない」→回答者本人に、記入漏れがないかも一度確認してもらう。

b) 面接調査完了時に対象者が未記入の場合……

対応Ⅱ：対象者の時間が許せば、面接調査終了後に、引き続き記入を依頼する。事前に郵送した留置調査票を探してもらい、それに記入してもらうのが望ましいが、紛失などの場合は予備の留置調査票を渡す（表紙に支局-地点-対象番号とパネル番号の転記を忘れずに）。回答所要時間は20～30分程度と想定されるが、その間、玄関先等で待機するか、一時的に対象者宅を離れる（他の対象者宅を訪問、など）かは、調査員の判断に任せる。その後の対応は、上記の**対応Ⅰ**と同様（クオカードは2枚渡す）。

対応Ⅲ：面接調査終了後直後の記入が不可能な場合は、クラフトの返送用封筒を渡し、4月の第2週までをめぐりに郵送返送を依頼する。返送用封筒の宛名面右下には支局-地点-対象番号とパネル番号を転記し、改めて対象者本人に記入してもらうように念押ししながらお願いする。この対応の場合、対象者にはクオカードは1枚だけ渡し、「残りの1枚は、ご返送が確認でき次第、中央調査社より改めてお送りします」と伝える。

c) 留置調査票回収後の記入

面接調査票の表紙の「回収状況」欄に印を付け、日付を記入する。面接調査・留置調査の両方が完了したならば、対象者名簿の「対象番号」を○印で囲む。

10. 調査不能の場合の手続き

面接・回収できない調査票が出た場合には、以下の手続きをとる。

- ・面接調査票の表紙にある「回収状況」欄に印を付ける。
- ・面接調査票の2ページ目に、調査不能に関する状況を記入する。
- ・対象者名簿の「対象番号」の上から×印を付ける。

11. 調査結果の提出

全ての対象者の調査が終了したならば、以下の点に注意して調査結果を提出する。

- ・対象者名簿の「対象番号」に○印か×印のいずれかが付いていることを確認する。
- ・1人の調査票を面接・留置の順でセットにした上で、対象番号順にそろえる。
(調査不能であった対象者の調査票も、いっしょに並べて提出する)
- ・他の書類・物品一式といっしょにすべての調査票を提出する。

12. その他

現場のやむを得ない事情により、面接調査か留置調査のいずれかしか完了できないと判明した場合（面接調査のみ途中拒否や、留置調査票のみ記入拒否など）は、クオカード1枚を手渡してよい。ただし、調査としての完了扱いにはならない。

◇◇◇ 対象者への説明例 …… この調査に関する質問があった場合の説明例 ◇◇◇

Q. どのくらい時間がかかるの？

面接調査については、前回調査時点からお仕事やご家族構成に変化のない方は30分程度です。変化のある方は、その変化の度合いによって所要時間が変わります。留置調査票は20～30分程度です。

Q. どうしても答えたくない質問は？

どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあった場合、その質問には「答えたくない」（ノーコメント）とおっしゃってください。

Q. 調査の結果の発表は？

調査実施から約2年後には調査結果が統計的に発表され、研究参加者が論文や出版物にしたり、学会で発表したり、国内外の研究者とシンポジウムを行っています。また、今回ご協力いただいた皆様には、定期的（年1回程度）に調査結果をお送りする予定です。

Q. 次回調査の予定は？

確定しているわけではありませんが、数年後にまた同じような調査を実施したいと考えています。その際にはこちらからご連絡しますので、お時間とご都合が許せば、またご協力をお願いします。

事前告知挨拶状（手紙サイズのブルー封筒にて1月上旬に送付済）

「働き方と暮らしについての調査」にご協力いただいた皆様へ

2019年 継続調査実施のご案内

拝啓 皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、私ども大阪商業大学 JGSS 研究センターでは、京都大学 大学院教育学研究科 教育社会学講座と協力して、2009年と2013年に実施した「働き方と暮らしについての調査」の継続調査を実施することになりました。概要は以下の2つの調査から成ります。

調査①

2月下旬頃 ご自宅でご記入いただく調査

対象者の皆様に調査票を郵送いたします。ご自身でご記入ください。後日担当調査員が面接調査を行うためにご自宅へ伺います。その際に回答済の調査票をお渡しください。

調査②

2月下旬頃～4月中旬頃 調査員による面接調査

調査員がご自宅を訪問し、お仕事や家族構

成などの変化について、おたずねいたします。※その際には、前回調査実施時（2013年2～3月頃）にご回答くださった内容の一部を参照させていただきます。

調査謝礼

2つの調査終了後に「1000円相当クオカード」を進呈いたします。

お忙しいなか、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○ご住所やお名前に変更のあった方（本状をお送りした封筒の宛名ラベルの記載情報に変更のあった方）は、同封のハガキに変更内容をご記入の上、今月中をめどにご返送ください。

○ご都合により継続調査にご協力いただけなくなった方、上記の実施概要ではご協力いただけない方については、中央調査社までご連絡ください。

敬具

2019年1月

〔調査主体〕

大阪商業大学 JGSS 研究センター
〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10
電話（直通）06-6785-6013
<http://jgss.daishodai.ac.jp/>
京都大学 大学院教育学研究科 教育社会学講座
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
電話（直通）075-753-3068

〔調査実施・本状発送機関〕※

一般社団法人 中央調査社
〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12
電話（フリーダイヤル）0120-48-5351
（管理部）03-3549-3125
<http://www.crs.or.jp/>

※皆様の個人情報の取り扱いについて



この調査で知り得た皆様の個人情報は、調査実施機関である一般社団法人 中央調査社が管理しており、調査主体である大阪商業大学ならびに京都大学にその情報が渡ることはありません。一般社団法人 中央調査社は、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会の「プライバシーマーク」の認定を受けており、統計調査の実施にあたっては、個人情報保護方針に従って情報の管理を徹底しております。

※本調査は、科学研究費補助金（基盤研究（B））「ゼロ年代以後の教育歴とライフコースの変化に関するパネル調査研究」（代表：岩井八郎 京都大学教育学研究科教授）の助成を受けております。

留置調査票郵送時挨拶状（A4サイズのブルー封筒にて2月20日頃に送付済）



文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

「働き方と暮らしについての調査 2019年継続調査」 ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
先日お手紙でお知らせしたように、この度、私ども大阪商業大学 JGSS 研究センターで、京都大学 大学院教育学研究科 教育社会学講座と協力して、「働き方と暮らしについての調査 2019年継続調査」を実施することになりました。
本調査の実施概要は以下の2つの調査で構成されています。今回は、調査①の調査票を同封させていただきました。

調査①：今回 ご自宅でご記入いただく調査

同封した調査票へのご記入をお願いいたします。後日、担当調査員が面接調査を行うために、ご自宅へ伺いますので、その際に回答済の調査票をお渡しください。

調査②：2月下旬頃～4月中旬頃 調査員による面接調査

2月27日以降に調査員がご自宅を訪問し（訪問日は都合により数日遅れることもございます）、お仕事や家族構成などの変化について、おたずねいたします。
※その際には、前回調査実施時（2013年2～3月頃）にご回答くださった内容の一部を参照させていただきます。
合わせて、調査①のご記入済調査票も回収いたします。

調査謝礼：2つの調査終了後に1000円相当クオカードを進呈いたします。

ご多忙の中、誠に恐縮ではございますが、継続調査へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

敬具

2019年2月

研究プロジェクト代表
谷岡 一郎（大阪商業大学 学長・教授）
岩井 八郎（京都大学 教授）

ご不明な点・お問い合わせなどは、下記へご連絡ください

【調査の実施について】（平日 9:00～17:00）


一般社団法人 中央調査社 管理部
〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-12 丸高ビル
TEL: 0120-48-5351 E-mail: office@crs.or.jp

【調査の趣旨や内容について】（平日 10:00～17:00）

大阪商業大学 JGSS 研究センター
〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10
TEL: 06-6785-6013 E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

Ⅲ. 6 継続調査関連資料 (サンプル)

2014年3月実施 依頼状兼調査結果概要



文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

**「働き方と暮らしについての調査 2013年継続調査」
結果概要のご報告**

「働き方と暮らしについての調査」にご協力いただいた皆様へ

拝啓 時下、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
昨年は、私ども大阪商業大学 JGSS 研究センターと京都大学教育学研究科 教育社会学講座が共同で実施した「働き方と暮らしについての調査」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

皆様からお答えいただいた内容を集計・分析した結果がまとまりましたので、その一部をご報告させていただきます。この4年間の、人々の就業パターンや幸福感、意識に関する変化が明らかになりました。この結果の一部は、日本政策金融公庫『調査月報』2014年1月号に掲載されました。より詳しい内容は、JGSS 研究センターのホームページにも掲載する予定です。

当センターでは、数年後に追加調査を実施することを計画しております。皆様には引き続き調査にご協力いただきたいと存じます。つきましては、大変恐縮ですが、昨年、追加調査にご協力いただいた時点から、**ご住所やお名前に変更があった方**（本状をお送りした封筒の宛名ラベルの記載情報に変更があった方）は、同封のハガキに変更内容をご記入の上、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬具

平成 26 年 3 月

【調査主体】
研究代表
谷岡 一郎 (大阪商業大学 学長・教授) 平 577-8505 東大阪市調田栄町 4-1-10
電話 (直通) 06-6785-6013 (代表) 06-6781-0381 http://jgss.daiishodai.ac.jp/
岩井 八郎 (京都大学教育学研究科 教授) 京都大学教育学研究科 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

【調査実施・本状発送機関】※
一般社団法人 中央調査社 〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12
電話 (フリーダイヤル) 0120-48-6381 (管理課) 03-3649-3125 http://www.crs.or.jp/

※皆様の個人情報の取り扱いについて
この調査で知り得た皆様の個人情報は、調査実施機関である一般社団法人 中央調査社が管理しており、調査主体である大阪商業大学ならびに京都大学にその情報が渡ることはありません。一般社団法人 中央調査社は、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会の「プライバシーマーク」の認定を受けており、統計調査の実施にあたっては、個人情報保護方針に従って情報の管理を徹底しております。

キャリアパターンの世代差

不安定なキャリアパターンを示す 1976~80 年生まれの男性

今回の調査では 2009 年時点での職業を起点に、2013 年までの職業移動について尋ねた。この 4 年間に被雇用者または無職であった人に絞りを絞り、性・世代別にキャリアパターンを分析した¹⁾。男性のキャリアパターンを世代別にみると、1971~75 年生まれでは、正規雇用を継続している人が 86% で、他の世代よりも多い (図 1)。一方、1976~80 年生まれでは、正規雇用を継続している割合が 3 分の 2 に減少し、転職経験者の割合が 4 分の 1 近くを占める。

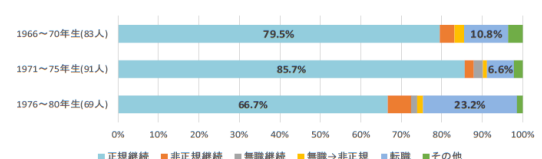


図 1 世代別にみた男性のキャリアパターン

多様性に富む女性のキャリアパターン

女性の場合、男性に比べてキャリアパターンはどの世代においても多様である (図 2)。特に、3 つの世代の中で最も若い 1976~80 年生まれでは、他の世代に比べて正規継続・非正規継続・無職継続を合計した割合が少ない一方で、その他のパターンは多く、キャリアパターンが最も多様であった。1971~75 年生まれでは、正規雇用を継続もしくは無職を継続している人がそれぞれ 4 分の 1 を占める。無職から非正規雇用へ移行した人も 2 割近い。1966~70 年生まれでは、2009 年から非正規雇用を継続している人が最も多い (26%)。3 つの世代のこのようなキャリアパターンの違いは、女性の結婚や出産を機に働き方を変える (76~80 年生まれ)、育児期に合わせた就業 (71~75 年生まれ)、教育費が必要な時期の就業 (66~70 年) にほぼ対応しているように推測される。

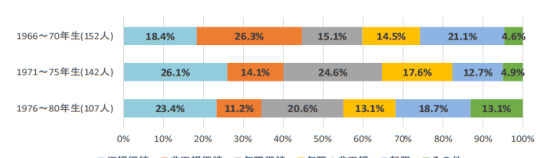


図 2 世代別にみた女性のキャリアパターン

1) 「その他」には、2009 年時点で有職であったが現在無職の人、2009 年時点で無職であったが現在正規雇用になった人、2009 年時点で無職であったが何らかの仕事に就いた後、再度無職になった人が含まれる。ただし転職経験者は除く。

幸福感の変化と 4 年間のライフコース

まわりと比べて世帯収入が高いと考える人ほど幸福感が高い

幸福感の変化をみると、約 6 割の人々が 2009 年から引き続き幸福を感じており、幸福感が上昇した人・減少した人はそれぞれ約 1 割である。この幸福感の変化と相対的世帯収入の変化²⁾との関連をみると、相対的に高収入だと感じている人の 8 割超は高い幸福感を維持している (図 3)。一方で、いずれの時点においても世帯収入が平均より低いと感じている人は、幸福感を上昇させた。他方、収入が減少した人は、幸福感も低下させた人が多い。

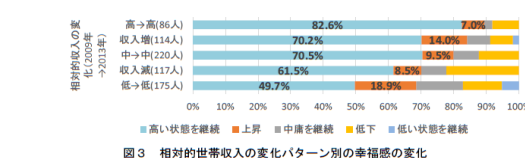


図 3 相対的世帯収入の変化パターン別の幸福感の変化

結婚して幸福に変化した人々と、「ほどほど」に幸せな人が多くみられる未婚者

幸福感の変化と結婚のパターンとの関連をみると、2009 年に独身であった 157 人のうち、結婚をした 33 人はいずれも幸福感を維持しているが、幸福感を上昇させた (図 4)。一方この 4 年間に独身を保っている人は中庸を維持している人が多い。

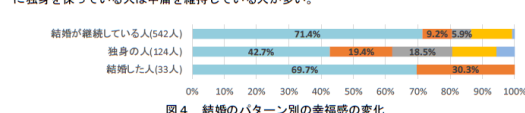


図 4 結婚のパターン別の幸福感の変化

この 4 年間で幸福になった人が多い転職男性

男性の幸福感の変化とキャリアパターンとの関連³⁾をみると、正規雇用を継続している人の方が幸福感を維持している人が 6 割と高いが、転職者は幸福感を上昇させた (図 5)。

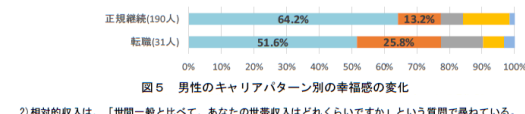


図 5 男性のキャリアパターン別の幸福感の変化

2) 相対的収入は、「世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか」という質問で尋ねている。
3) 非正規継続、無職継続、無職→非正規については、該当者が 10 人以下のため割棄した。

日本のあるべき姿の変化

意見を保持している福祉重視派の人々と、意見を変化させた競争重視派の人々

この調査では、「アメリカのような競争と効率を重視した社会」「北欧のような税は高率だが福祉を重視した社会」「かつての日本のような終身雇用を重視した社会」の中から、これからの日本のあるべき姿を尋ねている。全体的な回答分布は 4 年間で大きな変化はなく、福祉を重視する人は 5 割強、終身雇用を重視する人は約 3 割、競争を重視する人は約 1 割と変わらない。

個人の意識の変化をみると、2009 年に福祉を重視していた人の約 7 割は意見を変えていない (図 6)。一方、終身雇用を重視していた人の半数は意見を変えていないが、約 3 割は福祉重視に意見を変えている。また、競争を重視していた場合は、意見を変えていない人は約 3 割にとどまり、約 4 割が終身雇用重視に意見を変えた。



図 6 日本のあるべき姿についての個人の意識の変化

節約行動・消費意欲の状況と変化

【参考資料】

調査地域	全国
調査時期	2013 年 2 月から 3 月
調査対象	2009 年調査の回答者の中から、追跡調査に承諾していただいた方々
対象者数	922 人
調査方法	面接法と留置法の併用
有効回答数	718 人

日本政策金融公庫『調査月報』2014 年 1 月号に本データを元にした分析が掲載されました。

住所確認用はがき

お願い	
今後、ご連絡をとらせていただきます際、転居などで今回ご送付しましたお名前・ご住所などに不都合がありましたら、その旨ご記入の上、お知らせください。 (切手を貼らずにご投函ください。)	
旧住所	都道 府県

新住所 (年 月より)	都道 府県
〒 _____	_____

TEL _____	_____

お名前 [必ずご記入ください。]	

(改姓名に該当する方は旧・新をつけて書いてください。)	
パネル番号 (郵便物宛名右下の4桁数字) _____	
(No.0175_y14m3) 働き方と暮らしについての調査 2013 継続[JGSS13LC 追]	

2015年3月実施 依頼状兼調査結果概要



文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

「働き方と暮らしについての調査 2013年継続調査」 結果概要のご報告

「働き方と暮らしについての調査」にご協力いただいた皆様へ

拝啓 時下、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
一昨年、私も大阪商業大学 JGSS 研究センターと京都大学教育学研究科 教育社会学講座が共同で実施した「働き方と暮らしについての調査」にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。
皆様からお答えいただいた内容につきましては、今年度も集計・分析を続けてまいりました。その結果の一部をご報告させていただきます。2009年から2013年までの4年間の働き方や暮らしに関する変化が明らかになっております。研究結果の一部は、2014年11月に開催された日本社会学会において報告させていただきました。
当センターでは、数年後に追加調査を実施することを計画しております。皆様には引き続き調査にご協力いただきたいと存じます。つきましては、大変恐縮ですが、昨年同様、**住所やお名前に変更のあった方**（本状をお送りした封筒の宛名ラベルの記載情報に変更のあった方）は、同封のハガキに変更内容をご記入の上、ご返送くださいますよう、よろしく御申し上げます。
敬具

平成 27年 3月

【調査主体】
研究代表
谷岡 一郎 (大阪商業大学 学長・教授)
大阪商業大学 JGSS 研究センター 〒577-8506 東大阪市御所深町 4-1-10
電話 (直通) 06-6785-6013 http://jgss.daihsodai.ac.jp/
岩井 八郎 (京都大学教育学研究科 教授)
京都大学教育学研究科 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

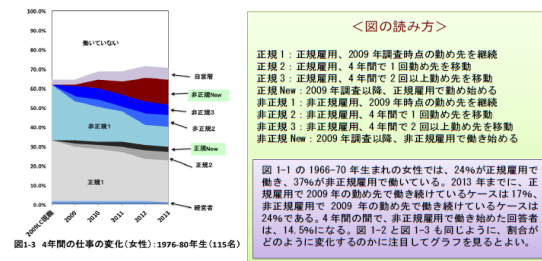
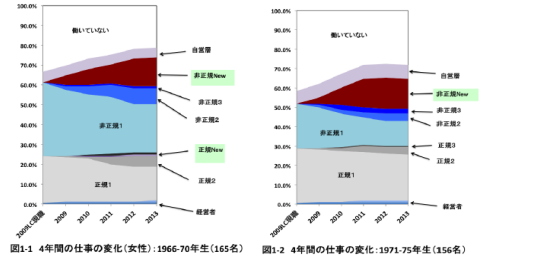
【調査実施・本状発送機関】※
一般社団法人 中央調査社 〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12
電話 (フリーダイヤル) 0120-48-5351 (管理部) 03-3549-3125 http://www.crs.or.jp/

※皆様の個人情報の取り扱いについて
この調査で知り得た皆様の個人情報は、調査実施機関である一般社団法人 中央調査社が管理しており、調査主体である大阪商業大学ならびに京都大学にその情報が渡ることはありません。一般社団法人 中央調査社は、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会の「プライバシーマーク」の認定を受けており、統計調査の実施にあたっては、個人情報保護方針に従って情報の管理を徹底しております。

4年における職業キャリアの変化

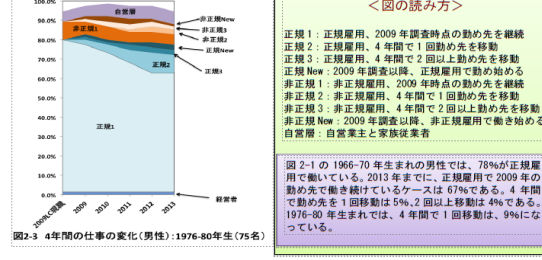
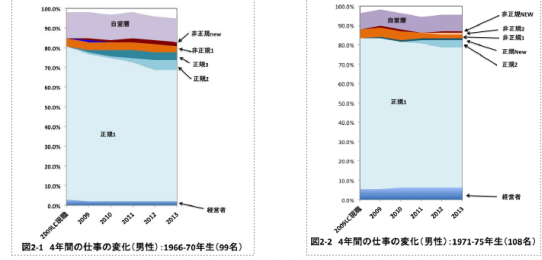
多様な道筋に分化する女性の職業キャリア

今回の調査では、2009年時点での職業を起点とし、2013年までの職業移動について、年齢に切れ目なく細かく仕事の内容を尋ねている。図1-1、図1-2、図1-3の3つのグラフは、女性の世代別に2009年調査時点から2013年までの年度ごとの仕事と勤め先の変化を描いている。
3つの世代ともに、非正規雇用で働き始める割合が年々増加している。正規雇用でも非正規雇用でも、2009年の勤め先が変わる回答者が徐々に増えている。とくに1976-80年生まれになると、勤め先の変化の割合が高くなっている。非正規雇用で2009年時点の勤め先で働いている回答者の割合が、29%から10%まで低下し、勤め先を変えるケースが増えている。女性の職業キャリアが多様な道筋に分かれるようになっている。



安定的な男性の職業キャリア、1976-80年生まれで多様化がやや進行

男性の場合、女性に比べて職業キャリアはどの世代においても変化は大きくない。
図2-1、図2-2、図2-3の3つのグラフは、男性の世代別に、2009年調査時点から2013年までの年度ごとの仕事と勤め先の変化を描いている。
2009年から2013年まで同じ勤め先で正規雇用として働き続けている回答者が、それぞれの世代で大半を占めている。とくに1971-75年生まれの男性の職業キャリアは安定的であり、3つの世代の中で、4年間の変化が最も少ない。1976-80年生まれでは、男性の職業キャリアも多様化がやや進んでおり、正規雇用で勤め先を移動したケースが、4年間で10%を上回っている。非正規雇用は、2009年と2013年でもともに10%である。1976-80年生まれば、2013年調査時点で30歳代前半から30歳代半ばの年齢層である。職業キャリアの不安定さがやや高まっていることがわかる。



身についた能力と身につけたい能力

向上した仕事の能力、向上が難しいが身につけたい英語力、さらに磨きたい対人関係の能力

2009年調査では、「今後身につけたい、あるいは現在の能力を高めたいと思う」知識や能力について、12項目から複数回答で尋ねた。2013年調査では、同じ項目について、4年間で「向上した」と思うものと、さらに「今後身につけたい、あるいは現在の能力を高めたいと思う」ものを尋ねている。
英語力は、「身につけたい、高めたい」と思っていないが、4年間で向上したとは言えず、「今後身につけたい」との回答の割合が高い能力である。社会情勢、法律、労働者の権利と義務などの知識についても同じ傾向がある。

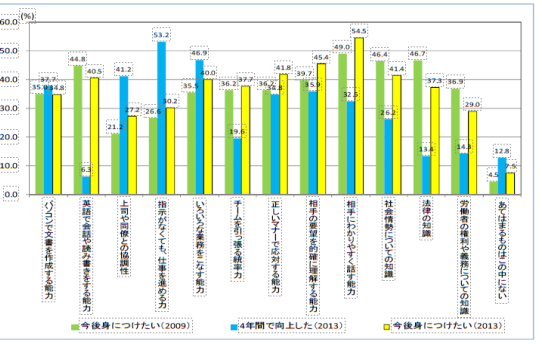


図3 今後身につけたい能力と4年間で向上した能力：複数回答 (718名)

職場における仕事力は、「4年間で向上した」とする回答が多くなっている。「指示がなくても仕事を進める力」が向上したと半数以上が回答している。「上司と同僚との協調性」や「いろいろな業務をこなす能力」も40%以上が向上したとしている。職業生活を通して、仕事の力を向上させ、今後も向上させようとする意識が高い。
2013年調査で今後身につけたいとする回答が最も高いのは、「相手にわかりやすく話す能力」である。「相手の要望を的確に理解する能力」についても、同じような傾向があり、対人関係に関する能力を高めようとする傾向が強いことがわかる。「チームを引っ張る統率力」も4年間で向上したとする割合が低く、今後高めたい能力となっている。

住所確認用はがき

お願い

今後、ご連絡をとらせていただきます際、転居などで今回ご送付しましたお名前・ご住所などに不都合がありましたら、その旨ご記入の上、お知らせください。
(切手を貼らずにご投函ください。)

旧住所 _____ 都道府県

新住所 (年 月より)

〒 _____ 都道府県

TEL _____

お名前 [必ずご記入ください。]

(改姓に該当する方は旧・新をつけて書いてください。)

パネル番号 (郵便物宛名右下の4桁数字) _____

(No.0330_y15m3) 働き方と暮らしについての調査 2013 継続[JGSS13LC 追]

2016年4月実施 依頼状兼調査結果概要



文部科学大臣認定
日本総合的調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

「働き方と暮らしについての調査 2013年継続調査」 結果概要のご報告

「働き方と暮らしについての調査」にご協力いただいた皆様へ

拝啓 時下、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
2013年には、私ども大阪商業大学 JGSS 研究センターと京都大学教育学研究科 教育社会学講座が共同で実施した「働き方と暮らしについての調査」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
皆様からお答えいただいた内容につきましては、今年度も集計・分析を続けてまいりました。その結果の一部をご報告させていただきます。職場環境に関する意識や仕事への態度の変化、資格の役立ち方について貴重な知見が得られております。研究結果の一部は、日本政策金融公庫『調査月報』2015年7月号、9月号、10月号に掲載されました。
当センターでは、数年後に追加調査を実施することを計画しております。皆様には引き続き調査にご協力いただきたいと存じます。つきましては、**大変恐縮ですが、昨年からの住所やお名前に変更のあった方**（本状をお送りした封筒の宛名ラベルの記載情報に変更のあった方）は、同封のハガキに変更内容をご記入の上、ご返送くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

平成 28 年 4 月

【調査主体】

研究代表

谷岡 一郎 (大阪商業大学 学長・教授)
大阪商業大学 JGSS 研究センター 〒577-8505 大阪府市野田町 4-1-10
電話 (直通) 06-6785-4913 http://jgss.daiishodai.ac.jp/
岩井 八郎 (京都大学教育学研究科 教授)
京都大学教育学研究科 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

【調査実施・本状発送機関】※

一般社団法人 中央調査社 〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12
電話 (フリースペイク) 0120-48-6351 (管理部) 03-3549-3125 http://www.crs.or.jp/

※皆様の個人情報の取り扱いについて

この調査で知り得た皆様の個人情報は、調査実施機関である一般社団法人 中央調査社が管理しており、調査主体である大阪商業大学ならびに京都大学にその情報が渡ることはありません。一般社団法人 中央調査社は、一般社団法人 日本情報経済社会推進協会の「プライバシーマーク」の認定を受けており、統計調査の実施にあたっては、個人情報保護方針に従って情報の管理を徹底しております。



働き方の多様化と職場環境意識

働き方の多様化が進み、働くことの意味も一人ひとりが仕事をする中で問い直しをする時代になっている。現在の職場環境は、多様な働き方へのきめ細かな対応を求められている。2013年調査では、2009年に尋ねた16項目の職場環境についての意識を再度調査している。

非正規雇用女性に見られる良好な職場環境意識

職場環境に関する質問の中で、「勤務時間を柔軟に決められる」「仕事の手順を自分で決められる」「仕事の量を自分で決められる」「休日や休暇を自分で決められる」の4項目は仕事の自己裁量・柔軟性に関する項目である。各項目は、スコア(1~4点)が高いほど「あてはまる」とを示している。図1からわかるように、2013年に非正規雇用として働いている女性の場合、2009年に比べて上記の4項目とも得点が上昇し、統計的に有意な差になっている。また「仕事と生活の時間配分のバランスが取れている」も、2013年に高まっている。非正規雇用女性では、仕事の自己裁量・柔軟性が認められ、仕事と生活のバランスも確保できるようになっている。

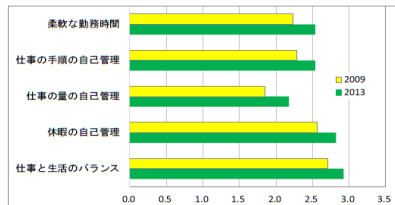


図1 職場環境に対する意識：非正規雇用の女性 (N=154)

資料：大阪商業大学 JGSS 研究センター「JGSS-2009 ライフコース調査」「JGSS-2013 ライフコース調査」(図2、図3、図4も同様)

仕事の責任や負担が重くなった正規雇用者

正規雇用の女性は、図2に示すように「努力しだいで昇進できる」と「自分がどれだけ成果を上げたかで、収入が変わる」の2項目において、2013年の得点が2009年より統計的に有意に高い。また、「自分の仕事の分担をこなさないと同僚の負担が増える(仕事量の連帯責任)」についても、2013年で高まる傾向にある。

正規雇用の男性では、図3に示すように「お金のためというより、仕事を楽しんでいるから働いている」と「仕事と生活の時間バランスが取れている」の2項目について、2009年より2013年の数

値が統計的に有意に低下している。正規雇用の男性と女性では、年齢が4歳上がり、仕事の責任や負担が大きくなったといえるだろう。

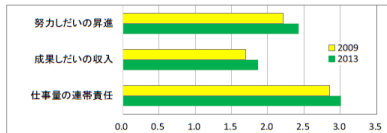


図2 職場環境に対する意識：正規雇用の女性 (N=130)

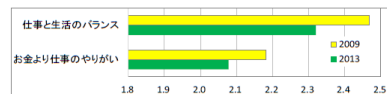


図3 職場環境に対する意識：正規雇用の男性 (N=216)

チャレンジ精神が高い自営層

2013年調査では、2009年調査で尋ねた「自分についての評価」に関する質問項目を再度調査しており、その中に「あらゆることにプラス思考で挑戦する」がある。この項目もスコア(1~4点)が高いほど、「あてはまる」ことを示す。図4は、回答者の職業上の地位を正規雇用、非正規雇用、自営層(家族従業者を含む)に分け、さらに雇用者については、従業員規模を中小企業(従業員数300人未満)と大企業(従業員数300人以上;官公庁含む)に分けている。

男性の自営層(③)、女性の中小企業の正規雇用(④)、女性の自営層(⑧)のチャレンジ精神が高いことがわかる。男性の場合、2009年から13年にかけて、4歳年齢を重ねると「チャレンジ精神」が低下するが、女性の自営層と中小企業の正規雇用では、上昇している。

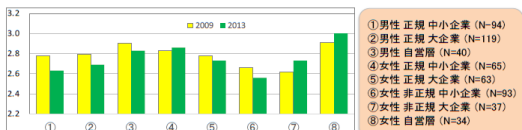


図4 チャレンジ精神の変化：男女別、職業上の地位別、従業員規模別

性別で異なる資格の役立ち方

2013年調査では、仕事に役立った順に持っている資格を3つまで尋ね、それぞれがどのように役立ったのかを答えてもらった。回答者の81%に当たる579名が「何らかの資格を持っており、複数の資格を持つ人がいるので、延べ1,183の資格についての回答が得られた。

資格によって自己肯定感を高める女性、キャリアアップに活かす男性

資格の役立ち方については、10種類の場面を設定し、役立った場面をすべて選んでもらった。最も多いのは、「初めての就職に役立った」の27.6%であり、次に多いのが「自分に自信を持った」の23.8%、「技能の証明に役立った」の20.9%である。

男女別にみると多くの項目で男女差が認められる(図5:★印の項目)。男性の方が女性より、統計的に有意に多いのは、「自営独立」「給与の優遇」「昇格・昇進」「技能の証明」の4項目、女性の方が男性より多いのは、「転職」「再就職」「自分に自信」「生きがいや目標」の4項目である。男性は資格をキャリアアップに、女性はキャリアの転換に活かす傾向がある。また女性では、自信や生きがいといった自己肯定感を高めるという特徴もある。

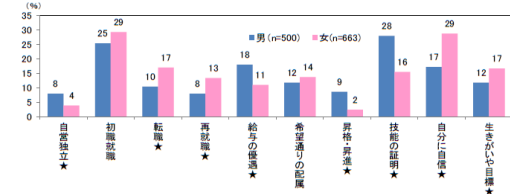


図5 資格の役立ち方 (男女別)

資料：大阪商業大学 JGSS 研究センター「JGSS-2009 ライフコース調査 2013年継続調査」

注1) 男性と女性の間で統計的に有意差がある項目に★印を記している。

注2) 「資格の役立ち方」に回答しなかった人がいるので、合計が1,183人にならない。

非正規雇用女性に見られる 職場環境意識の改善

働き方の多様化が進み、働くことの意味も一人ひとりが仕事をする中で問い直しをする時代になっている。現在の職場環境は、多様な働き方へのきめ細かな対応を求められている。2013年調査では、2009年に尋ねた16項目の職場環境についての意識を再度調査している。

チャレンジ精神が高い自営層と 中小企業の正規雇用女性

2013年調査では、2009年調査で尋ねた「自分についての評価」に関する質問項目を再度調査しており、その中に「あらゆることにプラス思考で挑戦する」がある。この項目もスコア(1~4点)が高いほど、「あてはまる」ことを示す。図4は、回答者の職業上の地位を正規雇用、非正規雇用、自営層(家族従業者を含む)に分け、さらに雇用者については、従業員規模を中小企業(従業員数300人未満)と大企業(従業員数300人以上;官公庁含む)に分けている。

性別で異なる 資格の役立ち方

2013年調査では、仕事に役立った順に持っている資格を3つまで尋ね、それぞれがどのように役立ったのかを答えてもらった。回答者の81%に当たる579名が「何らかの資格を持っており、複数の資格を持つ人がいるので、延べ1,183の資格についての回答が得られた。

研究成果の一部は、日本政策金融公庫『調査月報』2015年7月号、9月号、10月号に掲載されました。

住所確認用はがき

お願い	
今後、ご連絡をとらせていただきます際、転居などで今回ご送付しましたお名前・ご住所などに不都合がありましたら、その旨ご記入の上、お知らせください。 (切手を貼らずにご投函ください。)	
旧住所	都道府県

新住所 (年 月より)	都道府県
〒 _____	_____

TEL _____	_____
お名前 [必ずご記入ください。]	

(改姓に該当する方は旧・新をつけて書いてください。)	
パネル番号 (郵便物宛名右下の4桁数字)	_____
(No.0501_y16m4) 働き方と暮らしについての調査 2013 継続[JGSS13LC 追]	

2017年3月実施 依頼状兼調査結果概要



文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

「働き方と暮らしについての調査」 結果概要のご報告

「働き方と暮らしについての調査」にご協力いただいた皆様へ

拝啓 時下、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
2013年には、私ども大阪商業大学 JGSS 研究センターと京都大学教育学研究科 教育社会学講座が共同で実施した「働き方と暮らしについての調査」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

皆様からお答えいただいた内容につきましては、初回の 2009 年調査も含めて集計・分析を続けてまいりました。その結果の一部をご報告させていただきます。働き過ぎる場合のワークライフバランスや健康状態、出産後の女性の継続就業と職種との関係について貴重な知見が得られております。

当センターでは、数年後に追加調査を実施することを計画しております。皆様には引き続き調査にご協力いただきたいと存じます。つきましては、大変恐縮ですが、昨年から、ご住所やお名前に変更のあった方（本状をお送りした封筒の宛名ラベルの記載情報に変更のあった方）は、同封のハガキに変更内容をご記入の上、ご返送くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

平成 29 年 3 月

【調査主体】

研究代表

谷岡 一郎 (大阪商業大学 学長・教授)
大阪商業大学 JGSS 研究センター 〒577-8505 東大阪市御前堂町 4-1-10
電話 (直通) 06-6785-6013 http://jgss.daihsodai.ac.jp/
岩井 八郎 (京都大学教育学研究科 教授)
京都大学教育学研究科 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

【調査実施・本状発送機関】※

一般社団法人 中央調査社 〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12
電話 (フリーダイヤル) 0120-48-6351 (管理部) 03-3549-3125 http://www.crs.or.jp/

※皆様の個人情報取り扱いについて

この調査で知り得た皆様の個人情報は、調査実施機関である一般社団法人 中央調査社が管理しており、調査主体である大阪商業大学ならびに京都大学にその情報が渡ることはありません。一般社団法人 中央調査社は、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会の「プライバシーマーク」の認定を受けており、統計調査の実施にあたっては、個人情報保護方針に従って情報の管理を徹底しております。



なぜ働き過ぎる人がいるのか

2009 年調査では、ご自身の職場の同僚と比較して、「仕事の量」、「アイデアの提案」、「同僚へのサポート」がどれほど多いか・少ないかを答えてもらった。「仕事の量」については、36.8%が同僚よりも多い、51.2%が同じくらい、12.1%が同僚よりも少ないと答え、「アイデアの提案」は、30.3%が同僚よりも多い、48.8%が同じくらい、20.9%が同僚よりも少ないと答えている。また「同僚へのサポート」では 29.7%が同僚よりも多い、56.4%が同じくらい、13.8%が同僚よりも少ない、との回答が得られた。同僚よりも「仕事の量」「アイデアの提案」「同僚へのサポート」が多いと答えた人は「オーバerrayダー」、つまり「必要以上に仕事を人」だといえる(図 1)。

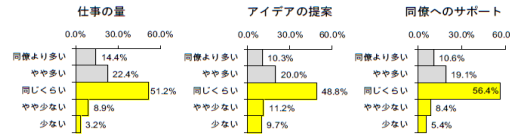


図 1 仕事への取り組みの分布 (N=1,692) (注) 灰色はオーバerrayダー

オーバerrayダー(働き過ぎ)とワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)

正規雇用の方は非正規雇用の方と比べて、「仕事の量」「アイデアの提案」「同僚へのサポート」が同僚よりも多いと答えた人の割合が大きい(図 2a)。これはフリーライダー(他人にたまた乗りする人)が職場にいた場合、正規雇用の方が揃う必要があるため、オーバerrayダーになりやすいと考えられる。また、同僚よりも仕事量が多い人は、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が良い(図 2b)。これはオーバerrayダーになると働き過ぎるため、ワーク・ライフ・バランスを悪化させるからだろう。

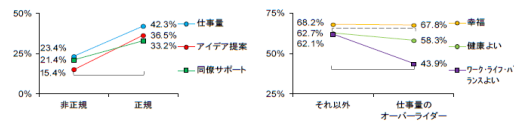


図 2a オーバerrayダーの割合 図 2b 幸福感・健康状態・ワーク・ライフ・バランスの違い (注) N=1,692. 縦軸変数は連続変数を 2 値に変換; 実線括弧は 5%水準で有意な差、破線は 10%の傾向差

このことから、良好なワーク・ライフ・バランスを維持するには「適度に手を抜きフリーライダーとなる」が必要かもしれない。だとすれば、「どうすればフリーライダーを抑制できるか」というこれまでの研究は再検討を迫られるだろう。

出典：小林麻「職場のオーバerrayダー問題—なぜブラック企業で働き過ぎるのか」第 60 回管理心理学会

出産後の女性の継続就業と職種の関係

人口減少社会における女性の継続就業と職種に関する実証分析を行い、職種別の女性労働力の活用並びに職種から見た少子化対策への政策的インプリケーションを導くことを目的としている。2009 年調査を用いて出産後の女性の継続就業と職種との関係を明らかにする分析を行っている。

出産後にみられる女性の継続就業率と職種

第 1 子・第 2 子の出産を迎えた女性就業者に対して、出産後 1 年以内に現在の職業を続けているのかを尋ねた。出産後に継続して仕事を続けられる職種は、パーセントが高くなることを示す(図 3)。その結果、専門職と製造職で出産後の就業継続率が高いことが明らかになっている。

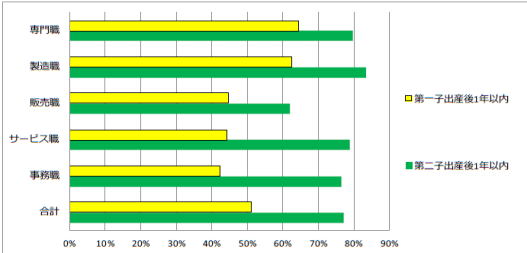
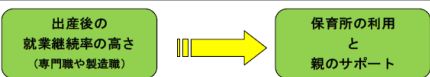


図 3 女性の継続就業と職種：第 1 子・第 2 子の出産後 1 年以内の女性の継続就業率 (N=519)

出産・育児の女性の継続就業



また、他の分析において、出産後の女性の就業継続率の高い専門職や製造職では、保育所の利用や親との同居など、育児サポートの利用率が高いことが示されている。第一子出産後の再就職に関しては、出産前の職種(職業や職業経験年数)と再就職率に関連がなかった。この点について、野崎(2014)は、女性の職業経歴の中で増ってきた人脈や経験が産後の再就職において活かされていない可能性を示唆している。

出典：Kayo Nozaki (2014) "An Analysis of the Relationship between Occupation and Women Who Continue Working after Childbirth in Japan", The 14th International convention of the East Asian Economic Association, Bangkok.

研究成果の例 (一部)

- 小林麻, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査にみる仕事への取り組み—仕事量、アイデア提案、同僚サポートの分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No. 7: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集 10』pp. 251-260.
- 佐々木尚之, 2010, 「子育ての悩み類型—JGSS-2009 ライフコース調査による人間発達学的検証—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No. 7』pp. 261-272.
- 白川俊之, 2010, 「ライフコース初・中期における社会的ネットワークと精神的健康—JGSS-2009LCS による実証—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No. 7』pp. 273-284.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2011, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2009LCS』30pp.
- 阿形健司, 2011, 「従来上の地位の変化と職業資格との関連—JGSS-2009 ライフコース調査による分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No. 8』pp. 71-78.
- 山内乾史, 2011, 「JGSS-2009LCS データに基づく高等教育就学の規定要因に関する考察」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No. 8』pp. 79-91.
- 野崎華世, 2011, 「JGSS-2009 ライフコース調査を用いた職種経験と所得に関する分析」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No. 8』pp. 93-104.
- 伊達平和, 2012, 「親の学歴同階級が子の教育達成に及ぼす影響に関する考察—JGSS-2009LCS による高等教育の競争拡大・激化期・緩和期の分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No. 9』pp. 93-105.
- 佐々木尚之, 2012, 「不確実な時代の結婚—JGSS ライフコース調査による潜在的稼得力の影響の検証」『家族社会学研究』第 24 巻第 2 号, pp. 152-164.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター・京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座編, 2014, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2013LCSwv2』236p.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター・京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座編, 2015, 『JGSS Research Series No. 12: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集 [15] 特集: 「失われた 10 年」以後の教育機会とライフコースに関するパネル研究』96p.
- 岩井八郎, 2015, 「女性の就業経歴の持続と変化—JGSS-2009/2013 ライフコース・パネル調査を用いた分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No. 12』pp. 29-39.
- 伊達平和・岩井八郎・佐々木尚之・矢野邦章・岩井紀子, 2015, 「失われた 10 年」以降のライフコースの変化と多様性—JGSS-2009/2013 ライフコース・パネル調査の結果概要—大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No. 12』pp. 1-17.
- 園部香里, 2015, 「日本のあるべき姿の持続と変化—JGSS-2009/2013 ライフコース・パネル調査を用いた分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No. 12』pp. 19-28.
- 阿形健司, 2015, 「JGSS でよむ日本人の意識と行動 第 34 回: 性別で異なる仕事の役立ち方」日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』10 月号 No. 085, pp. 20-21.
- 岡本真樹, 2016, 「支持政党の変化と政党間の融合関係—JGSS-2009LCS/2013LCS のデータを用いた非対称多次元尺度構成法による分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No. 13』http://jgss.daihsodai.ac.jp/research/monographs/jgssm16/jgssm16_03.pdf.

住所確認用はがき

お願い

今後、ご連絡をとらせていただきます際、転居などで今回ご送付しましたお名前・ご住所などに不都合がありましたら、その旨ご記入の上、お知らせください。

(切手を貼らずにご投函ください。)

旧住所 _____ 都道府県

新住所 (年 月より)
〒 _____ 都道府県

TEL _____


お名前 [必ずご記入ください。]

(改姓に該当する方は旧・新をつけて書いてください。)

パネル番号 (郵便物宛名右下の4桁数字) _____

(No.0676_y17m3) 働き方と暮らしについての調査 2013 継続[JGSS13LC 追]

2018年8月実施 依頼状兼調査結果概要



文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

「働き方と暮らしについての調査」 結果概要のご報告

「働き方と暮らしについての調査」にご協力いただいた皆様へ

拝啓 時下、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
2013年には、私ども大阪商業大学 JGSS 研究センターと京都大学教育学研究科 教育社会学講座が共同で実施した「働き方と暮らしについての調査」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
皆様からお答えいただいた内容につきましては、初回の2009年調査も含めて集計・分析を続けてまいりました。その結果の一部をご報告させていただきます。
また大阪商業大学 JGSS 研究センターと京都大学教育学研究科 教育社会学講座では、本年度から3年間、日本学術振興会から科学研究費の助成が得られましたので、2019年2月から4月に追加調査を実施する計画です。皆様には引き続き調査にご協力いただきたいと存じます。つきましては、**大変恐縮ですが、昨年から、ご住所やお名前に変更のあった方**（本状をお送りした封筒の宛名ラベルの記載情報に変更のあった方）は、同封のハガキに変更内容をご記入の上、ご返送くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

平成30年8月

【調査主体】
研究代表
谷岡 一郎（大阪商業大学 学長・教授）
大阪商業大学 JGSS 研究センター 〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10
電話（直通）06-6785-6013 http://jgss.daishodai.ac.jp/
岩井 八郎（京都大学教育学研究科 教授）
京都大学教育学研究科 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

【調査実施・本状発送機関】※
一般社団法人 中央調査社 〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12
電話（フリーダイヤル）0120-48-5351（管理部門）03-3549-3125 http://www.crs.or.jp/

※皆様の個人情報の取り扱いについて
この調査で知り得た皆様の個人情報は、調査実施機関である一般社団法人 中央調査社が管理しており、調査主体である大阪商業大学ならびに京都大学にその情報が渡ることはありません。一般社団法人 中央調査社は、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会の「プライバシーマーク」の認定を受けており、統計調査の実施にあたっては、個人情報保護方針に従って情報の管理を徹底しております。

女性にとって仕事に役立つ資格はいつ取得されるか

人生100時代をむかえつつある今、人々が生涯どのように職業的スキルを高めていくかを考察することがますます重要になっている。とりわけ現在、女性の就業継続が政策的にも推進されており、女性の職業的キャリアの中で、仕事に役立つものとして、どのような職業的資格を、いつ取得しているのかを調べることは大変意義深いと考えられる。

一般に日本では学校卒業後、企業による職業訓練によって労働者の技能が形成される割合が高いと言われている。しかしこの通説は、女性には当てはまらない。出産などによるキャリア中断のリスクが大きい女性にとって、1つの企業において継続的にスキルを形成することは難しい。

女性の役立つ資格は学生の頃に取得される

2009年度と2013年度の調査では、「どのような職業技能を」、「いつ」、「どこで」習得し、「どう活用しているか」について詳細に尋ねている。2009年調査の結果によると、女性回答者1502人中「仕事に役立つ資格」を持つのは762人、その内507人（女性の資格保持者の67%）が学生時から就職前にこれらの資格を取得している。就職後に取得する割合が高い男性とは対照的な傾向である（図1）。

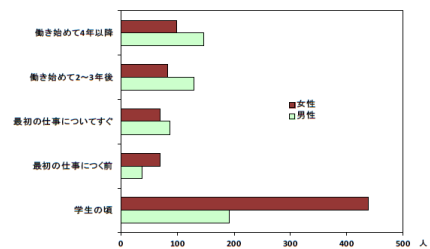


図1. 仕事に役立つ資格の取得時期：2009年調査

図2は、2009年調査から女性のなかで仕事に役立つ資格を取得者の多い順に並べている。女性の取得者が多い技能はその性質から2つのグループに分類される。1つは伝統的に女性取得者の割合が高いものであり、対人サービス関係の職（看護師、保育士、教師など）に結びつく技能、あるいは事務職に結びつく技能（簿記）である。もうひとつのグループは、比較的新しく資格化された技能であり、2000年の介護保険法施行を機に需要が拡大した福祉系専門職や訪問介護員の資格が代表例である。

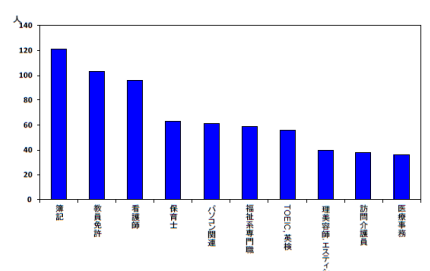


図2. 女性の役立つ資格（取得者数順）：2009年調査

キャリアの途中で取得されるパソコン関連や福祉系専門職、訪問介護員の資格

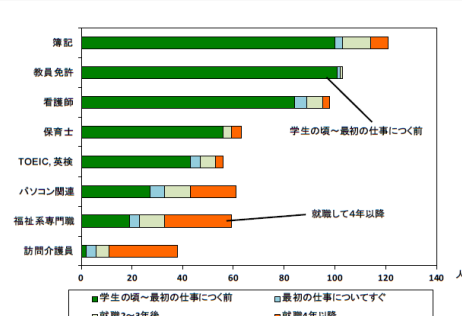


図3. 女性の取得上位の資格と取得時期：2009年調査

注1. 普通運転免許の取得を除く。
注2. 教員免許には、幼稚園教諭を含む。
注3. 看護師には、助産師、保健師を含む。
注4. 福祉系専門職の資格には以下が含まれる。介護支援専門員、社会福祉士、社会福祉主事、精神福祉士、介護福祉士。

図3は、8つの資格について取得時期を「学生の頃から就職前」「最初の仕事についてすぐ」「就職2～3年後」「就職して4年以降」の4つに区分した結果を人数で示している。簿記や看護師、教員免許については「学生の頃」が多い。一方、福祉系専門職や訪問介護員の資格、パソコン関連の資格は、キャリア途中での取得割合が高い。このような資格を取得している女性の教育歴、職業経歴は多様である。

仕事に役立つ資格を持っている女性は、4年間で約10%増加

2009年調査で「仕事に役立つ資格が無い」と回答していた女性のなかで、どれくらいの人数が4年後に「仕事に役立つ資格あり」に変わったのかを見るために、2009年調査の資格有無と13年調査の資格有無を組み合わせて、4つのパターンを構成してみた。図4をみると、有効回答者324人のなかで53人（16.4%）が「役立つ資格なし」から「役立つ資格あり」に変化している（運転免許の取得を除く）。53名が新たに役に立っているとした資格の中で、訪問介護員の7名が最も人数が多い。その他には、医療事務技能、秘書技能検定、珠算など多様な分野にわたっている。

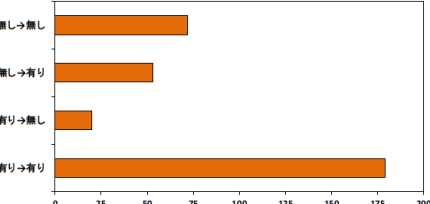


図4. 女性における役立つ資格の有無の変化：2009年から13年

今回の調査において、女性が仕事に役立っているとした、簿記、看護師、教員免許、福祉関係の資格などは、職場が異なっても活用できる職業技能を示している。出産などによるキャリア中断のリスクが大きい女性にとって、1つの企業に長期勤務し、その企業に求められるスキルを徐々に形成することは難しい。今回の調査結果を見ると、このデメリットを克服するために、女性はむしろ異なる職場に持ち運び可能な職業資格を、学校を通して、あるいはキャリア途中で取得する傾向が強いのである。男女ともに現在、働き方の多様性が求められており、資格との関係を調査する意義は高まっている。

出典：佐野和子、2018「女性の教育歴とスキル形成—資格取得の分析—」第70回日本教育社会学会

住所確認用はがき

お願い	
今後、ご連絡をとらせていただきます際、転居などで今回ご送付しましたお名前・ご住所などに不都合がありましたら、その旨ご記入の上、お知らせください。 (切手を貼らずにご投函ください。)	
旧住所	都道府県

新住所 (年 月より)	都道府県
〒 _____	_____

TEL _____	_____

お名前 [必ずご記入ください。]	

(改姓に該当する方は旧・新をつけて書いてください。)	
パネル番号 (郵便物宛名右下の4桁数字)	_____
(No.0895_y18m8) 働き方と暮らしについての調査 2013 継続[JGSS13LC 追]	

2019年1月実施 依頼状

「働き方と暮らしについての調査」にご協力いただいた皆様へ

2019年 継続調査実施のご案内

拝啓 皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、私ども大阪商業大学 JGSS 研究センターでは、京都大学 大学院教育学研究科 教育社会学講座と協力して、2009年と2013年に実施した「働き方と暮らしについての調査」の継続調査を実施することになりました。概要は以下の2つの調査から成ります。

調査①

2月下旬頃 ご自宅でご記入いただく調査

対象者の皆様に調査票を郵送いたします。ご自身でご記入ください。後日担当調査員が面接調査を行うためにご自宅へ伺います。その際に回答済の調査票をお渡しください。

調査②

2月下旬頃～4月中旬頃 調査員による面接調査

調査員がご自宅を訪問し、お仕事や家族構

成などの変化について、おたずねいたします。※その際には、前回調査実施時（2013年2～3月頃）にご回答くださった内容の一部を参照させていただきます。

調査謝礼

2つの調査終了後に **1000円相当クオカード**を
進呈いたします。

お忙しいなか、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

○ご住所やお名前に変更のあった方（本状をお送りした封筒の宛名ラベルの記載情報に変更のあった方）は、同封のハガキに変更内容をご記入の上、今月中をめぐりにご返送ください。

○ご都合により継続調査にご協力いただけなくなった方、上記の実施概要ではご協力いただけない方については、中央調査社までご連絡ください。

敬具

2019年1月


[調査主体]

大阪商業大学 JGSS 研究センター
〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10
電話（直通）06-6785-6013
<http://jgss.daishodai.ac.jp/>
京都大学 大学院教育学研究科 教育社会学講座
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
電話（直通）075-753-3068

[調査実施・本状発送機関]※

一般社団法人 中央調査社
〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12
電話（フリーダイヤル）0120-48-5351
（管理部）03-3549-3125
<http://www.crs.or.jp/>

※皆様の個人情報の取り扱いについて

 この調査で知り得た皆様の個人情報は、調査実施機関である一般社団法人 中央調査社が管理しており、調査主体である大阪商業大学ならびに京都大学にその情報が渡ることはありません。一般社団法人 中央調査社は、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会の「プライバシーマーク」の認定を受けており、統計調査の実施にあたっては、個人情報保護方針に従って情報の管理を徹底しております。

※本調査は、科学研究費補助金（基盤研究（B））「ゼロ年代以後の教育歴とライフコースの変化に関するパネル調査研究」（代表：岩井八郎 京都大学教育学研究科教授）の助成を受けております。

住所確認用はがき

お願い	
今後、ご連絡をとらせていただきます際、転居などで今回ご送付しましたお名前・ご住所などに不都合がありましたら、その旨ご記入の上、お知らせください。 (切手を貼らずにご投函ください。)	
旧住所	都道 府県

新住所 (年 月より)	都道 府県
〒 _____	_____

TEL _____	_____
お名前 [必ずご記入ください。]	
(改姓名に該当する方は旧・新をつけて書いてください。)	
パネル番号 (郵便物宛名右下の4桁数字) _____	
(No.0944_y19m1) 働き方と暮らしについての調査 2019 継続[JGSS19LC 追]	

2021年3月31日発行（非売品）

日本学術振興会「科学研究費補助金・基盤研究B（JP18H00985）
ゼロ年代以後の教育歴とライフコースの変化に関するパネル調査研究」
「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業
（JPJS00218077184）」

日本版 General Social Surveys
基礎集計表・コードブック
JGSS-2019LCSwave3

編集・発行

文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

京都大学大学院教育学研究科
教育社会学講座

印刷

キンコーズ・ジャパン（株）